

平成30年度 人材力活性化に関する
調査研究事業

報告書

平成31年3月

総務省地域力創造グループ地域自立応援課

人材力活性化・連携交流室

<< 目 次 >>

| | |
|------------------------------------|-----|
| 序章 調査の目的 | 1 |
| 1. 調査の目的 | 1 |
| 2. 調査研究事業 | 1 |
| 第Ⅰ章 全国地域づくり人財塾 | 2 |
| 1. 全国地域づくり人財塾とは | 2 |
| 2. 本年度の実施状況 | 4 |
| 3. 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修 | 18 |
| 第Ⅱ章 全国地域づくり人財塾 課題解決編 | 22 |
| 1. 全国地域づくり人財塾 課題解決編とは | 22 |
| 2. フィールドワーク型の実施状況 | 22 |
| 第Ⅲ章 人材力活性化研究会 | 25 |
| 1. 人材力活性化研究会とは | 25 |
| 2. 第23回研究会 | 26 |
| 第Ⅳ章 本年度の調査研究事業の成果と今後の方向性 | 29 |
| 1. 本年度の調査研究事業の成果と課題の確認 | 29 |
| 2. 次年度の展開と今後の方向性 | 35 |
| 参考資料1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等 | 39 |
| 1. 全国市町村国際文化研修所（JIAM）編 | 39 |
| 2. 地方開催（in 札幌）編 | 69 |
| 3. 市町村職員中央研修所（JAMP） | 104 |
| 4. 自治大学校編 | 166 |
| 参考資料2. 全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修 | 187 |
| 1. 九州地域フォローアップセミナーリーフレット | 187 |
| 2. 北海道地域フォローアップ研修申込画面 | 191 |
| 参考資料3. 全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型） | 193 |
| 1. 受講者アンケート・リーフレット | 193 |
| 参考資料4. 人材力活性化研究会 資料 | 204 |
| 1. 第23回人材力活性化研究会 | 204 |

序章 調査の目的

1. 調査の目的

総務省では、地域活性化の基本的な要素である人材力の強化を図るため、NPO・企業等の「民」と国・地方公共団体等の「官」の連携方策も含めた課題を抽出した上で、地方公共団体や地域活性化に関わる団体等が、人材力の活性化に取り組む場合の参考として用いることを想定して「地域づくり人」を育成するために3つのテキスト（「人材力活性化プログラム」「地域づくり活動のリーダー育成のためのカリキュラム」及び「地域づくり人の育成に関する手引き」）を作成した。そして、これらを「地域づくり人育成ハンドブック」として取りまとめるとともに、地域づくり人育成のための研修会を開催し、地域づくり人の広がりや質の向上を図ってきたところである。

平成30年度においては、これらを基本テキストとした人材力活性化のための講座開催や今後の展開を念頭に置いた調査研究等を行った。

2. 調査研究事業

本年度行った調査研究事業は、以下のとおり。

| 研修事業 | 調査研究事業 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">■全国地域づくり人財塾<ul style="list-style-type: none">●通常開催(JIAM、JAMP、自治大学校)●地方開催(in 札幌)■全国地域づくり人財塾 課題解決編<ul style="list-style-type: none">●フィールドワーク型■全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修<ul style="list-style-type: none">●フォローアップ研修 in 東日本支部 (第21～23回)●フォローアップ研修 in 九州 (宮崎県都城市、鹿児島県志布志市)●フォローアップ研修 in 北海道 (北海道岩見沢市) | <ul style="list-style-type: none">■人材力活性化研究会 |

第 I 章 全国地域づくり人財塾

1. 全国地域づくり人財塾とは

地域活性化の取組においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切である。

このような状況を生み出すため、地域づくりに関係する行政職員および NPO などの民間団体のスタッフ等を対象に、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成する「全国地域づくり人財塾」を開催している。

平成 28 年度からは、地方開催を併せて年 4 回実施している。

これまで実施された全国地域づくり人財塾

| 研修名 | 会場 | 開催時期 |
|------------------------|--------------|----------------|
| 平成 23 年度 地域づくり人育成講座 | 自治大学校 | H23. 8. 8～ 9 |
| | 全国市町村国際文化研修所 | H23.12.13～15 |
| | 市町村職員中央研修所 | H24. 3.12～14 |
| 平成 24 年度 地域づくり人育成講座 | 自治大学校 | H24. 7.26～27 |
| | 全国市町村国際文化研修所 | H25. 1. 9～11 |
| | 市町村職員中央研修所 | H25. 3.11～13 |
| 平成 25 年度 全国地域づくり人財塾 | 自治大学校 | H25. 8. 1～ 2 |
| | 全国市町村国際文化研修所 | H25. 9.25～27 |
| | 市町村職員中央研修所 | H25.10.30～11.1 |
| 平成 26 年度 全国地域づくり人財塾 | 全国市町村国際文化研修所 | H26. 6.18～20 |
| | 自治大学校 | H26. 7.24～25 |
| | 市町村職員中央研修所 | H26.10.29～31 |
| 平成 27 年度 全国地域づくり人財塾 | 全国市町村国際文化研修所 | H27. 5.12～14 |
| | 自治大学校 | H27. 6. 4～ 5 |
| | 市町村職員中央研修所 | H27.10.28～30 |
| 平成 28 年度 全国地域づくり人財塾 | 全国市町村国際文化研修所 | H28. 5.11～13 |
| | 自治大学校 | H28. 6. 2～ 3 |
| | in 仙台 | H28. 8. 1～ 2 |
| | 市町村職員中央研修所 | H28.10.26～28 |
| 平成 29 年度 全国地域づくり人財塾 | 全国市町村国際文化研修所 | H29. 5.10 ～ 12 |
| | 自治大学校 | H29. 6. 1 ～ 2 |
| | in 福岡 | H29. 9.21 ～ 22 |
| | 市町村職員中央研修所 | H29.10.25 ～ 27 |

| 研修名 | 会場 | 開催時期 |
|------------------------------------|---|------|
| 平成 24 年度 「域学連携」地域づくり人 育成支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○最上のまちづくり地域リーダー塾（山形県最上市）12月～1月 ○つくば発！地域力コーディネーター養成講座（茨城県つくば市）2月 ○近江地域づくり人交座（滋賀県彦根市）1月～2月 ○きくち地域づくり人育成塾（熊本県菊池市）11月～2月 ○やんばる地域づくり人育成講座（沖縄県浦添市）11月～2月 | |
| 平成 25 年度 地域づくり人育成支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○「たまるくと地域づくり人」育成講座（東京都多摩六市）2月 ○平成25年度石川地域づくり塾（石川県内）11月～2月 ○愛媛県中予地域づくり人育成事業（愛媛県中予地域）12月～2月 ○つくば発！地域力コーディネーター養成講座（茨城県つくば市）2月 ○「域学連携」地域づくり人育成支援事業（沖縄県やんばる地域）11月～2月 | |

本年度実施した全国地域づくり人財塾

| 研修名 | 会場 | 開催時期 |
|------------------------|--------------|----------------|
| 平成 30 年度 全国地域づくり人財塾 | 全国市町村国際文化研修所 | H30. 5. 9 ~ 11 |
| | in 札幌 | H30. 7.19 ~ 20 |
| | 市町村職員中央研修所 | H30. 9.19 ~ 21 |
| | 自治大学校 | H30.10.17 ~ 19 |

2. 本年度の実施状況

(1) 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 編

①開催概要

- 日時：平成 30 年 5 月 9 日（水）～11 日（金）
- 場所：全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）
- 参加者数：44 名（自治体職員 38 名、その他 6 名）
- 研修概要：地域づくりに取り組む市区町村等職員及び NPO 関係者等を対象とした 2 泊 3 日の合宿型研修。

人材力活性化研究会構成員および地域で活躍する実践者を外部講師とした座学式の講義のほか、講師との直接対話やグループトーク、人財塾修了生の事例報告を通じて、地域リーダーとして必要な心構えやノウハウ等を学習するとともに、個人ワークとして研修終了後に「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」（行動宣言）を取りまとめた。

②カリキュラム（敬称略・役職は当時のもの）

| 月日 | 時間 | 講義内容 |
|-------------------------|-------------|---|
| 5 月 9 日 (水) | 11:00～13:00 | 入寮受付・昼食 開講・オリエンテーション |
| | 13:00～13:15 | 【導入】 「人材力の活性化について」 三宅 啓之（総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室 地域支援専門官） |
| | 13:15～14:10 | 【実践事例】 「“地域人財が育つ” 地域資源融合型公園経営」 富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長） |
| | 14:25～15:35 | 【実践事例】 「住民の学びと自治が育む地域づくり」 木下 巨一 講師（長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課 企画幹） |
| | 15:50～17:00 | 【実践事例】 「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長） |
| | 17:00～17:30 | 【グループ・トーク】 本日の振り返り |
| | 18:00 | 交流会 |

| 月日 | 時間 | 講義内容 |
|--------------|-------------|--|
| 5月10日 (木) | 9:00~9:25 | 【グループトーク】 |
| | 9:25~10:35 | 【実践事例】 「地域づくりのマネジメント ～つながりをつくり創発を生む仕組みづくり～」 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐）） |
| | 10:50~12:00 | 【実践事例】 「『能力を磨く』という人材育成の考え方」 玉沖 仁美 講師（株式会社 紡 代表取締役） |
| | 13:00~17:00 | 【講師との直接対話】 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐）） 富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長） 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長） 玉沖 仁美 講師（株式会社紡代表取締役） |
| | 17:00~17:30 | 【グループトーク】 本日の振り返り |
| | 19:00~20:10 | 【講師との直接対話】 |
| 5月11日 (金) | 9:00~9:25 | 【グループトーク】 |
| | 9:25~10:35 | 【事例報告】 林 順和 講師（福井県大野市 産経建設部商工観光振興課） |
| | 10:50~12:00 | 【事例報告】 池袋 耕人 講師（宮崎県宮崎市 観光商工部商工戦略局商業労政課まちなか活性化室） |
| | 13:00~14:10 | 【成果発表と振り返り】 |
| | 14:10~14:40 | 研修アンケート記入、閉講 |

③受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

（研修時間・研修内容関係）

- モチベーションは低くはないと思っていたが、様々な方と出会いお話しするなかで、刺激を受け、一層上がったように思う。今自分が直面している悩みや何となく地域住民が思っている理想の解決や実現の具体的な方策を見出せた。
- 地域づくりのためのやり方を、たくさん学べた。同じように取組んでいる仲間がいるということがとても強く感じました。
- 講師から素晴らしい講義を聞くことができるのは大変素晴らしいものであるが、全国の自治体職員との交流、ネットワークを構築できるのが、大変素晴らしい研修となった。

（ステップアップ研修の要望等）

- ファシリテーターを入れたグループワークや、ワールドカフェなど参加者同士の情報交換ができる時間を多く設けてもらいたい。
- 実践されている現場でのフィールドワーク。自ら実践している内容のブラッシュアップ。
- 今回の講師をセットにした研修ではなく、選択制にしてより深く学ぶことができるようにするのはどうか。
- 研修を受講して、どの様に、意識が変化して、どの様な行動に至ったのか、とか研修の成果を聞きたいと思う。
- 同メンバーにおける経過報告があれば勉強になると共に励みになる。



講義（富永講師）



講義（木下講師）



講義（玉沖講師）



講義（豊重講師）

■参考資料

参考資料1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等

1. 全国市町村国際文化研修所（JIAM）編 受講者アンケート・リーフレット

(2) 地方開催 (in 札幌) 編

①開催概要

■日時：平成 30 年 7 月 19 日 (木) ～20 日 (金)

■場所：TKP ガーデンシティ札幌駅前 (北海道札幌市)

■参加者数：64 名

■研修概要：地域づくりに取り組む市区町村等職員及び NPO 関係者等を対象とした 1 泊 2 日の集合型研修。

人材力活性化研究会構成員および地域で活躍する実践者を外部講師とした実践事例の講義と、講師との直接対話を通じて、地域リーダーとして必要な心構えやノウハウ等を学習した。

②カリキュラム (敬称略・役職は当時のもの)

| 月日 | 時間 | 講義内容 |
|--------------------------|-------------|--|
| 7 月 19 日 (木) | 12:00～12:50 | 受付 |
| | 12:50～13:00 | 開講・オリエンテーション |
| | 13:00～13:15 | 【導入講義】 「人材力の活性化について」 飛田 章 (総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室長) |
| | 13:15～14:35 | 【講義】 「“地域人財が育つ” 地域資源融合型公園経営」 富永 一夫 講師 (特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池会長) |
| | 14:50～16:10 | 【講義】 「地域再生 ～行政に頼らない地域づくり～」 豊重 哲郎 講師 (柳谷自治公民館館長) |
| | 16:25～17:45 | 【講義】 「集落にとって大切なのは人口・経済……何か」 目黒 英治 講師 (北海道農山漁村地域力ネットワーク 代表) |
| | 18:15～19:30 | 交流会 |

| 月日 | 時間 | 講義内容 |
|--------------------------|-------------|--|
| 7 月 20 日 (金) | 9:00～10:20 | 【講義】 「地域づくりのマネジメント-つながりをつくり創発を生む仕組みづくり」 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐）） |
| | 10:35～11:55 | 【講義】 「人口減少時代における、公民連携都市再生戦略のつくりかた」 西村 浩 講師（建築家／クリエイティブディレクター／ 株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役） |
| | 12:45～14:15 | 【講師との直接対話】 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐）） 富永 一夫 講師（特定非営利活動法人 NPO フェュージョン長池会長） 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館館長） |
| | 14:30～16:00 | 西村 浩 講師（建築家／クリエイティブディレクター／ 株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役） 前神 有里 講師（一般財団法人地域活性化センター 人材育成プロデューサー） |
| | 16:10～16:40 | 振り返り・閉講 |
| | 17:00～17:30 | 課外活動 |

③受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

（研修全般）

- 行政と民間連携という視点での話が少ない印象でした。企業も地方の課題解決に取り組む必要、意識を持っており、どのようにイノベーションを起こすか、詳しくご教示いただきたいと思いました。
- 学びをもっと深めて、同じような悩みを話せる時間がほしかった。
- 講義時間が長く感じた。もう少し短くシンプルの方が良い。
- 運用上大変なのは承知の上ですが、個別対話を講義の後で決める（変更できる）ようにしていただきたいです。

（ステップアップ研修の要望等）

- 今回の研修を通して、新たに事業を始めた方の事例を紹介し、共有し合うセミナーなどがあればいいです。
- 事例研究等のディスカッション形式。
- グループワークなど演習形式も一案ではないかと思えます。
- 講義で落とし込んだ内容をフィールドワークのような形で実践的に学びたいです。
- 実地調査や政策提言などを行う研修。
- 社会貢献ファシリテーターやファンドレーザーなどまちづくりに関する専門職を学んでみたい。



講義（富永講師）



講義（豊重講師）



講義（目黒講師）



講義（飯盛講師）



講義（西村講師）



直接対話（飯盛講師）



直接対話（富永講師）



直接対話（豊重講師）



直接対話（西村講師）



直接対話（前神講師）



課外活動（富永講師）

■参考資料

- 参考資料1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等
2. 地方開催（in 札幌）編 受講者アンケート・リーフレット

(3) 市町村職員中央研修所（JAMP）編

①開催概要

■日時：平成30年9月19日（水）～21日（金）

■場所：市町村職員中央研修所（千葉県千葉市）

■参加者数：82名

■研修概要：地域づくりに取り組む市区町村等職員及びNPO関係者等を対象とした2泊3日の合宿型研修。

人材力活性化研究会構成員および地域で活躍する実践者を外部講師とした座学式の講義のほか、講師との直接対話やグループトーク、人財塾修了生の事例報告を通じて、地域リーダーとして必要な心構えやノウハウ等を学習するとともに、個人ワークとして研修終了後に「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」（行動宣言）を取りまとめた。

②カリキュラム（敬称略・役職は当時のもの）

| 月日 | 時間 | 講義内容 |
|----------|-------------|--|
| 9月19日（水） | 11:00～11:30 | 受付 |
| | 11:30～12:30 | 昼食 |
| | 12:30～13:00 | 開講・オリエンテーション |
| | 13:00～14:10 | 【講義1：導入】 「地域力の創造と人材力の活性化について」 藤井 雅文（総務省地域力創造グループ地域政策課長） |
| | 14:25～15:35 | 【講義2：実践事例】 「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長） |
| | 15:50～17:00 | 【講義3：実践事例】 「地域総力戦のまちづくり ～NPOによる7軒の空き家再生が生み出したもの～」 加藤 潤 講師（NPO法人頼娃おこそ会 観光プロジェクトリーダー） |
| | 17:00～17:30 | 【グループ・トーク】 本日の振り返り |
| | 17:30～17:45 | 【説明】 「地方創生カレッジ」について 岩崎 正敏 講師（一般財団法人地域活性化センター 常務理事） |
| | 18:15～ | 交流会 |

| 月日 | 時間 | 講義内容 |
|--------------|-------------|---|
| 9月20日 (木) | 9:00~9:25 | 【グループ・トーク】 |
| | 9:25~10:35 | 【講義4：実践事例】 「地域づくりのマネジメント-つながりをつくり創発を生む仕組みづくり」 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐）） |
| | 10:50~12:00 | 【講義5：実践事例】 「“地域人財が育つ” 地域資源融合型公園経営」 富永 一夫 講師（NPO 法人 NPO フュージョン長池会長） |
| | 13:00~14:10 | 【講師との直接対話】 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐）） 富永 一夫 講師（NPO 法人 NPO フュージョン長池会長） 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長） 小澤 浩子 講師（赤羽消防団副団長、消防大学校客員教授） 玉沖 仁美 講師（株式会社紡代表取締役） 前神 有里 講師（一般財団法人地域活性化センター人材育成プロデューサー） |
| | 14:25~15:35 | |
| | 15:50~17:00 | |
| | 17:15~18:25 | |
| | 18:30~19:00 | |
| 9月21日 (金) | 9:00~9:25 | 【グループ・トーク】 |
| | 9:25~10:35 | 【事例報告】 神山 伸一 講師（東京都小平市 小平市文化振興財団事業課長） |
| | 10:50~12:00 | 【事例報告】 幸重 陽子 講師（大分県大分市 土木建築部道路維持課参事補） |
| | 13:00~14:10 | 【成果発表と振り返り】 |
| | 14:10~ | 閉講 |

③受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

（研修全般）

- 受講して本当に良かった。とても得をした気持ちと若い時に受講しておきたかったと…職場に帰りフィードバックをし、毎年受講をすすめたいと思いました。ありがとうございました。
- 地域づくりを実践され成果を上げていらっしゃる講師陣の話はどれも聞きごたえがあった。グループトーク等で他の参加者と交流できる時間があったのも有りがたかった。
- 1日目の交流会で、様々な人と交流ができてよかった。また、講師との直接対話では、今まで遠い存在だった講師の先生がぐっと近づいた感じがして、質問しやすい雰囲気があった。講師の人ともっと話してみたいと感じた。
- 多種多様な話を聞き、共有でき、多くの財産を得ることができた。

（ステップアップ研修の要望等）

- 実際に市民活動を行っている職員との対話の時間があっても良いと思いました。公務と地域活動の両立など、勉強になると思います。
- これまでの研修もそうであるが、帰庁してしばらくすると意識も元にもどってしまう自分がある。刺激を求め定期的にでも研修を受けていきたい。あと、少しでも実践できるものをつくりあげたい。人数が多いのであれば、フォローアップ研修を四国でお願いしたい。
- 宣言書（事業計画）のその後どうなっているか。しっかり実行できているか？できなかったときは講師の先生方からダメ出し、アドバイスを受けたい。



講義（豊重講師）



講義（加藤講師）



講義（飯盛講師）



講義（神山講師）



講義（幸重講師）



直接対話（飯盛講師）



直接対話（豊重講師）



直接対話（前神講師）

■参考資料

参考資料 1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等

3. 市町村職員中央研修所（JAMP）編 受講者アンケート・リーフレット

(4) 自治大学校編

①開催概要

■日時：平成30年10月17日（水）～10月19日（金）

■場所：自治大学校（東京都立川市）

■参加者数：32名（自治体職員31名、その他1名）

■研修概要：自治大学校「地域人財づくりセミナー」受講生を対象とした研修。

5日間の研修日程のうち、3日間において人材力活性化研究会構成員を講師とした座学式の講義のほか、講師との直接対話やグループワークを通じて、地域リーダーとして必要な心構えやノウハウ等を学習するとともに、個人ワークとして研修終了後に「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」（行動宣言）を取りまとめた。

②カリキュラム（敬称略・役職は当時のもの）

| 月日 | 時限 | 時間 | 講義内容 |
|---------------|-------------|-------------|--|
| 10月17日 （水） | 1限目 | 9：25～10：35 | 「演習1」 |
| | 2限目 | 10：50～12：00 | 【合同講義】 「地域力の創造と人材力の活性化について」 佐々木 浩（総務省大臣官房地域力創造審議官） |
| | 3限目 | 13：00～14：10 | 【合同講義】 「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長） |
| | 4限目 | 14：25～15：35 | 【合同講義】 「“地域人財が育つ”地域資源融合型公園経営」 富永 一夫 講師（NPOフュージョン長池会長） |
| | 5限目 | 15：50～17：00 | 「演習2」 |
| 10月18日 （木） | 1限目～ 2限目 | 9：25～12：00 | 【合同講義】 「地域づくりのマネジメント」 飯盛 義徳 講師 （慶應義塾大学総合政策学部教授（学部長補佐）） |
| | 3限目 | 13：00～14：10 | 【講師との直接対話】 飯盛 義徳 講師（慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐）） 富永 一夫 講師（NPO法人NPOフュージョン長池会長） 豊重 哲郎 講師（柳谷自治公民館長） |
| | 4限目～ 5限目 | 14：25～17：00 | 「演習3」 |

| 月日 | 時限 | 時間 | 講義内容 |
|---------------|-------------|-------------|-------|
| 10月19日 (金) | 1限目～ 2限目 | 9:25～12:00 | 「演習4」 |
| | 3限目 | 13:00～14:10 | ふりかえり |

③受講者の評価（受講者アンケート抜粋）

（研修時間・研修内容関係）

- 本研修に参加し、自分自身とても向上できたと感じました。モチベーションは対価ではなく、心だということに気付きました。この気持ちを忘れずにがんばっていきたいと思います。
- もっと深く、知識の獲得等を行いたかったです。今回のコマでは少ないと強く感じましたので期間を長くしていただきたいです。
- 短い研修期間の中に色々なことを学ばせていただき、若干消化不良の状態であるが、地元に戻り振り返る中で理解を深め、今後の活動に活かしていきたいと思いました。座学だけでなくワークにも取り組み盛り沢山の内容であって、次回はもう少し長めの期間を取っても良いのかなと思います。個人的には週末の方が嬉しいです。

（ステップアップ研修の要望等）

- 今回の研修を受講後に行った、地域づくり、人づくりでの成功例、失敗例を持ち寄って、その改善点等を検討する等。
- 修了生で同窓会を兼ねてフィールドワークを行う。3年後とかに集まって情報交換する。
- 各市での課題と現在進行形で行っていることのワーキングが出来ると良いと思います。
- 行動宣言の成果も一つですが、今回の研修によって変わったこと、変わったことによって取り組んだことなど、自ら考えることを取り組んでいきたいと感じました。



講義（富永講師）



直接対話（富永講師）



直接対話（飯盛講師）



直接対話（豊重講師）



演習の様子



演習の様子



演習の様子



演習の様子

■参考資料

- 参考資料 1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等
- 4. 自治大学校編 受講者アンケート

3. 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修

(1) 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修とは

これまで実施した「全国地域づくり人財塾」の修了生が自主的に集まり、定期的に勉強会（フォローアップ研修）を実施している。

これまで、大きくは東日本と西日本で活動があり、東日本では6年目の本年度に23回目のフォローアップ研修が実施された。

また、地方開催を契機に北海道、東北、九州でフォローアップ研修がスタートしている。

フォローアップ研修の活動概要

| 年度 | 日時 | 場所 | テーマ | |
|-------|----|-------------|-----------------------|---------------------------------|
| 東日本支部 | 25 | 平成25年4月17日 | 長池公園自然館 | あったらいいな、こんな〇〇（市） |
| | | 平成25年7月19日 | | |
| | | 平成25年10月3日 | | |
| | | 平成26年1月29日 | | |
| | 26 | 平成26年4月23日 | 長池公園自然館 | あったらいいな、こんな〇〇（市） |
| | | 平成26年7月9日 | 地域活性化センター | あったらいいな、こんな〇〇（市） |
| | | 平成26年10月8日 | | よりよい“コーディネーター”とは？ |
| | | 平成27年1月7日 | | 人財塾での行動宣言の実践状況の報告、抱負 |
| | 27 | 平成27年4月15日 | 地域活性化センター | 今、これから |
| | | 平成27年7月29日 | 長池公園自然館 | 指定管理者制度の10年を検証する |
| | | 平成27年10月21日 | ルネこだいら | “みんなが集まる場”とは？ |
| | | 平成28年1月21日 | フォーシーズンズ 志木ふれあいプラザ | 地域とかかわる“楽しさ”と“難しさ” |
| | 28 | 平成28年4月28日 | 千葉市生涯学習センター | 地域の未来イメージをつくる～千葉市の新たな取り組みをケースに～ |
| | | 平成28年7月28日 | 山武市ふれあいセンター | 図書館が発信する山武市の魅力！ |
| | | 平成28年11月7日 | 首都大学東京 | 学生との交流で、新たな創発を！ |
| | | 平成29年1月20日 | 地域活性化センター | 人財力とは何か・・・いま再び考える |

| 年度 | 日時 | 場所 | テーマ | |
|------------------|----|----------------------------|-----------------------|--|
| 東 日本 支部 | 29 | 平成 29 年 4 月 13 日 | 長池公園自然館 | 魅力的な公園づくり |
| | | 平成 29 年 7 月 19 日 | 白鳳大学 | 市民協働とは何かを考える |
| | | 平成 29 年 10 月 17 日 | 移住・交流ガーデン | 関東圏の移住を考える |
| | | 平成 30 年 1 月 16 日 | 首都大学東京 | 若者参加 |
| | 30 | 平成 30 年 4 月 27 日 | BIC ライブラリ (機械振興会館) | フォローアップ研修のこれから |
| | | 平成 30 年 7 月 25 日 | 地球環境パートナー シップオフィス | SDG s と自分のつながりとは？ |
| 平成 31 年 2 月 21 日 | | up Tsukuba | 人財育成 | |
| 西 日本 | 25 | 平成 26 年 2 月 23 日 ～25 日 | 愛媛県松山市ほか | 移住対策 |
| | | 平成 26 年 10 月 11 日 ～12 日 | 山口県周南市 | 若手による地域づくり |
| | 27 | 平成 27 年 9 月 26 日 ～27 日 | 大阪府河内長野市 | 開催地における地域づくり(中山間地の活動拠点整備・運用、地区まちづくり会の活動) |
| | 29 | 平成 29 年 8 月 5 日～6 日 | 愛媛県西予市 | 茶堂について |
| 北 海道 | 30 | 平成 30 年 12 月 1 日～ 2 日 | 北海道岩見沢市 | 岩見沢市の取組について考える |
| 東 北 | 28 | 平成 28 年 8 月 2 日 | 宮城県仙台市 | 地域と関わる中であなたが大切にしたいことは？ |
| 九 州 | 29 | 平成 30 年 1 月 27 日 | 宮崎県三股町 | 地域住民に喜ばれる公園とは。人の交流の起点となる公園活用方法 |
| | | 平成 30 年 7 月 7 日 | 宮崎県都城市 | 外国人と地域の共生について考える |
| | 30 | 平成 31 年 1 月 26 日 | 鹿児島県志布志市 | 「商店街」のこれからとこれから～街の賑わいを考える～ |

(2) 本年度の実施状況

①東日本支部

- ・平成 24 年度の地域づくり人育成講座（市町村職員中央研修所編）の修了生が中心となって企画・開催している。
- ・平成 25 年 4 月以降、概ね 3 か月毎に開催し、平成 30 年度までに 23 回が実施されている。
- ・平成 26 年度末に今後の運営のあり方について意見交換を行った結果、平成 27 年度以降は、参加者による持ち回り担当制により開催されている。
- ・主な研修内容は、人材力活性化研究会の構成員や大学等とタイアップした講義のほか、参加者が自分の地域についてプレゼンを行い、それに対して他の参加者からフィードバックを行う形式で開催している。



第 2 1 回：フォローアップ研修のこれから



第 2 2 回：SDGs と自分のつながりとは？



第 2 3 回：人財育成

②西日本

- ・西日本においては、これまで年 1 回程度、四国・中国・関西地区において、それぞれテーマを設定して不定期に開催されている。

③東北

- ・全国地域づくり人財塾 in 仙台の開催に合わせて、平成 28 年 8 月 2 日に仙台国際センターで開催し、東北圏の市町村、NPO 職員を中心に 10 名程度が参加した。
- ・平成 26 年度の全国地域づくり人財塾（市町村職員中央研修所編）で活動事例報告を行った修了生が

中心となって企画・開催した。

- ・「小さなことでもいいから一歩踏み出す」ことをねらいとして、学んだことの活動や仕事への活かし方を考える場を提供した。

④九州

- ・平成29年度の全国地域づくり人財塾 in 福岡の修了生を中心に開催している。開催地域は持ち回りで、ワークショップをとりいれたカリキュラムで構成されている。
- ・平成30年度は2回開催され、第2回が平成30年7月7日に宮崎県都城市の「特別養護老人ホームほほえみの園」で「外国人と地域の共生について考える」をテーマに、第3回は平成31年1月26日に鹿児島県志布志市で「商店街」のこれからとこれから～街の賑わいを考える～」をテーマに開催され、それぞれフィールドワーク、グループワークを行った。



都城のワークショップ



志布志の商店街フィールドワーク

⑤北海道

- ・平成30年度の全国地域づくり人財塾 in 札幌の修了生を中心に開催している。
- ・本年度は岩見沢市で「岩見沢市の取組について考える」をテーマに、平成30年12月1日～2日の二日間の日程で開催され、フィールドワークとグループワークのカリキュラムで実施された。



岩見沢駅をフィールドワーク



ワークショップ

■参考資料

参考資料2. 全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修

1. 九州フォローアップセミナーリーフレット
 - (1) in 都城
 - (2) in 志布志
2. 北海道フォローアップ研修申込画面 (in 岩見沢)

第Ⅱ章 全国地域づくり人財塾 課題解決編

1. 全国地域づくり人財塾 課題解決編とは

「全国地域づくり人財塾 課題解決編」は、「全国地域づくり人財塾」の修了生等をはじめ、地域づくりの実践活動を始めた方等を対象に、課題解決の糸口発見や更なる活動へのステップアップの場として「フィールドワーク型」と「ケーススタディ型」を実施している。

本年度は、事前課題とフィールドワークを通じて地域づくりの実行計画を策定する「フィールドワーク型」を開催した。

2. フィールドワーク型の実施状況

(1) 開催概要

■日時：平成30年9月6日（木）～8日（土）〔2泊3日〕

■場所：宮崎県日南市、宮崎県綾町

■参加者数：3名（自治体職員2名、地域おこし協力隊1名） ※定員：15名

■研修概要：

- ・地域づくりに取り組む市町村等職員及びNPO関係者等を対象とした2泊3日の合宿型研修。
- ・今年度のカリキュラムは、個人ワークを中心に構成。初日の事前課題プレゼンテーションの後、発表テーマに基づく検討テーマを決め、実行計画案を策定する演習を行った。
- ・研修初日と二日目に、地域づくりの現場を訪ねるフィールドワークを行い、地域課題の解決方法等の理解を深めた。
- ・三日目に、フィールドワークの結果等も踏まえて検討した実行計画のプレゼンテーションを行うとともに、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」（行動宣言）も作成し発表した。
- ・このような学習作業を通じて、課題解決力およびプレゼンテーション力の向上を図った。

(2) カリキュラム（敬称略・役職は当時のもの）

| 月日 | 時間 | 内容 |
|---------|-----------------|---|
| 9月6日（木） | 12:00～ | 集合（宮崎駅） |
| | 12:30～ 14:20 | 出発（バス）・開講・オリエンテーション |
| | 14:30～ 16:30 | 【フィールドワーク①】油津応援団（日南市） 黒田 泰裕 講師 （株式会社油津応援団代表取締役） |
| | 16:40～ 18:30 | 【事前課題の発表】 ①事前課題プレゼンテーション ②講評 飯盛 義徳 講師 （慶應義塾大学総合政策学部教授（学部長補佐）） |

| 月日 | 時間 | 内容 |
|-------------|-----------------|---|
| 9月7日 (金) | 09:00～ 10:40 | 【個人ワーク①】 事前課題発表を踏まえて、各自の地域づくり活動について意見交換。 |
| | 10:40～ 11:40 | 昼食 兼 油津商店街見学 |
| | 11:45～ 13:45 | 移動 (バス) |
| | 14:00～ 15:00 | 【フィールドワーク②】綾手づくりほんものセンター (綾町) 梶山 剛 講師 (株式会社 aya100 代表取締役) |
| | 15:00～ 15:15 | 移動 (バス) |
| | 15:30～ 16:30 | 【講義】 梶山 剛 講師 (株式会社 aya100 代表取締役) |
| | 17:00～ 19:00 | 【個人ワーク②】 事業計画案の作成 |
| 9月8日 (土) | 9:00～ 10:05 | 【個人ワーク③】 事業計画案の作成・プレゼンテーションの準備 |
| | 10:05～ 11:30 | 【個人ワーク④】 事業計画案の発表 |
| | 11:30～ 12:00 | 【個人ワーク⑤】 行動宣言作成・発表 |
| | 12:40～ 13:40 | 【総括講義】 |
| | 13:40～ 13:55 | 閉講式 |
| | 15:00 | 解散 (宮崎駅) |

(3) 受講者の評価 (受講者アンケート抜粋)

(研修全般)

- 熱い思いの人に出会えて良かった。同じ立場の公務員の人で色々と頑張っている人がいれば是非講師として参加してほしい。
- 各メンバーが取り組んできた内容・取り組んでいく内容について知ることができたので、自分が似たようなことで悩んだ時に連絡をとれるような状態にしておきたい。
- 予想以上に、現地講師の方が熱い情熱を持ち前向きな方々だったので、勇気づけられました。

(ステップアップ研修の要望等)

- 実際に自分で事業をすすめていくとしたら、悩みがでてくると思う。そういう悩みを共有して前に進める活力を得れるような研修。
- 参加者同士がブリーフィング（グループ討議）を行えるスタイルで1泊2日～2泊3日で実践してみると面白いのかもしれないと思います。
- 今回のように、実際に経営し、自立していらっしゃる経営者のお話が一番良いと思います。補助金ばかりで運営は、そもそも経営が成りたっていないのと同じだと思います。



事前課題の発表



講義（飯盛講師）



フィールドワーク
油津応援団 黒田講師



現地視察（油津商店街）



現地視察（油津商店街）



現地視察
（手づくりほんものセンター）



フィールドワーク
aya100 梶山講師



事業計画案作成



事業計画案発表

■参考資料

参考資料3. 全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型）
受講者アンケート・リーフレット

第三章 人材力活性化研究会

1. 人材力活性化研究会とは

人材力活性化の具体的な施策・目標の検討や、研修に係るカリキュラムやハンドブック等の作成、全国地域づくり人財塾の進め方等の検討を行うことを目的に、有識者や実践者による「人材力活性化研究会」を平成 22 年に設置している。

本年度は、第 23 回の研究会を開催した。

人材力活性化研究会の設置目的

地域活性化の基本的な要素である人材力の強化を図るため、「人材力活性化研究会」を開催し、NPO・企業等との連携方策も含めた課題を抽出したうえで、人材力活性化の具体的な施策・目標の検討や人材力の相互交流とネットワーク形成の進め方等の検討を行い、人材力の強化・活性化に取り組もうとしている様々な主体の今後の指針となるプログラムを策定。あわせて、人材力活性化の事例の調査等を行い、その充実を図る。

人材力活性化研究会の検討事項

- (1) 人材力活性化の取組の現状と課題の抽出、対応策の検討
- (2) 人材力活性化プログラム等の検討・策定
- (3) 人材力活性化プログラム及びプログラムに基づき実施する施策の充実
- (4) その他、人材力活性化プログラムに関し検討が必要なこと

研究会構成員（平成 31 年 3 月現在）

| | |
|-----|--|
| 座長 | 飯盛 義徳（慶應義塾大学総合政策学部教授（学部長補佐）） |
| | 小澤 浩子（赤羽消防団 副団長） |
| | 谷 和樹（玉川大学教職大学院 教授） |
| | 玉沖 仁美（株式会社紡 代表取締役） |
| 副座長 | 富永 一夫（特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池 会長） |
| | 豊重 哲郎（柳谷自治公民 館長） |
| | 前神 有里（一般財団法人地域活性化センター 人材育成プロデューサー） |
| | 牧野 益巳（元日本マイクロソフト(株) 会長室業務執行役員シチズンシップリード） |
| | 宮城 治男（特定非営利活動法人 ETIC. 代表理事） |

（敬称略、50 音順）

2. 第 23 回研究会

(1) 開催概要

■日時：平成 31 年 2 月 26 日（火）14：00～16：00

■場所：中央合同庁舎第 2 号館 3 階共用会議室

■出席者（敬称略：50 音順）

<構成員>

飯盛 義徳（座長）、小澤 浩子、玉沖 仁美、富永 一夫（副座長）、豊重 哲郎、前神 有里、
宮城 治男

<事務局>

梶人材力活性化・連携交流室長

(2) 議事概要

①「全国地域づくり人財塾」実施報告および今年度における各人財塾の課題と来年度の方向性（案） について

- ・フィールドワークについては受講者の要望が非常に多くあるため、カリキュラムは充実させているが受講者が少ない。受講者にとっては日程のハードルが高い。
- ・JIAM や JAMP の卒塾生へ向けて受講に関するメッセージを総務省から出すことで、自治体も研修への参加許可を出しやすくなるかもしれない。
- ・フォローアップ研修については、開始当初と比べると受講者の主体性やモチベーションが高くなっていると感じている。自主性を尊重するようなフォローアップ研修を支部別に行うことができるかという点について検討したい。
- ・ただ、フォローアップ研修は事務局会議をしなければならないため、立ち上げに関して責任を持って取り組む人が必要となる。
- ・帰庁してしばらくすると受講しないのと同じレベルの意識に戻ってしまうという人のためにもフォローアップ研修は有効であるし、自分の地域でフォローアップ研修を実施してほしいという意見もある。支部制を設けてはどうか。
- ・JIAM や JAMP で講義中心の初級編を受講し、学んだことを現場である程度の期間実践した人を対象とした次のステップの研修を設けてはどうか。
- ・研究会の設置から 10 年経ったいま、自治体大学の研修を、JIAM や JAMP の次のレベルの学びの場とすることを考えるタイミングだと思う。
- ・全国をブロックに分けて卒塾生による支部制を導入し、卒塾生が講義を行い、支部同士の交流が生まれるような人材育成に取り組んでどうか。
- ・人材育成へあまり取り組んでいない地域でも予算が拡充されるよう、モデル地域を紹介するなど、首長へ向けた PR 方法を検討してはどうか。
- ・自治体大学のカリキュラムオプションとして、土日に多摩などでフィールドワークを行ってどうか。フィールドの受け入れには、卒塾生に声掛けし、一緒に取り組むことで効果的になるだろう。
- ・支部制については、地方だと地理的な条件等から頻りに集まるのが難しいため、参加できるものに参加するといった、緩やかな集まりにしてはどうか。

- ・学び直しの機会として、これまでの受講者が集まる場を設けてはどうか。そうした場を設けることで、自身が受講した代の横のつながりと、他の代との縦のつながりができる。
- ・各地域での人材育成の取組を国が後押しする方策として、例えばバウチャー制度のように総務省が認定した民間の研修へ参加する場合に交付金を出すのはどうか。中間支援を行う民間の取組が育つ設計をすることでエコシステムの構築と活性化につながるのではないか。

②平成 31 年度「全国地域づくり人財塾」開催計画（案）について

- ・中長期のビジョンのため、中間支援を担う組織をつくる調査研究を来年度実施してはどうか。
- ・来年度、うまく支援が機能している中間支援組織を数パターン取り上げ、その実現可能性を議論したりしてはどうか。
- ・受講者に対して、どのような支部が自身の地域には望ましいかを聞き、実現可能性調査をしてはどうか。
- ・人財塾で学んだことを実践した人の学び直しの機会として、受講後に実践した内容を報告し、それに対して委員がフィードバックをするようなカリキュラムが地方開催にはあってよいのではないか。
- ・地方開催のカリキュラムの一部に、地域の小中高生やその教師を対象として、地域づくりや福祉などを学ばせる時間を設けてはどうか。
- ・これまでの取組を通じて中間支援の土壌は耕されたと感じているので、中間支援組織が実績を重ねることができるよう資金の提供方法を設計できるとよいだろう。
- ・高校生の地域づくりへの関心は高くなっており、教師のニーズも高まっているように感じる。地域とつながりながら取組を進めるといことが徐々に定着しつつあると感じている。
- ・人材育成の支援がビジネスになるシナリオがみえれば、すぐにでも中間支援組織が組織化される基盤はできつつあると思う。インセンティブの設計次第では、ほとんどの地域で中間支援組織が形成される可能性があるだろう。

③中長期的な人材育成のあり方について

- ・人材育成は重要だということは多くの人が理解しているが、成果がみえにくく予算がつきにくい。このため、啓発する方法の検討も中長期的には必要だろう。啓発を通じて、研修をあまり受講していない自治体も人材育成へ取り組むことにつながるのではないか。
- ・いま他の人を引っ張っていくようなリーダーよりも、周りの人のモチベーションがあがるよう世話をしたり褒めたりする人が必要とされている。
- ・研修への参加頻度は自治体によって差があるが、なるべく全国の自治体から受講者が集まるよう、中長期的に働きかけることも必要だろう。
- ・また、急速な時代の変化に柔軟に対応できる公務員や地域のリーダーを育成するという心構えが研究会の委員には必要だろう。
- ・今後の人財塾のテーマにエコを入れてはどうか。エコというと森林の問題など大きな問題もあるが、小さなエコも視野に入れてテーマに入れる必要もあるのではないか。
- ・現場主義の発想を常に持ち続ける行政職員を今後どうやって育成していくか、は重要だろう。

- 自治体の職員は、制度と制度の隙間を考える能力が求められるようになってきている。画一的な内容の研修が時代に合わなくなってきている。柔軟な研修が必要ではないか。
- 講師に教わるだけという一方通行の関係性だけではなく、いま進行中の話を聞き、その先を受講者と一緒に考えるような双方向の研修も受講者ニーズに合うし、研修後の関係の継続にもつながるのではないか。
- コーディネーターはどの領域でも必要とされており、コーディネーター役が増えつつあるなか、共通項も多くなり、学びあうことのインパクトが大きくなってきている。

■参考資料

参考資料 4. 人材力活性化研究会 資料

1. 第 23 回人材力活性化研究会

第IV章 本年度の調査研究事業の成果と今後の方向性

1. 本年度の調査研究事業の成果と課題の確認

本年度も地域づくり活動を自らの手で企画し、実践できる人材（人財）、「地域づくり人」の育成に向け、スタートアップの課程として位置づけている「全国地域づくり人財塾」（以下、「人財塾」という）を開催するとともに、修了生及び地域づくり活動実践者のステップアップ課程として位置づけている「課題解決編」の「フィールドワーク型」を開催した。

調査研究事業では、「人材力活性化研究会」（以下、「研究会」という）において各人財塾のカリキュラムや今後の方向性等について検討した。

ここでは、これらの取組を振り返り、本年度の成果と課題を確認するとともに、次年度以降の方向性について検討・整理を行った。

（1）全国地域づくり人財塾

① 成果の確認

■ 222名の修了生の輩出と地域活動への貢献

- ・ 本年度は、全国市町村国際文化研修所（以下、「JIAM」という）、市町村職員中央研修所（以下、「JAMP」という）、自治大学校（以下、「自治大」という）の3か所で人財塾を実施するとともに、地方開催として、札幌市において開催した。
- ・ 本年度は、4回の人財塾で計222名（延べ2,163名）の修了生を輩出し、地域力創造及び地域づくり活動の活発化に向けた地域づくり人材育成のすそ野の拡大につながった。

■ 北海道での地方開催（in 札幌）

- ・ 人財塾では、身近な場所での開催を目的に「一日人材力活性化研究会」という形式で半日を日程とした簡易なカリキュラムを平成23年度に実施したが、平成24年度以降は、その実施は、休止されている。
- ・ このため、地理的な要因などから、JIAM、JAMP及び自治大での人財塾の受講が困難な地域において、人財塾を開催することにより、各地域での地域づくり活動の活性化に資することを目的に、平成28年度から、地方開催を2日間の日程で行い、宮城県仙台市、福岡県福岡市で開催してきた。
- ・ 今年度も2日間の日程で北海道札幌市で開催した。北海道内の参加者割合が8割を超え、地元開催の吸引力の強さが確認されるとともに、地方での開催の目的が一定程度果たされた。
- ・ なお、今年度の地方開催も人財塾修了後に「課外活動」の時間を設け、フォローアップ研修（自主研修）に関する説明を行ったところ、札幌での修了生によるフォローアップ研修が平成30年12月1日～2日の2日間の日程で開催され、人財塾修了後における説明会開催の意義・効果が確認された。

■ フォローアップ研修会の継続と、新しい取組への後押し

- ・ 人財塾の修了生が自主的に集まり、勉強会等を行う「フォローアップ研修」が、各地で開催されている。

- ・ 関東地方の修了生を主なメンバーとする「東日本支部」では、本年度3回開催され、当支部発足以降実施したフォローアップ研修は、6年間で計23回となっている。「東日本支部」のフォローアップ研修は、修了生からの発表・学習だけではなく、外部講師の招へいや地域の大学とのコラボレーション企画による研修会が実施されるなど、「互学互習」をモットーに、創意工夫がなされた内容となっている。
- ・ 昨年度の福岡での人財塾地方開催を機にスタートした九州ブロックでは、本年度2回のフォローアップセミナーを開催し、フィールドワークとグループワークを組み合わせたカリキュラムで、学習ニーズを十分に反映した研修が実施された。
- ・ また、前述のとおり、札幌での人財塾開催時に「課外活動」としてフォローアップ研修の説明会を行ったところ、修了生を中心としたフォローアップ研修が、岩見沢市で開催されるなど、本年度も新しい取組がスタートした。なお、北海道ブロックのフォローアップ研修は、概ね半年後を目途に第2回が開催される予定となっている。

■ 質の高いカリキュラムの構築

- ・ 本年度も「人材力活性化研究会」の構成員による講義に加え、全国的に注目、あるいは活躍されている学識者や有識者を招いての講義、受講生が抱える課題について講師と議論する「講師との直接対話」、修了者からの活動報告、グループトーク（グループ討議等）を組み合わせて、地域づくり人としての心構えや地域づくり活動に関するノウハウを学ぶ研修を実施してきた。
- ・ また、受講生に近い存在からの発表を通し、自らの具体的目標を描いてもらうとともに、修了生の地域活動継続の意欲醸成と、活躍の場の提供を目的に行っている「修了生からの活動報告」の时限は、自らここでの発表を希望する修了生も出現するなど、修了生の1つの目標ともなっている。
- ・ これらの取組の結果、研修終了後の受講者アンケートでは、各講義とも高い満足度が確認されるとともに、前述のように、修了生の自主的な取組が継続している。

■ 自治大編における新たな取組

- ・ 人財塾は、地域づくり人に必要な基礎的なノウハウを学ぶ講座として、講義と「講師との直接対話」といった座学を中心としたインプット型の講義編成としており、JIAM編、JAMP編では2泊3日の日程で、基礎的なカリキュラムとして実施している。
- ・ 一方、自治大編においては、自治大と共同カリキュラム（政策専門課程）の一部を人財塾として設定し、平成29年度まで、2日間の日程で、講義のみのカリキュラムで実施してきた。
- ・ 今年度は、自治大「地域人財づくりセミナー」の連続講座（4泊5日）の一部として人財塾を実施し、2泊3日の日程で開催した。そして、自治大編では、これまでJIAMやJAMPでの要望が多かったグループワーク（演習）の時間を人財塾のカリキュラム中、5割程度導入した。

② 課題の確認

■ 受講者満足度の向上

- ・ 人財塾では、研究会での議論や、受講者アンケートの結果等を踏まえ、毎年度、カリキュラム編成や、講義内容・方法を見直してきた。

- ・ このため、一般講義、講師との直接対話等においては、アンケート結果では、受講生の理解度・活用度とも高い満足度が得られている。ただし、講師との直接対話においては、一般講義を受けた後に、自らの地域づくり活動や、地域課題と親和性の高い講師を選びたいとの意見もみられた。
- ・ また、研修全体の評価をみると、各回「モチベーションの向上」の満足度が高いことがうかがわれるが、JIAM 編、JAMP 編においては「仲間づくり」や「講師とのつながり」など、ネットワークづくりに対する評価が相対的に低い傾向がみられた。
- ・ 自治大編においては、全体で 4 泊 5 日と自治大での講座としては短期間であったため、全体的な期間の短さ、特に、演習を人財塾カリキュラム全体の過半を用いて実施したものの、時間の短さ等に対する意見が見られた。
- ・ 2 日間開催と、他の人財塾より短い日程である地方開催（札幌）においては、時間や講義ボリュームに対する意見が見られた。

■ 受講生ワークの時間の拡充

- ・ 前述のとおり、JIAM 編、JAMP 編においては、受講生相互の連携、すなわち「仲間づくり」、「ネットワーク構築」に対する評価が、相対的に低い傾向がうかがわれる。
- ・ また、受講者アンケートでは、受講生相互で議論する時間（グループトーク）の時間をもう少し長く設けて欲しいなどの要望がみられた。
- ・ このため、グループトークの時間の充実、課外時間での受講生の自主的な取組などにより、受講生相互のつながりづくりに配慮したカリキュラム構成を図る必要がある。

■ 参加が少ない市町村等への訴求

- ・ 平成 23 年度からスタートした人財塾（当初は「地域づくり人養成講座」）であるが、毎回受講生を送り出す市町村がある一方、人財塾開始以来、修了生が全くいない市町村があることが、確認されている。
- ・ 本年度の研究会でも、これまで修了生が全くいない（あるいは少ない）市町村に対する訴求について議論され、この一つの対策として、市町村に対する PR や、ニーズのくみ取りの必要性が指摘された。
- ・ 一方で、JIAM 編、JAMP 編、自治大編を受講しにくい地域における地方開催の有効性についても確認がされたため、地方開催を定例化し、どの地域においても受講しやすい環境づくりを行う必要がある。

■ 修了生ネットワークの組成

- ・ 平成 27 年度には、フォローアップアンケートを実施し、修了生の取組を把握し、その代表的な取組を実施している修了生が人財塾において活動報告をすることを通じて、講義の充実化と修了生の取組継続の意欲高揚などに努めてきた。
- ・ 一方で、人財塾の受講生が、延べ 2,163 名となる中、修了生間のネットワークを組成し、フォローアップ研修との連動を図ることも必要と考えられる。
- ・ 以前の調査から一定の間が空き、その後、相当数の修了生を輩出したことから、修了生ネットワークを活用する上でも追跡調査を行うとともに、その取組を他の修了生は元より、各市町村に

広く周知するなどのフォローアップが必要と考えられる。

■ 「中級編」実施の検討（自治大編の位置づけの検討）

- ・ 今年度から、自治大での人財塾は、「地域人財づくりセミナー」の連続講座の一部となったことから、初めて演習の時間を取り入れるなど、そのカリキュラムを従来から大きく変更した自治大編については、JIAM 編、JAMP 編、地方開催編を講義中心の「初級編」に位置づけた上で、「中級編（ステップアップ編）」に位置づけ、その内容をさらに充実させることが考えられる。
- ・ 特に、グループワーク型研修（演習）のニーズが高いことから、これを自治大編で実施し、中級編（ステップアップ編）として、位置付けることを検討する。

(2) 全国地域づくり人財塾 課題解決編

① 成果の確認

■ 受講生の要望に即した実践性の高いカリキュラムの構築

- ・ 人財塾での受講生アンケートや、平成 27 年度実施の『「全国地域づくり人財塾」修了生の地域づくり活動調査』でも要望が高かった、「全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型）」をステップアップ研修（中級編）として、本年度も実施した。
- ・ 「フィールドワーク型」では、プランニング力の養成を目的に、グループワークや講師とのディスカッションに重点を置いたカリキュラムになっている中、本年度は、個人ワークによる事業化やプロジェクト組成等のスキル養成に重点を置いたカリキュラムとした。
- ・ この結果、受講生からの評価は極めて高いものとなっている。

② 課題の確認

■ 受講者数の低迷

- ・ 本年度の「フィールドワーク型」は、開催直前に発生した自然災害の影響で、キャンセルが生じ、結果的には定員 15 名に対して、参加者は 3 名となった。
- ・ 当研修の周知には、一定程度の期間を確保し、開催期間も 9 月としたが、申込者は 7 名となっており、以前から受講生の低迷が課題となっている。

■ 開催方法の検討

- ・ JIAM 編、JAMP 編などの修了生からは、ステップアップ研修としての要望が高い「フィールドワーク型」ではあるが、結果的には受講生の低迷が続いていることから、「フィールドワーク型」単独での開催の可否や、開催地、開催方法を検討する必要がある。
- ・ たとえば、開催地、開催時期やカリキュラムの検討と合わせて、他の人財塾のと合わせた開催とすることも想定できる。

(3) 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修

① 成果の確認

■ フォローアップ研修の開催と定型化

- ・ 「人財塾フォローアップ研修・東日本支部」は、本年度3回開催され、発足以後6年にわたる継続した開催が、定例化している。
- ・ 九州ブロックは、本年度2回開催され、計3回の開催となり、次回開催も検討されるなど、継続した開催がなされている。
- ・ また、本年度は、「人財塾 in 札幌」を契機に、北海道ブロックでフォローアップ研修 in 岩見沢が開催され、次回の開催も具体的に検討されるなど、今後の継続した開催が期待される。

② 課題の確認

■ 身近な場所でのフォローアップ機会づくり

- ・ 受講者アンケートでは、修了生の活動報告会など、取組についての発表、また、それを検討・評価してもらえらる場の設定に対する要望がみられた。
- ・ また、フォローアップ研修開催にあたり、過去の修了生名簿の共有化を求める意見があることから、修了生ネットワークを各ブロックで形成（ブロック別支部）し、それぞれのブロック支部で、フォローアップ研修を立ち上げることも想定できる。

■ 開催にあたっての事務局サポート

- ・ 人財塾 in 札幌を契機とした北海道フォローアップ研修では、開催までのステップやカリキュラム等の設定について、幹事役となった修了生が不慣れなことから、これらの相談を事務局が行った。
- ・ 同様のケースが今後も想定できることから、修了生への支援については、講師派遣の費用負担だけでなく、支部でのフォローアップ研修が、軌道に乗るまでのフォローを事務局が行う必要があると考えられる。しかしながら、フォローアップ研修については、修了生を中心とした自主的な取組であることから、先進地である「東日本支部」や「九州支部」からの助言を得られるような態勢づくりや、姿勢が望まれる。
- ・ また、修了生への支援策としての総務省からの講師派遣（旅費、謝金）について、今年度、各ブロックから計3回の派遣申請があったことに鑑み、また、今後の増加を想定し、一定程度の拡充の必要がある。

2. 次年度の展開と今後の方向性

「1. 本年度の調査研究事業の成果と課題の確認」を踏まえ、次年度の展開と今後の方向性は、次のように整理する。

(1) 次年度の全国地域づくり人財塾の展開と今後の方向性

① 初級編としてJIAM編、JAMP編を開催

- ・ JIAM編、JAMP編については、講義を中心とした人財塾初級編として位置付け、基本的に、今年度同様の開催を行う。
- ・ ただし、アンケートでも希望の多かった受講生相互のネットワーク・横の連携感を育むため、受講生及び修了生（活動報告発表者）間でのグループトークの時間を増やすとともに、課外時間を活用した自主的な受講生間の交流を促すことにより、受講生相互の関係づくりに配慮する。
- ・ また、フォローアップ研修に関する説明時間を設け、各地での活動の周知を行うとともに、支援策を説明することにより、今後の新たな立ち上げを促進する。この際、受講生の連絡先の共有化を行うため、SNSを活用した受講生間の連携勧奨や、既存の各支部のフォローアップ研修担当者の連絡先を配布し、フォローアップ研修へ参加しやすい状況をつくる。

② 中級編として自治大編（ステップアップ編）を開催

- ・ 自治大編を人財塾の中級編（ステップアップ研修）に位置付け、演習（グループワーク）を中心としたカリキュラム構成とし、より実践的なスキルアップを図る内容とする。これにより、JIAM編、JAMP編、地方開催編の修了生の学び直しや、既に活動を実践している地域づくり人のさらなる研鑽の場としての役割を担うことも狙いとする。
- ・ この際、自治大講義の地域人財づくりセミナーと合わせて全体の期間を延長し、土日を挟む日程とする。
- ・ その上で、希望者が課外の時間に、例えば、近隣の多摩地域の地域づくりの先進事例を学ぶ（フィールドワーク）ことのできる複数のメニューを提示するなど、受講生が自ら学べる能動的な時間を設け、人財塾中級編としてのカリキュラムの充実を行う。

③ 地方開催の実施

- ・ これまでの3回の地方開催の成果を踏まえ、今後も地方開催を実施する。
- ・ JIAM編、JAMP編と同様に、講義を中心とした人財塾初級編と位置づける。
- ・ 修了生相互のネットワーク・横の連携感を育むため、新たにグループトークなどの時間を設け、その日の講義内容について話し合い、相互に確認し合う時間を設定するとともに、受講生相互の関係づくりに配慮する。
- ・ ④に掲げる課題解決編フィールドワーク型の休止に伴い、受講生の開催要望が高いフィールドワークの時間を地方開催のカリキュラムの中に設け、3日目に、希望者が参加できるオプションメニューとして実施する。なお、フィールドワークの開催場所については、講義内容と関連のある場所とし、その効果を高める工夫を行う。
- ・ また、本年度同様、「課外活動」の時間を設け、地方開催実施地域での支部づくりや、フォロー

アップ研修が開催されるよう、内容を工夫する。

- ・ 開催場所については、北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄ブロックのうち、過去の開催地域を除き、支部活動やフォローアップ研修が実施されていない北陸、東海、近畿から、北陸ブロックでの開催とする。

④ 課題解決編フィールドワーク型の休止

- ・ 受講者数の低迷を踏まえ、本課程の単独開催を休止し、再来年度以降の開催方法等について、検討する。

(2) 次年度の人材力活性化研究会における調査研究と今後の方向性

① 修了生ネットワークの組成促進とフォローアップ調査

- ・ 全国地域づくり人財塾の開講から8年が経過し、修了生が延べ2,163名となったことから、修了生の活動について追跡調査を行うとともに、地域づくり活動の代表的な事例について、事例集を作成する。
- ・ また、追跡調査に合わせ、ブロックごとに修了生ネットワークの組成を促し、フォローアップ研修やミニ人財塾の開講など、修了生の自主企画の創出機運を醸成する。

② 「全国地域づくり人財塾」に対するニーズ調査

- ・ 人財塾受講生について、継続して送り出している市町村がある一方、全く修了生のいない市町村もあるなど、受講生の出身市町村の偏りが、以前より、研究会などにおいて、指摘されている。
- ・ 一方で、人財塾に対する認知度や、望まれるカリキュラムなど受講ニーズを詳細に調べたことはない。
- ・ このため、各市町村の人事・企画部門に対してアンケート調査を実施し、人財塾の認知度や、各市町村の人材育成に関する考え方、人財塾へのニーズなどを聞き取り、今後の人財塾運営の基礎資料にする。

③ 「全国地域づくり人財塾」修了生に対する支援策を通じたミニ人財塾の開催支援

- ・ 29年度から実施されている「地方版人財塾・フォローアップ研修等を開催する際の支援」の実績は、修了生が主な参加者であるフォローアップ研修のみとなっている。
- ・ 地域づくり活動を実践している修了生や研究会構成員からの講義や、グループワークなどを内容とした地方版人財塾（ミニ人財塾）を、修了生の自主的な取組として各地域（各支部）において開催できるよう、積極的に支援する。これにより、修了生の活動発表の場を設けるとともに、各市町村に対する人財塾のプレゼンスの向上を図る。

④ 地域づくりに関わる人材育成のあり方にかかる調査研究

- ・ 人材力活性化研究会発足10年目、また、全国地域づくり人財塾開講から9年目となることから、今後のな地域づくりに関わる人材育成のあり方について、①のフォローアップ調査や、②のニーズ調査の結果を踏まえ、民間の「中間支援組織」などについて、調査研究する。

参 考 資 料

■参考資料 1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等

1. 全国市町村国際文化研修所（JIAM）編 39
2. 地方開催（in 札幌）編..... 69
3. 市町村職員中央研修所（JAMP）編..... 104
4. 自治大学校編..... 166

■参考資料 2. 全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修

1. 九州フォローアップセミナーリーフレット..... 187
2. 北海道フォローアップ研修申込画面..... 191

■参考資料 3. 全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型）

1. 受講者アンケート・リーフレット..... 193

■参考資料 4. 人材力活性化研究会 資料

1. 第 23 回人材力活性化研究会 204

参考資料 1. 全国地域づくり人財塾 初級編 受講者アンケート等

1. 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 編

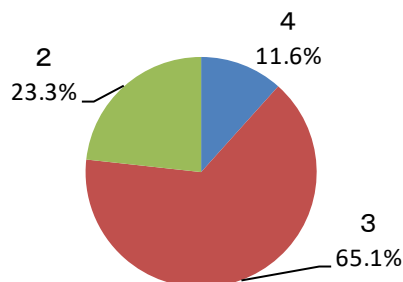
[平成 30 年 5 月 9 日～11 日]

(1) 各プログラムに対する評価

【講義】「人材力の活性化について」 総務省人材力活性化・連携交流室地域支援専門官 三宅 啓之

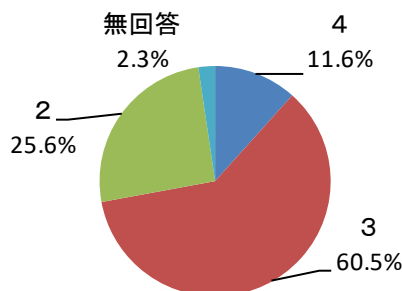
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 5 | 11.6% |
| | 3 | 28 | 65.1% |
| | 2 | 10 | 23.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 5 | 11.6% |
| | 3 | 26 | 60.5% |
| | 2 | 11 | 25.6% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 2.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 関係人口のメニューをもう少し時間をかけて教えてほしい
- ・ 「地域に何も無い」という言葉を発するとその地域にそういう意識が根付くとおっしゃっていたのが、グサッときました。
- ・ 総務省が提示する方針等を知ることができた。

◎活用度 3

- ・ ボリュームのわりに説明時間が短かった
- ・ 現場で勤務する職員こそ、国のメニューを把握しておくべきだと感じた
- ・ 今後に活かしていきたい
- ・ 導入としてなので時間が短かったと思います。資料を読めば分かるのですが、やはり話して頂きたかったです。
- ・ もっと詳しくお聞きしたいと思いました
- ・ 「何も無い」としか言えないようではダメだ！
- ・ 身近すぎて自分たちには当たり前のものでも、大事な資源であること

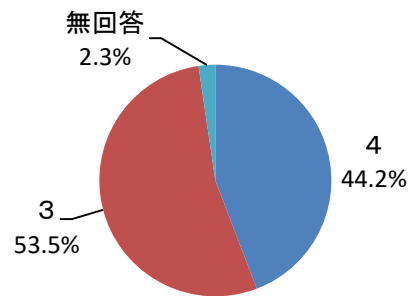
- ・ 何かあるという意識が必要
- ・ 地域にあるもの、誇れるものはなに？わが町にはなににもない…ではなく、それを地域で考える。それが大事だ！

◎活用度 2

- ・ 業務に関連のある国の施策を知れた。
- ・ 国における施策の状況等について理解することができた。
- ・ 少し時間が短すぎたと思う。街のPRは良かった。
- ・ 短い時間で、あまり結論が見出せなかった。
- ・ 様々な仕組みを活用したいと思います。
- ・ 国の施策の全体像が掴めました。

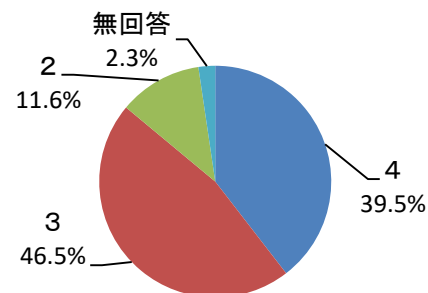
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 19 | 44.2% |
| | 3 | 23 | 53.5% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 2.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 17 | 39.5% |
| | 3 | 20 | 46.5% |
| | 2 | 5 | 11.6% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 2.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ ぜひ大野市へお越し下さい
- ・ 私の担当する地区と状況が近く具体的に参考となる内容だった。
- ・ 若者が継いでくれる事すばらしい。NPO もこれからは稼ぐ力が必要
- ・ 行政が指定管理料などを±0にしるとい構造に自分も疑問を感じている。
- ・ 20年以上の経験から得られた考え方、手法は難しかったが、分かりやすく説明いただき理解できた。実戦に生かすことが重要
- ・ 地域には何もないと言いがちだが、あるものを活用するという考え方が参考になりました。
- ・ 自分のできないことは、できる人を探して頼むことが大事
- ・ 何も無い所からの発展を聞くことができ学ぶことが多かった。収入源等詳しい内容で良かった。
- ・ ご自身の経験が豊かで説得力もある。
- ・ 時代の変わり目に生きている実感を持ちました。
- ・ 何度も伺っている話ですが、改めて整理されてインプットされました。

◎活用度 3

- ・ 多様なものの融合は必要でありその集った人々へのメリットでのお返しが必要であると思った
- ・ あるもの探いを早速行いたい
- ・ 「経営」の視点の必要性など、参考になることがたくさんありました。
- ・ 指定管理者制度を活用した公園管理だが、その中には、地域の人財育成のノウハウがたくさんあり、行政とのぶつかり合いもありながら、協働の理想型であると感じた。

- ・ 地域を理解した上で、課題にアプローチし、地域住民をまきこんだ公園整備の取組をされており、とても参考になった。
- ・ 市民が主役の指定管理のあり方を学びました。尼崎の森を思いうかべました。
- ・ 「生きがい就労」「世代間伝承」
- ・ NPO 活動について見方や可能性が広がった。
- ・ ふるさとを作る意識 人がいればなんとかなる
- ・ 多くの人々と公園が融合する経源、人の自然が「核」となり、「融和」を大切にしている。すごいパワーを感じた。

◎活用度 2

- ・ とても良いお話でした。「あるものを活かす」「地域での活動を楽しく」本市でも活かしていきたいと感じました。ただ本市には、大規模な都市公園はないんですよね…
- ・ あるものを考える、生かすとおっしゃられていたのが印象に残った。

◎活用度 無回答

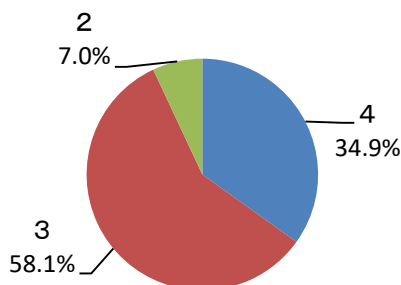
- ・ 興味深い事例であったが、他の地域での応用可能な要素は少ないように思われた。

【講義】「住民の学びと自治が育む地域づくり」

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 企画幹 木下 巨一 講師

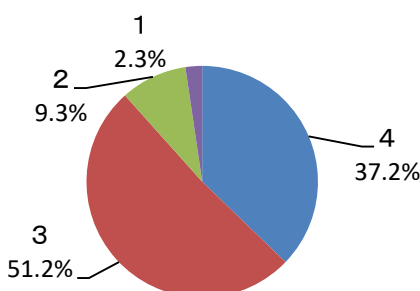
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 15 | 34.9% |
| | 3 | 25 | 58.1% |
| | 2 | 3 | 7.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 16 | 37.2% |
| | 3 | 22 | 51.2% |
| | 2 | 4 | 9.3% |
| | 1 | 1 | 2.3% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 千代地区から多く学びたいと感じました。公民館部署を通して飯田から学びたいと感じた。
- ・ 「公民館」という活動が、地域住民と職員を育てるとともに将来への投資であると感じた。
- ・ 公民館主事の役割について、当町とは異なる仕組みづくりをされていて、人材育成に関しても勉強させていただいた
- ・ 地域を学ぶということが、他の地域を学ぶものさしになるということは大切と感じた。
- ・ 公民館を中心として地域に飛びこんで仕事をするについて、仕組み・考え方などよく理解できた
- ・ 尼崎がモデルとする飯田市の事例を学び、方向性にまちがいはないと思ったが、ギャップも感じました。
- ・ 「若者の周りにお手本となる大人をつくる」
- ・ 地区で法人を設立して、施設を運営していることに、ここまでできるんだと感じた
- ・ しゃべり方がうまく、聞きやすい。
- ・ 公民館活動の多様性を知れました。
- ・ 住民自治の考え方 地域づくりサミット

◎活用度 3

- ・ 昔からのしっかりした組織が活動があるのはうらやましいと思った。それをうまく引き出して

いる実践方法を活かしたい

- ・ 土台作りががんばります
- ・ 公民館活動、見に行きたい
- ・ 地域の住民性を理解されており、公民館を通して住民一人一人の意見を聞くということが参考になった。
- ・ 自分の地域に生かせる事例もあって参考になった。内容がわかりづらい部分もあった。
- ・ 住民自治の土台ができていると感じました。まずは、動いて、土台づくりから取組みたいです。
- ・ 公民館のあり方、住民自治のあり方について、大変興味深かった。
- ・ 公民館の重要性について、改めて認識させていただきました。
- ・ 自治が根づく地域性等、歴史や背景条件によるところなどが新たな視点となった。
- ・ 公民館の重要性 自治を先に考えることが大事
- ・ 当市では公民館活動を通じた自治の担い手育成ではないので参考になります。
- ・ 地域課題を自分達で解決するための土台づくりが必要と感じた。
- ・ 公民館の位置付けが地域によって大変異なることを学びました。

◎活用度 2

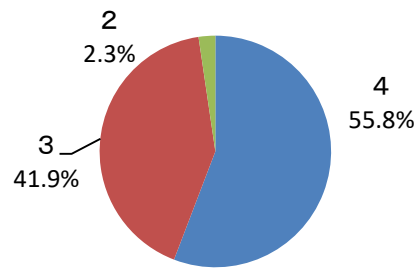
- ・ 飯田市の土壌、民度の高さに驚きました。高校生をターゲットにする、またそのための 4 つのポイント、肝に銘じます。
- ・ 公民館主事という役割の中で地域の人々と携われる場があるのは良いと思ったが、なかなか高松市の行政では難しいと思った。

◎活用度 1

- ・ 地域課題を自らで解決していく風土がある区域は「強い」と思いました。

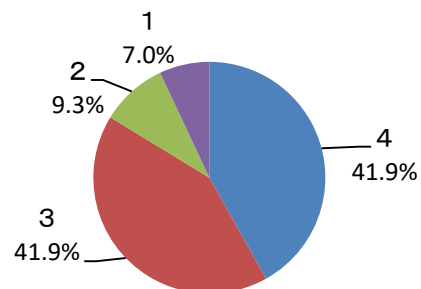
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 24 | 55.8% |
| | 3 | 18 | 41.9% |
| | 2 | 1 | 2.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 18 | 41.9% |
| | 3 | 18 | 41.9% |
| | 2 | 4 | 9.3% |
| | 1 | 3 | 7.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ まずは半径 100 メートルの情報分析から始めていきます
- ・ 反目者への対応、感動しました。子や孫は強い！
- ・ 地域づくりに補欠はいない。目配り、気配り、心配りを心がけたいと思いました。
- ・ 職員として地域に入る、関わる姿勢を見直す機会となった。
- ・ 「やねだん」行ってみたいです。
- ・ 当地区と似た事例で大変共感できた
- ・ 自主財源の持つ意味をよく理解できた。熱意の中にも工夫・目くばり・気くばりが不可欠。
- ・ やねだんにおける取組みについて、たくさんの事例を紹介いただきわかりやすかった
- ・ 企画・演出・財源
- ・ 思うビジョンを明確にして、自分の言葉で語る（熱く）ことが大事
- ・ 地域活動に幼児や小学生に目を向けがちだが、中・高生に向けていくと若者の持続につながると気付けた。
- ・ ひきこまれる聴講となった。
- ・ 地域再生とは企画・演出・財源であり行政はこれらのパイプ役であることに共感しました。
- ・ 感動をどれだけ生み出せるか、頑張ります。
- ・ 名前を呼ぶ 人間力 なぜ人が動き出すのか 現場主義

◎活用度 3

- ・ あわてず、子どもをからめて土台作りします

- ・ 本市過疎地域が学ぶべきエッセンスが多く含まれていた。地区住民と情報共有します。
- ・ 地域づくりにおいて「educer」人と人との関わり方という所でとても印象に残る講義だった
- ・ 現場主義の大切さを改めて感じました。地域の人と顔を合わせて、関係づくりから取り組みます。
- ・ 圧倒的なパワーと経験に裏打ちされた自信を感じました。ブレない信念と経営者感覚を見習いたいと思いました。
- ・ 地域に対するアプローチの仕方等について、大変参考となった。
- ・ コーディネータの役割とは何かについて、非常に勉強になりました。
- ・ 豊重先生の熱意や温かいリーダーシップに感銘を受けた。
- ・ 数字で示して、説明する あわてるな急ぐな近道するな
- ・ 先生の講座は3回目ですが、いつもパワーをもらいます。

◎活用度 2

- ・ 住民に対して真摯に向き合う姿ややねだんの行動力には感銘を受けたが、地域再生の中で失敗したことや苦勞したことをもう少し聞けるとよかった。
- ・ 豊重さんのようなリーダー的な存在を地域で見つけたり、育成が必要と感じた。
- ・ 「全員フルネームで覚える」、難しいですがやってみたいと思います。

◎活用度 1

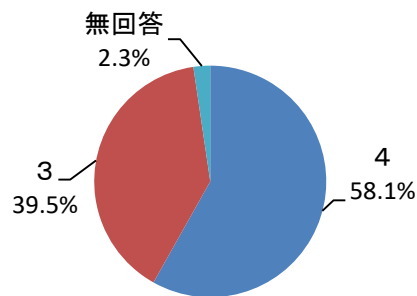
- ・ 地域感が違いすぎて実感には結びつかない内容が多かった。熱意や大切なことは伝わった。
- ・ 行政に頼らない感動の地域づくり。豊重先生の熱い思いに感激しました。本市にも豊重先生みたいな人がいてくれればなあと思いました。

【実践事例】「地域づくりのマネジメントーつながりをつくり創発を生む仕組みづくりー」

慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐） 飯盛 義徳 講師

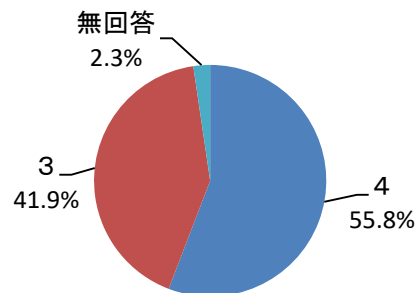
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 25 | 58.1% |
| | 3 | 17 | 39.5% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 2.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 24 | 55.8% |
| | 3 | 18 | 41.9% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 2.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 多様な人々が集まれる空間づくり、やれることから始めようと思います。
- ・ 域学連携をやってみたい。大学生=遊ぶというイメージはくずれた
- ・ プラットフォーム形成の話の中でポイントとしてよかったことを本市の地域活動の中に広めていきたい。
- ・ 地域づくりのプラットフォーム設計について、示唆に富む内容でした。
- ・ 学域連携の実践例を多く示しながら講義いただき、活用できる策を見つけることができた。またそのためにはプラットフォームが重要であることも分かった。
- ・ キャリア教育にMax 共感!!
- ・ 空間のマネジメントという視点を学ぶことができた。機会やイベントだけでなく、場所づくりも必要と感じた。
- ・ 地域づくり、空間づくりについていかに住民に価値をもたせるかという点でとてもいいアイデアをもらった
- ・ 人口は減少しても、地域に関わりを持つ人が増やせるならと思った。
- ・ 事例に基づいた理論の紹介は分かりやすく、強く共感できた。
- ・ 他市事例等たくさん紹介していただきありがとうございました。本市でも活用できそうなこともあり、とても参考になりました。
- ・ 強いつながりだけでなく、弱いつながりも意識して、まずは関心をもってもらえる人を増やしていきたいです。

- ・ 新しい自発的な活動を生むようなきっかけづくりをしたい
- ・ 悩みが晴れ迷い始めることができました。ありがとうございます。
- ・ 複数の事案を紹介され、色々な視点から内容が学習できた。
- ・ 多様で柔軟なつながりを今後も意識していきます。
- ・ 少子化は楽観的に考えている。マイナス言葉厳禁（だめだ できな、むり、どうせ）。どうすればできるか、ゴールの明るい未来

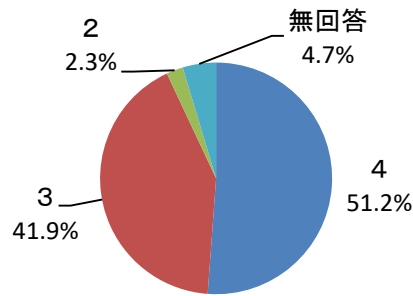
◎活用度 3

- ・ 小さめのプラットフォームから作ります
- ・ 地域づくりの活動で目指すこと、次々と新しい自発的な活動が生まれること。意識していきます。
- ・ ゆるやかな空間（プラットフォーム）縁側のような空間が大切と思いました。
- ・ 大学生との協働等について、非常に勉強になりました。
- ・ 資源持ち寄り
- ・ 資源化のプロセス等、感じたりしていても言語化できなかったこと等、説明や実践を以って理解できた。
- ・ 小学生に考えさせて実行させる活動が参考になった。
- ・ 母数を増やす 強い関係性と弱い関係性
- ・ 子供向けのプロセス 鳳雛塾の取り組みについて食と自然環境
- ・ 小さい頃から高校生までに地元のことを学ぶ機会が必要。地元のことを知らないとなかなか戻ってこないと改めて感じた。
- ・ 体系的な理解ができました。
- ・ 元気プロジェクト 社会的創発イノベーションを高めてがんばります。

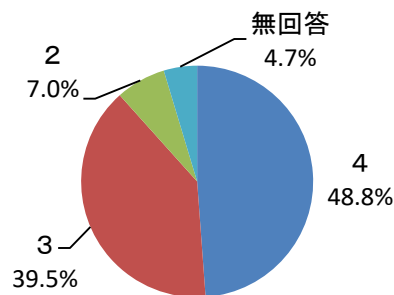
◎活用度 無回答

- ・ プラットホーム考え方等、応用できるように整理していきたい。

| <理解度> | | N=43 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 22 | 51.2% |
| | 3 | 18 | 41.9% |
| | 2 | 1 | 2.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 2 | 4.7% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



| <活用度> | | N=43 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 21 | 48.8% |
| | 3 | 17 | 39.5% |
| | 2 | 3 | 7.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 2 | 4.7% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 様々なコーチング技法は使っていこうと思いますし、人材育成の目標管理は、市（職場）でも提言していきたい
- ・ ゴールの明確は深掘りが足りなかったことに気づいた。ほめるの大事。ききやすかった。視点をかえて考えたい。
- ・ 住民とどのように関わるのか、どのような立ち位置で接するのか具体的な手法とともに考える機会となった。
- ・ コーチング手法活用します
- ・ 目標設定や人との接し方など、実践で使える細かい内容を聞いてよかった。
- ・ プログラムの中で一番興味があったので直接対話でお話できたことがうれしかったです。
- ・ 目標に向かうプロセスを理論的に学べてよかった。また、自分が思うこと以外にも考え方は多様であることに改めて気づいた
- ・ 困っている根源の人間関係と事実の整理は大切。
- ・ 人材育成の手法として、大いに活用できる。活用したい。
- ・ ゴールは、ワクワクするような設定でわかりやすくすることが大事
- ・ 人とコミュニケーションを取る時のヒントになった。カウンセリング技法が分かりやすくて良かった。
- ・ 声が聞き取りやすい講話であった。
- ・ 地域づくりには関係者一同の共有同意が必要であり、人材育成のポイントとしてどんな人にもどんな力をつけて欲しいか、スタートとゴールに共感した。

- ・ プロセスを大事にして取り組む

◎活用度 3

- ・ ゴールを決めて過程を決める。普段から考えていることを一致していたので自信になった
- ・ 自分が大切と感じていることと似たお話があり、改めてしっかり行っていこうと感じた。
- ・ 目標（ゴール）を設定する大切さを学びました。
- ・ ほめる力をつけていきたい
- ・ 人理学的な部分も多く、参考になる部分が多かった。プラスのたてかたにも役立った。
- ・ 地域ニーズの掘り起こしだけではなく職場内での人材育成においても、非常に有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・ まちづくりにカウンセリング技法・コーチング技法を取り入れる。対話することでまちづくりの芽を発見し、育てる視点を活かします。
- ・ どんな人にどんな力をつけて欲しいか
- ・ 地域活動に携わるうえでのコミュニケーション技法等、為になった。
- ・ ゴールを詰める 低い階段を一段ずつ
- ・ 目標に対してのゴールを明確にする。その上で過程を詰めていくことを実践していきたい。
- ・ プレゼンテーションの笑顔を盗みたいと思いました。

◎活用度 2

- ・ ほめることの重要性を改めて認識させていただきました。
- ・ カウンセリングの視点 大切な一つの要素に気付きました。

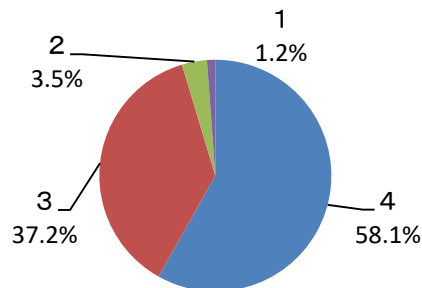
◎活用度 無回答

- ・ ゴールを定めて、逆算して手法を考えるというのが、普段何となくやっていることですが、改めて重要性を感じました。
- ・ コーチングの手法で応用できる部分については、応用していきたいと思った。

【講師との直接対話 I・II】

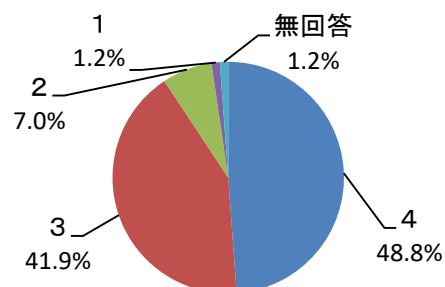
N=86

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 50 | 58.1% |
| | 3 | 32 | 37.2% |
| | 2 | 3 | 3.5% |
| | 1 | 1 | 1.2% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 86 | 100.0% |



N=86

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 42 | 48.8% |
| | 3 | 36 | 41.9% |
| | 2 | 6 | 7.0% |
| | 1 | 1 | 1.2% |
| | 無回答 | 1 | 1.2% |
| 合計 | | 86 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 見方を変える、目標がブレなければ良いと思った。
- ・ 受講者個人の直面している悩みを対話を通して課題として整理し、解決策を導くというプロセスを体験できた。
- ・ 単にイベントを企画して終わりではなく、若い世代が活躍できるようにバトンを渡していくことの大切さが分かりました。
- ・ 少人数で引きこまれた。
- ・ 20年以上の経験から得られた考え方、手法は難しかったが、分かりやすく説明いただき理解できた。実戦に生かすことが重要
- ・ 他の参加者には申し訳ないのですがたくさん質問させて頂きました。的確なご解答、ありがとうございました。
- ・ 地域のことを考えるプラットフォームをつくっていきたいです。資源もちよりを念頭に置き、楽しい場をつくれたらと思います。
- ・ 誰も捨てない
- ・ 熱い火種を持った人は必ずいる
- ・ スポーツを例に話してくれたことが個人的には身近で実践的だった。
- ・ 講師や受講生の距離が近い講義となった。内容は濃いものとなった。
- ・ 富永さんと他のメンバーのキャッチボールをもっと聴きたいと思いました。
- ・ プレゼンの技法、昨日、今日、明日 コーディネーターの仕事はムードづくり 真心と情熱 汗で語る アイコンタクトと笑顔とフルネーム

- ・ 相手の立場を常に頭に入れコーディネート
- ・ 多様な方が入ってこれる様な空間をつくるコーディネートをしていきたい。
- ・ 「やねだん」 やっぱり行こうと思う
- ・ 自分の事例についても相談ができ良かった。
- ・ やねだんにおける取組みについて、たくさんの事例を紹介いただきわかりやすかった
- ・ 本市での課題について、先生だけでなくメンバーにもアドバイスを頂き非常に有意義でした。
- ・ 外部との連携も必要
- ・ 個々人が抱えている諸問題を講師が直接アドバイスをする距離感が近い講義であった。
- ・ 子供の頃からの地域づくり、実践してまいります。

◎活用度 3

- ・ ほめるのが大事。
- ・ 「モヤモヤ」 やや解消しました
- ・ きびしさの奥に人に対するやさしさを感じました。これが巻き込む力を生むのかと実感。
- ・ 少グループでいろいろと話ができて勉強になりました。
- ・ 講義以上に、豊重先生の言わんとすることをセッションを通して体験できた。
- ・ 大学生と連携できる土壌作りが大切
- ・ 色々な方の経験談をたくさん聞くことができ、有意義な時間となった。
- ・ 熱をもらいました。深い思考も学びました。
- ・ プラットフォームの設計がいかに重要であるかが分かったが、同時にそのためには対話とリサーチが必要であることも分かった。
- ・ 大学・高校との連携した取り組みをすることで、若者の地域への関心を深めることを学びました。
- ・ 地域の 1 人 1 人を大切に、地域で良いムードをつくっていきたいです。豊重先生の熱い思いに感動しました。
- ・ 生々しい事例から、どこでも悩みは同じなんだな。うちもがんばろうと思いました。
- ・ 地域とどのように関わっていくかという点について、大変参考になった。
- ・ 男性人材育成
- ・ より具体的なお話を伺ったり、各自の地域の状況と合わせて説明があり大変興味深かった。
- ・ 個別の案件に細かく考えて今後の戦略を考えることができ良かった。
- ・ 情熱と感動と感謝
- ・ 同上（色々な方の経験談をたくさん聞くことができ、有意義な時間となった）。
- ・ 「地域をカウンセリングする」、やってみたいと思います。
- ・ 域学連携、ハセコミュ FM スローシティ、スローフード、グリーンツーリズム
- ・ 町域に高校、大学がない、市内の大学とは 現在特産品開発は行っている（2 大学 3 事業）。

◎活用度 2

- ・ 対話があまりできない部分があり若干のモヤモヤ感がのこった。

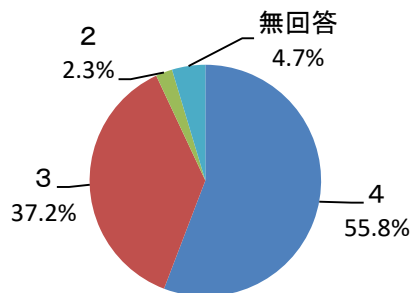
- ・ 大学と地域の連携についての話が興味深かった。
- ・ 具体的な悩みに答えていただきうれしかった。
- ・ 問題の根本は人間関係 非常に勉強になりました。

◎活用度 1

- ・ 対話ではなく、講師の一方的な語りで、洗脳のような気分になった。

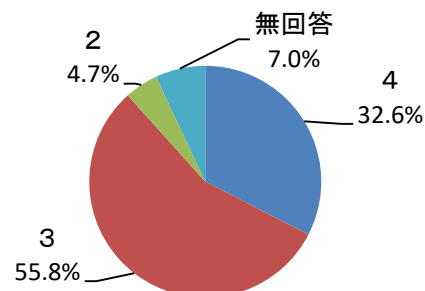
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 24 | 55.8% |
| | 3 | 16 | 37.2% |
| | 2 | 1 | 2.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 2 | 4.7% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 14 | 32.6% |
| | 3 | 24 | 55.8% |
| | 2 | 2 | 4.7% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 3 | 7.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 地域に出て、ネットワークづくりをしていく決意に至りました。PTA や青壮年会いろいろあるので…
- ・ 熱意をもって進めていることが伝わり、逆に熱意なく公務員はできないはずだという言葉が残った。
- ・ 市外にいながらも、どのように地域と伴走していくか考えていきたいです。
- ・ 情熱ホルモン、とんちゃん
- ・ 情報公開の大切さ
- ・ 強い熱意を感じられる講師からの講義で、パワーを与えられた気がする。
- ・ 住民の「誇り」と「熱意」に共鳴する仲間を見つけることが第一歩である。
- ・ 思いの強さを行動に移していきます。

◎活用度 3

- ・ お二人の熱意に感動しました。大いに刺激を受けました
- ・ 研修に出て、外とつながる、外から自分の仕事を客観視することの大切さを改めて感じた。
- ・ 互いの中に入っていきことで広がりが見えてくることを感じさせられた。
- ・ 元気な職員さん、来年は「統一選」？
- ・ 様々な活動の輪により、自分を売り出したうえで企画が成り立っていると思いました。熱い気持ち良かったです。
- ・ 講師の方を上回る内容とプレゼン能力であったと思います

- ・ まぶしいくらいだった。
- ・ 林先生の福井県愛、大野市愛をひしひしと感じました。私も取り組めるところから取り組もうと思います。
- ・ 住民の「誇り」と「熱意」に共鳴する。積極的に飛び込む必要を感じました。
- ・ 行政のあり方について、参考となる部分が多かった。
- ・ 研修が大きなきっかけとなりうること、実行力など熱心に動かれていることがよくわかった。
- ・ 地域のことを念頭に物事を捉えることが大事
- ・ 外とのつながりをしっかり作られていて活用されている。まねしていきたいと思った。
- ・ 折れない心を学びたい！
- ・ マグマる。中心市街地の活性化

◎活用度 2

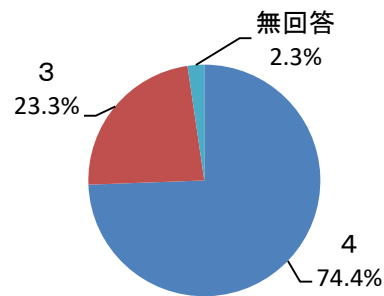
- ・ もう一歩前へという熱い思いで刺激を受けた。

◎活用度無回答

- ・ 出身地の事例報告ですので理解度・活用度は割愛させていただきます
- ・ よく知ってますので…
- ・ 熱い思いが伝わりました

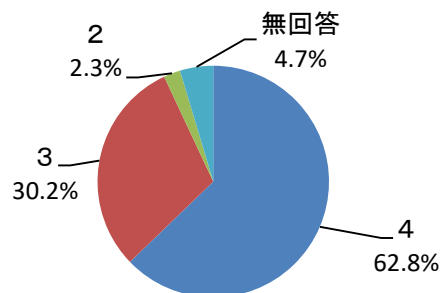
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 32 | 74.4% |
| | 3 | 10 | 23.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 2.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 27 | 62.8% |
| | 3 | 13 | 30.2% |
| | 2 | 1 | 2.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 2 | 4.7% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ まずは行動という事で、一步ずつできる事から
- ・ 楽しみながらなんとなくで。プレゼンわかりやすかったです。
- ・ 職員として、市民として、平林個人として様々な肩書きで自分も動いているが、大先輩のお話しに勇気づけられた。ストーリーが大切だと感じた。
- ・ 出きることから始める中で次への展開が進んでいくその力、そして人力のつながりのありがたさを知った。
- ・ ゆるい感じが素敵です。メリ・ハリが付いていて良かった
- ・ 難しい事を考えずにまずはやってみるという行動の大切さを学びました。
- ・ できることからやることを学んだ。何かしてみたいと思った。
- ・ さりげないふんいきの中にも戦略を感じた。
- ・ 肩肘をはずらず、できることからユルく始めるという手法、考え方が共感できたとともに、活動を始めるとの思いが強くなった。背中を押してもらった
- ・ 何事も共感する仲間が必要だと再確認しました。私も志を同じくする仲間づくりから始めたいと思います。
- ・ まずは、1つずつできることから取組をはじめたいです。
- ・ 理屈<行動。とにかくやってみる、できることから。そこから始まる何かがあると実感。
- ・ 行政以外だからできること、行政だからできることを理解し、地域と上手く関わられるようにしていきたい。
- ・ 自分でもできる、非常にわかりやすい講義でとても勉強になりました。

- ・ スーパー公務員プレゼンター
- ・ 自分が楽しめているかが大事
- ・ 非常になめらかなしゃべり口調で大変聞きやすかった。力の入らない方策も大変参考となった。
- ・ 理屈<行動。いいね、面白いー承認 やろう、いつやるー決断
- ・ 今後も色々教えて下さい。
- ・ ゆるく始めてこつこつ続けるところが素晴らしいと思いました。
- ・ 自分が楽しいと思うことをする

◎活用度3

- ・ お二人の熱意に感動しました。大いに刺激を受けました
- ・ 講師の方を上回る内容とプレゼン能力であったと思います
- ・ わかりやすい熱意をもった講師が多いなか、ほどよい感じのできそうな活動紹介でよかった。
- ・ 地域活動としてだからできることといった視点で考えることや、ゆるやかなつながりの好例として聴かせて頂いた。
- ・ 小さいことから一歩ずつやってみようとハードルを下げることに気付けた。
- ・ 理屈より行動を心がけたい
- ・ とりあえずやってみよう。まずはその1歩を踏み出していきたいと感じた。

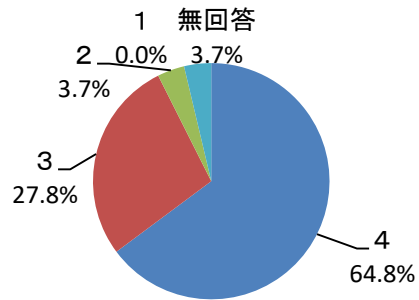
◎活用度無回答

- ・ ここまでできるのかと自分もとりあえずはじめてそこから行動しようと思いました

【成果発表と振り返り】

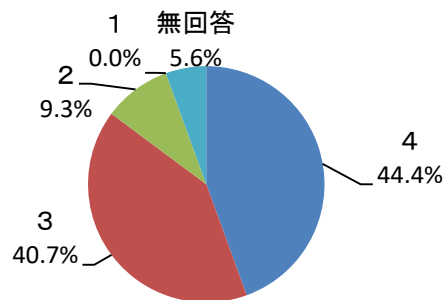
N=54

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 35 | 64.8% |
| | 3 | 15 | 27.8% |
| | 2 | 2 | 3.7% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 2 | 3.7% |
| 合計 | | 54 | 100.0% |



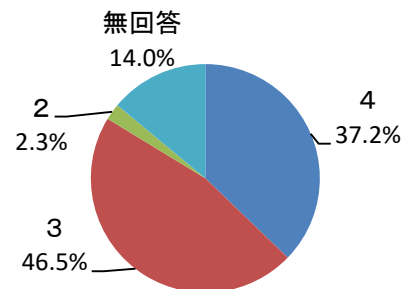
N=54

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 24 | 44.4% |
| | 3 | 22 | 40.7% |
| | 2 | 5 | 9.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 3 | 5.6% |
| 合計 | | 54 | 100.0% |



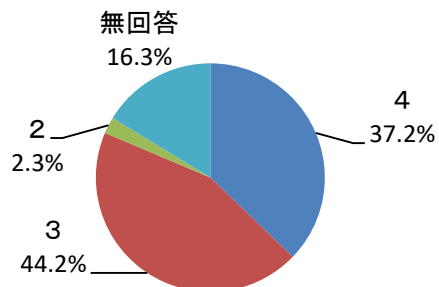
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 16 | 37.2% |
| | 3 | 20 | 46.5% |
| | 2 | 1 | 2.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 6 | 14.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 16 | 37.2% |
| | 3 | 19 | 44.2% |
| | 2 | 1 | 2.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 7 | 16.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ どの発表者も具体的にプランニングされていた。私はプランではないが、哲学・姿勢を見出せた。
- ・ 他の受講生の方の想いなどを聴くことができて良かった。
- ・ 5人の成果発表は全員・自ら挙手されていたのは、たいしたものと思う。3人の先生方の講義も良かった。

- ・ 目標に向かって自分のできることを少しずつでもやっていきたい。

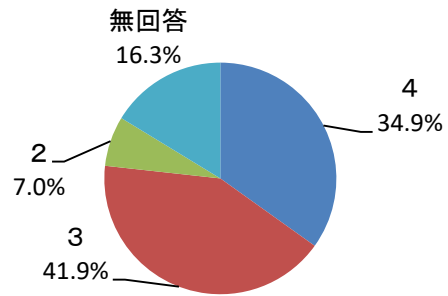
◎活用度 3

- ・ 知行合一今日からやります
- ・ 前向きな気持ちになりました。
- ・ 他の人の学びを共有することで、自分とは違う視点から、研修をとらえられました。
- ・ これから実践できることをやっていきたい。
- ・ 自分の行動を見つめ直す機会があって良かった。
- ・ 「知行合一」心に刻みます。

【グループトーク】

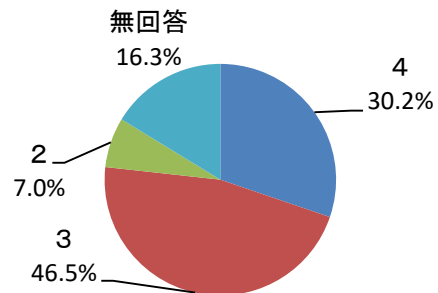
N=43

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 15 | 34.9% |
| | 3 | 18 | 41.9% |
| | 2 | 3 | 7.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 7 | 16.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 13 | 30.2% |
| | 3 | 20 | 46.5% |
| | 2 | 3 | 7.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 7 | 16.3% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 毎朝夕のフォローアップの時間が内面化に非常に重要であった。
- ・ いろんな意見が聞けてよかったが時間が少し短かった
- ・ 2日目のグループトークが全て終わってから実施の方が良かった
- ・ 経験のたくさんある方々との交流ができたのでとても良かった。

◎活用度 3

- ・ グループトークの時間はもう少し長くても良いと思います。また、2日目からは、すべてのラウンドが終わってからにすべきと思います。
- ・ わかったこと、わからないことを共有できて、学びが深まりました。
- ・ グループメンバーにもより、内容が異なるので、メンバーの中身により、成果が異なる。
- ・ 3日間とも班がまたがる列で、少し話しにくかった。

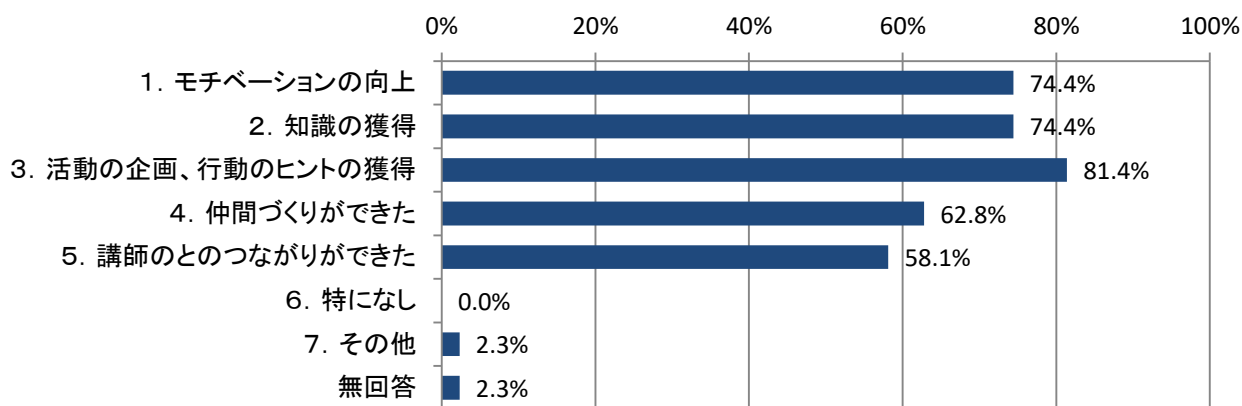
◎活用度 2

- ・ 様々な方の意見を聴いたり、交流ができて良かった。

(2) 研修全体について

①人財塾の良かった点についてお伺いします。下記の選択肢から該当するもの全てに○をつけてください。

| | 回答数 | % |
|--------------------|-----|-------|
| 1. モチベーションの向上 | 32 | 74.4% |
| 2. 知識の獲得 | 32 | 74.4% |
| 3. 活動の企画、行動のヒントの獲得 | 35 | 81.4% |
| 4. 仲間づくりができた | 27 | 62.8% |
| 5. 講師のとのつながりができた | 25 | 58.1% |
| 6. 特になし | 0 | 0.0% |
| 7. その他 | 1 | 2.3% |
| 無回答 | 1 | 2.3% |



<自由回答欄>

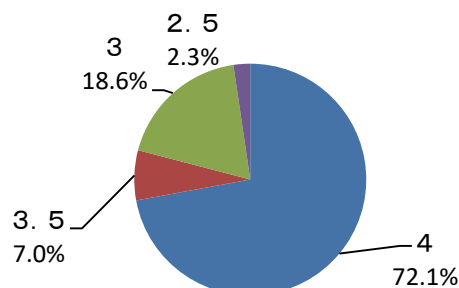
- ・ 地域づくりの推進大会を開催するにあたり、ヒントを得ようと参加していました。それが出来て良かったです。
- ・ モチベーションは低くはないと思っていたが、様々な方と出会いお話しするなかで、刺激を受け、一層上がったように思う。今自分が直面している悩みや何となく地域住民が思っている理想の解決や実現の具体的な方策を見出せた。
- ・ とても色々なアイデアをいただけて有意義な研修になった
- ・ 講師の熱いエネルギーをもらえた。しかし、同時に自分がこの方向性に対してより他に目指すものが有り、そちらの活動に力を入れていくべきでは、と自分の目指すものを見直している。
- ・ 地域づくりのためのやり方を、たくさん学べた。同じように取組んでいる仲間がいるということがとても強く感じました。
- ・ 地域づくり、街づくりには絶対的な方法はなく、ただ共通しているのは熱意と継続。それには、楽しさと感動が必要と感じました。
- ・ 地域との関わり方について学ぶことができてよかった。
- ・ 何事も自分ごととしてとらえ、自分の言葉で熱く語る事が大切と感じました

- ・ 講師から素晴らしい講義を聞くことができるのは大変素晴らしいものであるが、全国の自治体職員との交流、ネットワークを構築できるのが、大変素晴らしい研修となった。
- ・ まずは、やってみて考える。
- ・ 今回2度目の参加でしたが、様々な気付き、また、前回とは違った視点での受講ができました。新しい気付きをありがとうございました。

②人財塾を受講したことにより、今後、業務又は業務外で地域づくりに関する活動を新たに又は、継続して行っていききたいと思うようになりましたか？

N=43

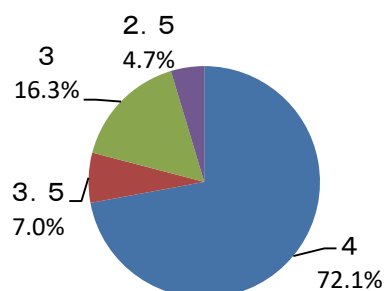
| <活用度> | | 回答数 | % |
|-----------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 思った 思わない ↓ | 4 | 31 | 72.1% |
| | 3.5 | 3 | 7.0% |
| | 3 | 8 | 18.6% |
| | 2.5 | 1 | 2.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1.5 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



③研修全体の進め方・運営についてどのように感じられましたか？

N=43

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 良かった 良くなかった ↓ | 4 | 31 | 72.1% |
| | 3.5 | 3 | 7.0% |
| | 3 | 7 | 16.3% |
| | 2.5 | 2 | 4.7% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1.5 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 43 | 100.0% |



④その他研修に関して改善点・お気づきの点をお聞かせください。

[プログラム、講義形式]

- ・ 事例紹介、講義を詰め込み過ぎでは？
- ・ 講義では分からなかった点を対談という形で詳しい部分まで話が聞けて良かった。講師の方々の実践を踏まえたうえでの大切なポイントや失敗談を直接聞くことができ、個人的な悩みの解決をすることができた。
- ・ 先生や研修生同士でまちづくりについて語る時間がもっと欲しいと感じました。ラウンジなどで話す時間ももちろんありましたが、講義後のグループワークなど、もっと話してみたかったと思いました。2日目の直接対話に少し間延び感を感じました。70分×4名でそれぞれの先生をまわれば良かったなと思いました。
- ・ 全ての講師が熱く、気づかされる点が多かった。そのため、もっと時間をとってもらえればいいのか。2泊3日→3泊4日～

- ・ 特に、初日と三日目は班メンバーに恵まれなかった。もう少し年代を幅広いものにする等、三日目はほとんど少ないNPO職員が3/5になるなどバランスも大変良くなかったのは残念。(ネットワークを構築したメンバーは他の班の人は別であった)
- ・ 各先生の講座の後に10分程度質問等の時間があつたら。

[講義内容]

- ・ 行政ではない立場での視点による内容が多かったので、もう少し行政目線での内容があつても良かったように思う。
- ・ 既受講者からの報告がとても良かった。
- ・ どの講師も共通していたが、自らの地元を批判から捉えない。地域をほめることが、住民の気持ちを動かす動力になるということがよくわかった。

[その他]

- ・ 貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- ・ 勤務10数年たちますが、立ちどまり、今後を見つめ直す研修となりました。学び、感動、人生いりまじった研修でした。頭をやわらかく、周りにいい場を与える人になっていきます。
- ・ 全体を通してとても勉強になりました。講師の方々それぞれの目線で話されていましたが、最後の過去の受講生の方々の話は、同じ行政の立場として共感できるところも多く、大変参考になりました。講師との対談は、夕食をはさみずにつづけた方が良かったと思います。
- ・ 時間を延長してしまう講義が多かった
- ・ 食堂がもう一つあまり美味しくない
- ・ 参加者同士のメーリングリスト、SNS等を通じてつながれる仕組みがあればいいのではと感じました。
- ・ 2泊3日、地域づくり、人づくりについて考えつづけたことで見えてきたものがあると思います。
- ・ とても実りのある研修になりました。お世話になり、ありがとうございました。今回学んだ事を、是非、地域に戻って実践できればと思います。
- ・ 受講生側の伝えるスキルが少し低い。1分や3分でと与えられたトークタイムをほとんど守れていないのがとても気になった。
- ・ 行政職員のテーマ、悩みがよくわかった。一方で住民の立場や都市近郊から参加していた人は少なかったため、そのような人たちの参加ももっとあればと感じました。
- ・ 学び直しとして、来聴しました。今後を支えるエネルギーをもらいました。

(3) 今回の研修受講生を対象としたステップアップ研修を行う場合、どのような内容を望みますか？

[受講者の個別の課題をテーマとした研修]

- ・ より少人数で、具体的な活動内容に対してのアドバイスなど
- ・ それぞれの取り組みや状況に対するケーススタディのようなもの。 実践等の根拠や背景になる理論等の習得。

[具体的な事例を題材に議論する研修]

- ・ モデルケースをグループワークでつくってみるような研修は面白いものになるのではと思います。
- ・ 実際にあった地域の事例をもとに、グループワークをしながらより活性化をするためのアイデアを考えるようなことしてみたいです。

[その他内容に関する事柄]

- ・ より行政寄りの視点で行政が具体的に何をすることができるのか。
- ・ ロジカルシンキング、スーパープレゼンテクニック
- ・ 豊重先生の「地域づくりはシナリオのないドラマ」、飯盛先生の「モヤモヤ感は大切。正解はない」という言葉に、励まされた。迷って当然、できることからやってみるという思いで、地域づくりに取り組むにあたって、失敗談やもっと成功事例を聞きたい。

[グループワークの形式]

- ・ ファシリテーターを入れたグループワークや、ワールドカフェなど参加者同士の情報交換ができる時間を多く設けてもらいたい。

[フィールドワークの形式]

- ・ やっぱりフィールドワークですかね。座学とはちがい肌で感じるものがまたちがった感覚をもつことができる
- ・ 実践されている現場でのフィールドワーク。自ら実践している内容のブラッシュアップ。
- ・ 地域での実践型教育（フィールドワーク型）

[その他形式に関する事柄]

- ・ 同研修
- ・ もっと少人数での講師との直接対話良かったです。研修を受けた方の事例報告をもっと聞きたかったです。
- ・ 私が望むには、「脳を鍛えるには運動しかない」という本もあるように、朝に時間をとって受講生同士で相互に身体を動かし合い（体操など）、学んだことを身体に落とし込む体感・体験を持って講座に入るというのも良いかと思います。また、毎夜のノミニケーションの設定があれば良いのではないかと思います。自分でもいろんな事を発表しあえるような場もあればいいと思います。

す。

- ・ 行政職員ではなく住民にフォーカスした研修があればと感じました。
- ・ 講義の時間中、触発され考える事ができました。
- ・ 今回の講師をセットにした研修ではなく、選択制にしてより深く学ぶことができるようにするのはどうか。

【研修後の活動内容の共有】

- ・ フォローアップ。振り返り研修など
- ・ 研修を受講して、どの様に、意識が変化して、どの様な行動に至ったのか、とか研修の成果を聞きたいと思う。
- ・ 研修受講後の取組み事例紹介、コンペのような内容。行動宣言のフォローアップ研修。失敗事例の共有
- ・ 受講後の活動について
- ・ この研修を受けて、各現場で実施した内容を再び集まって報告会を行い、それを新たな研修として欲しい。 また、2日目の課外は19～とせず、続けて実施して、研修の効率性を高めるとともに、時間を有効的に使って欲しい。
- ・ 同メンバーにおける経過報告があれば勉強になると共に励みになる。
- ・ 受講して、地元に戻って実際に取り組んだことを聞いてみたいです。

【欄外】

- ・ うまく地域づくりができていれば発表してもよいのですが、5年～10年はかかるとは思いますけど…
- ・ 2, 3年後、発表できるよう頑張りたいと思います。※発表可です。
- ・ 9月の宮崎研修も参加したいです。そして、来年に発表できるように引き続きいろいろしていきます。おもしろい大人の背中を増やし、次世代の育成につなげて行きます。今後ともよろしくお願い致します。
- ・ 成功したらプレゼンさせて下さい。
- ・ 大変貴重な機会となりました。ありがとうございました。
- ・ 事案がうまくできれば、数年後に講演は検討したい。
- ・ 来年、発表させて頂きます。その為に結果を出します。自分の為、集落の為、先に宣言させて頂きます。
- ・ ニュータウンにおける活性化の取り組みやネットワークづくりについて発表の機会をいただければと思います。時期はいつでも。



平成30年度

全国地域づくり人財塾

主催：総務省、全国市町村国際文化研修所

地域活性化のためには、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

開催要領

- 日程** 平成30年5月9日(水)～5月11日(金) (3日間)
- 場所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
- 対象** 市区町村等職員及び地域づくりに取り組むNPO等関係者の皆様
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
- 募集人数** 50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
- 宿泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
- 経費** 10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
- 申込期限** 平成30年3月27日(火)まで
※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応します。
- 申込方法** JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
職員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。
「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。
- 受講決定** 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
- 事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <https://www.jiam.jp>

平成30年
5月
9日(水)

- 11:00 ~ 12:30 ~ **入寮受付・昼食**
開講・オリエンテーション
- 13:00 ~ 13:15 **導入 人材力の活性化について**
総務省自治行政局地域自立応援課人材活性化・連携交流室 室長 飛田 章氏
「地域の人材力」向上の必要性和総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待についてお話しいたします。
- 13:15 ~ 14:10 **実践事例 “地域人財が育つ”地域資源融合型公園経営**
NPOフュージョン長池 会長 富永 一夫氏
東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンだった講師が、47歳で会社を辞めて地域に戻り、暮らしを支援するNPO法人を設立。住宅管理支援事業、高度情報化支援事業等々の事業を立ち上げ、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組んでこられました。後継者育成にも専心し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。2012年度には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)、2016年度には、ふるさとづくり大賞(総務大臣表彰)を受賞。2017年8月には、eラーニングの教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。
“都市郊外”の新興住宅地で、既存の住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意して地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。
- 14:25 ~ 15:35 **実践事例 住民の学びと自治が育む地域づくり**
長野県飯田市において、公民館・社会教育の仕事に長年従事され、市民のエンパワーメントを組織化、市民と行政の協働などに力を入れて取り組んでこられました。2017年4月より現職。
公民館を中心とした、市民主体の地域づくりに取り組んでこられたご経験をもとに、地域づくりにおける市民と行政の関わり方などについて、講義いただきます。
- 15:50 ~ 17:00 **実践事例 地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～**
柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎氏
柳谷は、鹿児島県肝属半島に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着圏を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第9回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀賞受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。
全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館館長のご経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。
- 17:00 ~ 17:30 **グループトーク** 本日の研修の振り返り
- 18:00 ~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年
5月
10日(木)

- 9:00 ~ 9:25 **グループトーク** 全体での共有
- 9:25 ~ 10:35 **実践事例 地域づくりのマネジメント～つながりをつくり創発を生む仕組みづくり～**
慶應義塾大学総合政策学部 学部長補佐 教授 飯盛 義徳氏
地域づくりの第一人者である飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的な方策を探索されています。そのご経験から、先進事例の成功要因に基づき、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から講義いただきます。
- 10:50 ~ 12:00 **実践事例 「能力を磨く」という人材育成の考え方**
株式会社 紡 代表取締役 玉沖 仁美氏
玉沖先生は、株式会社リクルート地域活性部の配属を機に、日本各地のモノづくり・観光事業・人材育成事業等、地域コンサル事業に関わった後に独立し、引き続き地域振興に従事されています。
道産地の振興について鹿児島に現地法人を設立し、社会実験などを実践されているご経験をもとにプロジェクトマネジメント、人材育成、自分で自分の能力を磨くにはどうすればよいか、という観点から講義いただきます。
- 13:00 ~ 17:00 **講師との直接対話** 講師ごとにグループをつくり、受講者からの質問に講師が答える形式で直接対話を行います。
- 17:00 ~ 17:30 **グループトーク** 本日の研修の振り返り
- 19:00 ~ 20:10 **講師との直接対話** 午後の講義と同様に講師との直接対話が行える時間を設けます。

平成30年
5月
11日(金)

- 9:00 ~ 9:25 **グループトーク** 全体での共有
- 9:25 ~ 12:00 **事例報告 全国地域づくり人材塾既受講者からの報告**
「全国地域づくり人材塾」既受講者から、現在の地域づくり活動の取り組みについて報告を行っていただきます。
- 13:00 ~ 14:10 **成果発表と振り返り**
3日間の研修での体験を語らえて、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」をまとめ、行動宣言を行います。
- 14:10 ~ 14:40 **研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

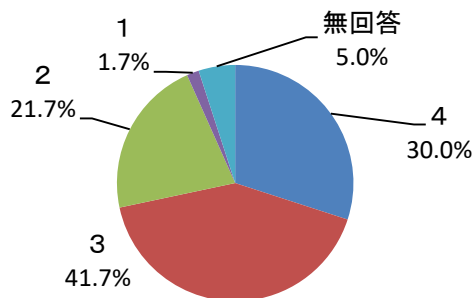
2. 地方開催（in 札幌）編

[平成 30 年 7 月 19 日～20 日]

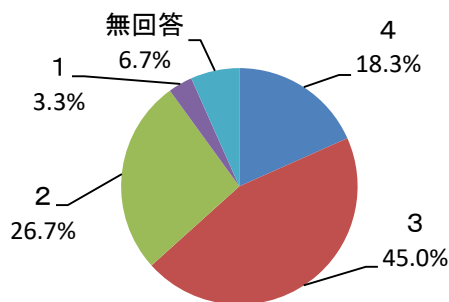
（1）各プログラムに対する評価

【講義】「人材力の活性化について」 総務省 人材力活性化・連携交流室 室長 飛田 章

| <理解度> | | N=60 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 18 | 30.0% |
| | 3 | 25 | 41.7% |
| | 2 | 13 | 21.7% |
| | 1 | 1 | 1.7% |
| | 無回答 | 3 | 5.0% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



| <活用度> | | N=60 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 11 | 18.3% |
| | 3 | 27 | 45.0% |
| | 2 | 16 | 26.7% |
| | 1 | 2 | 3.3% |
| | 無回答 | 4 | 6.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ あわてて着席してしまいうわの空で聞いていましたがこれからの講義は活用したいです。
- ・ 取組については、総務省 HP で確認できるので、これくらいの時間配分で良いと思った。
- ・ 総務省がどのような取組を行っているのか、地域で行われている事業等は、どのような目的・枠組のものなのか、等を考える機会になった。

◎活用度 3

- ・ このような場を設定いただき、ありがとうございました。
- ・ 地方の活性化には、首都機能や権限の移譲が必要だと個人的に思っているのですが、その点について見解をたまわりたかったです。
- ・ 詳細については後で資料を確認するという感じだったが、頭のいい人にしか伝わらないのではと感じた。
- ・ 行政の施策について俯瞰的に知ることができ参考になった。自分で調べようとする膨大な大変なのでこのような情報の提供はありがたいです。
- ・ 場の提供が、自然と人材の育成を促すということに確かになるほどと思った。
- ・ わかりやすい案内でした。色々参考にしたいと思います。

- ・ わかりやすい資料で、後から活用させていただきます。
- ・ 地方自治体が活用しやすい制度を引続きご支援くださいますようお願いいたします。
- ・ 地方への支援（三本の矢）について、期待したい。

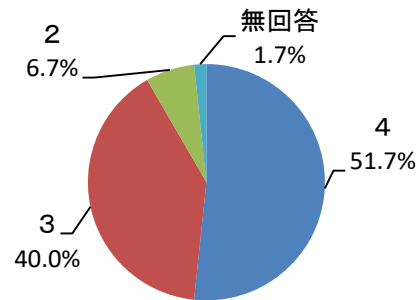
◎活用度 2

- ・ 総務省の今回の塾には今度も続けてもらいたい。
- ・ 導入部分でワクワクしました。
- ・ 様々な施策を参考にしていきたいと考えます。
- ・ もう少し時間があっても良かったように思います。
- ・ 申し訳ないですが、短い時間でもあったと思いますが、少々わかりづらかったです。
- ・ 特になし

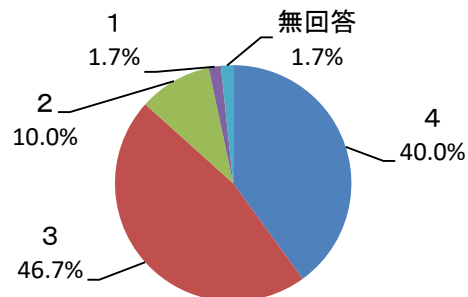
◎活用度 1

- ・ 総務省のまとめを見るのも初めてだったので、内容が時間についていきませんでした。

| | | N=60 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 31 | 51.7% |
| | 3 | 24 | 40.0% |
| | 2 | 4 | 6.7% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



| | | N=60 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 24 | 40.0% |
| | 3 | 28 | 46.7% |
| | 2 | 6 | 10.0% |
| | 1 | 1 | 1.7% |
| | 無回答 | 1 | 1.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 最近の自分の活動は仲間に多くを求めすぎてたのかも…。仲間の理解と納得を得られるよう、場の提供にもっと注力していきたい。
- ・ 人材育成の肝を学べて大変参考になりました。行政としては、あくまで環境づくり（場の設定）が重要だと感じました。
- ・ 「人は育成しなくても場を与えれば勝手に育つ」という考え方は、どんな地域であっても活用できると感じた。
- ・ もう一度「ぼんぼこ」をみます。
- ・ 「場を提供すれば人は勝手に育っていく」考えているばかりでは何もすすまないことを学びました。
- ・ 「1 週間のうちに土曜日の午後だけ地域のためになることをしよう！」というサラリーマン時代の話が印象的だった。（関係づくり）
- ・ 公園経営を人づくりの場として捉えるというのが新鮮だった。
- ・ 人材育成に関しては目からウロコでした。自分が所属する NPO も事業を展開したいと考えていたので大変参考になった。
- ・ ボランティア、NPO のあり方について、改めて考えることが出来ました。
- ・ 行政と住民をつなぐ NPO などの仕組みの重要性を学ばせていただきました。
- ・ 初めて、お話を拝聴しましたが、わかりやすいお話でとても良かったです。地域の団体はどうあるべきかを考えさせられる内容であり、参考になりました。
- ・ 情熱的ですが、理知的でもあり、自分が目指す所であると感じる講義でした。

- ・ 人が成長する場を提供することが重要というとても大切なことを学ぶことができた。地域人財に限らず、普段の業務などでも役立つ話を聞くことができて、とても有益だった。
- ・ 自分の出身地に近い場所なので、地理的なものも分かり、興味深く、お話も楽しくうかがえました。“場所を与えれば勝手に育つ”まさにその通りだと思いました。
- ・ 同じスライドで全くちがうお話をされることに感嘆いたしました。

◎活用度 3

- ・ 人材育成の場を提供することが人材育成だという認識は非常に勉強になった。
- ・ 「場を与えて成長させる」という考え方は非常に参考になった。
- ・ 人が育つ場を提供する勉強になりました。
- ・ 地域資源の多様な捉え方、その観点をいただきました。
- ・ 私も東京に住んでいたの（調布）なじみのある地域だったのでお話がすっとはいってきました。
- ・ 実務が伴うので興味深かった。
- ・ 人財の育て方とは、場を提供することが大切だということを感じました。
- ・ 「場」を提供することで、人が勝手に育つという言葉が印象的でした。「場」づくりの要諦について、詳しくお聞きしたいと思いました。
- ・ “勝手に育つ” 作戦、活用します。P. S. 富永教に入信しそうになりました。アブナイアブナイ。
- ・ 行政的視点とビジネス的視点の双方を学ぶことが出来た。
- ・ ビジネス目線での考え方は非常に参考になった。ただ、もう少し具体的に聞きたかったです。
- ・ 人材育成とは、教育するのではなく場を提供するものという考えに今まで気がつかなかった。0円から経営できる設計を作られたことに感銘を受けた。
- ・ NPO の意味、役割の使い方がうまい。参考になった。
- ・ 「人を育てるために、学ぶ場を提供する」という言葉が印象に残った。
- ・ 場の提供が大事、ということが勉強になりました。
- ・ 組織は大切だけれども、“人間力” が大事!! 共感しました。
- ・ 長い間東京で暮らしていたが初めて知った長池公園。公園マニアとしては「うかつ」だった。

◎活用度 2

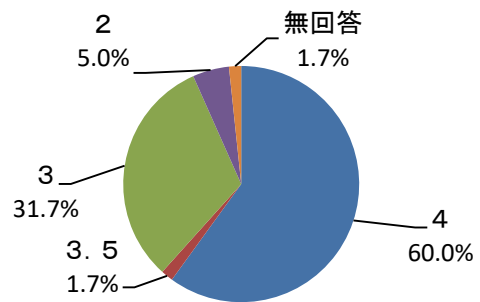
- ・ 人間力、生命力。おたがい様の関係を作り、倅せになる！
- ・ 地域づくり、地方活性化には自分がまず動きだすことが第一歩だと思った。
- ・ ボランティア活動から NPO 設立まで至ることが素晴らしいと思いました。改めてボランティア活動の目的と意義の大切さを感じました。
- ・ 人間力をしっかりと身につけたいと思います。

◎活用度 1

- ・ 「保育所の先生、若いお姉さんが」という発言が気になりました。お年寄りの意識を変えるのは困難ですが…。トップがかわらないといつまでも再生産されてしまいます。

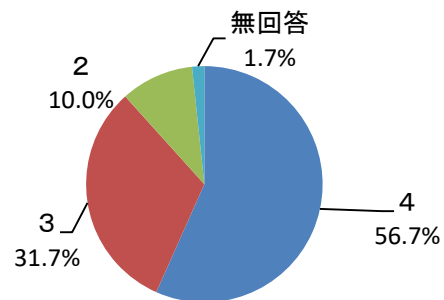
N=60

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 36 | 60.0% |
| | 3.5 | 1 | 1.7% |
| | 3 | 19 | 31.7% |
| | 2 | 3 | 5.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



N=60

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 34 | 56.7% |
| | 3 | 19 | 31.7% |
| | 2 | 6 | 10.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ やねだん故郷創生塾を卒業して、早や3年が経過しましたが、やねだんで学んだことを忘れつつあることに恐れをいただいています。北海道にいても、やねだんの教えを忘れず、学びを深める枠組みをつくっていきたいと思います。
- ・ ヒト1人1人をしっかりと見つめる姿勢がとても印象的だった。
- ・ よその地域にいる子から親への手紙を放送するという取組がすてきだと思いました。「企画力」。目配り、気配り、心配り。「出番」をつくる
- ・ 地域づくりについて、大変参考になりました。特に、“EDUCE”のお話、これからはコラボレーションが必要だという点が印象的でした。
- ・ 感動による人づくりが印象的でした
- ・ 人間力！EDUCE！
- ・ とても熱くなるお話でした。町のトップである人達に聞いてほしい内容でした
- ・ はじめの方のDVDで涙がでてしまいました。。
- ・ 心を打たれました。
- ・ 強力なリーダーシップだた、リーダーがいなくなったらどうなるのか？
- ・ 人間力が地域力がどれほど重要だということを思った。またリーダーとして何をしていかなければならないかの意識が分かった。
- ・ 小さな集落を盛り上げていくために信頼づくり、引き出す力の大切さを知った。
- ・ 本気になって、地域づくりに取り組むことの大切さが理解出来ました。

- ・ 何となく宗教っぽい。※個人の感想です
- ・ 実績、体験に基づいた内容で、豊重さんの熱い気持ちが伝わりました。まさに理想的なストーリーで感動しました。
- ・ 非常に力強く、感情に訴えかけるような素晴らしい講義でした。
- ・ 「地域」の中でも集落という小さな単位の場合で、みんなを巻き込んで活動をされているとのこと、参考になった。どうやったら人を動かせるのか、仲間はずれを作らない、そんなことを考えさせられました。
- ・ 豊重先生の強力なリーダーシップと実行力に感銘を受けた。
- ・ とてもとても良かったです。豊重さんに会うのが目的で北海道まで来て良かったです。
- ・ 決めたことをただ単に話すのではなく、“伝わる”講義をして下さったと思います。内容はとてもうなずけることばかり。ただ、先生の中では繋がっているのですが、所々話が多少ジャンプするような所があり、ん？となりました。多分、こういうことだと分かる程度ではありましたが。直接対話が楽しみです。
- ・ 最高でした。

◎活用度 3

- ・ 何度でも聞きたい話でした。熱い想いや具体的な対策など勉強になりました。
- ・ 情熱が人の思いをふるいたたせるのだと思った。
- ・ やねだんの取組はずっと気になっていたなのでこの機会に聞いて良かった。
- ・ 地域を巻き込んだ取組の事業化に至る様々な仕掛けとアイデアに敬服です。やはり、リーダーの資質で決まってしまうことを実感しました。
- ・ 引き出すこと、楽しませること…実行します。
- ・ 地域の魅力をいかにして引き出すか。どのように演出していくか。改めて考えさせられる内容でした。
- ・ 地域住民が一体となって地域づくりを進めるためには、熱い思いを持ったリーダーの存在が必要だと思いました。
- ・ やねだん故郷創生塾に参加したいと思いつつ、中々参加できない私にとって講師の講義が札幌で聴けるのは大変嬉しくまた感動しました。
- ・ 人を大事にし、それぞれの才能を引き出すことが大切であるとのことのお言葉が印象的だった。
- ・ 以前にもお話を聞いた事があったが、進歩していてすごいと思った。熱意は伝わる。
- ・ 自分が動くことが大切と気付くことができました。
- ・ 講師の熱意が伝わり、もっとお話を聞きたいと思いました。
- ・ 熱意は伝わってくるし、そのエネルギーは素晴らしい。が、話が時空を飛び越え、理解できない部分多々。
- ・ 「やねだん」のお話というより名前はずっと聞いていたのでお話楽しみにしていました。

◎活用度 2

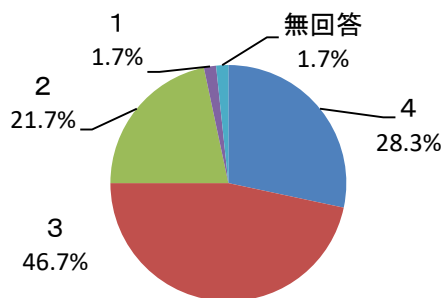
- ・ 地域づくりとしては、非常に参考になるが、一般論として扱うのは、工夫が必要だと感じた。

- ・ 講師と同じ様な情熱を持ち続けることは難しいと感じた。ハマる人はハマると思うが、体育会的、またはある種の宗教的な印象も感じた。
- ・ フルネーム、アイコンタクト、なかなか気にはなっていないながらも実践しきれていない部分を痛感させられました。
- ・ 伝えたいことが分かりにくかった。地域住民が誇りを持つことは難しいことがわかった。

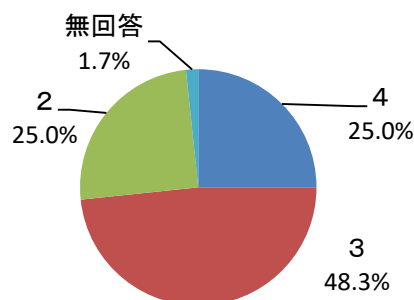
【講義】「集落にとって大切なのは人口・経済……何か」

北海道農山漁村地域力ネットワーク 代表 目黒 英治 講師

| <理解度> | | N=60 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 17 | 28.3% |
| | 3 | 28 | 46.7% |
| | 2 | 13 | 21.7% |
| | 1 | 1 | 1.7% |
| | 無回答 | 1 | 1.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



| <活用度> | | N=60 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 15 | 25.0% |
| | 3 | 29 | 48.3% |
| | 2 | 15 | 25.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ やねだんの学びから実際に行動にうつしていること、一人でも事をなす信念をもっていること、とても感動しました。お話しいただいた内容もとても共感できるものでした。
- ・ やれることは自分達でやる。本当にかえなくてはいけないのは我々の心。正しい心。
- ・ 勇気をなくして集落をまとめることができるかという一文に勇気と自信をもらった。
- ・ 行政との関わり方など、参考になりました。
- ・ 小さい集落ほど、実は何かをみんなで決めるということはとても大変なことなのだと思う。でもそれは、みんな地域のことを真剣に考えているからこそだし、そういう「思い」はどう育まれるのか、知りたくなった。
- ・ 資料づくりが素晴らしかったです。住民と向き合う勇気、教えられました。

◎活用度 3

- ・ 豊重講師と共通して、リーダーの存在が地域おこしには必要不可欠なのだと学んだ。
- ・ 地域に誇りを持つことの重要性を学びました。ただ、地域への誇り（愛国心）は教育の側面が大きいので、その改革が必要ではと感じました（マスコミ含め）
- ・ 地域づくりはとても大変だ、ということが伝わりました。同時に想いも伝わりました。
- ・ 移民の多い北海道で集落をまとめるのにはご苦労があったかと思います。
- ・ 現在、住んでいるのは近くの旭中であるが状況は良く理解出来る。
- ・ 私の市でも「移住者交流会」なるものを開いて少しずつ定着しています。

- ・ 誇りを持っているか、考えさせられました。
- ・ 集落を昔からの良い姿で残していく為の考えには驚きました。行政に頼りすぎない集落づくりを学びました。
- ・ 軸を全くブレさせず、何年も集落での活動に注力するお話は非常に心にくるものでした。取り組んだ内容のロジックをもっと聞いてみたいです。
- ・ 地域づくりに取り組む前に、我々は地域に誇りをもっているか、まさしくその通りと感じた。地域の人に問いかけ、自分としても考えてみたい。
- ・ 自分が動くことが大切と気付くことができました。
- ・ 地域への愛・誇りが持つ地域活性化へのエネルギーを感じることができた。
- ・ 具体的な事例を聞くことができ、とても良かったです。
- ・ 朴訥とした話し方、成功よりも人間関係で相当苦労なさってきたのだろう。実はすごく気持ちの強い方だと思った。
- ・ 東京と地方の課題の違いに少々気持ちが重くなったのですが、気迫に圧倒される気持ちになりました。
- ・ パワポと手元の資料が非常に良くなく、話が入ってこなかった。直接対話であれば…。視点や目黒さんの環境は大変興味深かったのだ。

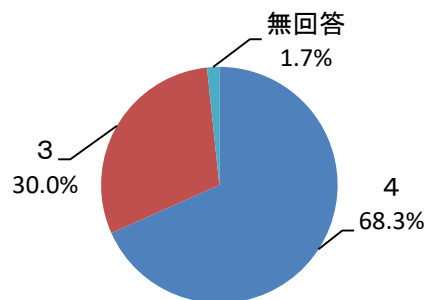
◎活用度 2

- ・ 講師の思いと配布資料が合っていない印象を受けた。
- ・ 苦労の中でどうにか地域をまとめていった。リアルな「試行錯誤」を聞き、勇気づけられたような気がします。
- ・ 集落にとって大切なのは続けることなのかなと思いました。
- ・ 北の国からで一時的に人の流入が多かったが、後に何もないことに気づいたとあったが、それはきっかけを活かしきれてないからではと思った。
- ・ 役場とコミュニティの関わり、難しさ等、大変参考になりました。
- ・ 地域づくりを進めるために地域住民との合意形成が必要だと思いました。
- ・ 講師の苦労話を交えた貴重な講義でした。ありがとうございました。
- ・ 行政と集落の難しさが伝わってきた。思い、方向性が一緒にならないと難しい。
- ・ おっしゃりたいことは分かりますし、正しいと思いますが、長いグチを聞いている気になりました。地域に誇りを持つために、では何をされてどういう反応で、どう変わったのか、がうかがいたかったです。

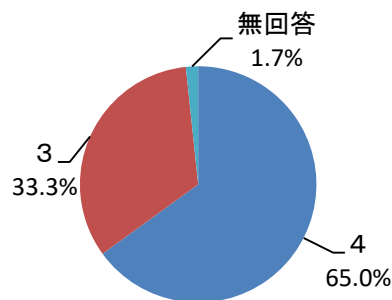
【講義】「地域づくりのマネジメント—つながりをつくり創発を生む仕組みづくり—」

慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐） 飯盛 義徳 講師

| <理解度> | | N=60 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 41 | 68.3% |
| | 3 | 18 | 30.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



| <活用度> | | N=60 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 39 | 65.0% |
| | 3 | 20 | 33.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.7% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 3年振りにお話を聞きましたが、前回以降、自分が取り組んできたことを少し変えていかねばならないと思いました。自分以外のコアメンバーにも、今回学んだことを共有して、より創発が生まれる活動していきたいと思います。
- ・ 経営学を交えた学びがおもしろかった。小さな1歩が長い事業につながるというのは、明日からでも意識して取り込もうと思う。
- ・ 社会的創発≡イノベーション。命令・強制しない。ごめんじゃモ鍋社中。全国鍋合戦。
- ・ 効果的なプラットフォーム設計という考えがとても興味深かったです。行政の役割の重要性を実感しました。
- ・ 論理的で分かりやすかった。「境界」や「プラットフォーム」という考え方は非常に参考になった。
- ・ たくさんの事例紹介や鳳雛塾の話がおもしろかったです。
- ・ 効果的なプラットフォーム設計。一歩踏み出す勇氣。
- ・ 効果的なプラットフォーム設計を意識することでまちづくりに関する話し合いもより具体的に進めることができると感じた。
- ・ 場のデザインの考え方など、すぐに持って帰って実践したい気づきを多く得られました。ありがとうございました。
- ・ 参考になるプロジェクトが多かったです。
- ・ 境界の理解を深めたいです。

- ・ 地域づくりにおいて、場の提供をすることにより、新たなアイデアや自由な発想をつくる話が印象的だった。
- ・ きっちりカッチリとお話し頂き、私でもわかる様噛みくだいてお話し頂き、わかりやすくありがたかったです。
- ・ 具体的な手法や仕組みづくりなど、非常にわかりやすかった。1つ1つ、非常に参考になった。
- ・ プラットフォームづくりの要諦、大変勉強になりました。資源の持ち寄りという視点について、考えていきたいと思います。
- ・ 弱いつながりの作り方・持続について関心を持ちました。新たな視点を持つことが出来ました。
- ・ 今後の地域活動に参考になりました。特に効果的なプラットフォームの設計を頭に入れ活動していきたいと思います。
- ・ とても分かりやすく、かつ日々どのように実践していくかについて、深い学びを得ることができました。
- ・ 枠組み作りの必要性や根拠を再認識できた。先生の講義をぜひ、住民、行政、職員に聞いてほしい。
- ・ 「創発」「場づくり」…といったキーワードは、これまでの講師の方の言葉にもあったが、これをより分かりやすく事例等も交えながら教えていただけたと思う。
- ・ 組織人としてマネジメントの必要性を感じました。
- ・ “プラットフォーム”の捉え方、人と人とのつながるシステムづくり。よく分かりました。三重地元の話が多く、身近に感じられてよかった。
- ・ 腑に落ちる話ばかり。とても勉強になった。
- ・ 具体的な手法とヒントがたくさんあり、勉強になりました。うかがった事に立ちもどりながら実践していくと、今とは違った動き方が出来るのかもしれないと思いました。

◎活用度3

- ・ 非常にわかりやすい説明でした。ただボリュームが多くて頭で整理できません。2,3回聞きたいし、1日かけて聞きたいです。
- ・ お金がもらえるから参加するで良いと思う。
- ・ 小学生のうちから、「経営」を学べる機会をつくるのはとても良いことだと思いました。
- ・ 地域づくりにはプラットフォームは重要であると感じた。また次から次から新しいことがおきる場づくりをしたいと思った。
- ・ プラットフォームという概念を知らなかったので、今回学べて参考になりました。
- ・ 主体性：自分事としてとらえる（とらえてもらう）ことの重要性を再認識しました。
- ・ まずは行政職員が主体となって、コアメンバーを創出していくことが大事だと感じました。
- ・ 地域づくりの活動で目指すべきことは、次から次へと新しい自発的な活動が生まれて派生させていくこと。勉強になった。
- ・ 内容が少し難しく、理解出来ない所がありましたが、良い講義だったと思います。
- ・ インセンティブはいろいろあってよいという点がとても新鮮でした。
- ・ いろいろな現象や状態を言葉として示してくださるのがわかりやすかったです。

◎活用度 無回答

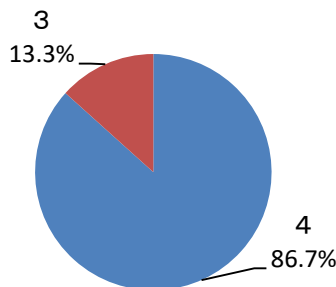
- ・ 境界域の考え方が納得するものでした。

【講義】「人口減少社会における、公民連携都市再生戦略のつくりかた」

建築家／クリエイティブディレクター／株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 西村 浩 講師

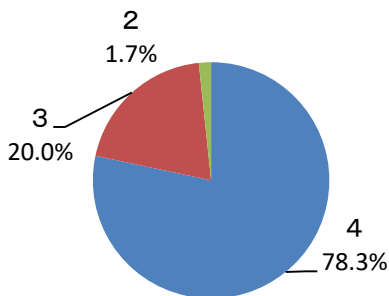
N=60

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 52 | 86.7% |
| | 3 | 8 | 13.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



N=60

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 47 | 78.3% |
| | 3 | 12 | 20.0% |
| | 2 | 1 | 1.7% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 岩見沢に住む者として、岩見沢駅は誇るべきものであり、つくっていただいた西村さんの思いに応えなければいけないと思いました。又、シティプロモーションに携わる者としても、共感を呼ぶプロモーションができていのか考えさせられました。市民活動は少しずつ活発になってきていますが、もっと駅を活用した活動を増やすようがんばります。
- ・ 行政職員としての地域への関わりについて、視点が大きく変わるようなとても有意義な講義だった。
- ・ 官民協働の新しい視点を学べて、大変参考になりました。社会の変化とともに行政の体制も変わっていかねばならないと実感しました。
- ・ 地域づくりの1つの観点として、面白いものだなと感じた。着眼点が非常に参考になった。
- ・ 駅がまちをかえるが印象的でした。
- ・ エリア価値向上を目指す。見方を変える。
- ・ 共感を呼ぶ、プロモーションの重要性を感じた。
- ・ ワクワクするような話をいただきありがとうございました。見方を変える、心を動かすことの大切さ、身にしました。
- ・ 民間と行政のはざまの気持ちがよくわかりました。民間の気持ちを忘れずにがんばります。
- ・ 身近な話だったのでとても参考になりました。
- ・ 人と金が大事という話は説得力ある。
- ・ 共感を呼ぶプロモーション。まさに岩見沢駅舎の取組は、それを活用し一体となった結果の建

物なのだと思います。

- ・ エリア全体の価値を上げていくことを考えていきたい。
- ・ デザインが持つ“人を呼び込む力”、“引きつける力”を感じることができた。地域活性化をするための手段は様々だと感じた。
- ・ 行政と民間の関係性の良いあり方について学べて良かった。様々なことを学べた密度の濃い時間であった。
- ・ 1 番興味深くお話を聞かせて頂きました。
- ・ 自分も建築に携わったものですが、土木と建築の融合はエリア（街）を変える。もちろんそこには町の人たちと関わりが大切であることを再確認した。
- ・ 非常に参考になった。続きをお聞きしたかった。残念。
- ・ 公民連携による公共空間について、お話聞きたかったです。
- ・ これからの時代における新たな価値観について考える機会となりました。よりくわしいお話を伺いたいと思いました。
- ・ 本当に良かった。また続きを聞きたいくらいです。
- ・ いつもの通りの講話でこれからも頑張っていこうと思いました。
- ・ どんな一步を踏み出せばいいのか、とても勉強になりました。
- ・ デザインとまちづくりの重要性・必要性が本当に重要。
- ・ 地域・エリアの価値という考え方はとても衝撃だった。地域づくりとまちづくりの違いを考えさせられた。
- ・ もう少し話を聞いてみたいと思いました。
- ・ “共感”を得る。街の価値を上げるという点。たくさん勉強になりました。
- ・ 腑に落ちる話ばかり。とても勉強になった。後半 30 分の日本のこれから迎える未来の在り方への危機感に西村さんもこのままではいけないという思いが強く伝わった。
- ・ 大変明解、勢いのあるお話で引き込まれました！私があまり得意ではないお金の話、新しい視点になりました。
- ・ テンポのよいお話でした。土木展見てみたい！と思いました。
- ・ 講義もパワポも資料も非常にわかりやすく引き込まれました。あっという間の 80 分でした。

◎活用度 3

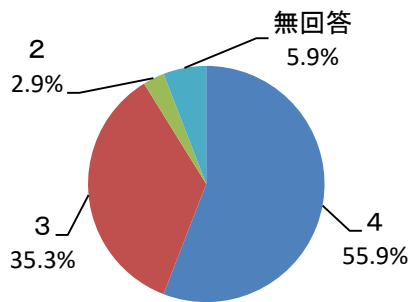
- ・ 公務員だからって安泰ではないよー
- ・ とても刺激的でした。自分の仕事と業界は違えど、地域づくりについてはとても参考となりました。
- ・ 「こんなはずじゃなかった」とても楽しそうです。良い顔していますね。
- ・ 社会からの見方、考え方をかえる視点を持つように、これからの地域づくり、まちづくりに取り組みたいと思いました。
- ・ 公務員の今後について、とても勉強になりました。是非、職場にも聞かせたいと思いました。

◎活用度 2

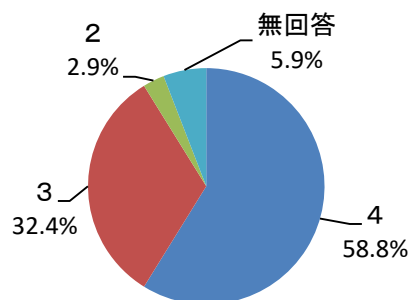
- ・ 民間主体によるまちづくりを進めることについては非常に共感を得ました。問題は行政と民間が繋がる具体的な方法が自分の中では思いつかないです…。

【講師との直接対話（飯盛講師）】

| | | N=34 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 19 | 55.9% |
| | 3 | 12 | 35.3% |
| | 2 | 1 | 2.9% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 2 | 5.9% |
| 合計 | | 34 | 100.0% |



| | | N=34 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 20 | 58.8% |
| | 3 | 11 | 32.4% |
| | 2 | 1 | 2.9% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 2 | 5.9% |
| 合計 | | 34 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ RESAS 使っている人がいてびっくり
- ・ 普段見落としがちな視点など、いろいろ思い起こす点があり、目からウロコでした。
- ・ 「子供銀行」のお話しが面白かった。色んな取組が出来るのだなと思いました。
- ・ 場づくりの重要性+「人」が最も大事。大変勉強になりました。
- ・ 自地域の課題へのアプローチや他地域の事例をたくさん知ることができて、勉強になりました。
- ・ 先進事例を学ぶことの重要性をこれまで感じてこなかったが、そのエッセンスや考えを学んで活かす、自分の地域に合わせて作っていく、試行錯誤するという考えを学べた。
- ・ 具体性に富みかつアドバイスも的確で非常に参考になった。
- ・ もっともっと話をしたかったです。
- ・ 多くの参考事例を調べ地元合う方法を見つけます。
- ・ 様々な市町村が抱える問題を共有し、案を出し合う・話をきくことができ、有意義な時間でした。
- ・ 学生さんとの協力など事例での解説が多くためになった。
- ・ 道教委においても地域に塾長を派遣する「地方創生塾」等を実施しており、大変勉強になりました。ありがとうございました。

◎活用度 3

- ・ 国内外における事例を用いて説明していただき、非常に有意義でした。
- ・ 講義とはまた違う、現場ならではのお話がきけたのでよかったです。

- ・ 参加者それぞれの地域の実情をきくことができ、また、講師の方も経験を交えてお話いただき良かった。
- ・ 各地の話題を聞いたが、講師との対話というよりは研修生の対話に講師が長めのコメントという感じだった。

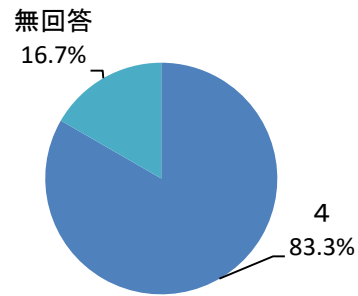
◎活用度 無回答

- ・ 生き学連携。地域作りの主体は住民！
- ・ 大学教授目線での話は初めてで、学生の取組を聞いていると、もっと考え方はシンプルで良いんだと思えました。

【講師との直接対話（富永講師）】

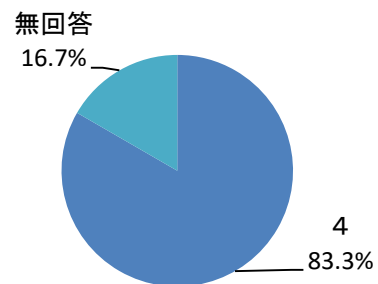
N=6

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 5 | 83.3% |
| | 3 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 16.7% |
| 合計 | | 6 | 100.0% |



N=6

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 5 | 83.3% |
| | 3 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 16.7% |
| 合計 | | 6 | 100.0% |



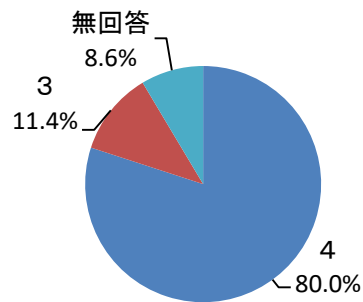
<感想>

◎活用度 4

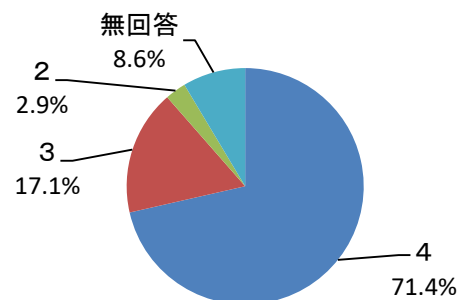
- ・ 少人数だったので、参加者の方のいろいろな思いも聞けて、私もがんばろうと思いました。
- ・ 今まで参加した研修会で一番タメになりました。聞いたことのない内容で新鮮でした。
- ・ 30歳代、40歳代を支援する仕組みを鷹栖の特性を活かした形にできるように考えていきたいと思っています。ありがとうございました。

【講師との直接対話（豊重講師）】

| | | N=35 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 28 | 80.0% |
| | 3 | 4 | 11.4% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 3 | 8.6% |
| 合計 | | 35 | 100.0% |



| | | N=35 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 25 | 71.4% |
| | 3 | 6 | 17.1% |
| | 2 | 1 | 2.9% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 3 | 8.6% |
| 合計 | | 35 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 心を打たれました。
- ・ 発想を変えてみる。（ちがう方向から発想をする）
- ・ 何度も涙が出そうになりました。ありがとうございました。
- ・ なぜ豊重さんの語りは心にジンとくるのだろう。
- ・ 更に心に突き刺さる講話でした。人間力を高めたいと思います。
- ・ 初めて会う人でも、目を見て名前をよぶだけで、人を引きつけられると感じました。
- ・ 住民を巻き込むための人の心をつかむ術が素晴らしい。リーダーのあるべき姿を学んだ。
- ・ やねだんの北海道版の地域づくりをしたい
- ・ “がんばらなくていい” その言葉に肩の力がすっと抜けました。学びます。精進します。
- ・ 感動でイッパイになる講義でした！有難うございました!!人間力を高められるように頑張ります。
- ・ やねだん北海道支部頑張ります！またお会いできることを楽しみにしています。やねだんのみなさまにも、北海道でやねだん魂が生きていることをお伝えください。
- ・ 講義内容から更に深化した内容を聴講でき、とても参考となりました。どこか他人事だったまちづくりを、自分の事のように感じる事ができました。
- ・ つねに変化をおこないしていきたい
- ・ 講義に負けず劣らず、地域づくりへの熱い思いを伝授された。
- ・ 地域づくりにおける考え、思いを知ることが出来て、熱い気持ちを持つことが出来ました。
- ・ 先生の熱を私の地域にも伝えられたらいいなあと思いながら聞かせてもらいました。

- ・ 一人一人に語りかけてくださり、力強いお話が心にひびきました。
- ・ とりあえず、やねだんに行きます。

◎活用度 3

- ・ 人間力を磨くことの重要性が分かった。素直に人に感謝することは大切なことではあるが、なかなか実行に移せる人はいない。
- ・ 感動、演出…取り入れていきます。
- ・ 地域住民のポテンシャルを引き出すことが大事だと思いました。そのためにはあせらずゆっくり相手の懐に飛び込まなくては…。
- ・ 講義とは異なり、具体的な内容を知ることができた。
- ・ 地域づくりの方程式、大変勉強になりました。感動をコーディネートできるようがんばりたいです。
- ・ さらに前進し続けようとする講師の姿勢が素晴らしいと感じました。

◎活用度 2

- ・ フルネームでよぶ、アイコンタクト、豊重流のコミュニケーションを身をもって体感しました。

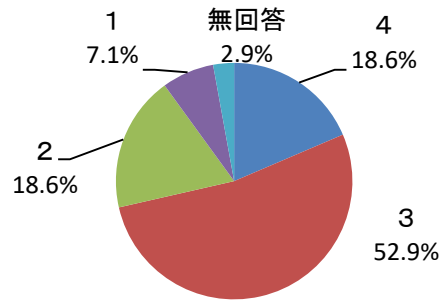
◎活用度 無回答

- ・ 企画力、フォロー、演出力

【講師との直接対話（西村講師）】

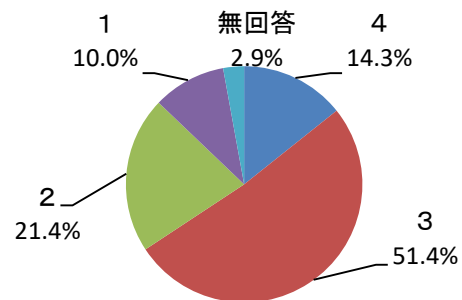
N= 70

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 13 | 18.6% |
| | 3 | 37 | 52.9% |
| | 2 | 13 | 18.6% |
| | 1 | 5 | 7.1% |
| | 無回答 | 2 | 2.9% |
| 合計 | | 70 | 100.0% |



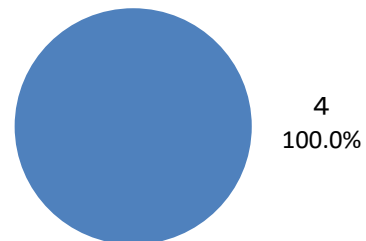
N= 70

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 10 | 14.3% |
| | 3 | 36 | 51.4% |
| | 2 | 15 | 21.4% |
| | 1 | 7 | 10.0% |
| | 無回答 | 2 | 2.9% |
| 合計 | | 70 | 100.0% |



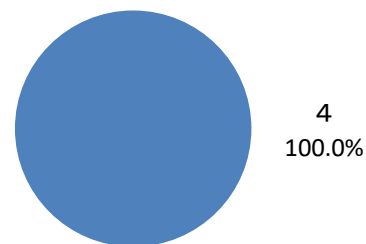
N=19

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 19 | 100.0% |
| | 3 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 19 | 100.0% |



N=19

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 19 | 100.0% |
| | 3 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 19 | 100.0% |



<感想>

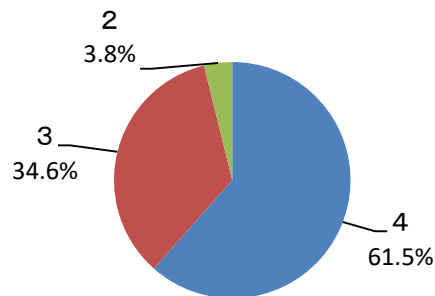
◎活用度 4

- ・ 来年また「岩見沢駅」でお会いできることを楽しみにしています！
- ・ 1人1人が抱えている問題をききとり、経験・知識を活かしたアドバイスをしており、とても役に立つ内容だった。
- ・ 参加者さん各自の鳥うk未や悩みを拝聴でき、さらに全体に言える事（アドバイス）ももらえ、たのしかった。

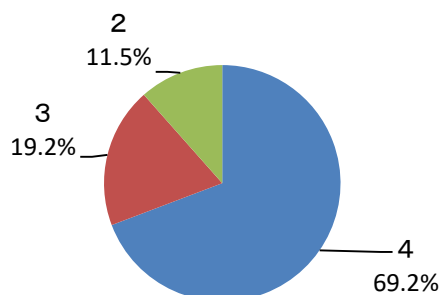
- ・ 北海道といった広域的に考えていきたいと思った。
- ・ 斬新な発想や物の見方を聞くことができ、勉強になった。今まさに抱えている問題に取り組むモチベーションがより高まった。
- ・ 各参加者の取組に対し、西村さんのアドバイスをいただけたのでとても良い時間でした。
- ・ 個々の活動に対するアドバイスやプロモーション、共感などビジネス視点での切り込みがとても面白かったです。
- ・ 体調わるくて半分くらいいられませんでした…ごめんなさい。
- ・ 砕けた形で1人1人お話をじっくり聞いて下さいました。より実践的な具体的なお提案を頂けて嬉しかったです。ありがとうございます！
- ・ 受講者一人ひとりの悩みに答えていただき、誠にありがとうございました。
- ・ ない現状にどう向き合って課題を解決するのか、具体的な提案もいただくことができ素晴らしい機会となりました。
- ・ 一体感があり、参加していてとても楽しかったです！
- ・ 一人ひとりの話をしっかり向き合ってください、とても有意義でした。新しい時代を楽しく彩りたいです。
- ・ 具体性に富みかつアドバイスも的確で非常に参考になった。
- ・ 受講者1人1人の悩みを解決するにはどうすればいいか？という話で進めていただきとても勉強になりました。

【講師との直接対話（前神講師）】

| <理解度> | | N=26 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 16 | 61.5% |
| | 3 | 9 | 34.6% |
| | 2 | 1 | 3.8% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 26 | 100.0% |



| <活用度> | | N=26 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 18 | 69.2% |
| | 3 | 5 | 19.2% |
| | 2 | 3 | 11.5% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 26 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 豊富な事例を紹介していただき、大変参考となりました。住民の力を如何に引き出すかが重要だと感じました。
- ・ ずっと弾丸でお話して下さいました！ご経験談がとても参考になりました！ありがとうございます！
- ・ 「本編」がなかったのが残念な程、楽しい実践例をたくさんお聞きできました。
- ・ テンポが良く、ずっと楽しい時間でした。
- ・ 普段聞けない自治体側の話も聞けました。
- ・ 私はずっと「民」で働いてきたので、今回のように行政の人々の思いや考えをきけて勉強になった。
- ・ 楽しそうに取り組んでいらっしゃるよう感じられました。
- ・ 場づくりの実践+「関わる人」による成功事例、大変勉強になりました。
- ・ 長く公務員として務められた先輩に、公務員生活を過ごす上で、地域で生きていく上で多くのヒントをいただきました。

◎活用度 3

- ・ 行政に頼らずに、地域のコミュニティをつくっていく方法が、細かい事例とともに知ることができた。
- ・ 講師の話が、とても長かったので、あまり対話的な感じにはなりづらいと感じた。
- ・ これまでの考え方、型に合わせることでなく、住民一人一人の持ち味を発揮させるような取組

をしなければならぬと感じました。

- ・ 弱者の目線や、なかまづくりなど参考になった。JR 四国は協力的でうらやましい。
- ・ 実践者の“すごみ”を感じました。「変人」で生きます。

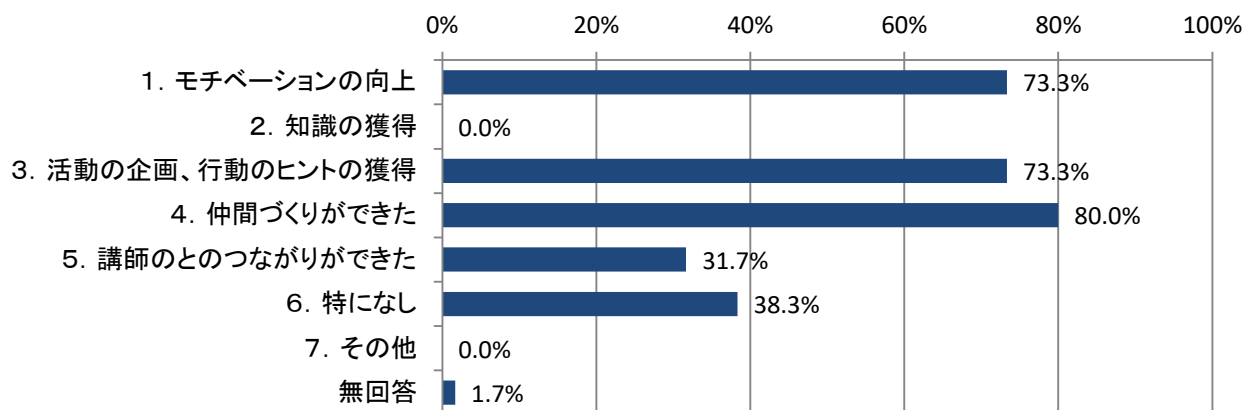
◎活用度 2

- ・ 一人の人間としてできる地域づくりの具体的事例について知れて参考になった。
- ・ 実践に基づいた話で参考になりました。

(2) 研修全体について

①人財塾の良かった点についてお伺いします。下記の選択肢から該当するもの全てに○をつけてください。

| N=60 | | |
|--------------------|-----|-------|
| | 回答数 | % |
| 1. モチベーションの向上 | 44 | 73.3% |
| 2. 知識の獲得 | 0 | 0.0% |
| 3. 活動の企画、行動のヒントの獲得 | 44 | 73.3% |
| 4. 仲間づくりができた | 48 | 80.0% |
| 5. 講師のとのつながりができた | 19 | 31.7% |
| 6. 特になし | 23 | 38.3% |
| 7. その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 1.7% |



<その他の回答>

- ・ 講師の方が皆話し方が上手く、自身のプレゼン能力向上のためのヒントになった。
- ・ 今回の学びを小さなことからでも良いから実践したいと思います。色々な自治体の方々との出会いもあり、これから何らかの連携を取っていければと思っています。
- ・ 各地の取組の手法やキモを学ぶことができたのは良かった。
- ・ 各講師の方の事例をもとに、自地域での活動、取組について再整理する機会となりました。ありがとうございました。
- ・ 地域づくりにおいてまずは人づくりであると強く感じ、そのためには本気、感動、笑顔で行われるような活動であることが重要であると思い人生ビジョンも意識できた。
- ・ 地域づくりにおいての取り組み方に自信を持って臨むことができそうです。
- ・ 地方創生についてしっかりと考える機会は初めてで、知識もあまりなかったが、各講義から少なくとも1つは重要と思えるメッセージを受け取れたので良かった。現在の業務とは全く関係ないテーマであったが、視野を広げる良い機会になった。
- ・ 1日目はとても長く感じられました。2日目のお話はスピード感があり、あっという間でした！
- ・ 仕事として自治体の方々と関わる際に、これまでよりももっと役に立てるようになりたいと思

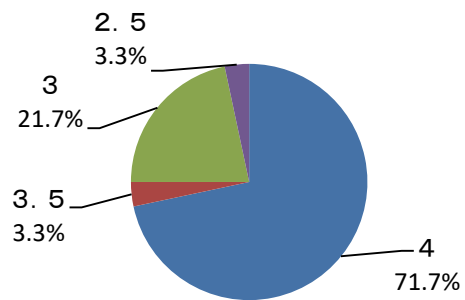
っています。

- ・ 協力隊活動における新たな視点を養うことが出来ました。また、北海道の可能性の高さについても、触れることが出来たと感じています。
- ・ 「人財」をテーマに各方面で活躍されている方々の貴重な講話を拝聴できた点が良かったです。少人数で講師の方と直接対話することで、より深い知識の獲得が出来ました。
- ・ 行政職員として地域がより活性化するために、どう仕掛ければよいのかヒントを得ることができたと思います。
- ・ 実践に活かせる講義は本当にためになったと思います。
- ・ フュージョン長池の活動など、まだまだ自分の知らない地域活動やその実践者、やねだんの豊重先生のお話を直接聴けて感動しました。休暇を取得し参加してとても良かったと思っています。
- ・ くすぶっていたもの、課題への向き合い方、素晴らしい機会をいただきました。
- ・ 他地域にも共通の課題、思いがある方が多くやる気が出た。成功事例が多かったが、やっぱりダメだった。住民との合意ができなかったなどの事例もあるとより参考になった。
- ・ 今後の活動の大きなヒントになったと感じます。帰ったらすぐにでも行動に移そうと思います。
- ・ 新規採用で、しかも事務系で、地域づくりに関して全くの無知で参加したが、簡単な話から、実際の取組、理論など、様々学ぶことができ、地域づくりだけでなく、公務員として、人として生きていく上でとても有益な情報・交流ができ、参加してよかったと思う。
- ・ 目からウロコが落ちるような気づきが多く得られた。今後さらに学ぶ機会を持ちたいと思える2日間だった。
- ・ 北海道の皆さんとお話することができて良かったです。今の自分にヒントになるような講義も多く、すぐに実践していきたいと思いました。できることからですけど!!
- ・ 地域の中で、人を変えていくことについて、これまで考えていたこととはまた違う視点でみて考えるポイントを学ぶことができ、また、自分自身でもすぐ実践できることを学べ、今後、自身の業務につながる点が多々あり、今回の人材塾に参加することができて良かったです。
- ・ 意見交換では何かテーマ的なものがあると話しやすいかなと思いました。
- ・ “変人”でありたい。“知行合一”の知の部分がたくさん得られました。
- ・ 講師の先生との直接対話とりわけ飯盛・西村両氏のお話はとても有意義でした。
- ・ 実践している講師の方ばかりだったので、非常にためになりました。うかがった内容が重なっている部分も多く、本当に何が重要なのか、よくわかりました。
- ・ 北海道は年に数回来ていますが、自分の分野つながりの方としかなかなか出会いがなかったのですが、今回、新たな出会いがありました。
- ・ 考え方が変わりました。

②人財塾を受講したことにより、今後、業務又は業務外で地域づくりに関する活動を新たに又は、継続して行っていきたいと思うようになりましたか？

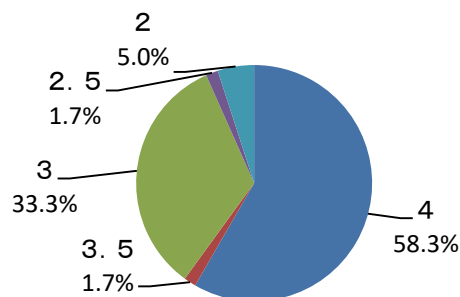
N=60

| <活用度> | | 回答数 | % |
|-----------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 思った 思わない ↓ | 4 | 43 | 71.7% |
| | 3.5 | 2 | 3.3% |
| | 3 | 13 | 21.7% |
| | 2.5 | 2 | 3.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1.5 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 60 | 100.0% |



③研修全体の進め方・運営についてどのように感じられましたか？

| | | N=60 | |
|--------------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 良かった 良くなかった ↓ | 4 | 35 | 58.3% |
| | 3.5 | 1 | 1.7% |
| | 3 | 20 | 33.3% |
| | 2.5 | 1 | 1.7% |
| | 2 | 3 | 5.0% |
| | 1.5 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 60 | 100.0% |



④その他研修に関して改善点・お気づきの点をお聞かせください。

[プログラム、講義形式]

- ・ 講師ごとに時間の長短を変えた方がよい。目黒さんのような活動家の話は50分程度で密度濃くしたらよいのではないか
- ・ 1コマの時間が長い。
- ・ 講師の方達が「時間がないので全て話せない」「早口になります」といおう趣旨の発言をされていたので、プログラムでの講義時間の設定をされてはどうでしょうか（私も西村講師の講義をもう少し聞いていたと思ったので）
- ・ 1日目に具体的な活動事例を聞き、2日目に地域づくりの仕組みについて学ぶことで、より理解が深まりました。より多くの人達にこのような話を聞いてもらうことで良い地域になるな、と実感できる研修でした。この研修に参加したことを地域の人達につなげられるような活動をしたいです。
- ・ 講師との対話講習について、当日に講義をきいてから選択できるようにしてほしい。また、事前に選ぶ際には、西村講師の選択肢がなかったので、対話講習には参加されないと思っていた。応募フォームに不具合がないか確認してほしい。全体を通しては、スムーズに進行してくださって、ありがとうございました。
- ・ 受講前に直接対話の講師を選ぶのはなかなか難しかった。講義を聞いてみて興味を持ったことも休憩時間や懇親会の席で話し合っていくのは、他にも多くの受講生がいるので少々難しいと感じた。
- ・ 講師の講義を聞いてから直接対話の講師を選ぶシステムにできない理由は何ですか？講義を聞いて感銘を受けた講師の話をもっと聞きたかった。
- ・ 運用上大変なのは承知の上ですが、個別対話を講義の後で決める（変更できる）ようにしていただきたいです。申込時に数行の紹介文で選ばざるを得なく、なんとか選びましたが、実際に講義をきいて「この人の話がもっとききたい！」という人の話をきけず、大変くやしい思いをしました。学びの最大化のために、ご検討いただければと思います。
- ・ 少々講義時間が長かったように思います。講師陣の方々のお話は、とてもすばらしいのですが、

1日にあてる講義数のボリュームが少々多く、集中力をつづけるのもむずかしく感じました。でもお話はとてものしかかったです！！

- ・ 一日目3コマ、二日目2コマ+分科会(×2)はやや長く感じた。1コマを長くして、数を増やすくらいがちょうど良いのではないか。二日目の昼の時間がやや短かった？(正直間に合わなかった)
- ・ 講師との対話において、その場のマネジメントについては、講師に一任されているとは思いますが、当然時間の都合などもある中で、できるだけ参加者が全員一言ずつ話すことができる場づくりをサポートするような取組が事務局側としてあってもいいかもしれません。
- ・ 長時間の聴講はすばらしいところでもあり、しんどいところでもありました。
- ・ 講義時間が長く感じた。もう少し短くシンプルの方が良い。他の地域おこし協力隊の方とつながり良かった。
- ・ 学びをもっと深めて、同じような悩みを話せる時間がほしかった。
- ・ 地域おこし協力隊としてのこのような形の勉強会には度々参加してきましたが、全参加・途中退席なしは初めてでした。そこがとても良かった。

[講義内容]

- ・ 若い世代の話がききたい。国・道・市町村の役割分担。札幌以外の場所でのサテライト会場(教育大学に双方向システムあり)。ただ話をきくだけの時間はもっと短くても。札幌に集まらなければできないことに時間をかけてほしいです。きくだけならユーチューブで足ります。
- ・ ネットで検索すれば調べられる内容が多い。今回リーダー育成がテーマのようであるが、実際はどうでしょう？真のリーダーなら現状で仕事をバリバリやっているはずで、安い賃金と過疎の地に悪い状況で行くでしょうか？仮にリーダーが育ってもいなくなったら地域は逆もどりになるはず。
- ・ 行政と民間連携という視点での話が少ない印象でした。企業も地方の課題解決に取り組む必要、意識を持っており、どのようにイノベーションを起こすか、詳しくご教示いただきたいと思いました。
- ・ 研修内容については非常に良かったと感じているが、対象(参加)人数を少なくして個人間のつながりを作る仕組みがあると尚良いと思いました。
- ・ 直接対話があり良かったが、もう少し少人数がよかった。もう1枠か2枠直接対話をしたかった。継続できるメニューがあるとうれしい。(ステップ2のようなメニューがほしい)
- ・ 全体的にサクセスストーリーが多かったので、失敗談、その原因などの内容も少しききたかった。
- ・ 先進的な取組、実践されている方々の講義をお聞きして、コミュニティ・地域づくりの重要性を再認識致しました。ありがとうございます。

[その他]

- ・ 事務局の運営、立地、講師の方、どれもすばらしく、勉強させていただいた。
- ・ 北海道は交通機関が充実してないので1本おくれたらその日帰れない人もいます。おわる時間

厳守をお願いします。

- ・ 会場が決定するまでと（応募まで）北海道の観光シーズンが重なりホテルをとるのが大変でした。もっと早くわかっていれば良いと思います。（札幌に来たことがない人もいます）
- ・ ファイル（動画）がちゃんと再生されるかの事前準備不足であったと思う。パワーポイントで、写真をスライドで流しているときに電気をつけたままにしていたので、見づらかったのではないかと思います。西村講師の講義が個人的に最後まで聞けなかったのが残念だった。時間配分を調節するか、解説的な資料があれば良かったです。
- ・ 都市間バスまでの時間がなく、アンケートをきっちり書けず申し訳ありません
- ・ 空調が寒かったですが、スムーズな運営だと思いました。ありがとうございました。非常に勉強になりました。
- ・ PC等の取扱い。クーラーが冷えすぎ
- ・ 研修ルーム内の冷房が強すぎて若干体調を崩してしまったので、意見を聞く等があると助かります。
- ・ 進行等問題はなかったですが、機器不良による時間のロスが残念でした。
- ・ 講師陣が素晴らしい方々でしたので大変勉強になりました。改善点等は特にありません。
- ・ 講師陣の皆さま、直接対話、とても良い機会をいただきました。ありがとうございました。
- ・ 今まで参加した研修会よりも、これからもつながっていきたいなあと思うくらい濃厚で良かったです。
- ・ 資料にないスライドがあり、職場で共有できないのが残念でした。
- ・ チラシづくりがパツとしなかった（テーマが多すぎて何の研修目的かが分かりにくかった）。
- ・ 会場がよかった。
- ・ 資料が大変分厚く重いので…文字が細かいもの（これだけ別にうしろづけで添付するとか）は別ですが、紙1枚に6スライド印刷してある形で良いのではないのでしょうか。
- ・ 内容ではないのですが、冷房がきつく寒かったです
- ・ とにかく寒くて辛かった。寒さの中で集中力を維持するのが非常にきつかった。始める前に暑さ・寒さについて伺いを立ててほしい。この涼しい街ですので、設定は25℃で十分だと思います。※申込の不備で大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした!!

(3) 今回の研修受講生を対象としたステップアップ研修を行う場合、どのような内容を望みますか？

[研修後の活動内容の共有]

- ・ 今回の研修を通して、新たに事業を始めた方の事例を紹介し、共有し合うセミナーなどがあればいいです。
- ・ その後の取組報告や課題の共有など
- ・ 受講生によるその後の活動の報告
- ・ 受講生自身が研修後に何を実践し、どうなったか？などの報告も面白いかと思いました。

[その他内容に関する事柄]

- ・ 林業×ハッカソン in 津別。NoMaps (経産局、札幌市ほか)。SIAF 札幌国際芸術祭 (次回冬開催)。地区防災計画 (内閣府)。RESAS 政策コンテスト (内閣府/大広)
- ・ 具体的なやりたいことに沿った相談ができると良いと思います。
- ・ 費用がかかってもいいので、総務省認定の資格のような形で地域リーダーのスキルアップ人財育成プログラムがあればと思います。
- ・ 1つ1つの地域の抱える問題について皆での意見交換会。
- ・ プラットフォーム (場) づくりから事業化までの詳細。
- ・ まちづくりにおける失敗事例を学ぶ機会があると良いと思います。気付かないところに落とし穴があって上手くいかないこともあると思うので…。
- ・ 民間会社で、取り組んでいることをもっと知りたいし、行政との解決策ももっと知りたい。ビジネス的な内容がもっと欲しいです。
- ・ リーダーやコーディネーターとしての考え方をより身に付けられる (より深く理解を得られる) 研修を受講したい。
- ・ んー。とりあえず、学んだことを地域で頑張ってみます。ステップアップ研修は、あれば参加したいです。
- ・ 各団体で実際に行った取組についてレポートしてもらおう。成功であっても失敗であっても。
- ・ 受講生それぞれの各地域での取組を発表し、課題解決や将来の展望について話す。
- ・ 社会貢献ファシリテーターやファンドレーザーなどまちづくりに関する専門職を学んでみたい
- ・ 飯盛先生のケースメソッド方式の研修を体験してみたいと思いました。
- ・ 講師の方々の話+それを具体的に実践している受講生の方の話も聞けると良いと思いました。
- ・ 今回の講師の皆さんに、更に一步突っ込んだお話をお願いしたいです。

[グループワークの形式]

- ・ 研修受講生の上役の参加を促し、参加者同士での情報交換。
- ・ 今回得た知識に基いて、モデルケースを検討できる場が設けられると嬉しいです。
- ・ 事例研究等のディスカッション形式
- ・ 色々な、事例を出し合い、検討したい。
- ・ 参加者同士でたくさん話し合う時間がもう少しほしかったので、そのような場がステップアップ研修で行えるとよいです。

- ・ 講師の方とより少人数でのディスカッション。ケースディスカッション。
- ・ 今回は、割合的に座学がメインだったかと思いますが、ステップアップでは、チームで事例研究の発表や、課題に対する提案などのグループワークを数日間で行い、それえをどんな形であれ実行できるようなものを行いたいと思います。
- ・ 何か一緒にケーススタディなどできる場面があるといいなと感じます。先生方のお話は大変すばらしく、まちづくりに関わる仕事ができているのは楽しいことだなと実感しました。
- ・ グループワークなど演習形式も一案ではないかと思います。

[フィールドワークの形式]

- ・ 先進事例先へ実査を行う。
- ・ 地域にお金を落とせるフィールドワーク
- ・ 人づくりやリーダーづくりの場面を見て、事例もふくめて発表を聞いていきたい。
- ・ 実際に講師の方と現地視察を行って、その土地に暮らす方とプロジェクトを始めた頃のエピソード等に触れる機会があると理解が深まると思いました。
- ・ 講義で落とし込んだ内容をフィールドワークのような形で実践的に学びたいです。
- ・ 今回の研修講師が実践されているところを視察したいです。
- ・ 机上での理解はある程度できているかと思う。フィールドワークや、自分が他の町に入っの研修機会があるとより考えが深まると思う。本州での事例が多かったの、北海道の事例や講師が多くなるといい。
- ・ 既に実施されているようですが、札幌でもフィールドワークが開催されたらぜひ参加したいと思いました。
- ・ 地域づくりが成功している、ないし動いている場所へ行き、プロジェクトをひっぱっている方や参加している方の話を聞いてみたいです。

[その他形式に関する事柄]

- ・ 都市部で開催される場合は、遠方に住んでいる人向けに、研修受講生限定で遠隔セミナーなど、インターネット配信を行ってほしいと思いました。
- ・ 町村職員を対象に行ってほしいと思います。

[その他]

- ・ まずもってこのような機会をしかも札幌（北海道）で設けていただいたことに感謝いたします。全講師のお話全てが新鮮であり、面白かった。本当に充実の時間が過ごせました。ありがとうございます。
- ・ 初心者なので、西村先生の後半を聞きそびれて残念です。

全国地域づくり人財塾

IN 札幌

主催：総務省 共催：北海道 後援：札幌市

地域の活性化に向け、地域独自の価値や魅力を高める創造的な人材が、行ってみたい、住んでみたいと思うような地域づくりが求められています。

そうした地域づくり活動を自らの手で企画し実践する「地域づくり人」を育成するため、「全国地域づくり人財塾」を、北海道札幌市において開催します。

開催日

平成30年 7月 19日 (木)・20日 (金)

※お泊りの場所は各自でご用意ください。

開催概要

| | |
|---------|-------------------------------|
| 7/19(木) | 13:00~17:45 : 講義 |
| | 18:15~19:30 : 講師との交流会 |
| 7/20(金) | 9:00~11:55 : 講義 |
| | 12:45~16:40 : 講師との直接対話(分科会形式) |

対象

- 地域づくりに関心のある行政職員・地域づくり団体・NPO関係者の方
- 全課目を受講いただける方(途中参加・退席は、不可)

定員

100名 (受付は先着順。定員になり次第、締切となります。)

受講料

無料 (1日目の交流会費は別途必要です。
2日目の昼食は各自でご用意ください。)

会場

TKPガーデンシティ札幌駅前
(北海道札幌市中央区北2条西2丁目19番)



【受講生の声】～全国地域づくり人財塾in福岡(H29)、in仙台(H28) アンケートより～

- すばらしい講話の連続で非常にいい経験をさせていただきました。
- とても貴重なお話ばかりで大変勉強になりました。学んだことを自分の地域に活かしたいと強く感じる内容でした。
- 様々な立場の方が参加されていたので、情報交換など、有意義な時間が持ててよかったです。
- 地域づくりをする上で求められているスキルや姿勢が、見えたように思います。

【主催】総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室
担当：三宅地域支援専門官、安室事務官 Tel.03-5253-5392

お問い合わせ先

下記のURLからお申込ください(価値総合研究所ホームページ)。
<https://www.vmi.co.jp/jpn/consulting/seminar/2018/h30insapporo.html>

(株)価値総合研究所 全国地域づくり人財塾係 担当：木村、日高、目黒
E-mail : zinzai@vmi.co.jp Tel : 03-5205-7901 Fax : 03-5205-7922
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ ランキューブ 15階

プログラム詳細

■7月19日(木)

※1日目の昼食は済ませて、ご参加ください

12:00-12:50 受付
12:50-13:00 開講・オリエンテーション

13:00-13:15 【導入講義】

『人材力の活性化について』

総務省人材力活性化・連携交流室室長 飛田 章

13:15-14:35 【講義】

『“地域人財が育つ”地域資源融合型公園経営』

NPO法人NPOフュージョン長池会長 富永 一夫 氏

14:50-16:10 【講義】

『地域再生～行政に頼らない地域づくり～』

柳谷自治公民館館長 豊重 哲郎 氏

16:25-17:45 【講義】

『調整中』

北海道農山漁村地域力ネットワーク代表 目黒 英治 氏

18:15-19:30 【交流会】 TKPガーデンシティ札幌駅前館内
参加者間の交流を深める懇親会を開催します（会費制 3,500円）

■7月20日(金)

※2日目の昼食は各自でご用意ください
※施設のレストランは混雑する場合があります
※施設内に売店、コンビニエンスストアはありません

9:00-10:20 【講義】

『地域づくりのマネジメントーつながりをつくり創発を生む仕組みづくりー』

慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛 義徳 氏

10:35-11:55 【講義】

『人口減少時代における、公民連携都市再生戦略のつくりかた』

建築家/クリエイティブディレクター/株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 西村 浩 氏

11:55-12:45 【昼食・休憩】

12:45-14:15 【直接対話Ⅰ】 ※直接対話は、講師の話聞くだけではなく、他の受講者の意見を聞きながら、「みんなで学び合う場」です。

14:30-16:00 【直接対話Ⅱ】 ※以下の5名の講師から2名を受講します。希望する講師を申込時に**必ず2名選択**してください。**申込後の講師の変更はできません。**

- ①飯盛講師 ②富永講師 ③豊重講師
- ④西村講師 ⑤前神講師

16:10-16:40 【振り返り・閉講】

17:00-17:30 【課外活動】 ※任意参加



講師紹介（講義順）

※H30年6月22日現在の役職

■特定非営利活動法人NPOフュージョン長池会長 富永 一夫 氏



東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンだった講師が、47歳で会社を辞めて地域に戻り、暮らしを支援するNPO法人を設立。住宅管理支援事業、高度情報化支援事業等々の事業を立ち上げ、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組んでこられました。後継者育成にも専心し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。

2012年度には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)、2016年度には、ふるさとづくり大賞(総務大臣表彰)を受賞。2017年8月には、eラーニングの教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。

“都市郊外”の新興住宅地で、既存の住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の御経験をともに、どのような点に留意して地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。

【参考HP: NPOフュージョン長池(<http://www.pompoco.or.jp/>)】

■柳谷自治公民館館長 豊重 哲郎 氏



柳谷は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀賞受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。

全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館長の御経験をともに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。

【参考HP: やねだん(<http://www.yanedan.com/>)】

■北海道農山漁村(ふるさと)地域カネットワーク代表 目黒 英治 氏



富良野市麓郷(ろくごう)において、テレビドラマ「北の国から」の影響から脱しきれてない集落を主体的な意識を持った集落に発展させるべく、奔走し、集落づくりに尽力。

北海道農山漁村(ふるさと)地域カネットワーク代表として、食料生産の場にとどまらず、美しい景観や豊かな自然、貴重な伝統文化などが今も残る、人々にとって価値ある農山漁村に誇りを持ち、多様な人たちとのつながりを大切にしながら、農山漁村の地域力を発揮させるための活動を行っている御経験をともに、講義いただきます。

■慶應義塾大学総合政策学部教授(学部長補佐) 飯盛 義徳 氏



地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的な方策を探求されています。その御経験から、先進事例の成功要因に基づき、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から講義いただきます。

【参考HP: 慶應義塾大学飯盛義徳研究室(<http://isagai.sfc.keio.ac.jp/>)】

■株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役 西村 浩 氏



1967年佐賀県生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、1999年にワークヴィジョンズ一級建築士事務所を設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、都市再生戦略の立案からはじまり、建築・リノベーション・土木分野の企画・設計に加えて、まちづくりのディレクションからコワーキングスペースの運営までを意欲的に実践されています。

2009年に竣工した「岩見沢複合駅舎」は、2009年度グッドデザイン賞大賞ほか、日本建築学会賞(作品)、土木学会デザイン賞、BCS賞、プルネル賞、アルカシア建築賞、公共建築賞 他多数受賞。2015年には「函館市電函館駅前停留所」でグッドデザイン賞受賞。

様々な、まちづくりに関わられている御経験をともに、講義いただきます。

【参考HP: 株式会社ワークヴィジョンズ(<http://www.workvisions.co.jp/>)】

■一般財団法人地域活性化センター人材育成プロデューサー 前神 有里 氏



29年間の県職員時代に、地域包括ケア・虐待防止を担当したことをきっかけに地域に深く関わるようになり、その後地域担当職員として市町・地域おこし協力隊・地域のひととともに地域づくりに取り組んできた。県職員経験をもとに、公務員が「職務経験を地域で生かす」「地域での経験を職務で生かす」ためのポイントを、また、地域活性化センターでの御経験をともに、課題解決から入らない新しい価値創造型の地域づくり・人材育成についてお話しいたします。

【参考HP: 総務省地域人材ネット(http://www.soumu.go.jp/main_content/000493954.pdf)】

■総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室 室長 飛田 章 氏

1995年4月運輸省(現国土交通省)入省。石川県企画振興部次長、国土交通省総合政策局政策課企画専門官、日本貨物鉄道株式会社総合企画本部経営企画部グループリーダー、国土交通省自動車局安全政策課安全監理室長、東北運輸局観光部長を経て、2017年7月より現職。

3. 市町村職員中央研修所（JAMP）

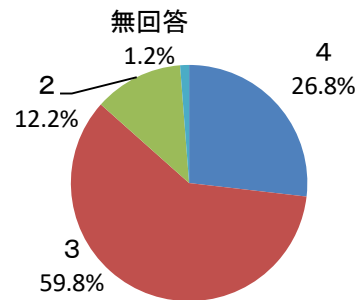
[平成 30 年 9 月 19 日～21 日]

■受講者アンケート

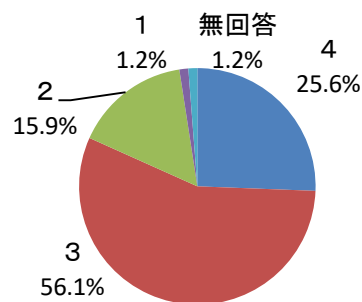
(1) 各プログラムに対する評価

【講義】「地域力の創造と人材力の活性化について」 総務省地域政策課長 藤井 雅文

| <理解度> | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 22 | 26.8% |
| | 3 | 49 | 59.8% |
| | 2 | 10 | 12.2% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.2% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



| <活用度> | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 21 | 25.6% |
| | 3 | 46 | 56.1% |
| | 2 | 13 | 15.9% |
| | 1 | 1 | 1.2% |
| | 無回答 | 1 | 1.2% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 国の様々な制度について知ることができた。
- ・ 全てを理解できたとは言いがたいが、国が行っている事業の中で、持ちかえり活用できるものがあった。知る機会を得た。
- ・ 多くの支援制度がある事がわかり参考となった。また、関係人口の重要性についてと人材力の関係についても理解が深まる内容であった。
- ・ 地域力とは地域資源であり、一番大事なものは「人財」であり、地方分権を使いこなすのは地域力。まさにそのとおりだと感じました。
- ・ 地域力には、地域資源、人的資源、社会資源等の様々な要素がある。その中でも”人”の存在がとても大きいことを学んだ。関係人口というキーワードを大切に、様々な事項について考えていきたい。
- ・ 制度の概要を要点を中心に説明していただき分かりやすかった。完全な理解は難しかったが今後に活かしていきたい。
- ・ 様々な国の制度に対する理解をふかめることができた。
- ・ 総務省の方針、活用できる制度や事例（モデル）について理解できた。
- ・ 地方の人口減に歯止めをかけるためにも、アイデアを出し、地域に見合った取組の必要性を感じた。

じました。

- ・ 地域力を高めるために人材育成、地域経済の活性化に様々な手法で取り組んでいきたい。
- ・ 今まで定住・移住にこだわっていましたが、間の関係人口も大切にしていきたいと思いました。
- ・ 様々なメニューを活用したい。特に当町では集落支援員制度の活用を来年度検討しているため有効な資料としたい。
- ・ 交流人口、定住人口はよく耳にするが関係人口という言葉は初めて知った。外部からの人材力を入れるため総務省としての支援等知ることができ、いまだ活用していないものを取り入れたい。
- ・ 住民意見を取り入れたソフト企画の必要性、高齢化社会で税収減と社会保障のバランス等がわかりやすかったです。
- ・ ご講演ありがとうございました。
- ・ 現在の国の取組、地域力にとって重要な要素は何かについて学ぶことができた。
- ・ 活性化センターでの研修内容の復習になりました。
- ・ 多様な制度の紹介があり、必要な知識の理解に役立った。
- ・ 国の政策をあらためて確認できました。
- ・ 総務省の取組について知る機会となり、全体的な流れ、方向性をつかむことができました。
- ・ 国として、地域で活動する人財の育成に取り組んでいることがわかりました。派遣元で上手く活用できるよう、地域の実情に合う施策を検討します。

◎活用度 3

- ・ 全体像の説明も大切と考えますが、本研修のテーマに即した箇所を深掘りしてもいいかと思えます。
- ・ 「地域力」とは「人財力」そして「関係人口」や「ふるさとワーキングホリデー」など初めてきいて学んだことが多かったです。
- ・ 人財の発掘とその人財の活用を模索することが課題と感じた。
- ・ 総務省の取組みについて、理解を深めることができた。制度を活用していきたい。
- ・ 人的要素、資源の重要性について、再認識することが出来た。
- ・ 田園回帰について少し調査しようと考えた。
- ・ 総務省の取り組みや政策を知ることが出来たのでよかったです。初めてきく言葉もあったので、調べて今後活かしていきたいと思えます。
- ・ 現在の市民協働を取りまく国としての政策について教示して下さった。少し忙しいお話になってしまったので、もう少し掘り下げたお話があると、もっと良かったと思えます。
- ・ 自らの不勉強で知らない制度等があった。アンテナを高くして、広く情報を収集したい。
- ・ 今後の市の事業を決定する上でヒントとなる国の政策を学べたことは非常にありがたいと感じます。
- ・ 国の様々な動き・制度等を学ぶ事ができた。今後の業務で利用できる事がないか再考したいです。
- ・ 全般的、基礎的なことを学べた。講師の方々のお話のインパクトが強いので、導入としてはあり

がたかった。

- ・ 挑戦的な市町村には多くの利用可能なメニューがあることを知ることができました。
- ・ 現在と未来の日本の人口のことや、総務省と取り組みが分かった。
- ・ 国の政策について、より深く理解することができた。
- ・ 地域おこし協力隊や、ワーキングホリデー等、様々な制度を知り、国としても「地域づくり」に力を入れていると感じました。
- ・ 地域づくりや人材力について国の様々な取組をすることができました。ぜひ自治体でも活用できるものを活用したいと思いました。
- ・ 20~40代の田園回帰願望が高まっていることに驚いた。地元は田畑が多いので、このデータを何かに生かせるのではと感じた。
- ・ 政府の動き及び考え方を再確認することができた。知っている情報が多くあり、理解しやすかったです。
- ・ 日本全体の動きを意識することが少ないため、大変参考になりました。
- ・ まちづくり、人づくりに関する国の見方、考え方を聞くことができてよかった。
- ・ 地域力とは人財力という言葉が特に印象に残っている。地域でモノ・ヒト・カネ・情報といったものが発見できなければと思った。
- ・ 地域資源や人的・社会的・経済的な地域力を高めることは、「人材力」の要素が大きいということを学びました。
- ・ 協力隊制度以外の部分、地域運営組織までの話をふくらませてほしかった。
- ・ 日本の現状を再確認することができました。地方への新しい「ひと」の流れをつくるためにいろいろな施策が行われていることもわかりました。
- ・ 制度について詳しく説明していただき理解が深まった。
- ・ すみません、少し緊張感に欠けていたのかと思います。現在仕事で講話の中身が必要なところでしたが、すんなり頭に入ってきましたでした。
- ・ 現状と国の試作を踏まえた上で地方はどう動くべきか、様々な事例を提示されたことで理解が深まった。
- ・ 移住定住、地域おこし協力隊、シェアエコ等、実際の仕事とかなり近い所であり、理解できた。ただ、どう活用していくかという点と難しいのでより考えないといけない。
- ・ 多くの国の事業があることがわかった。地域おこし協力隊は本市でも活用しており、積極的に国庫事業を利用していきたい。
- ・ 業務を行う中で、まずは現状を理解し、制度や事例を知っておくことで、幅が広がる・形にできることを再認識しました。
- ・ 制度、政策等が理解できた。「人材力」の大切さを感じました。
- ・ 初めて「関係人口」という言葉を聞きました。いかに関係人口に目を向け、地域に取り込むことができるか、宮崎市でも取り組んでいきたいです。
- ・ 人口減少や高齢化が、地方だけではなく国の税収にも繋がり、地域の活性化高齢者の健康が今後の日本の鍵なのだと感じた。
- ・ 国の進める人口減少対策や高齢化、地域力の創造の内容が非常にわかりやすかった。あとは、自

治体がどう有効に活用するのかであると思う。

- ・ 地域力創造グループの名前は知っていたが、組織の内容が不明だったので今回理解でき良かった。帰庁したあと、学んだ政策について各担当に割り振り、協力しながら活用を検討したいと思う。
- ・ 重要なのは人財であることから自らも含め、人を育てることに力を注ごうと思った。
- ・ 日本の人口減少と高齢化について、改めて認識することができた。地方創生カレッジを活用していきたい。
- ・ 国として地域づくりに関する取組の概要を改めて知ることができ、理解を深めることができた。
- ・ 現在、総務省がどのような事業に力を入れ、またこれから力を入れていこうとしているのかを知る良い機会となった。
- ・ 総務省の政策では地方への人の流れを作ることの大切さが分かった。ただ、東京一極集中であるため自治体としてどう改善していくか考えて行く。
- ・ いろいろな地域資源があるが、地域力を向上させていくためには、それらの間を埋め循環させ流れをつくっていくことが必要と感じた。とくにそれをなせる人材育成が必要。
- ・ 地域力創造グループが展開する幅広い施策をお聴き出来た。地域の課題を常に把握し、それに応じたメニューを活用する必要があると感じた。
- ・ 地域づくりにかかる国や各地方の取組が網羅的に整理されていて、参考になりました。

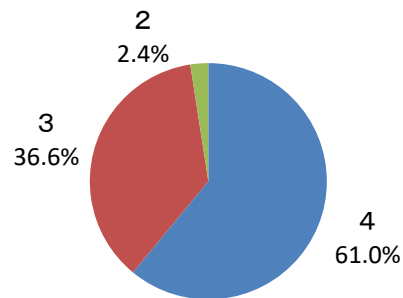
◎活用度 2

- ・ 体系的に理解でき良かった。様々な制度の利用はケースバイケースのため、2とした。
- ・ まちづくりと言うと新しいことや奇抜なところに目を向けがちでどんどん視野が狭くなりますが、改めて全体を見て、世界の中の秋田、日本の中の秋田と見つめなおすことも大事だと思いました。
- ・ 少し難しかったが、理解・知識を深めることができた。
- ・ 30代から40代の田園回帰の考え方が高まっているとの話だったが、自分の町についてはあまり納得できる統計ではなかった。
- ・ 様々なプロジェクトが行われていることを学びました。更に地域づくりについて勉強していきます。
- ・ 地域力では「人」が一番大事だということが印象に残っています。
- ・ 国の取組、支援のパッケージがわかり、次以降の講義についての理解度も高まったと思う。
- ・ たくさんの施策の紹介、一方的な情報提供だけでなく、国と自治体職員との対話にするべきと思う。(自治体職員(現場)の状況を知る良い機会ととらえるべき。)
- ・ 都市部で使いやすいメニューは少ない。ただ知識としては必要なもの。
- ・ 総務省の事業について一定の理解はしていたが、活動できる事業の発案。
- ・ 時間が短く今後の新たな事業等についても聞きたかった。

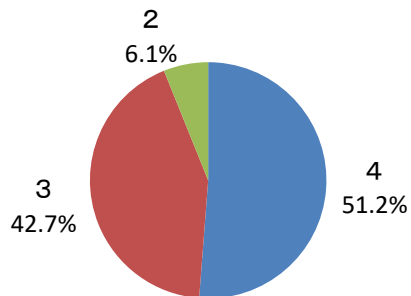
◎活用度 1

- ・ 今後の人口動態や、国の制度の説明であれば不要。現場の講師の時間に充てるべき。

| <理解度> | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 50 | 61.0% |
| | 3 | 30 | 36.6% |
| | 2 | 2 | 2.4% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 82 | 100.0% |



| <活用度> | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 42 | 51.2% |
| | 3 | 35 | 42.7% |
| | 2 | 5 | 6.1% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 地域の理想的な形であると感じたが、同時に公務員として100%同じとはいかないまでも、どうアプローチしなければいけないのかヒントを得た気がする。
- ・ 圧倒的なパワーと経験に基づいた説得力のある講義でした。明日の対話が楽しみになる内容の詰まった時間を過ごせました。
- ・ 直接対話が楽しみです。
- ・ テレビで見たことがある豊重先生のお話はとても実践的で今後役に立つことばかりでした。
- ・ 実際に体験・経験したことの話、それに基づく気づき、成功に導くためのコツ、失敗しないためのコツ、などなど、業務をすすめるうえで非常に参考となる活きた話ばかりでした。おいそがしい中、時間をいただき、講話いただきありがとうございました。
- ・ 事業等、推進していくにあたり参加者、受講者に対する心がまえを確認できた。
- ・ 人の気持ちを動かすヒントを得ました。
- ・ 豊重講師の熱いお人柄が全面に出ていて、迫力を感じた。住民の持つポテンシャルを引き出すのは、そのリーダーの情熱だとあらためて認識させられた。
- ・ 地域経営において「感動」を基礎とした手法を学べたのが良かったです。
- ・ やねだんの活動は本当にすごいと思う。教えるのではなく、引き出すという人の接し方は、どんな場面でも必要な考え方だと思った。
- ・ 人を動かすのは、「感動」であること、コーディネーターの役割を学びました。地域で生かせるよう、意識していきたいです。

- ・ コーディネーターとしての必要な能力として企画力・アドリブ力・財務力が必要だと学んだ。相手の心や発想をうまく引き出せる人になりたい。
- ・ 人を動かすためには、感動させること、そしてその人の魅力を引き出す educe が必要とよくわかった。
- ・ コーディネーター役の 3 つの力について知ることができたことは、今後の業務に必ず役立つと思いました。自然と話に引き込まれていた。
- ・ 圧倒されました。「感動があれば人は振り向く」という言葉が印象的でした。
- ・ コーディネーターとは、世話役、つなぎ役、リーダー役をそなえて、目配り、気配り、心配りを心掛けること、そしていかに地域の人財を EDUCE するかを考えることを勉強しました。
- ・ 感動で人を動かす。孫からの手紙はすばらしかったです。
- ・ 人をひきつける魅力あるお人柄が伝わってくるご講演でした。目からうろこでした。参考にさせていただきますたく思いました。
- ・ 人を動かすのに必要な視点、要素について大変感動しました。
- ・ 豊重先生の情熱と覚悟に圧倒されました。
- ・ 時間が短いために、講師が苦勞されているのではないか。研修生としてももっと時間をかけて講話をうかがいたい。
- ・ 地域再生には何も格好つけなくても良い。人の心をつかめばできる。お金をかけなくても感動を！
- ・ 講義内容が業務に直結するものであったため、非常に興味深かった。柳谷での取組事例を今後の業務にいかしていこうと思う
- ・ コーディネートすることの大切さ、難しさを知ることができた。他をまねするのではなく、自分で考え、取り組んでいきたいと深く反省させられた。
- ・ 講師の講義は二度目。相変わらず熱い情熱で地域・日本を変えようとしている。地域の人財を引き出す術を地元で実践したい。
- ・ 先生の一言一言に今まで培われた思いを感じました。いかに人を引き出して相手の気持ちを本気にさせることができるか。自分にはまだ未熟なところが多いためそのような人間力に達してませんがそのような人間力を持てるように努力します。
- ・ とにかく地域に対する思いが熱いと思います。なかなか真似はできないが参考にさせていただきます。
- ・ 地域のコーディネーターの役割と心構えが十分理解できた。仕事というよりも、住んでいる地域や子供への教育等の面でも役立てることが出来ると思った。
- ・ 熱意のある講義でとても良かった。理解度としてはあまり満足いかないが、今回学んだポイントを少しずつでも活かしたい。また、機会があれば先生の講義を受けたいと感じた。
- ・ 年齢を感じさせないエネルギッシュで行動力と記憶力（フルネーム）には心が動きました。子供から始まる地域づくり感動しました。ありがとうございました。
- ・ 自分自身が全てを抱え込むのではなく、各々の良さを引き出し、つなぐことが大切だと感じた。
- ・ 豊重さんのリーダーとしての役割など、反発していた方への対応、人に対する真心、情熱、本気で向き合う事、まちづくりのアイデアが素晴らしい。

- ・ <コーディネーター>アドリブ力（演出力）が大切なことがわかった。引き込まれる講演でした。
- ・ 豊重先生が取り組んできた、地域づくりの現在に至るまでの過程を理解することが出来た。
- ・ とても面白い講義で、あっという間の70分でした。人をひきだす能力、身につけたいです。
- ・ 有名なやねだんの話聞いてみたかったのでとても参考になった。豊重講師のような「リーダー」に誰もがなれるかという難しさはあると思うが、エッセンスを得たフォロワーをつくることならできるかもしれないと感じた。
- ・ 豊重さんからパワーと元気をもらえました!ありがとうございました!!
- ・ 現代の、これからの集落の最適解である「やねだん」を詳しく勉強でき、大変充実した講義でした。地域のコーディネーターとして行政が出来る役割を再考します。

◎活用度3

- ・ 自立財源、感動のまちづくり、大変参考になりました。リーダーは覚悟せよ…重い言葉ですね。
- ・ 熱意のある講義にとっても心を打たれました。コーディネーターのポイント等、今後のヒントがたくさんありました。
- ・ 豊重先生の熱い講義に胸を打たれました。本気になるのはカッコ悪いという風ちようもありますが、とてもカッコいいなと思いました。
- ・ まちづくり・地域づくりを進める上でのキーワード、心構えなど大変参考になった。
- ・ 情熱だけではなく、しっかりとしたしくみづくりが大切だと感じた。
- ・ リーダー（コーディネーター）に必要なものは、企画力、演出力、財力ということだったが、補助金等に頼らず財力を確保することが、いかに必要か感じさせられた。
- ・ 引きつける力、アドリブ力、また、遊び心を持って、住民の方に寄りそった対応をすれば、住民自ら、地域に貢献してくれるのだと思いました。
- ・ 地元による自立の精神を統一するのは容易なことではないと思う。
- ・ 地域づくりには子供の参加が重要であると学びました。苗半作を伝えていきたいと思います。
- ・ 直接空気感を感じることができたのは貴重な体験でした。演出への強い意識を感じた。
- ・ 地域づくりのモデルケースとして他団体へのPRを行いながら収益を得ているビジネスモデルを学ぶことができました。
- ・ EDUCE（引き出す）という言葉が印象に残り、EDUCEし、演出ができる職員になりたいと思った。
- ・ 行政に頼らない地域づくりには相当な覚悟が必要と感じた。真心、情熱なくして地域づくりはできないことを改めて感じた。
- ・ 豊重さんの熱い思いに触れ、地域を動かすのは、「人」であるということを改めて思い知りました。
- ・ とても熱意ある講義をしていただいたと思います。人財力、リーダーとしての心構えなど地域づくりだけでなく、その他多くの場面で活かしていきたいと思いました。
- ・ 人を動かす熱意を發する言葉の重みが感動へつながっているのだなと思いました。
- ・ 住民自治の部分について、地方自治に生かせる部分が多いと思った。
- ・ まちづくりにおいて非常に偉大な方なので、非常に楽しみにしていた。自分の業務スタイルに

照らし合わせて、そこまで乖離がなく、現状を続けていく方向性の確認ができた。

- ・ 講義の中で、いろいろなキーワードを聞くことができました。無関心屋をふりむかすためには、感動を与えることが重要だとわかりました。
- ・ やねだんの事例を通じて、コーディネーターのあり方、地域で何をしていくべきか、という考え方が学べた。
- ・ 情に働きかけ、地域を動かし、それが上手くいっている成功例。そしてその難しさについて理解できた。
- ・ 官民の役割、基盤づくり等々についてくわしい話を聞くことができた。
- ・ 豊重先生の熱意が一番印象に残った。地域の方の力を引き出す方法がシンプルだけど強力で、豊重先生の信頼あってこそその事例だと感じた。
- ・ 思いや重点部分はひしひしと感じましたが、自分がそれをどれだけ自分のものにできたのか・・・。
- ・ ひとりひとりが持っているストーリー、才能を引き出せるよう、地域との交流を試みたいと思います。
- ・ めくばり、気配り、心くばり、gang age、心にしっかりと受け止め、地域に出て行きたいと感じました。
- ・ 志が高いリーダーがいたからこそ、実践できていることだと感じた。ただ、補助金に頼らずここまでの地域づくりができることが分かり、これを本市においてももっと多くの人に知ってほしい。
- ・ 企画力・アドリブ力・財務力という今までに地域づくりには関係が薄いと思っていたものが実は重要なことであると感じた。
- ・ 地域づくりのコーディネーターとして引き出すことの重要性や補助金に頼らない地域づくりといったこれからの行動の参考となる話が聞けた。
- ・ 行政に頼らず集落の人を全員参加させ一体感をもって地域づくりに取り組んでいるのが感動した。
- ・ いかに相手と向き合うかが非常に重要だと感じた。その一人一人の個を大切にしていかなければ地域としての幸せにつながらない。人という資源をどう引き出していくか、それをどうつなぐことができるかが求められている。
- ・ 全国的に有名な「やねだん」の豊重さんのお話できて感動でした。20年以上地域づくりに携わってこられた方の「人の引き出し方」は、今後参考にさせていただきたい。
- ・ 地域づくりの理想の形だと感じた。豊重さんの言葉に思いをのせる伝え方や演出力も参考になりました。
- ・ 経験に裏付けられた熱くて重い言葉の数々に、圧倒される思いがしました。

◎活用度 2

- ・ 住民意識を向上していくために、誘導していくことが必要である。
- ・ 講師の熱い気持ちに心打たれました。自分でどこまで出来るかわかりませんが、行政としての熱い気持ちは忘れないようにしたいと思います。

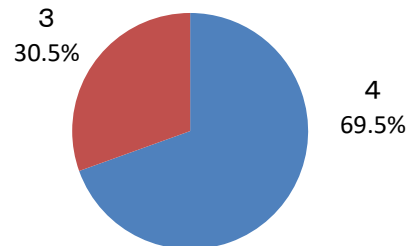
- ・ 素晴らしい講演でした。一方で、地域は「限界」になるまで取り組まないのかもとも思いました。

【講義】「地域総力戦のまちづくり～NP0による7軒の空き家再生が生み出したもの～」

NPO法人頼娃おこそ会 観光プロジェクトリーダー 加藤 潤 講師

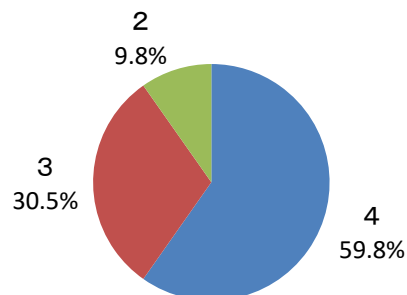
N=82

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 57 | 69.5% |
| | 3 | 25 | 30.5% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



N=82

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 49 | 59.8% |
| | 3 | 25 | 30.5% |
| | 2 | 8 | 9.8% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 公と民の連携で新しい価値を作りあげた点はすばらしい。当町でも空き家は問題になっており、町でのバンク化はしているが、状況は良くはないので参考としたい。
- ・ 観光という一つの課題から空き家、起業、地域活性へと好循環を生む取組は、成功事例として大変興味深いものであった。好循環を生む取組を参考に課題に取り組んでいきたい。
- ・ 地域おこし協力隊の活動の参考になりました。
- ・ 移住者と地域とのむすびつきや空き家再生の実践例を多く学ぶことができました。
- ・ 取り組みをはじめから生み出されるまでのスピード感がすごいと感じた。民間と行政が一体となってまちづくりを進めているすばらしい地域。
- ・ 実際に体験・経験したことの話、それに基づく気づき、成功に導くためのコツ、失敗しないためのコツ、などなど、業務をすすめるうえで非常に参考となる活きた話ばかりでした。おいそがしい中、時間をいただき、講話いただきありがとうございました。
- ・ 行政と民間の役割分担の必要性等、活かしていける内容であった。
- ・ できることから実践していこうと思いました。
- ・ 周囲に観光地があり、通過点となっていた地域で、観光資源を発掘し、手を加え可能性を引き出せる発想力は素晴らしいと思いました。
- ・ ソフトとハードの住み分けによる協働、やってみて少しずつ進んでみる事が重要との気づきがありました。
- ・ 業務で空き家にも関わっているので、とても参考になった。

- ・ 加藤さんたちが遊びごころをもって企画されたものを行政が支えていてとても良い関係が築かれていますと思いました。
- ・ 地元空き家が約 780 件あり、空き家を生かした取り組みを行いたいと感じることができた。
- ・ 行政が身近な存在であることが良い流れをつくっていくきっかけになることを感じました。
- ・ 地域と行政の連携が上手くいっている事例が非常に参考になりました。
- ・ 空き家活用を行う上で、NPO 法人が宅建法上の問題をどうクリアするか明確であった。
- ・ 民間、行政のそれぞれが役割をはたすことの大切さを学びました。ありがとうございました。
- ・ 本町における鳴り石の浜プロジェクトの取り組みに通じるものがあり、理解をふかめられた。
- ・ 観光資源が少ない町でも、できるところから発掘していくことの大切さを学ぶことができました。おもしろくて斬新なアイデアも考えていきたいです。
- ・ NPO などの民間・各種組織と行政の理想的な関係性、キョリ感が事例を基にとてもよく分かりました。
- ・ NPO、行政、プレイヤーのそれぞれの役割がかみ合ったすばらしい取組であった。
- ・ まちづくりの継続についてヒントをいただきました。
- ・ 鹿児島県の雰囲気になせる技なのか、近くでこのような事例があるのはうらやましい。
- ・ 産官学連携が自然な流れでできていると感じた。移住者に対するケアというより、移住者と地域民をつなぐ仕組みがうまく機能している。ぜひ自分の地域でも取り組みたいと感じた。
- ・ まわりの人との関係やつながりを大切にすれば、お金をあまりかけなくとも達成できる
- ・ 「遊び心」とも心に残りました。行政という立場からどのようなサポートができるのか、もう一度考えてみようと思いました。
- ・ 空き家の再利用が課題として、悩ましかったので、いかに若者に行き返せてもらうかを考えたいと思います。
- ・ 観光～空き家対策まで幅広い事例は参考になった。今後の活動も是非注目したい。同じ九州であるので、地域の方々と視察に行ってみたい。
- ・ 私の地域での話し合いは堅い会議がほとんどです。楽しく色んな意見をいえる環境が大切だと感じました。そのような場を提供できるよう取り組みたいと感じました。
- ・ 大変な事もたくさんあると思いますが、とにかく楽しんで地域おこしをやっていると思いました。
- ・ 観光から始まる地域づくりが分かりやすく理解できた。始まりは、観光だが、それが農業から始まってもコンセプトさえしっかりしていれば地域づくりにつながると感じました。
- ・ 地域おこし協力隊など外部の人が強くつながっており、また、行政との距離が近いと感じた。行政は、保守的になりがちだが、攻めた意見を取り入れることで、面白い地域づくりができると感じた。
- ・ 事例を学び、小さなステップから着々と実践していくことが大事だと思った。活動を通して地域の方々の笑顔をつくる結果となればベストなので、少しでも地元の参考となればと思う。
- ・ 人柄の良さとみごとな空き家再生に導いていく加藤先生のみごとなリーダーシップに感動しました。
- ・ 「まずは小さな実践から始めること」や「遊び心を大切にし、自ら楽しむこと」という言葉が印

象に残りました。

- ・ 外部人材の活用や行政のあり方について考えさせられた。楽しみながら地域づくりに励んでいる様子が伝わってきた。
- ・ おこそ会の活動は以前から興味があり、空き家再生の事例は地元の事業に参考になるところがありました。
- ・ たまたま仕事でおこそ会の取組について取材をしていたので、今回の講義でさらに知識を深めることができた。
- ・ ハードとソフト公民の融合といった話については行政にも地域の遊び心を認める度量が大事であるということを改めて痛感した。
- ・ つなぎ目のないジャンル分けして壁をつくらない。そんな活動が持続していくのではないか。楽しみながら地域とのつながりを作っていくことで応援しあえる関係づくりができるのではないかと感じた。
- ・ 観光をきっかけに様々な効果をもたらす例として非常に興味深かった。NPO、市民の提案に行政が応えて行くことが必要なのだと感じた。また、空き家の可能性を感じられる話だったと思う。
- ・ 空き家再生までのプロセス、人の関わりに感動しました。
- ・ 行政と連携し、公園を観光地にしたり空き家を再生したりする手法が見事だった。遊び心を受け止め、NPOや住民と協働できる行政職員になりたいと感じた。
- ・ 行政と民間の役割分担のコツや考え方について学ぶことができました。
- ・ 行政と民間の役割分担ができ、ハードソフト面で整備ができた好例を学べました。「遊び心」を忘れずにまちづくりに関わりたいと思います。
- ・ 軽妙な語り口でありながら、示唆に富む内容ばかりだったので、大変勉強になりました。

◎活用度 3

- ・ 根底にある信頼関係や良好な関係づくり、この部分がとても大切なんだと感じました。
- ・ まちづくりには、運も大事だと感じました。人との出会いなどタイミングがうまく重なっていくことでまちづくりが進んで行くこともあるのだと思いました。
- ・ 行政との連携とそのやり方について大変参考になった。
- ・ 空き家というどの自治体もかかえている問題に対して、どう活かしていくかという観点で、NPOという行政以外が入るといのが参考になった。
- ・ 軽妙なトークと、時折見られる苦労した点のバランスが、とても良く、何か自分でもやってみるかという気持ちにさせてもらった。
- ・ ソフト事業（民間）とハード事業（官）の歯車が合致して、成功した典型を感じた。
- ・ 移住者の方々での活動は魅力的だった。旧住民と新住民をつなぐ仕事は行政マンとしてサポートしたいと思った。
- ・ 行政支援の立場や役割を明確にする必要性やゼロから 1 を生み出す難しさを勉強することができました。
- ・ NPO や地域おこし協力隊の方々の若いエネルギーをつよく感じた。
- ・ 行政目線ではなく、NPO 目線での行政の活動の仕方や、あり方を知ることが出来、とても勉強にな

りました。

- ・ 行政と移住者をつなぐ活動をされていた講師のお話は行政に携わる私にとってとても参考になりました。遊び心を持ちつつ、地域の事をくみ取れるように務めたい。
- ・ 取り組みを知り、地域愛がとても溢れる内容でした。一緒に取り組んでいた行政の人たちの遊び心を参考にしたい。
- ・ 空き家（バンク）＝まちづくりの仕組みについて、大きなヒントをいただいた。地元の学生を巻き込む手法について、講師の事例を基に、自分なりに検討していきたい。
- ・ NPO 法人による空き家活用は大変勉強になった。空き家問題はどの地方都市にも共通だと思うので生かしたい。
- ・ 市ではできない部分を、上手く NPO として地域づくり活動を展開していると思いました。空き家の活用は新しい地域の居場所をつくって感動しました。
- ・ 最高のストーリーだった。都市型におきかえる方法を考えたい。
- ・ 地域の活力について住民主体のまきこみ→自発的な流れを知ることができた。
- ・ 外部の人（移住者）視点で地域が活性化する事例が参考になった。地域の活性化に積極的に取り組む方に対する行政の対応が重要だと感じた。
- ・ 以前鹿児島に住んでいる時期があったが、颯娃町のことを聞いたことがなかった。加藤先生がここまで地域づくりされたのがとてもすごい。
- ・ 地域おこし協力隊との融合がすばらしく、参考にしたいなと思いました。
- ・ 全国で問題となっている空き家を活用した地域おこしが非常に参考になった。
- ・ 講義の進め方がとても良かった。遊び心の発想など、颯娃の取組が面白かった。
- ・ 行政は後追いで支援するのが多かったが、行政を動かすパワーは感じた。

◎活用度 2

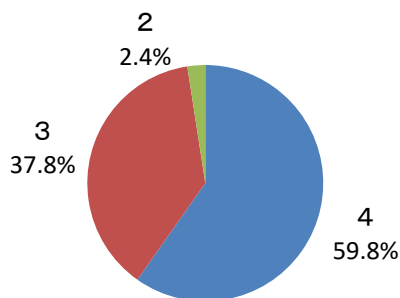
- ・ 住民・市民による活動と、行政からの支援のあり方や、近隣住民への気づかいなど、参考になりました。
- ・ 人財力が大事で行政まかせにしない人たちの存在を探していきたい。
- ・ 民間と行政が密接に関わることで、相乗効果が生まれることを学びました。
- ・ 遊び心の大切さ、わかってはいたが実践できていない自分をもどかしく思う。
- ・ 理想的な協働だと思いました。もともとのポテンシャルも高い立地だからこそだと思いました。
- ・ 民間、NPO 法人、行政のそれぞれの役割をうまく連携した事例であった。だれかにやってもらう、ではなく、それぞれの役割を全うする必要性を改めて感じた。

【講義】「地域づくりのマネジメント—つながりをつくり創発を生む仕組みづくり—」

慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐） 飯盛 義徳 講師

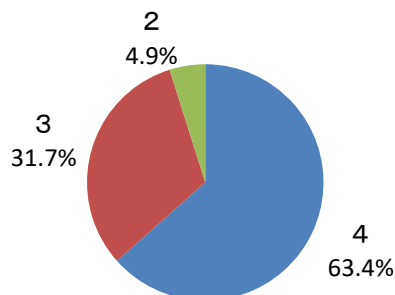
N=82

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 49 | 59.8% |
| | 3 | 31 | 37.8% |
| | 2 | 2 | 2.4% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



N=82

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 52 | 63.4% |
| | 3 | 26 | 31.7% |
| | 2 | 4 | 4.9% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 行政のあり方を明確に教えていただき、本当にその通りだなと思いました。今後はプラットフォームの考え方を業務に生かしていきたい。
- ・ 境界という概念が新しい気づきだった。医療に関することは今回の研修ではないと思っていたがここでつながってきたのは予想外。
- ・ プラットフォーム作りにおいて大切な事、行政の役割等、解り易い内容であった。また、発想の転換により、アプローチを変えていく手法についても、よい刺激となった。
- ・ プラットフォームについてより詳しく知りたいと思った。
- ・ 「地域資源の再認識」と若者の意識の変化について学びました。
- ・ 行政の役割やまちづくりにおける関係性、仕組みづくりなど実践に生かせる内容でした。
- ・ 実際に体験・経験したことの話、それに基づく気づき、成功に導くためのコツ、失敗しないためのコツ、などなど、業務をすすめるうえで非常に参考となる活きた話ばかりでした。おいそがしい中、時間をいただき、講話いただきありがとうございました。
- ・ 今、行っている事業で、不足しているところや、取り込んでいけることを気づかされた。
- ・ プラットフォーム作りの大切さをあらためて教えていただいた。パワーポイントもとても見やすく、すんなり知識が頭に入ってきました。
- ・ 地域づくりのためのプラットフォーム、なんとなくイメージはあったが、先生の説明により、理論的に理解することができた。今後は、域学連携にも力を入れたい。
- ・ 強いつながりとゆるいつながりを大切にすることやうまくマネジメントを行なう方法を学べまし

た。

- ・ プラットフォームづくりは改めて勉強したいと思いました。
- ・ プラットフォーム作りが必要で、行政が出来ること、やらなくてはいけないことという意識が出来た。
- ・ どの自治体でも人材不足が叫ばれている中、先生のお話で地域づくりに興味のある学生は増えているとあり、地域にいない場合には外部からまねくことも考えたいです。
- ・ 強い関係性だけでなく弱い関係性を取り込むことで新しい発見につながることに、プラットフォームの重要性、境界域など様々なポイントを学べた。
- ・ 地域づくりにおいていかに人・モノ・資源を呼び込むか、理論だてて教えていただいた。今後はこれを活かしていきたい。
- ・ 関係人口、プラットホームの考えを学ばせていただきました。
- ・ 実践をつませることを通じて地域への思いを大きくさせるという言葉が印象的でした。
- ・ 強い関係性と弱い関係性を持ったプラットフォームづくりが地域づくり活動の原点ということ学びました。
- ・ 理論の話が多かったのが都市型で一番実践できそうな話だった。ご著書などでもう少し研究を深めたいと思います。プラットホームの概念がむずかしい。もう少し勉強したい。
- ・ 地域資源の再認識について、強く印象に残りました。本市には何もないと思っている市民の方は多いと思いますので…。
- ・ プラットフォームというみえる化を図ることで、なんとなくという概念が明確にできよかった。
- ・ 講義の中で「プラットホーム」という言葉がたくさんでてきました。行政は主役ではなく、場づくりを行うことの大切さがわかりました。
- ・ 地域づくりに関心を持つ若者が多くなってきている現状、域学連携の可能性について気付き、学ぶことができました。
- ・ 居場所づくり、プラットホームづくりの重要性について理解できました。
- ・ まちづくりのプラットフォームをつくるうえでのポイントを教えていただきました。
- ・ 場所づくりの大切さを学ぶことができた。
- ・ 区切りが高すぎる部分の話が印象に残っている。本町でも地元民と移住者で壁がある。その部分でも緩衝地帯なるものを設けてうまく対応していきたい。
- ・ 「地域のプラットフォーム」がこれからのまちづくりのキーワードになると感じた。また、「何か実践をすることで地域への思いを生むことができる」というのを事例を通じて改めて理解できた。
- ・ 地域づくりのプロセスについて良くわかった。実際例をもと勉強して自分もできるようになりたい。
- ・ 普段なんとなく必要性を感じていた場、関係のようなものが、プラットフォームとして形になっていて、すぐに考え方に取り入れようと思いました。
- ・ 住民にまちづくりへ意識を持ってもらうために、住民にも事業の一端を担ってもらうことが大事なのだと感じました。
- ・ 昨日は地域での実践事例であったが、本講義はその活動を支えるための仕組みを理論的に教え

てくれたものになった。行政が出来ることを参考にしたい。

- ・ 地域づくりに興味をもっている学生がこんなにも沢山いることに驚きました。地位いの人々の関係性をうまくつくりながら効果的なプラットフォームを構築できるよう取り組みたいです。
- ・ 地域づくりの活動は、次々と新しい自発的な活動が生まれること。というフレーズが印象的で、加藤講師とつながるものがあると感じた。目的は何でも何かを一緒にやることで、地域への思いが生まれるのだと感じた。
- ・ これまで地域に思い入れがないから、地域づくりへの非協力的なのだという考え方をしてしまっていたが、体験等通し、思い入れがめばえるという考え方もできるのだと思った。
- ・ 行政の役割について、プラットフォームの形成という視点から仕組みづくりの流れを学ぶことができた。特に良い塩梅の境界設計については非常に分かり易く為になった。
- ・ 地域づくりの主体は住民であり、若者を巻き込む事の大事さを学びました。
- ・ とても分かり易かった。一步を踏み出す勇気、強い関係性と弱い関係性の融合を意識していきたいと思った。
- ・ 地域づくりに関する様々な事例を知ることができた。またプラットフォームの考え方も大変興味深かった。
- ・ 何かをやって地域づくりは終わりではなく、次々と新しい自発的な活動が生まれることが大切と勉強になりました。
- ・ 内容や話し方がとてもわかりやすく聞くことができた。今後の実践にもぜひ生かしていきたい。
- ・ 学生との連携を通じ、外部の意見を取り入れ、新しい創発が生まれて行くという話は非常に興味があった。
- ・ これまでに見に行った芝の家・坂倉千世や西村さんの話といろいろつながった。自分でできること、仲間とできること。境界の考えによるプラットフォーム設計はもっと学びたい。
- ・ プラットフォームに関心があるため、とても有意義な話だと思った。強いつながりと弱いつながりの両方が必要、という話がとても印象的だった。
- ・ プラットフォーム設計が大事であり、団体や事業、なんでもこの考えを大切にしようと思いました。
- ・ 地域づくりを進めるためにプラットフォームをつくること、資源を持ち寄ることが大切という話が印象的だった。先生の著書等で事例を学ぶところから始めたい。
- ・ プラットフォームの話が参考になった。創発を生む場づくりのために必要な要素が話のなかにちりばめられており、とても勉強になりました。
- ・ つながりの整理が印象に残りました。強いつながりが地域の営みを支える一方で、弱いつながりが新しいアイデアを生み出す為に必要と言う事が驚きでした。
- ・ プラットフォームという概念について、良く理解できました。これならいろいろ応用できそうです。

◎活用度 3

- ・ 経営学と現場とのすり合わせから出てくる実態に即した理論が参考になりました。
- ・ 話しが明解でとても分かりやすかったです。理論的な話の方が理解しやすいのは、公務員の良

いところなのか否か…。一番話しが分かりやすかったです。

- ・ 小学生のうちから実践していることで、人まかせにしない人財の育成ができていると感じた。
- ・ 土台づくりの大切さを学びました。
- ・ 地域づくりで行政に必要となるのは、様々な資源を持ちよることできるプラットフォームを作り、つながりの場を作ることでであると気づかされました。
- ・ 基盤となる仕組みづくりなど基礎を勉強できました。
- ・ 若い人が地域づくりに関心を持っている人が多いことに驚きました。そういった若者を取り込み、関係人口にして人の流れを作ったり、地元を持ち帰って町づくりに活かしてもらえよう、行政として努力していきたいです。
- ・ プラットホーム設計によるつながっていく基盤がまちづくりの根本と感じた。
- ・ 小学生の頃から、自分で考えて行動する力を養うことが、将来につながることを学びました。
- ・ 論理的な話の中にも人間味のある話で、机上の話だけでなく、実体験に基づいた理論であると思いました。
- ・ 効果的なプラットフォームづくりは行政に必要であると思いました。
- ・ 大学教授であり、フィールドワークも大切にされている点が非常に印象に残った。学問的なことも勉強していきたいと感じた。
- ・ 大学生のまちづくりの関心の高さに驚きました。また同じ市内の大学に、これほどまちづくりに力を入れている先生がいることにも驚き、市としてもより力を入れるべきと感じました。
- ・ 行政が作ったものを与えるのではなく、あえて市民に作らせることにより、責任感や愛着が生まれ、利用促進につながるがよくわかった。
- ・ 地域づくりに関心のある若い世代が多いことに驚きました。若い世代を巻き込むことは難しいと思うが、講義を受けて、ヒントをいただくことができました。
- ・ プラットフォームづくりについて弱い立場での関係性というのが目新しい情報であった。
- ・ 地域づくりに関心ある層をどうとり込むか非常に参考になった。
- ・ 資源の持ち寄りによる活性化や、そのためのプラットフォームづくり等、参考になった。地域に関心のある人を見つけるより、まずは実戦だと感じた。
- ・ 強いつながりと弱いつながりがあり、どちらも大切であるとわかった。強いつながりを優先させがちであるので、弱いつながりを今後は広げていこうと思う。
- ・ 前日の内容をより理解出来る内容でわかりやすかったです。
- ・ 地域づくりとは効果的なプラットフォーム設計である。したがって敷居を低くして取り組む必要があると感じた。
- ・ 交流の中から面白いことが生まれる仕組みづくりについて、とても参考になりました。
- ・ プラットフォームを設計して取り組む大切さがわかった。強い関係性と弱い関係性の両方が大切であると改めて感じた。

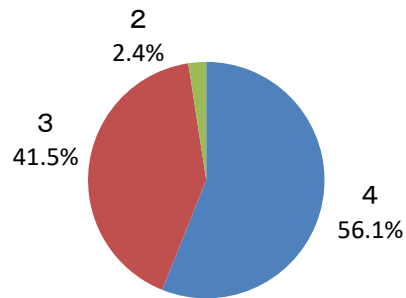
◎活用度 2

- ・ お話される視点がとても新鮮で、楽しく聞かせていただきました。プラットフォームの考え方、人と人をつなげることを勉強になりました。

- ・ 地域への思いがあるから、実践するのではなく、実践を通して地域愛を深めるという流れには、自身に置き換える。その通りだと思った。
- ・ 内容的に少し、難しかったような気がしました。自分のものにすることができなかった様な気がしました。

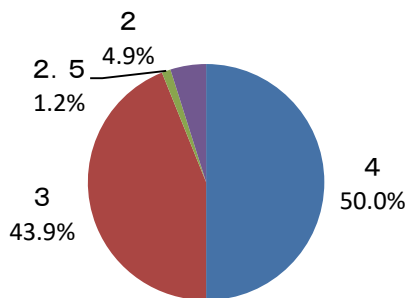
N=82

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 46 | 56.1% |
| | 3 | 34 | 41.5% |
| | 2 | 2 | 2.4% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



N=82

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 41 | 50.0% |
| | 3 | 36 | 43.9% |
| | 2.5 | 1 | 1.2% |
| | 2 | 4 | 4.9% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 継続的な活動もちろん必要だが、行政として行える地盤の部分の重要性を理解した。
- ・ ご苦勞の経験からくる説得力と、場というキーワードにより全てのつながりを表現する等で、それぞれの役割に大切な事がある事についてと、人は育つ事を学べ良かった。
- ・ 「経営を持続可能にする多様性」、「ヒト・モノ・カネ・情報」が資源だと学びました。
- ・ 「人材はそうかんたんに見つからない」という言葉が印象に残りました。地域づくりにかけてきた熱い想いが伝わりました。
- ・ 実際に体験・経験したことの話、それに基づく気づき、成功に導くためのコツ、失敗しないためのコツ、などなど、業務をすすめるうえで非常に参考となる活きた話ばかりでした。おいそがしい中、時間をいただき、講話いただきありがとうございました。
- ・ 地域のことは、地域の人々が主役、役割を明確にして、自分の地域の将来を見据えていかなければならない。
- ・ 経営の4資源について、改めて認識させられました。
- ・ 行政の役割として忘れがちな地盤作りについてわかりやすく学ぶ事ができました。
- ・ 行政がしっかりと岩盤となって、さまざまな活動の場を提供する役、黒子になる、ということを経営の立場と市民の立場の両面で考えてみたい。
- ・ 地域活動の中心で活動されている NPO の皆さんが、自分たちは地域の世話係、黒子、主役は住民とおっしゃっているのが印象に残りました。
- ・ 人材育成、後継者育成に特化しお話しいただいたと思います。行政はあくまで黒子でありつつ、強固であることが大事だと改めて考えました。

- ・ 人が幸せそうな顔をしているところを見ているのが最高の自己満足という言葉に、気持ちの熱さとすごさを感じました。
- ・ プラットホーム＝岩盤と表土であること。ヒト・モノ・カネ・情報が持続させること、多様な人からアイデアがでてくることを学んだ。
- ・ 場の提供の大切さを認識できました。
- ・ 富永さんのような人のために役所が何ができるか。ちゃんと向きあっているつもりですが、カウンターパートとして頼られる存在でありたいと思います。
- ・ それぞれの役割をうまくいかし、大きな組織を運営されていた手腕に感激しました。
- ・ 行政の岩盤、NPO などのまちづくり団体等の土壌といった概念が、目からうろこでした。
- ・ 地域づくりの主役は誰か、そこに住む人々であり、行政は土台となる部分を作るという、各々の役割についてよく分かりました。
- ・ プラットフォームの設計図を参考とさせていただきます。
- ・ 「子どもたちがふるさとだと感じるまちにしたい」という言葉が印象的だった。行政はあくまでも土台として支えるに徹し、主役は地域住民であるということを強く話され、地域づくりの中心には地域住民の存在があることがよくわかった。
- ・ プラットフォームが重要であるという話がとてもよかった。行政は岩盤であり、NPO は表土であり、その上に住民がいると理解した。ど真ん中ストレートで住民と向き合っていきたい。
- ・ 自治体に限らず、自分たちの住んでいる地域で地域活性化に取り組み、お金を稼いでいる所は人間もまた強いことを感じました。
- ・ 富永先生が今まで取り組んできた内容が痛いほど伝わってきました。行政として地域の方が活躍できる場を提供し、サポートしていけるように頑張りたいです。
- ・ NPO 法人としての誇りを持って、後世のことも考えて活動していることが素晴らしいと思った。場を与える事が人を成長させるということが印象的。自分の今までの言動を改める必要があると思った。
- ・ 地域の主役は地域住民であり、行政は黒子として地域のお世話係に徹する必要性を知った。地域の強いつながりだけでなく、弱いつながりも大切だと分かった。
- ・ NPO 法人の立場から、行政がどうあれば地域にとって最適なのか、学ぶことができた。地域づくりのために NPO 等の団体や何かしたい住民のための良い岩盤となりたい。
- ・ 行政を動かし、みごとな行動力と発想、新しい後継者づくり。弱者も入れたみごとな公園経営に感動しました。感極まる部分等人柄の良さも感じました。
- ・ ふるさとをつくりたいという思いで始められた NPO フェージョン長池の取組を知ることができた。これからも注目していきたい。
- ・ フェージョン長池の活動をより詳しく、創業者の富永先生から聞いてよかったです。
- ・ 自分がやりたいことではなく、住民がやりたいことをやれる場づくりということが大切であることがとても印象に残った。
- ・ 大きな仕組みとしてのまちづくりの設計と一人一人との関わりかた、学ぶことができる場づくりが必要と感じた。特に、今これから実践していく人が主体として、主役としてできる場の提供をしなれば。

- ・ 黒子になるという言葉が印象的でした。行政の人間も黒子を意識して何事もするべきだと思いました。
- ・ 住民が使いたいように使える公園づくりをするために、徹底的に黒子にこだわっているという姿勢は、行政も見習うべきだと感じた。
- ・ 地域づくりの熱量が伝わる講演で、行政の立場と、黒子に徹する姿勢の大切さを感じました。
- ・ 行政は岩盤、指定管理者が表土、公園利用者がお花畑、お金を落とす人が雨、情報を持ってきてくれる人が風、マスコミ等が太陽という考え方を派遣元で応用したいです。
- ・ 表土と岩盤という例えはとても分かり易く、指定管理者や自治体の役割がよく分かりました。

◎活用度 3

- ・ 場の提供を理論・経験の上で話して頂き、参考になった。人間学・リーダー論、ありがとうございました。
- ・ わかりやすい内容でした。先生の熱意が伝わりました。
- ・ 住民とのかかわりをより詳しく知りたいと思った。
- ・ ”話す力”はとても大事だと感じました。ご本人が例え話しが得意だとおっしゃっていましたが、相手に分かりやすく伝える力は圧巻でした。
- ・ いかにして場を提供ができるかが鍵となっている。
- ・ プラットフォームづくりの大切さを学ぶことができました。
- ・ ボランティアではなく、遊び感覚で楽しむことが、地域づくりの活動が長くつづく秘訣なんだと思いました。
- ・ 次の世代に引き継ぐことの大切さを学ばせていただいた。行政との交渉等、行政側の人間として、色々と考えさせられる点もありました。
- ・ あくまで地域づくりの主体は近隣住民であるものの、しっかりとした基盤は行政が担う。
- ・ 利用者の意見を聞く、マーケティングが行政は不足していると聞き、その通りだと感じました。アンケート調査等の大切さを感じました。
- ・ 行政の立場・考え方についてモヤモヤしている部分が、先生の説明を聞いて、自分の中で「ハッキリ」した。裏方に徹する大切さ、自分の中で忘れないようにしたい。
- ・ 子世代への引き継ぎという考え方、やり方は驚きだった。
- ・ NPO を継続的に活動していく難しさや、後継者問題など企業にもあてはまるような問題だと感じました。
- ・ 市民がやりたいことをやれる場をつくることができるといいと思いました。
- ・ 八王子市に対し、石頭！と思いながらもプラットホーム理論ではその強固な岩も必要だという話となり行政とNPOで信頼関係を築くことが大切だと感じた。
- ・ プラットフォームを具体的に示して頂いたこと、経営の四資源の重要性、そして行政を動かす熱意を学べた。
- ・ 一人の人財をさがすため、10年以上待つという言葉が心に残っています。それだけの情熱を持たなければならないと感じました。
- ・ 行政は土台、その上を支えるのが民間であるので、役割をしっかり意識したい。

- ・ プラットホームの図がとても分かりやすかった。TTP（徹底的にパクレ）ということで、自分の業務、考え方の参考にしたい。強い思いをもって、とりくんでいきたい。
- ・ 指定管理者として、住民を主役にした活動が幅広いと思った。行政側として、場を整えるということ意識したい。
- ・ NPO として様々な公園管理を展開しており、プラットフォームの上での地域資源を活かした活動が素晴らしいと思いました。
- ・ 指定管理者制度についてももう少し深く掘ってほしかった。
- ・ 後継者を探し出すことの難しさを感じました。リーダー不足が深刻な問題ですので、しっかりと考えていかなければならないと思いました。
- ・ 組織をつくれ、現在に至るまでの苦労等聞かせていただきました。次につなごうとされる姿勢に共感しました。
- ・ 豊重講師と同じく各所の役割について学ぶことができた。
- ・ 情熱を覚悟がないと目的は達せられない。自分を犠牲にしてもがんばる人がどれくらいいるだろうか？
- ・ 「後継者を見つけるのに10年かかった」という言葉にハッとさせられました。
- ・ 法人立ち上げの苦労話など大いに参考となりました。地域づくりの設計を学ぶことができました。
- ・ うまく後継者に渡す事例を教えていただいたように思う。小さなピークをつなげていきたい。
- ・ 地域づくりで生活が成り立つという理想的な事例、参考にした事が満載でした。
- ・ 後継者探しに10年かかったとのお話に富永講師の熱い思いが伝わりました。
- ・ 行政やNPO 法人が強固な関係を築き、住民の方々への場の提供の重要性について学べました。
- ・ 地域を考えるのは地域に住んでいる人であり、主体を間違えることがないようにしなくてはならない。地域の人を主体にしてヒト・モノ・カネ情報をどのように組み合わせればよいか考えたい。
- ・ ふるさとを作るという強い信念のもと取り組まれているのが参考になった。
- ・ 「公園の管理」に抱いていたイメージとは全く異なる事業内容に驚いた。公園、公共空間の可能性をもっと学んでみたい。

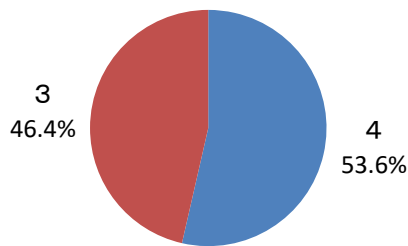
◎活用度2

- ・ 地域づくりをする上で行政に必要なのは、地域資源を活用する地盤づくりにあると知り、場を提供することで人は育つのだとわかった。
- ・ 民間・NPO 等、地域で積極的に活動する方々と行政のベクトルが同じでなければ、地域の活性化につながらないと感じた。
- ・ 子孫のために守りたいものや残したいものを維持するための活動であることが伝わってきた。

【講師との直接対話（飯盛講師）】

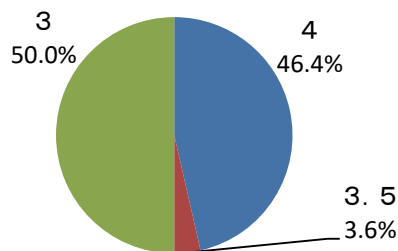
N=28

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 15 | 53.6% |
| | 3 | 13 | 46.4% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 28 | 100.0% |



N=28

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 13 | 46.4% |
| | 3.5 | 1 | 3.6% |
| | 3 | 14 | 50.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 28 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 大学生たちが自分で考え、自分で答えを導き出していくプロセスがすばらしいと感じた。相手に教えること、伝えることが一番の勉強。
- ・ 地域運営組織や居場所の話題の時間が少なくなり残念でした。
- ・ 沢山の取り組みや事例を聞いたので、とても勉強になりました。
- ・ 地域づくりのためのプラットフォーム、なんとなくイメージはあったが、先生の説明により、理論的に理解することができた。今後は、域学連携にも力を入れたい。
- ・ 大学生との連携についてのお話が大変参考になりました。
- ・ 講義4の内容がふかぼりできた。対話があまりなく残念。
- ・ まちづくりと教育との関係を教えていただきました。
- ・ 午前中に引き続き、さらに詳しく事例紹介などをしていただいた。先生の話はもちろん、他の塾生の課題となっていることや、業務の内容について聴くことができ有意義だった。
- ・ 以前、講義をお聞したときよりスムーズに内容が入ってくる自分に気づくことが出来た。
- ・ 大学生との連携をはじめとして、自分も見習いたい地域でのかかわり方が大変参考になりました。
- ・ AMの講義に続いての内容で、居場所づくり、広場の有効活用について事例を基によく分かりました。
- ・ 関係人口や教育機関との連携が印象に残りました。
- ・ 大学との連携の効果について教えていただき、自分の地元でも実践してみたいと思いました。

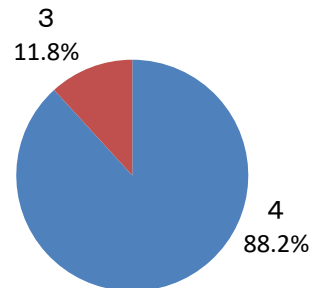
◎活用度 3

- ・ 地域のことを学ばせ、戻ってくるよう興味を持たせるのは高校生までと聞き、今の高校生に興味を持たせるためにどいう部分が興味深かった。
- ・ 大学との連携に加えてキャリア教育について学べて良かった。
- ・ 域学連携の大切さについて学ぶことができた。
- ・ 居場所づくりの話をもっと聞きたかった。地域が主体となってどのように動けるか。住民が主体となりながら学びあっていける場づくり。プラットフォーム設計ができるようつながりを作っていきたい。
- ・ 多くの事例を紹介していただけてよかった。自己紹介（受講生）で40分近くかかったので、もったいなち感じた。
- ・ 域学連携の話を中心にしていただき事例も交えた説明で非常にわかりやすかったです。居場所づくりや欧州の事例も詳しく聞きたかったです。
- ・ 貴重なお話をきかせていただきました。
- ・ 地域と学生の関係の中で、お互いの相乗効果も生まれているように感じる。
- ・ 具体的な取組について分かりやすく、理解できた。
- ・ 学生を取り込んだ関係人口の増加など様々な事例を学べた。
- ・ 大学生と地域の方の取り組みを通じて、自ら考えて活動する力が身につくことが分かりました（大学生・住民）。
- ・ 学との連携について課題点をクリアにすることができた。
- ・ 地域から出て行く若者が多くいるが、地方創生や地域振興に興味をもっている若者も多く、そういう若者と地域の人達が一緒に創発できる場をつくっていけるようにしていけたら良い方向に向かっていけるのではないかと感じた。

【講師との直接対話（富永講師）】

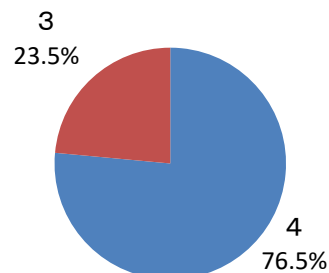
N=17

| <理解度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 15 | 88.2% |
| | 3 | 2 | 11.8% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 17 | 100.0% |



N=17

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 13 | 76.5% |
| | 3 | 4 | 23.5% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 17 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ ものごとを進める上で、周りの意見をしっかりと聞いてニーズを把握することが大切だと改めて感じた。マーケティングの勉強をしたいと思った。
- ・ 住民に、いかに楽しんでまちづくりをやって頂くか、ということを知り、自分の考え方や見方が全く違うことに気付かされました。
- ・ 事前質問に対する答えが明確で、今後に大いに活かせると思った。
- ・ 活動に集まってくれている人がベストということ、自慢できるのは「ヒト」であることと楽しく対話できました。
- ・ 若手の担い手の育成や世代継承のノウハウについて対話を通じて知ることができ、人材不足や高齢化の課題に対する解決策のヒントをいただいた。
- ・ 派遣元で課題となっている空き家創業支援へのアドバイスを頂け、大変ありがたかったです。
- ・ 私を含め、受講者の個別の事案に対して、丁寧かつ具体的に答えていただき、勉強になりました。
- ・ どの質問にも真摯に受け答えする姿勢に感銘を受けました。また、その回答も多くの視点からのアドバイスが含まれており、新たな気づきを頂きました。また、次世代への熱い思いをお聞きできて良かったです。
- ・ 対話は講師の 100 本ノックだとおっしゃっていましたが、本当に全ての受講者の質問に答えられていてすごいなと思いました。知識量が素晴らしいと思いました。
- ・ 行政の立場・考え方についてモヤモヤしている部分が、先生の説明を聞いて、自分の中で「ハッキリ」した。裏方に徹する大切さ、自分の中で忘れないようにしたい。

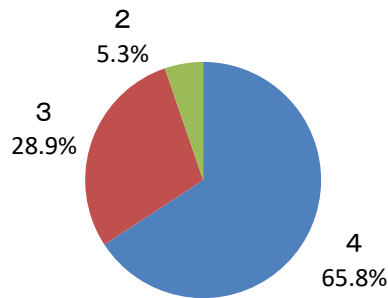
- ・ 地域の古くからすんでいる先輩など歴史、新しい者などへの対応の視点など参考になった。
- ・ 「100年先を構想してまちづくりを行う」という言葉が印象に残った。自分というこだわりを捨て、どれだけ地域に尽くせるか、でもやっている方はポジティブに楽しく行うということを理解できた。
- ・ これからの自治体は選ばれる自治体かそうでないかに分かれる。選ばなければ消えるしかないんだとの言葉が印象的だった（夕食時）。行政マンとして住民の役に立っているのかというスタンスで仕事をしていかなければと感じた。

◎活用度 3

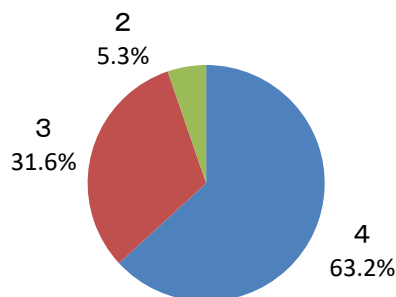
- ・ 事業の改革には、大きな変革が必要なことを学びました。自分にできるかわかりませんが、何かアイデアを考えてみたいと思います。
- ・ 質問に丁寧に答えていただけてありがたかった。人材の確保や育成について、もう少し話を聞いてみたい。
- ・ 破壊力的パワーがなければ NPO の立ち上げや現在の運営、立場をつくり上げることはできなかったと思いました。言葉がつまる説明を聞いて深く感じました。

【講師との直接対話（豊重講師）】

| | | N=38 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 25 | 65.8% |
| | 3 | 11 | 28.9% |
| | 2 | 2 | 5.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 38 | 100.0% |



| | | N=38 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 24 | 63.2% |
| | 3 | 12 | 31.6% |
| | 2 | 2 | 5.3% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 38 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 評価は他人が決めるので、「オーラ」を持った心と顔になる様になれと言われ、公務員としても、人間としても、1日一生懸命を忘れずに頑張りたい。その様な気持ちにさせられました。
- ・ 実際に体験・経験したことの話、それに基づく気づき、成功に導くためのコツ、失敗しないためのコツ、などなど、業務をすすめるうえで非常に参考となる活きた話ばかりでした。おいそがしい中、時間をいただき、講話いただきありがとうございました。
- ・ 名前を呼んでもらえて感動した。身をもって、人を動かすことを実感できた。一度やねだんに視察に行ってみたいと強く感じた。
- ・ 講義2で聞いた内容をより詳細に聞いて、大変勉強になりました。話しながら、目くばり、気くばりができる姿は本当にすごいと思いました。
- ・ 納得してもらうことの大切さを認識できました。
- ・ 行政に頼らない自治活動をしており、やねだんとして子ども～高齢者と多世代ぐるみの地域づくりはとても勉強になりました。
- ・ 住民自治の形づくられる過程の熱い話を聞かせていただき「心」が住民を動かすことの大切さを学ぶことができました。
- ・ 熱く語る先生の言葉にひきずりこまれ、時間の感覚すらないような感じでした。人数が多いので直接対話にはなりませんでしたが、講話のあとの話が聞けたので良かったです。
- ・ 昨日に引き続き、熱い講義を受けることができた。地域づくりは主役は住民であることを忘れずに、今後の業務に取り組みたいと思った。説得ではなく納得してもらえよう冒険したい。
- ・ 物事に対してどのような意図で取り組むのか学びました。そのためには現場に足を運びどのよ

うに演出していくのか、どうしかけるのか、私の地域でもチャレンジしていきます。

- ・ 地域住民からアンケートをとり分析し、住民に寄り添った人・地域づくり、若者が戻ってきたくなる環境づくりのアイデア、一生懸命さに感動
- ・ 初日に講義いただいた柳谷の取組や地域おこしに必要な要素、地域おこしに取り組む上での姿勢など、多くの事を学べた。
- ・ 講義に引き続きエネルギッシュなお話を伺えて良かったです。
- ・ 「人間力」という、大切さ 利他主義など、人生のヒントをいくつもありません。
- ・ 引き出す事の大切さ、教育、とくに子どもへの接し方が、大切だということを教えていただいた。再生→創生という言葉の意味も考える刺激をいただいた。
- ・ 企画力と経営力の入口に触れる事ができました。機会があればやねだんに行ってみたいと思いました。
- ・ 人を動かすためには、説得でなく、納得だ、という言葉が印象的だった。豊重先生と同じようには出来ないかもしれないが、考え方を同じにしていきたい。
- ・ コーディネーターの役割は誘導してあげる事。指示するのではなく、主役である住民に考えさせる。また軌道修正をするため、ビジョン、イメージを持つことが重要であることを学びました。
- ・ アドリブ力やプレゼンテーション力を身につけて人を引き込むような人財を目指したいと思う。
- ・ 疲れた、できない、まいったという言葉は使わない。できる方法をしっかり考えます。
- ・ 講師の熱意が感じられる対話だった。受講者が考えることを大切にしている印象で根本的な考え方を学んだ。
- ・ 「説得より納得」無理やり住民を巻き込むのではなく、やりたいと思って活動に参加させるための戦略やイメージ作りが感動的であった。
- ・ 地域のリーダーの資質を熱く語っていただきました。アイディアマンとなり、覚悟を持って取り組む事が大切だと感じました。
- ・ やねだんでの取組について、講義よりも詳しくご説明いただいたので、よく理解できました。

◎活用度 3

- ・ 住民とは説得でなく納得というフレーズが印象に残りました。
- ・ コーディネーターというのは、地域経営学者であり、地域住民を納得させる立場にあり、自己満足ではない、他己満足させる必要があるとわかった。
- ・ 1日目の講義の中では理解しきれなかった部分を改めて聞くことができ、地域づくりに関する理解を深めることができました。
- ・ 説得ではなく納得しないと人は動かないというお話が印象に残った。
- ・ まちづくりを始める際には地域の分析をすることが大事、ということが参考となった。現状を知りニーズに応えることが行政として必要だと思った。
- ・ 講義がメインになっていて、対話が少なかった。内容に関しては実践的であった。
- ・ 1つ1つの言葉がとても重たく心に響きました。あくまで「現場主義」心に響いた言葉の1つで

す。

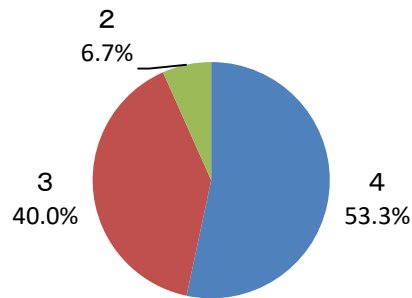
- ・ 1 日目よりも深い話を聞くことができた。地域の問題は自ら出て行き目にしないと見えてこないという話があり、私もどんどん出て行かなければならないと感じた。
- ・ 企画力・演出力の重要性、いかに子どもたちを育てるか、など大変貴重な対話でした。
- ・ お互いの自己紹介や、講話を聞き、改めて「人」と「人」との関係を重要と感じました。私自身ももう一度市民の方々1人1人と向き合うべきだと感じました。
- ・ 企画力・アドリブ力、コーディネーターとして必要な力を事例をまじえて教えていただき実感することができました。
- ・ 19日の講話をより具体的に身近な内容で一度立ち寄りしたいと思います。

◎活用度 2

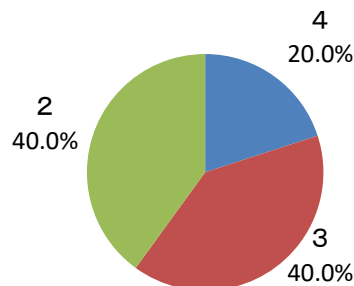
- ・ 子供の教育を通しての地域づくりという話に感心いたしました。子供を通して親の意識を変える発想がすごいと思いました。

【講師との直接対話（小澤講師）】

| | | N=15 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 8 | 53.3% |
| | 3 | 6 | 40.0% |
| | 2 | 1 | 6.7% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 15 | 100.0% |



| | | N=15 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 3 | 20.0% |
| | 3 | 6 | 40.0% |
| | 2 | 6 | 40.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 15 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 消防団に所属していることから、今後は女性団員の必要性を感じた。
- ・ 消防団を通じての地域とのつながり、自主防災の意識を高める方法について話を聞くことができ、今後の防災意識を高める活動に生かしていきたい。
- ・ 私自身も消防団に入団しているため共感出来る話も多かった。災害対応には女性の目線も必要であることを教えていただいた。

◎活用度 3

- ・ 消防団の現状から、今の時代に合った取り組みが学べた。
- ・ 消防団というある種、特別な組織について知っている人、知らない人がいるなかで、共通認識をもつことができたと思う。私も消防に所属しているが、がんばっていきたくと改めて思う。
- ・ 防災にも男女参画が必要であり、それが地域づくりにもつながっていくと感じた。
- ・ 消防団についてこれまでの歴史から各自治体における現状までを対話を通して知ることができ、今後の消防団活動にも生かしていきたい。
- ・ 消防団も基本的には自治。自分のまちをどう考え、どう守っていくか、それにどう主体で考えて行くことができるかが肝だと思う。

◎活用度 2

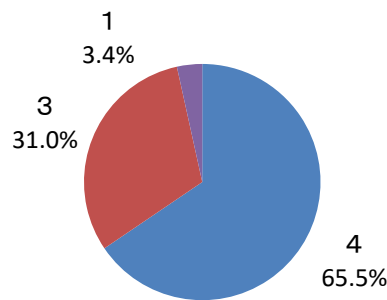
- ・ 「自分のまちは自分の手で守る」というのはまちづくりの根幹だと思いました。
- ・ 消防団として地域に貢献できることがあるということがよくわかった。体力的な不安など問題

ないのかも。

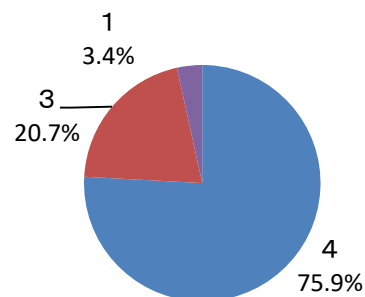
- 消防団という組織を通しての地域づくりの仕方、防災への近年の意識の高まりを感じられた。
- 「命を守るコミュニケーションのあり方」というのを考えさせられました。改めて、消防団としての活動、任務というものを再確認しました。

【講師との直接対話（玉沖講師）】

| <理解度> | | N=29 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 19 | 65.5% |
| | 3 | 9 | 31.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 1 | 3.4% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 29 | 100.0% |



| <活用度> | | N=29 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 22 | 75.9% |
| | 3 | 6 | 20.7% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 1 | 3.4% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 29 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ コンプリメントで人を動かす。ゴールまでを 5 つに分けて逆算で進める。コンプリメントで人を動かす。ゴールまでを 5 ステップに分けて逆算で進める。コンプリメントで人を動かす。ゴールまで 5 ステップに分けて逆算で進める。
- ・ 島根にゆかりのある先生でしたので、内容を理解することができました。コミュニケーションの大切さを改めて学ぶことができました。
- ・ 組織（チーム）での行動の基本、合意形成のやり方をよく理解できた。特に大きなプロジェクトを遂行するときの芯の保ち方や軌道修正の仕方など、地域づくりに限らず、チームビルディングの一部を学べた。
- ・ 人とのコミュニケーションのコツ等がよくわかった。ゴールの設定、どうなりたいのかが重要ということが再確認できた。
- ・ 悩みであった、若者を地域づくりに参加させるためのアプローチについてのお話や、目標を定めて（ゴールを定めて）プロセスを考えてスタートさせる等、今後実践していきたいと思うことを多く学べた。
- ・ 行政と民間との会議、様々な場での違い、心理学をベースとしたコミュニケーション能力の活用、私個人の悩みについても丁寧に教えていただきました。
- ・ 直接アドバイスをいただけて良かったです。
- ・ 今回教えていただいた「いち、に、さん、し、ご！」を今後の業務に活用していきたい。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ コンプリメント技法はまずは職場から実践して、できるようになりたいと思いました。

- ・ 地域づくりでもそれ以外でも組織で動くときのコミュニケーションのコツや心理学的な話がとても興味深く、実践したいと感じた。
- ・ 商品開発や販路拡大のノウハウなどの具体例について教えて頂きました。
- ・ 現在、自分の抱えている疑問点や不安点を質問形式で答えていただき、問題点を知ることができたり、成功例や失敗例もきくことができたので、とても参考になりました。
- ・ カウンセリングの手法の話し方を勉強したいと思いました。
- ・ 心理学を土台としたコミュニケーション手法など、肌感覚だけではない理論的な方法を学ぶことができました。
- ・ 一人一人課題や質問を先に述べそれに応じたアドバイス等の対処方法をクラスで議論し合った。カウンセリングを用いたテクニックは今後自身の業務に活用したい。
- ・ 出来ない事は個性だととらえて階層別アプローチが大事。女性ならではの助言で、受講者からの意見を中心に現実、実行性につなげられる内容でした。
- ・ 様々な人材を活用する上での方法や人材の発掘をする方法等参考になることが多かった。
- ・ 人材育成と商品開発の点ですごく参考・勉強になりました。
- ・ 具体的に自治体の疑問・迷いをききとり、それぞれのアプローチについてご提案くださり、内容がとても充実していました。

◎活用度 3

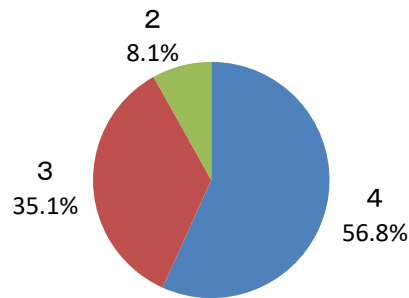
- ・ 事業はきちんとゴールを決め、始めるときのきっかけ、約束事を決めることで脱線した時の修正が効くことが勉強になりました。
- ・ 現状分析はほどほどにして、ゴールの共有をはかることが一番重要だということ。ほめることは、プラスにしかならないという新たな気づきがあった。
- ・ 人材育成は「どんな人にどんな力をつけて欲しいのか」という明確なゴールが必要である。
- ・ 今、自分たちの課でやっている取組は間違っていないと確認できました。
- ・ 物事に取り組む際、明確なゴールを定めることが大事だと学びました。施策を行う際、ゴールが決まっていないことがあるため、そういったところをつめていけたらと思います。
- ・ 人材育成の手法を学ぶことができた。参加者の悩みが似通っておりどこの自治体にも共通の課題があった。

◎活用度 1

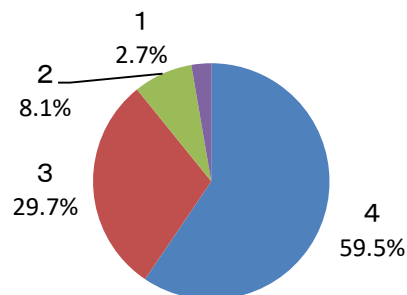
- ・ 個人の課題を広くききとって対応するのは講師の専門分野をを考慮すると厳しいと思います。

【講師との直接対話（前神講師）】

| | | N=37 | |
|--------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 21 | 56.8% |
| | 3 | 13 | 35.1% |
| | 2 | 3 | 8.1% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 37 | 100.0% |



| | | N=37 | |
|--------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 22 | 59.5% |
| | 3 | 11 | 29.7% |
| | 2 | 3 | 8.1% |
| | 1 | 1 | 2.7% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 37 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 「ゆるふわ」の大切さと「枠」にとらわれないパワーを感じました。
- ・ 行政職員でも地域づくりへの関わり方はいろんな方法があるということを学びました。バイタリティがすごいと感じました。
- ・ 改めて、前神さんの想いや考え方をお聞することができ素晴らしい時間となった。
- ・ 県の職員は、あまり現場には来ないイメージが強かったけれど、前神講師の様な方もいるということが、驚きだった。現場に出ることの大切さを痛感した。
- ・ みんなをやる気にさせるつながりの構築について勉強でき、また直接お話を聞く機会がありがたかったです。
- ・ 人材育成は若者だけでなく、大人（先輩）の育成も大事というお話に共感を覚えました。地域の中のあたりまえを切り出さないことにも気をつけたいです。
- ・ 公務員としての立場もありながら、エネルギッシュに活動されている姿勢がとても参考になりました。
- ・ よくやりがちな、一部分をPickupし、いままでのバランスを崩してしまう手法はおかしく、今までの考え方を改めさせるお話でした。
- ・ 「みんなが幸せに生きる」ということを強く感じました。
- ・ 公務員からフリーランスへのきっかけとして語られた、公務員時代のお話とヘルプしてくれた財政？の先輩のお話が印象深い。
- ・ 実際に体験・経験したことの話、それに基づく気付き、成功に導くためのコツ、失敗しないためのコツ、などなど、業務をすすめるうえで非常に参考となる活きた話ばかりでした。おいそがし

い中、時間をいただき、講話いただきありがとうございました。

- ・ 地域へとびこんでいく必要性と足をはこんで得る情報の大切さを学びました。
- ・ 様々な活動をされていることに感銘を受けました。
- ・ 地域に飛び出す公務員として経験豊富で情報量も多く、様々な地域の事例をきけて良かったです。
- ・ 知識と行動。行動だけでなく知識も。行動で人を動かす。人が動くように行動する。
- ・ 県職員時代の活動についてたくさん聞かせていただきました。住民との活動に仕事もプライベートもないことは納得しました。
- ・ まちづくりを継続していくために”ゆるふわ”がポイントであると分かりました。
- ・ 自治体の事業を支える資金の集め方の手法をいくつか学べましたので、帰ったらいくつか検討したいと思いました。
- ・ 行政側からの考え方の話を聞くことができ、参考となりました。多く足を運び地域住民のつなぎ役となれるよう、私も取り組んでいきたいです。
- ・ 住民の協力を得るためには巻き込むのではなく、共感を得ると、自ずと集まることを学んだ。前神先生のようにフットワークの軽い公務員になりたいと思う。

◎活用度 3

- ・ 話を聞いているだけで、元気をもらえました。公務員にもこんな人がいるんだ！公務員も悪くないな、と思わせてくれる対話でした。ご本人が一番楽しそうだったのが良かったです。
- ・ 一人一人の意見を聞き、発揮させ多様性を出す大切さがわかりました。
- ・ 自分達の望む未来の暮らし方を実践し、そのために必要なことを考えることが大切と感じた。
- ・ 人が好きな方だと印象を受けました。
- ・ 具体的な内容についてディスカッションすることができ満足している。
- ・ 巻き込むのではなく共感で、まちづくりを進めていきたいと思った。強いリーダーでなく、間をつなぐ人として実践していきたい。
- ・ 元県職員の先生から聞く話は説得力がありました。周囲を巻きこまず、共感した人とつないでいく話も興味深かったです。
- ・ いろんなことにとりくんでいらっしやっただ。公私を分けるのは難しいときき、今の自分もそうだと思います。もっとがんばろうと思います。
- ・ しなやかなのりしろのある人にならなければならないという言葉が深く心に残った。

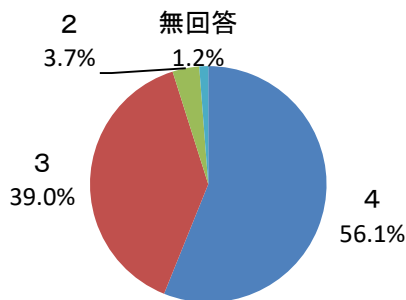
◎活用度 2

- ・ 地域の中の当たり前を切り出して考えるのではなく、若者や先輩世代の様々な価値観を併せることで協働を生むため、公務員は間を取り持ち良好な関係を築くために動かなければいけないのだと感じた。
- ・ 地域活動に参加することの重要さを学んだ。現在は、業務で手がいっぱいになってしまっているため、地域の取り組みを肌で感じられるよう積極的に参加したい。

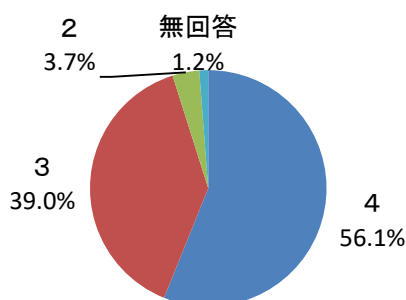
◎活用度 1

- ・ 事前質問を出したが、回答が理解できなかった。

| <理解度> | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 46 | 56.1% |
| | 3 | 32 | 39.0% |
| | 2 | 3 | 3.7% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.2% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



| <活用度> | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 46 | 56.1% |
| | 3 | 32 | 39.0% |
| | 2 | 3 | 3.7% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 1.2% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 自治体目線での話をきくことができてよかった。
- ・ 反対される事は、誰でもおそれる点だと思うが、それを乗り越えて成功させた事に価値があり、その種がこの人財塾にあったのだと思う。
- ・ H24 卒塾生との事で、6年間で結果を出し続けている情熱に圧倒されました。一つ一つの取組の中に真似できる所があるので実践していきたい。
- ・ もっとお話しを用意されていたようなので全て伺いたかった。
- ・ 同じ行政での具体的な取り組み、今回の研修を受けて、学んだことを活用した事例が大変参考になった。
- ・ 実際に体験・経験したことの話、それに基づく気付き、成功に導くためのコツ、失敗しないためのコツ、などなど、業務をすすめるうえで非常に参考となる活きた話ばかりでした。おいそがしい中、時間をいただき、講話いただきありがとうございました。
- ・ 先輩受講者が実践されている事例を、具体的にお聞きすることができ、感銘をうけた。
- ・ 行政という枠を超えて、飛び出す勇気がつきました。
- ・ 行政だけで解決するのではなく、住民の方にもせきららに情報を発信していくことで、新しい価値が生まれるのだと知ることができました。
- ・ 同じ職員として同じ様な国難、課題に直面し、そして乗り越えていく姿勢に勇気づけられました。
- ・ 卒業生2名の輝かしい成果を発表していただいたことで将来のモチベーションUPにつながりました。今後は講師の方のように意識を高く活動・勉強していきたいと思えます。

- ・ 人の力を引き出す事、地域の力を見つける事、小平市の知名度を上げる動きやモチベーションに感動しました。
- ・ ありがとうございます。商標登録の手段は活用考えます。
- ・ 新しいことを行う際の公務員ならではの悩みを体験談を通して聞くことができました。
- ・ 公務員は経営の4原則”ヒト・モノ・カネ・情報”がそろってからでないと動かないが、まず動くこと、後から付いてくるかもしれないというお話が印象に残りました。
- ・ 行政職員としての心がまえを認識できた。
- ・ 苦労した話や、上司の説得等の話も聞くことが出来、自分に置き換えて考えることが出来ました。
- ・ とても身近な話で聞きやすい講義でした。悩みからはじまる事業から視点を変える大切さを学びました。
- ・ パワーポイントの作り方が上手で感動しました。具体的な話で参考になりました。
- ・ 人財塾で学んだことを、上手に小平市で取組んでいて勉強になりました。フォローアップ研修の立ち上げもとても良く、必要なことだと感じました。
- ・ 情報公開の件など、おもい切ったアイデアがすばらしいと思いました。本市で真似できるかはこれからですが、がんばります。
- ・ 市民参加の施策立案手法について役に立った。
- ・ ブルーベリーの話も、観光プランの話も、ほとんど0の状態から始められて、すごいと感じました。情報をしっかりと発信する、ストレートにぶつかっていくことを学べて良かったです。
- ・ この研修で学んだことを、どう活かしていくのか、特にマインドについて学ぶことができました。
- ・ 自主研究会、業務に対する行動力には脱帽しました。先の講師の先生と同じように正面から向かっていく姿勢を見習っていきたいです。
- ・ 職場に戻って、いかにこの学びを実践していくかを考えさせられました。
- ・ 知名度が低い、特産品がないところからの活動に感銘を受けました。
- ・ 今までの講義がまさに活用された事例だった。自分も何か実践していきたい。
- ・ 人財塾で学ばれたことをきちんと持ち帰り、生かされていて、すごいと思った。参考にさせていただきます。
- ・ 自身が人財塾で知りえたことを実際に現場でいかしたことをおしみなく教えていただいた。行政は決して黒子だけではないと思い知らされました。モチベーションUPの仕方。
- ・ 市民、副市長と話をした内容等、職場の業務と重なる部分が多く、イメージしやすい講義でした。商標登録を頑張ります。
- ・ 行政の悩みを公開し、人の力を借りるという方法を聞き、人集めのためには様々な視点で物事を考える大切さを学んだ。
- ・ 同じ行政マンとしてかなり分かり易く、実行に移しやすいと感じた。現在、自分の部署でも自主研究の一環で勉強会を発足したばかりなので、とても参考になった。
- ・ ふりかえりの大切さを改めて感じました。受講後の実践の大切さと講師の良い点をしっかりとらえ要所要所でパクリまくっている所が参考になりました。

- ・ 研修を振り返る意味でもとても内容が良かった。
- ・ 行政職員も積極的に企てることが大切だということがわかりました。とても参考になりました。
- ・ 行政側の立場での地域づくりの取組を知ることが出来、興味深かった。参考としたい。
- ・ 小平市へ足を運びたいです。
- ・ 人財塾で学んだことをまさに実践している事例に触れることができ、大変参考になった。
- ・ 派遣元に戻って自分が実践していくようなことを聞いた。まずは人の意見を聞きながら自分なりにやっていける方法を探したり TTP を行っていきたい。
- ・ 公務員として、共感する話が多くて面白かった。「自分にもできそう」と思わせてくれる事例も多く、モチベーションが具体的なプランの発想にも役立った。
- ・ 人財塾で学んだこと、神山さんがやってきたことをリンクさせお話していただきわかりやすかったです。
- ・ 人財塾で学んだことを継続して実践にうつしている話がとても具体的で面白かった。そのスピード感にも圧倒された。
- ・ 実際の現場で活躍、成功した秘訣を学べました。派遣元で業務に取り組む際に参考にさせていただきます。

◎活用度 3

- ・ 研修で学んだことをベースに実務で展開していて参考になった。
- ・ 非常に参考になりました。同じ地方公務員として、とても尊敬いたします。私も上司の圧力に屈しない心と企画力を身につけていきたいなと思いました。
- ・ 徹底的にパクる。住民とはフラットな関係を！まきこまないという点が印象的でした。
- ・ 公務員の内部的な事情もふまえたお話だったので、とても共感する部分がありました。明るく語られていましたが、相当の葛藤があったのだろうと感じました。
- ・ 人財塾で学んだことを仕事に生かすことができた実践例を学ぶことができました。
- ・ 公務員の現状維持体質を打破する行動力が必要であると感じた。
- ・ 「企てる」ことの大切さ。
- ・ 事例を交えて地域づくりの考え方を講義されていたので実践に活かしていきたいと感じました。
- ・ 研修後のフォローアップが大切であると感じた。
- ・ 各講師の方が伝えたいことをまとめて、具体的な行動につなげていた。セミナーで得た知識の使い方を知ることが出来た。
- ・ 何かを始めるには情熱が必要だなと改めて思いました。
- ・ まきこむではなく、つなげるという言葉が印象に残った。火をつけるのではなく冷静に物事をとらえることが大切だと感じた。
- ・ 実際に同じ講義を学んだ先輩の職場での活かし方を聞いて、さらにモチベーションとなった。
- ・ 知名度が低いという課題に向き合いブルーベリー発祥の地として PR を進めたことがとても勉強になりました。各個人農家へ相談を行う熱心な努力を参考とさせていただきます。
- ・ メーリングリストで、内部の意見を自ら発信する手法に驚きました。市役所は閉鎖的ですが、さ

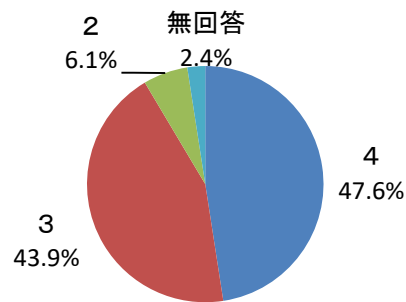
らけ出すことの大切さを感じました。

- ・ 実体験ということもあり、理解及び共感することができた。直球で真ん中でぶつかっていくことが大事。本音で言い合い、信頼を築いていくことの重要性を学びました。
- ・ 何事に関しても、反対されても個人と交渉することで、相手に興味を持たせ、信頼を得ることができるとわかった。
- ・ 現場のリアルな話が、非常に参考になった。
- ・ スタートアップ段階からの流れを重点的に聴くことができてよかった。また、FUに参画したいと思った。
- ・ 同じ立場で実践されていることなので非常に現実味があって参考になる。もっといろいろなことを詳しく聞いてみたい。ただ、地域性が大きく異なるところをどう考えていくか。
- ・ 「できることから取り組む」ということの積み重ねの結果のように感じた。トレンドではなくトラッドという発想もつきつめれば地域の魅力の一つとなることがわかった。
- ・ 市民の信頼を得ることが地域振興につながると感じた。直球で向き合い情熱を発信、共有していくことの大切さを学ぶことができた。
- ・ 自分と同じように講座を受講し、実践されているということで、教えていただいたことがどのようにいかされているのかなど、とても参考になりました。
- ・ ヒト・モノ・カネ・情報の内どれか2つそろった段階で行動して、足りないものを途中で補っていけばいいと良いということを学びました。
- ・ 主役は住民という観点からすると、自分が主となって動かれている方法だなと感じました。やはり、地域によりけりなのかなと感じました。
- ・ 何もない所からと思ったが、やろうと思った人の思いが強ければまちが変わっていく、まわりの考え方も変えてしまうのだと思いました。
- ・ 学んだ事を実践しているすごさを感じた。互学互習：人は人で磨かれる、情報は発信する所に集まるという言葉は印象的。
- ・ 研修後にモチベーション維持のため勉強会を開催していることに感銘を受けた。
- ・ 地域づくり人財塾で学んだことを実践されていた。モチベーションが下がってくるのを止めるために、フォローアップ研修に参加するのは良いアイデアだと感じた。
- ・ 「企てる力」を実践されているのはすごいと感じた。この語どうアクションできるか。4つの資源を結びつける力も必要なのでそういうところも学びたい。
- ・ 実践者として、講座の学びを業務にどういった形で活かしているのか参考になりました。特に商標登録やメーリスの話が興味深かったです。
- ・ 現役の公務員の方が、実体験をふまえて話して下さいましたので研修がどう応用されたかを理解できました。

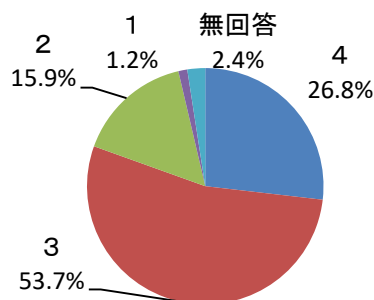
◎活用度2

- ・ 新しいことをやっていく、エネルギーがすごいと思いました。

| <理解度> | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 39 | 47.6% |
| | 3 | 36 | 43.9% |
| | 2 | 5 | 6.1% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 2 | 2.4% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



| <活用度> | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 22 | 26.8% |
| | 3 | 44 | 53.7% |
| | 2 | 13 | 15.9% |
| | 1 | 1 | 1.2% |
| | 無回答 | 2 | 2.4% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ これまでの講師に共通している点だが、その熱意やパワーを維持したまま、やりとげる力はどこからくるのか？
- ・ 郷土愛を通じて、良いサイクルが出来上がっており、学びを通じて人づくりをしている事が参考となった。また、「どれだけ学びきるか」との言葉が印象に残った。
- ・ 行政の職員ではあるが、それ以外での活動など、自分のやりたいこと、興味のあることを楽しく実践していて、モチベーションの高さに感心した。
- ・ 実際に体験・経験したことの話、それに基づく気付き、成功に導くためのコツ、失敗しないためのコツ、などなど、業務をすすめるうえで非常に参考となる活きた話ばかりでした。おいそがしい中、時間をいただき、講話いただきありがとうございました。
- ・ 郷土愛を持てるような取り組み、また人を育てることが、地域の発展に繋がるのだと再認識させられました。
- ・ 地元の魅力は潜在的に求められている。仕事を通じて、再発見する事が大切という事が伝わってきました。キーマンの存在が重要と理解できました。
- ・ フィルムコミッションに関して、資格を取られるなど、バイタリティがすごいと思いました。
- ・ キーパーソンとの出会いの大切さを痛感しました。
- ・ 大分研究会といった、職員以外を中心としている部分が大変参考になりました。
- ・ 地域資源の活用、ほりおこしをまたちがった手法でとりくむことが面白いと思った。
- ・ 地元を好きになる、もっと知ってもらうための手法についてよく分かりました。
- ・ とても行動力のある方で、行政の枠をこえた取り組みをされており、学ぶことが多くあった。

- ・ 世代間の知識の壁を取っ払うためにも、検定という形式はとても勉強になりました。
- ・ 聞き慣れた方々で、地元を愛す姿勢は同郷者として誇らしく思う郷土愛の醸成は地方創生の第一歩であると考えます。私もキーマンの一つになれるよう頑張りたい。
- ・ 地域、県全体で県内を知ろうとするしかけがとても素晴らしいと感じました。また、このような取組を風化されない取組も行われており、参考にさせていただきます。
- ・ すごい熱意で大分県をこよなく愛されている事、これまでの職場環境に折れずに頑張っている所等すごいと思いました。受講者を若い人にすすめて欲しい。
- ・ 大分県のことが学べる素晴らしい取組だと思います。
- ・ 地域づくりには、様々な方法があることが実感できた。地元について知ることがまずは第一であると感じた。
- ・ 大分学に興味ができました。
- ・ 地元に対する愛着が、原動力となることを改めて認識しました。活動に取り組みながら更に地元を好きになれるようなデザインをしたいと思います。

◎活用度 3

- ・ 活動内容はよく理解できました。分かりやすい講義と感じます。本研修受講との関連が今ひとつピンときませんでした。
- ・ 同じ女性職員として r 尊敬しました。出る杭は打たれるという話もありましたが、目立つ人はもちろんですが、女性という立場であれば尚更風当たりも強かったのではないかと思います。女性ならではの目線を柔軟な発想力を持って、私も活動していきたいです。
- ・ 「大分が大好き」という先生の気持ちがとても伝わりました。自分を振り返ることができる機会になりました。
- ・ 本当の地域を知ることが突破口になるのではないかと感じた。
- ・ マーケティングの大切さが参考になった。
- ・ 地域を好きになるという当たり前のことを再認識させられました。
- ・ 大分愛がひしひしと伝わる講義でした。もう少し事例を詳しく聞きたかったです。
- ・ 同じ公務員でありながら、多くの活動に参加され、とても驚いた。
- ・ 経験すべてが繋がっていくと聞きそのとおりでと思いました。何事もクサらずやっていきたいと思います。
- ・ 卒業生2名の輝かしい成果を発表していただいたことで将来のモチベーションUPにつながりました。今後は講師の方のように意識を高く活動・勉強していきたいと思います。
- ・ 県単位の勉強会は意外でした。
- ・ 新しいことに取り組む大変さを語りつつも、その取り組みにより、周りがどう変化していったか等を聞く機会となりました。
- ・ 自分の経験がどこで活かされるか分からないという話に共感した。
- ・ 自分のまちのことを知ることが、市民主体のまちづくりにつながるという言葉が印象に残った。
- ・ 様々な職場を経験しながらも、人脈を最大限に発揮する取り組む姿勢を学べた。
- ・ 講師の郷土愛が伝わる講義でよかったと思う。

- ・ 大分学検定を通して、住民が地域について学び、触れることにより地域愛を深める機会となると感じた。まちづくりの基盤として自分たちの”まち”の魅力を知ることが大事だと感じた。
- ・ 大分検定について、不合格というものがなく、級でわかれるのが、持続性もありよいと思った。地元でも検定が作れるとよいと感じた。
- ・ 検定学というツールを通じて、地域の方を巻き込む手法は、当市においても参考になることが多くあった。とても分かりやすかったです。
- ・ どの部署にいてもムダがない、今をどう前に進むかを考えることの大切さがわかった。
- ・ 自分の住んでいる地域に対して興味を持てるように検定等工夫されていた。様々な機関をまきこんでいるのが印象的だった。
- ・ 大分学研究会の活動、検定の取組みは地域のことをより知るために素晴らしい活動だと思いました。
- ・ 地元への愛着が伝わる講義でした。いろいろな職場での経験が役に立つこともあると思うのでたくさんのことを吸収したいと思います。
- ・ 大分を知っていただく研究会の活動についてよく分かりました。子ども用の検定いいですね。
- ・ 役所を出て地域で活動されているのがすばらしいと思いました。
- ・ 場の作り方についてヒントを得た。
- ・ 研究会等、当町でもいろいろ考えてやっているが、参加者が集まらない意見が出ないなど、消極的な捉え方しかできていなかったが、考え方をかえる必要がある。1つの事業が次から次へと新しい事業につながっている
- ・ 大分市で発足した内容が最終的に県をあげた取り組みとなる、さらにその組織自体が自走していることがすごいと感じた。はじまりは一人の先生の想いからでも周囲に波及して自主的に積極的に動いているのでぜひ見習いたいと感じた。
- ・ 大分学検定が、学ぶ気持ち、学ぶ力の養成になっているところが素晴らしいと思います。
- ・ 自分のおかれた立場環境のなかでもやりたいことをやるといった事例。心がつよくないといけない。
- ・ 行政側から地域づくりのツールを投げることで、市民の地域づくりに対する姿勢が向上するということがわかった。
- ・ 鹿児島にも大分のような検定があり、この機会に私もそれを受験してみたいと思った。行政職員として地域のことをもっと勉強していく必要性を感じた。
- ・ 大分学研究会での検定づくりというのは、郷土愛を高める上で非常に良いアイデアだと思う。県内の市町村が団結し、まとまりのあるようにうかがえた。
- ・ 郷土を知ることによって市民主導のまちづくりが実現できることが分かった。
- ・ 地域を知ることが町づくりの一步という言葉が印象に残りました。
- ・ 地域のことを学びながら、住民が集い新しいことをやる場づくりが大分学研究会で実現されているように思った。
- ・ 大分学検定を行うことにより自分の住んでいる地域により興味をもつという好循環を生み出しているように感じるとともにそのような場をつくっていくことも重要であると感じた。
- ・ 郷土愛を持つことでモチベーションの向上につながり、様々な取組への発想が出てくるのに驚

いた。

- ・ 地域への想いや取組が興味深く、刺激にもなった。人財塾を受講したことで活動にどう影響したか、について伺えればもっとよいかと思った。
- ・ ロケ誘致や大分学検定の話が印象的だった。検定を通じて大分のことを知り、魅力に気づく方は多いと思う。そこから地域づくりにつながれば多くの方を引き出せると感じた。
- ・ ご当地検定試験は一般的ですが、大分の場合は五感をフル活用するものであることに驚きました。

◎活用度 2

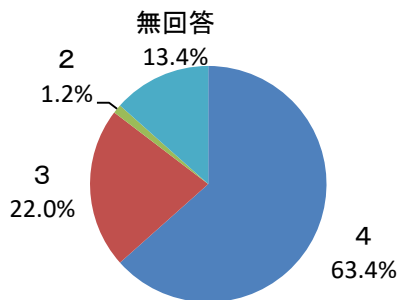
- ・ 地元検定というおもしろい試みに加え、様々な課を経験した話だったのでイメージしやすかった。
- ・ 様々な取り組みをされていてすごいなと思いました。
- ・ 地域に対する情熱や理解と行動力の重要性を実体験を基に説明して頂き、参考となりました。
- ・ 事例発表がメインであり、あまり体系化できていない。
- ・ 住民が学ぼうとする姿勢は、何かに取り組もうとする地域づくりの姿勢も通じるものがあると感じました。
- ・ 面白い経歴の持ち主である先生の話に興味深くきくことができました。自分も大分出身でもあるので、大分学を学んでみたいと思いました。
- ・ 隣の件なので有名な所が沢山あるのは知っていたが、地道な活動が長い間続けられているのだと感心させられた。
- ・ 行動とポジティブさは見習うべきと思う。
- ・ 地元を好きで、より学んでいって、語れることはとても大事だと感じた。住民に、より地元を好きになって学ぶ気持ちになってもらいたい。
- ・ 地域の方々を支援する活動が見えなかったのと、人財塾を受けてどのように活動にいかされているのか知りたかったです。

◎活用度 1

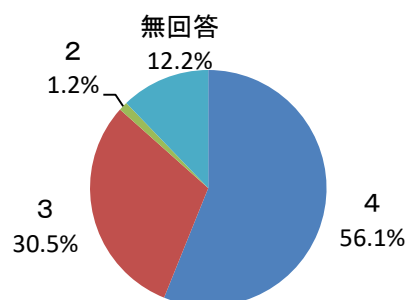
- ・ 神山さんのように、人財塾で学んだことがどこに生かされたのか詳しく聞きたかったです。

【成果発表と振り返り】

| | | N=82 | |
|--------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 52 | 63.4% |
| | 3 | 18 | 22.0% |
| | 2 | 1 | 1.2% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 11 | 13.4% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



| | | N=82 | |
|--------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高低 ↓ | 4 | 46 | 56.1% |
| | 3 | 25 | 30.5% |
| | 2 | 1 | 1.2% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 10 | 12.2% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ この研修を通じての考えをまとめる良い時間であった。また講師の講評にもヒントが多くあり、大変参考となった。また、素晴らしいエールを頂いた。
- ・ 3日間を反すうできる良い時間でした。
- ・ 研修がはじまった時からずっと行動宣言はなんて書こう…と悩んでいましたが、最終日に意外とすんなり書けている自分におどろきました。短い間でしたが、自分なりに成長できました。
- ・ ①「町のセールスマンを目指す」②「庁内自主研Gを立ち上げる」③「バランス感覚+がまん強さ+続けること」④「他人事」→「自分事」へ⑤市民団体のイベントにもっと顔を出す
- ・ みんなの視点を共有できる時間でよかった。
- ・ それぞれのバージョンがあり、それぞれのコーディネートの仕方があるということ。自分らしさも忘れずにいたいと思いました。
- ・ この3日間を通して、自分の中の課題や今後の取り組みが見えてきたので、この行動宣言を忘れないように、心に留めておきたいです。
- ・ 色々な地域の色々な人々と出会えてとても大切な時間をいただいたと思います。ありがとうございます。
- ・ 2泊3日で勉強できた事、吸収できた事が整理できました。今回宣言した事を実行できる様がんばっていきたいです。
- ・ 発表者の目標を聞くことで、自身は何をするのか、何ができるのかを考える、考えさせられる機会となりました。
- ・ とても意識の高い受講者がたくさんいて、シゲキになった。

- ・ 一緒にご飯を食べ、お酒を飲んだ人達が前で発表し、その意識の高さに驚くとともに、自分もやらなければいけないと感じました。
- ・ 同じ研修生の行動宣言を聞いたこと、また自分の行動宣言をしたことで、改めてがんばろうと思えました。
- ・ 他の人の成果発表を聞いて、自分もやらなければと意識向上につながった。
- ・ 自分自身と向き合う時間でもあり、その他の方の意見を聞ける、とてもよいプログラムです。じっくりとふり返ることができました。
- ・ 参加者の熱い行動宣言をきけて、自分も地域でばんがっていこうという気持ちが強まりました。
- ・ 3日間のみなさんの思い、これからの目標を共有できて有意義でした。
- ・ 自らも発表の機会をいただくことができ自身のやるべきことの明確化ができた。
- ・ 皆さんのいろいろな気持ち、考えを聞くことができて良かったです。
- ・ 今回の3日間を今一度ふり返ることで、何をすべきか、何がしたいかを見つけることができました。
- ・ 発表者の覚悟を感じました。
- ・ 一皮むけた気がする。この思いを持続させ今後活かしたい。
- ・ この研修で学んだことを五島市の実情に照らし合せて、すぐに行動しようと感じた。
- ・ みんなの行動宣言を聞くことで自分のモチベーションの向上にもつながった。
- ・ 仕事上の経験値の差ですが、発表される方は文章から熱意やプレゼン力が感じられ、自分でも身に付けたいと思いました。
- ・ 受講当初は不安がとても大きかった。同じ地域づくりを目指す仲間と時間を共にしたことで糧にもなり、モチベーション向上にもなり、とても楽しく有意義な時間となりました。最後の報告が終わるとそれぞれできた活躍の場に戻るのですが少しさびしさがありました。
- ・ 自分の今後のロードマップが出来たことが良かったと思う。今後もふりかえることが必要と思う。
- ・ 3日間の研修をこれから自分の業務にどのように生かすか考える良い時間となった。学んで終わっては今回わざわざ来た意味がないので、しっかり地域に生かしていきたい。
- ・ みなさんの宣言を聞いてみたかったです。この3日間とても内容の濃いもので、この研修に参加させていただいた職場に本当に感謝したいと思った。
- ・ 研修で学んだことを整理し、行動宣言をすることで、地元に戻って実施すべきことが明確になった。
- ・ 行動宣言を実施していきたい。
- ・ 他の人の意見や思いを聞くことができました。豊重さんの思いにまた熱く（胸が）なりました。
- ・ 行動宣言として文章に表すことで3日間の内容を整理する助けになったと思う。今感じていることを忘れないように都度振り返っていきたい。
- ・ 具体的に自分の行動を考える時間になった。
- ・ 他の参加者の行動宣言や講師の方の総評をお聞きできて、改めて自分が今回学んだことをどう生かすか考えることができた。
- ・ 他の方の行動宣言を受けて、非常になりました。

- ・ この3日間の研修で考えたこと、感じたことを発表できて、よい思い出になりました。

◎活用度3

- ・ 最終的に人を動かすのは人であることを再認識できた。
- ・ 今回の研修での振り返りをするのであらためて自分の今後の取り組み、心構えを再認識し、意識付・心構えができた。
- ・ 他の方の成果が大変参考になった。
- ・ 今の熱い気持ちを忘れることなく仕事（や仕事以外の活動）に取り組みたいと感じた。
- ・ 同じ研修を受けた仲間の意識の高さを感じました。負けないようにしたいと思います。
- ・ 仕事をする上での具体的な目標が定まりました。
- ・ 皆様の行動宣言が聞いてよかったと思いました。
- ・ 環境は違いますが、それぞれの宣言をきけて、自分もがんばらなければと感じた。
- ・ 発表者増やした方がいいのでは。
- ・ 自分自身が学んだことを踏まえて実践していくことを宣言した。様々な人との出会いに感謝します。
- ・ 研修で学んだことを複数と共有していきながら、プラットフォームづくりをしていこうと強く思う機会になった。
- ・ 自分がやっている事業について、行政が主導でやっていると再確認させられた。住民主導という部分を意識したい。
- ・ 自らの考えを改めて整理でき有意義であった。
- ・ 参加者それぞれの価値観から見た各講座の学びを共有することができた。また、種々の意見交換がとても効果的であった。
- ・ 他の方の行動宣言を聞き、モチベーションが上がりました。
- ・ 私も頑張る。
- ・ 人財塾の参加者の強く熱い思いを知ることができ自分のモチベーションを高めることにもつながった。
- ・ 自らの行動宣言を行うことによりこれからの自らの行動を考えることによって何をすべきか何をしていくかを考えるきっかけになった。
- ・ 自分がどう考えているのか整理できた。まずは小さな実践から行いたい。

◎活用度2

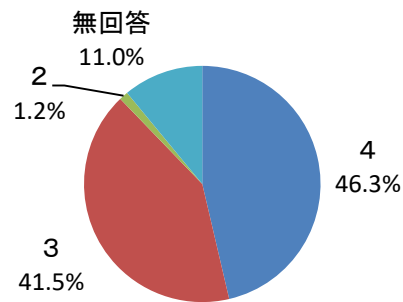
- ・ 自分で行動宣言をまとめることで自分への意識啓発をはかることができたように感じます。今回の気持ちを持ち続けていきたいと思っています。

◎活用度無回答

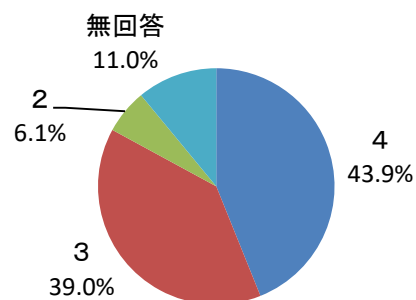
- ・ 途中で抜けてしまい申し訳ありませんでした。

【グループトーク】

| | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 38 | 46.3% |
| | 3 | 34 | 41.5% |
| | 2 | 1 | 1.2% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 9 | 11.0% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



| | | N=82 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 36 | 43.9% |
| | 3 | 32 | 39.0% |
| | 2 | 5 | 6.1% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 9 | 11.0% |
| 合計 | | 82 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 若い世代の方々とも意見交換ができてよい刺激となりました。また、名刺交換も出来良かったです。
- ・ 講話に関する認識の共有と、お互いの交流が図られた。
- ・ そういう気づきもあるのか？と参考になった。
- ・ 短い時間ではありましたが、全国から集まった方々と意見を聞いたり、交換することができ、とても貴重な時間でした。
- ・ 同じ講義を聞いても、受け取り方の違いができました。意見交換の大切さを改めて感じました。
- ・ 別の地域、別の観点から受け取った事をグループトークを通じて知る事で、違う考えや共通点が抽出できました。
- ・ 他市町村の方々の話を聞く機会となり、自身の市独特の考え方、視点であることを再認する部分もありました。
- ・ 多勢の前で話しをする機会があまりなかったので良い経験になった。
- ・ 同じ話を聞いていても、感じ方や、皆様の経験によって受け取り方が異なり、刺激になりました。
- ・ 講義の感想や現状等を受講生と共有できたのでとてもよかった。できたらもう少し交流したい。
- ・ 様々な人との交流できる時間があり仲を深める機会になった。
- ・ グループトークを通じて、様々な地域の人と交流することができ、自分の視野が広がったように思う。また、少人数なので、交流しやすかった。
- ・ 他自治体の方の意見を共有できる場は少ないので、とても有意義な時間でした。発表すること

で、参加者の意見を共有することができました。

- ・ グループ内で受講中のポイントを再確認できてよかったです。
- ・ 参加者のいろいろな視点、着目点にふれられてよかった。
- ・ いろいろな話や考え方を聞くことができました。地域づくりは十人十色で、様々なやり方があると思いますので、吸収できる部分は吸収したいです。
- ・ 気づきを共有することで、自分が気付かなかった所に気づき、学ぶことができた。
- ・ 班ごとの意見のまとめを聞き、講義の振り返りと、内容の意識付けをすることができた。
- ・ 同じ話を聞いた方でも、それぞれの意見があり、講義の質の向上につながった。
- ・ 他の人の視点も知ることで、1つの講座の効果もより増したように思います。
- ・ 節目での振り返り、また他の方の意見を聞くことで各講座内容の理解度が深まったように思える。
- ・ 2回に分けて違うメンバーと意見交換する場があり、色々な考え方が意見の中で出たため、気づかなかった部分を補えることができました。
- ・ 色々な意見が聞けて、また色々な地元での活動が聞けて良かったと思った。
- ・ 他の人の意見を聞くことで、自分の学びがさらに深まり、よりよいものとなった。自分は気付かなかった点、思わなかったことをきくことができ、短い時間ではあったが、とても良かった。
- ・ 様々な自治体の方と交流し話を聞いたことが良かった。インプット後のアウトプットは、自分の成長にも繋がるので、朝の発表の場も必要性を感じた。
- ・ 感想や意見を述べ合えてとても良い機会であった。
- ・ お互いの共通理解を確認することができた。
- ・ メンバーの中で意見を出し合うことで講義の中身を整理することができました。
- ・ グループトークでは日本各地の方（職員）の意見を聞いて、感じ方の違いが興味深かったです。
- ・ 他の参加者の感想をお聞きできて有意義な時間となった。

◎活用度 3

- ・ 同じ講義を受けたとしても違う感じ方があり別の気づきにつながった。
- ・ 1コマ程度時間をとり、受講生同士の課題の共有などもできるといいのではないのでしょうか。
- ・ それぞれの自治体の方と話しできる機会は本当に貴重な体験となりました。
- ・ いろんな人たちと話して学びを深めることができよかったです。
- ・ 講義のまとめ、振り返りをグループで行うことで、気づきの再認識や新たな視点や考え方、捉え方を知ることもでき少ない時間ではあったが有意義な時間であった。
- ・ 自分一人では気づけない部分の「気づき」があり、情報の共有もできてよかた。
- ・ なかなか多様な意見があり、まとめるのがうまくいかないが、住民とのやり取りのヒントになった。
- ・ 夕飯前と始業前ということで、もう少し時間を長めに取っていただけたらもっと勉強になると感じました。
- ・ 同じ講義でも、個々の受けとめ方が異なり、新しい気づきもあった。
- ・ 1日の終わりにグループでお話することでインプットした内容を整理するよい機会となった。

- ・ グループトークで、自分と異なる視点の考えなどを受け再認識ができた。
- ・ もう少し時間ほしい。
- ・ 地域によって悩みも違えば対応も違い、住民とのキョリもさまざまであることを改めて感じました。
- ・ どちらのグループトークにおいても、他のグループ員から自分と違った視点の意見が共有できた。
- ・ 周りの参加者との意見交換を通して、いろいろな意見を出し合えて良かったです。
- ・ 時間が短すぎる。講義の時間を削るべきである。
- ・ 全国のみなさんのご意見がうかがえて参考になりました。
- ・ 参加者ごとの考え方、捉え方を知り、自らの頭の整理になった。
- ・ 様々な市町村の方と交流できて大変勉強になりました。3日間を過ごすうえで、良いきっかけ作りとなったと思います。
- ・ 講義内容を振り返るよい機会となった。
- ・ 2日間の講義でも人それぞれ重点を置く部分であったり必要としていることが違っていたりしたので理解などは人それぞれが違うことを住民の人に説明する時など意識していきたい。
- ・ 同じ講義を聞いても着眼点は様々だった。
- ・ 我々の中でも理解や解釈など違う。思ったこと、考えたことの伝え方、教え方はとても大切。特にそういったことを楽しみ学び合える場はとても重要。
- ・ 気づきを話すことが考えが共有できたことが良かった。できれば考えを基にワークなどアウトプットすることまでやれたら理解度の深まりや交流につながるかと思った。
- ・ グループでの意見共有の時間は、他の方の視点も知れて良かったです。班が多いため、発表の時間が少し長く感じました。

◎活用度 2

- ・ 少し時間が短く感じました。
- ・ 様々な意見を共有できました。
- ・ 共有する時間は良いと思いましたが、発表の時間はいらぬような気がしました。(グループ内共有のみで)
- ・ 共通のテーマについてグループで話し合うことで理解が深まると共に意外な発想にも気づけました。

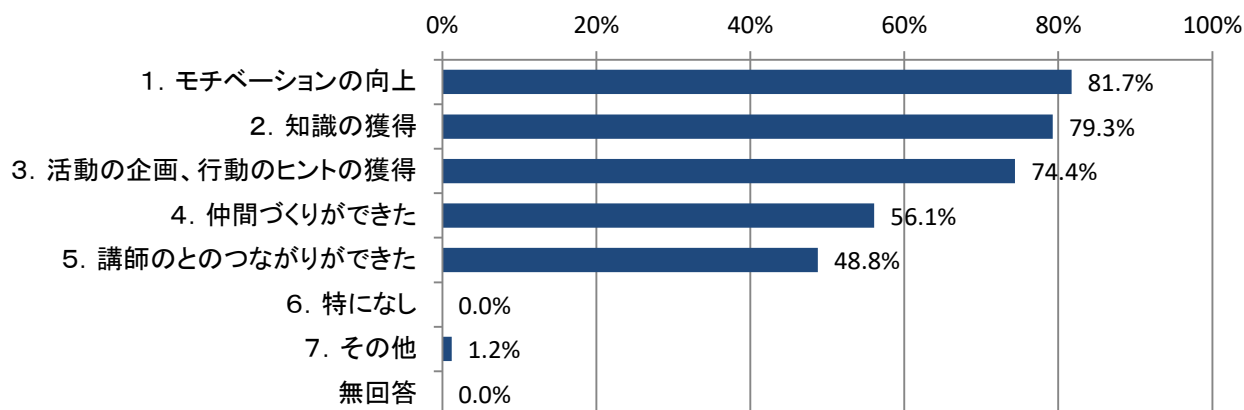
◎活用度 無回答

- ・ 他の人の気づきを聞くことで新たな発見や整理ができた。

(2) 研修全体について

①人財塾の良かった点についてお伺いします。下記の選択肢から該当するもの全てに○をつけてください (○はいくつでも)

| | 回答数 | % |
|--------------------|-----|-------|
| 1. モチベーションの向上 | 67 | 81.7% |
| 2. 知識の獲得 | 65 | 79.3% |
| 3. 活動の企画、行動のヒントの獲得 | 61 | 74.4% |
| 4. 仲間づくりができた | 46 | 56.1% |
| 5. 講師のとのつながりができた | 40 | 48.8% |
| 6. 特になし | 0 | 0.0% |
| 7. その他 | 1 | 1.2% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |



<その他>

- ・ 多種多様な話を聞き、共有でき、多くの財産を得ることができた。

<感想>

- ・ 1日目の交流会で、様々な人と交流ができてよかった。また、講師との直接対話では、今まで遠い存在だった講師の先生がぐっと近づいた感じがして、質問しやすい雰囲気があった。講師の人ともっと話してみたいと感じた。
- ・ 初めて参加させていただきましたが、研修内容がとても濃く、自分のため、当市のためになる研修でした。学んだことや、ヒントを課で共有して、一歩でも進むことができるようにしていきたいです。
- ・ 来年1月から JICA ボランティアでカンボジアに派遣されますが、NPO 法人フュージョン長池のお2人との出会いが活動のヒントとなりました。また、現地に来ていただく話まで進みました。
- ・ 普段の業務の中で、自分1人・係内で煮つまりがちな課題等を、共通のものとして考えることができた。
- ・ 全国で取組をされている塾生の話を聞いたり、リアルな話を聞くことができました。参加して

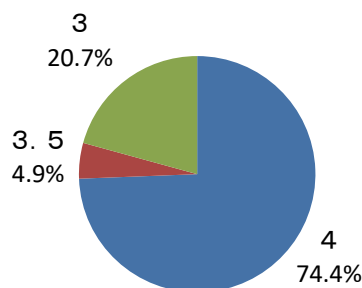
よかった。とても有意義でした。

- 地域づくりについてたくさんのヒントを得ることができた。また、全国からの研修生にお会いすることができ、とても刺激になった。
- 受講して本当に良かった。とても得をした気持ちと若い時に受講しておきたかったと…職場に帰りフィードバックをし、毎年受講をすすめたいと思いました。ありがとうございました。
- あっという間の3日間でしたが、とてもいい勉強になりました。
- 様々な人達と意見交換ができたことは非常に良い経験となった。
- 地域づくりを实践され成果を上げていらっしゃる講師陣の話はどれも聞きごたえがあった。グループワーク等で他の参加者と交流できる時間があつたのも有りがたかつた。

②人財塾を受講したことにより、今後、業務又は業務外で地域づくりに関する活動を新たに又は、継続して行っていききたいと思うようになりましたか？

N=82

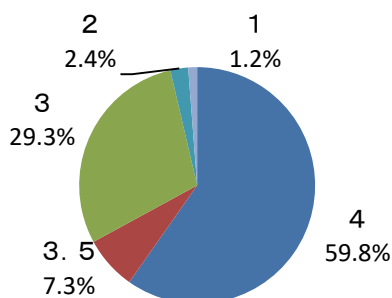
| <活用度> | | 回答数 | % |
|-----------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 思った 思わない ↓ | 4 | 61 | 74.4% |
| | 3.5 | 4 | 4.9% |
| | 3 | 17 | 20.7% |
| | 2.5 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1.5 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 82 | 100.0% |



③研修全体の進め方・運営についてどのようにお感じになりましたか？

N=82

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 良かった 良くなかった ↓ | 4 | 49 | 59.8% |
| | 3.5 | 6 | 7.3% |
| | 3 | 24 | 29.3% |
| | 2.5 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 2 | 2.4% |
| | 1.5 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 1 | 1.2% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 82 | 100.0% |



④その他研修に関して改善点・お気づきの点をお聞かせください。

[グループ・トーク]

- ・ グループワークは自分の学びをさらに深めることができたため、とても良かった。これまで受けてきた研修ではなかったものだったので、新鮮だった。
- ・ グループトークのプログラムがもう少しほしい。
- ・ グループ討議及び発表の時間は、もっと多く取っても良いと思いました。大人数なので仕方がないのですが、発表団体の中には、もう少しお話を聞きたくなるものも多かったので、その様に思います。
- ・ グループワークの時間をもう 15 分程延ばしていただければ。グループワークを始める際の要点として、まずグループのリーダー（ファシリテーター）、記録（グラフィック）、発表者を決めることのアナウンスがあった方がスムーズかと思います。
- ・ グループワークの発表については翌日の朝ではなくその日に行った方が良いのではないかと感じた。2 日目の振り返りについては講師との直接対話の前として食堂の時間ギリギリまで直接対話の時間として欲しかった。

- 翌日の班毎の発表方法について、全部の班 1 分ずつとなると、内容的にも重複が見られ、せっかくの時間も長くとられてしまうため、例えば当日あてて 3 班のみ発表してもらおうなど、工夫が必要かなとおもいました。
- グループトーク前に少し講義の内容を整理する時間があればよい。
- グループトークだけでなく、ワーキングもあるともっとよかったと思います。
- 仮説した地域で課題を与え、その地域を活性化していくには？というような課題で、グループ討議ができたらなあと感じました。
- 座学が多かったので、グループトークや討論の時間がもっとあってもいいように感じました。
- 講義が中心であり、自らが考える時間をとってほしかった。講義をききながら、自分の事業を整理していると集中できない。

[講師との直接対話]

- 初めに直接対話の講師をネット情報等から選べず講義を受講した後でこの先生のお話をもっと聞かせていただきたいと思う感情がでてきました。時間調整の都合等あると思いますが、せっかくの機会ですのもったいないなと思いました。
- 「講師との直接対話」という研修は初めてだったが、より身近に講師の先生の体験、苦勞、ポイントなど学ぶことができ、大変よい研修手法と思いました。
- やはり直接対話はより実践的でよかったです。
- 大変充実した楽しい時間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。あえて言えば、講師との対話の後にカリキュラムを入れず、盛り上がった場合は延長できるとさらに良かったと思います。
- 2 日目直接対話が I・II とありましたが、間にあまり時間がなく、自分の中で噛み砕く・吸収することができないまま次へ・・・となったので、もう少し時間があればと思いました。
- 講師との直接対話からグループトークへの移動時間が短いかな。
- 講師対話で話せる機会がなかった。人数が多かったのでうまく分けてもらいたかった。
- 講師との対話の時間がもう少しほしかった。加藤講師との対話もできればよかった。
- 直接対話でしか話を伺えない講師がいたことは残念でした。

[全体スケジュール]

- 1 つのコマが短い。事務局側のいろいろな話をというの理解できるが、講師を少なくしても良いのではないかな。
- 一日の講義時間が長すぎて集中力が持たない。もう少し、グループワークを増やして、他市町村職員と交流し横のつながりを深めたかった。
- スケジュールがかなりタイトなでもっとじっくりゆっくりとすすめて欲しかった感がありました。勝手ですが朝食時間せめて 7 時～にしてほしいです。

[その他]

- ・ ありがとうございます。貴重な体験をさせていただきました。
- ・ 2泊3日、全てが勉強になる研修でした。
- ・ 行政・地域両面からの地域づくりを学ぶことができる良い機会になりました。
- ・ 行政の役割を再認識する必要性、地域のみなさんが主体であること、地域のみなさんと一緒に考え、情熱をもって行動することがわかりました。
- ・ 全国から集まった職員と地域の課題を話すことはとても良い刺激になりました。また、全国を飛び回っている講師の方々の話を聞くことがよかったです。ありがとうございます。
- ・ 大きな刺激をもらえた3日間でした。ありがとうございます。
- ・ 参加者同士の会話の時間で様々な事に気づきました。地域の活動においても、参加者同士の会話が生まれる仕組みを活用したいです。
- ・ 2泊3日があつという間に感じた。更に内容の濃い、長い研修があると嬉しいし、参加したい。
- ・ 今回のカリキュラムには無かったのかも知れませんが、チームによるグループワークやプレゼン形式の成果発表などがあってもよいと思いました。
- ・ 成功例ばかりあがっているので失敗してるところなどを挙げていただければ良い。
- ・ 研修終了後の荷づくりや部屋の片付けの時間について、記載があればよかった。(研修最終日の何時に片付けしたらいいかわからなかった。)
- ・ 参加者の年齢や業務内容が分かると関係づくりがやりやすいと感じた。
- ・ 自分の勉強不足ではありますが、事前にもっと講師の情報がほしいと思いました。
- ・ 講師の先生の名刺もコピーもらえれば良いなと思いました。
- ・ みんな行きが良くて心配。対話でも手があがらない理由が不明。知識は得て帰っても行動にうつせるのか。「実践編」も必要かも。
- ・ 紙の資料は資源の無駄遣いだと思います。途上国でも研修資料はPDF配布が進んでおりますので、できる限り紙の消費量を減らしていただきたいと思います。
- ・ 研修所のご飯がおいしかった。
- ・ 2日目の夜も交流会があると、さらに打ちとけることができ良いのではないかと感じた。また2泊3日だと交流時間が少ないように感じたので、研修日程がもう少し長いと良いと思った。
- ・ 交流会の際により多くの人とおはなししやすいよう立食形式だとより良かった。
- ・ 特になし(初日の交流会は座敷ではなく、立食の方が交流しやすかったと感じました。)
- ・ 特になし。(3)
- ・ 特にありません。(2)

(3) 今回の研修受講生を対象としたステップアップ研修を行う場合、どのような内容を望みますか？

[研修後のフォロー]

- ・ フォローアップ研修。(2)
- ・ 受講生を交えた FU 研修を受けたい
- ・ 私たちの地区でもフォローアップ研修を取り組みたい。
- ・ これまでの研修もそうであるが、帰庁してしばらくすると意識も元にもどってしまう自分がある。刺激を求め定期的にでも研修を受けていきたい。あと、少しでも実践できるものをつくりあげたい。要望：名簿の取り扱いのため難しいとは思いますが、四国内での地域づくり人財塾受講生の名簿をいただけませんか。人数が多いのであれば、フォローアップ研修を四国でお願いしたい。
- ・ 四国 4 県での開催に取り組みたいです。
- ・ 宣言書(事業計画)のその後どうなっているか。しっかり実行できているか？できなかったときは講師の先生方からダメ出し、アドバイスを受けたい。
- ・ 取り組みに対して講師からの助言をいただきたい。

[現地視察等]

- ・ 講師と共に現地に行ってみたいと思います。
- ・ 実際に地域づくりの先進地などへの見学。現状の課題に対して討論。
- ・ 地域づくりに成功している町(集落)を視察して、現場で学ぶ研修に取り組みたいです。
- ・ 実践の現場に行って、実際に見て学ぶような研修。
- ・ 先進地視察
- ・ 地域づくりに関する先進事例、地域づくりに関する理論
- ・ 地域づくりのモデルケースの自治体を視察したり、プレゼン形式の成果発表を含む実践的(実践的)な課題のある研修があれば是非参加してみたいです。
- ・ フィールドワーク
- ・ ・実際の地域づくり・まちづくり現場での実践研修など ・現場(地域の住民の方も交えて)での研修・取り組みなどを学ぶ研修
- ・ 自治体の人口規模、地域によって行政運営の考え方が異なる事を強く感じました。他市町村の現場を知る機会があれば参加をしてみたいと思います。
- ・ 実際に市民活動を行っている職員との対話の時間があっても良いと思いました。公務と地域活動の両立など、勉強になると思います。
- ・ 受講生も含めて実践されている自治体職員の方との対話を増やしていただきたい。
- ・ 行政が裏方になって、という立場で、とは思いますが、受講すると自分もプレイヤー、コアメンバーとして、動きたくなります。実際に NPO などの設立、運営など実務的なことや、ご苦労されたことなどを聞きたくなりました。

[報告会・グループ形式]

- ・ 実践事例の報告会。

- ・ 受講後に、各地域で実際に取り組んだ内容を共有し、意見交換したい。
- ・ 自分がやっていきたい・進めたいテーマ毎に分かれ、グループトークや学習会（テーマに沿った）ができると、考え方やブラッシュアップの工夫が共有、TTP できて良いと思う。
- ・ 他の市町村とそれぞれ課題をもちよってそのことについてグループで話し合いをしてみたい。

[その他内容に関する事柄]

- ・ 企画立案能力の向上。
- ・ 企画力・アドリブ力・財務力を向上できるような研修。
- ・ 政策や企画の形成に関るものがあれば。
- ・ 学びを活かした政策づくりのための政策企画研修等を受講したい。
- ・ より実践的な内容。事業計画の策定、内容のブラッシュアップ。
- ・ その後の成果の検証はもちろん、もっと多くの方の話を聞きたい。ケースメソッドを活用した、学べる、話せる場が欲しい。
- ・ 実際の制度を使ったケースワーク。
- ・ 飯盛先生の講義にあった、実践、ケーススタディの教材に大変興味があります。
- ・ 研修目線であれば、実際の地域づくりの手法等について学びたい。取組目線であれば、地域の実状について知識を深めていきたい。
- ・ 職員として…プラットフォーム等の基盤づくり。住民として…なにかしらの仕掛け
- ・ サードプレイス、場づくりの実践例。
- ・ 印象に残っているのが、空き家の対策についてであった。所有者との問題があるが、地元は空き家が多いので、そこを活用できる研修等に取り組んでみたいと思う。
- ・ ヒントとして、医療との連携の種は頂いたので、知識としても行動としてもこれをほりさげたい。
- ・ 地方創生カレッジを受講してみたいと思います。
- ・ 地方創生カレッジをのぞいてみます。
- ・ 他の研修等にも積極的に参加し、知識を高めていきたいです。地域創生関係で何講かあれば参加したいと思います。

[その他]

- ・ この研修について出来る範囲の同僚に伝えて仲間を増やしたいと思います。
- ・ 本研修をうけた、各所属での連携報告・共有。
- ・ 行政の人間として、地域づくりがしやすいように受け皿を広くして柔軟に対応していく。また、地域づくりをする人と地域住民の方の理解が不可欠であると思うので、その架け橋となるような活動ができればと思いました。
- ・ 現在すすめている事業者と直球で向き合い地域の信頼しあえる関係づくりをベースに今回学んだ事を絶対に生かしたいと考えました。本当に貴重な内容でした。お世話になりありがとうございました。
- ・ 仕事に限らず、自ら住んでいる地域においても、地域の方々の意見に沿った活動を実施し、人を

繋いで大きな組織づくりをすることが大切であると感じたため、肝に銘じて実践したいと考える。

- ・ 自分が学んだこと、取り組んでいること、取り組もうとしていることについて発表する機会を得ることは市役所に戻るとあまりないと思うので、そのような考えをアウトプットする場としたい。
- ・ 行動宣言に記したことを実行できるように取り組みたいです。
- ・ これまで通り、佐世保市に在住する、投票権を持たないが、今後も増えるであろう外国人との対話（アンケート）を通して、施作に活かしたいと思います。
- ・ （ステップアップ研修としてに下線）まだよくわかりません。
- ・ わからない。

平成30年度 全国地域づくり 人財塾

主催：総務省、市町村職員中央研修所

日程：平成30年9月19日(水)～21日(金) (2泊3日)

会場：市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉県千葉市
対象：市区町村職員、地域づくりに取り組むNPO関係者及び地方創生カレッジ受講中又は受講済みの方等で、
全日程を受講できる者(途中退席や一時帰席はできませんので、御注意ください。)

定員：80人

宿泊：研修所宿泊棟(宿泊型研修)
※外出・外泊はできません。

経費：5,850円(食費を除く。)

申込期限：平成30年7月31日(火)まで

※申込期限前に定員に達した場合は、募集を締め切らせていただきます。

申込方法：受講申込書により、FAXまたは郵送でお申し込みください。

(申込様式はホームページよりダウンロード可：<http://www.jamp.gr.jp/>)

※経費納入方法等につきましては、別途受講決定通知書によりお知らせいたします。

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

研修受講にあたって、事前アンケートに取り組んでいただけます。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

開催の御案内

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その能力とアイデアを活かしながら地域づくりに取り組み、様々な活動が展開されることが大切です。こうした活動を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し、実践できる人材(人財)、すなわち「地域づくり人」の育成を図るため、本講座を開催いたします。地域づくりに熱い志を持つ皆様の御参加をお待ちしております！

地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

【研修内容について】

総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

担当：三宅、安室 TEL.03-5253-5392

問い合わせ先

【申し込み先】 ※申し込みは、受講申込書のFAXまたは郵送のみとなります。

市町村職員中央研修所 研修部 担当：原、森見

〒261-0025 千葉県美浜区浜田1丁目1番地

[ホームページ] <http://www.jamp.gr.jp/>

TEL.043-276-3126 FAX.043-276-8484 (FAXによる申し込みはこちら)

平成30年 9月19日(水)

11:00- 受付
11:30- 昼食
12:30- 開講・オリエンテーション

13:00-14:10 【講義1:導入】
「地域力の創造と人材力の活性化について」

総務省地域力創造審議官 池田 憲治

「地域力の創造」と「人材力の活性化」について、総務省の取組を交えながら、お話しします。

14:25-15:35 【講義2:実践事例】
「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」

柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎 氏

柳谷地区(通称:やねだん)は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀作品受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。
全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重柳谷自治公民館長の御経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。
※参考HP:【やねだん(<http://www.yanedan.com/>)】【地方創生カレッジ(<https://chihouseisei-college.jp/>) 講座No.081, No.095】

15:50-17:00 【講義3:実践事例】
「地域総力戦のまちづくり～NPOによる7軒の空き家再生が生み出したもの～」

NPO法人顔娃おこそ会 観光プロジェクトリーダー 加藤 潤 氏

当会の活動拠点である鹿児島県南九州市顔娃(えい)町は、指宿や知覧に隣接しながら観光客が通過する町でしたが、地域の衰退を憂えた地域の有志が立ち上げたNPOが、農商工、官民の枠を超えた地域総力戦のまちづくり活動を展開。
埼玉から1ターンした加藤氏が、町内に日本で唯一のタツノオトシゴ観光養殖場を開設したことを機に、観光推進プロジェクトが始動。地域住民や行政との連携を通じて、年間15万人の来訪者を迎える観光地に成長したほか、農業連携や商店街活性化、空き家再生など、観光を超えたまちづくり活動に発展しつつある御経験をもとに、講義いただきます。
※参考HP:【NPO法人顔娃おこそ会(<https://ei-okosokai.jimdo.com/>)】【顔娃町公式観光サイトEIGO(<http://www.ei-go.jp/>)】

17:00-17:30 【グループ・トーク】 本日の研修の振り返り

17:30-17:45 【説明】「地方創生カレッジ」について

一般財団法人地域活性化センター 常務理事 岩崎 正敏 氏

18:15- 【情報・意見交換会】 夕食を兼ねて、共に学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年 9月20日(木)

9:00- 9:25 【グループ・トーク】 全体での共有

9:25- 10:35 【講義4:実践事例】
「地域づくりのマネジメント～つながりをつくり創発を生む仕組みづくり～」

慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛 義徳 氏

地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的方策を探索されています。
その御経験から、先進事例の成功要因に基づき、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から講義いただきます。
※参考HP:【慶應義塾大学 飯盛義徳研究室(<http://isagai.sfc.keio.ac.jp/>)】【地方創生カレッジ(<https://chihouseisei-college.jp/>) 講座No.57】

10:50-12:00 【講義5:実践事例】
「“地域人財が育つ”地域資源融合型公園経営」

NPOフュージョン長池 会長 富永 一夫 氏

東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンだった講師が、47歳で会社を辞めて地域に戻り、暮らしを支えるNPO法人を設立。住宅管理支援事業、高度情報化支援事業等々の事業を立ち上げ、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組む。後継者育成にも専心し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。2012年には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)を受賞。2017年8月には、eラーニングの教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。
“都市郊外”の新興住宅地で、既存の住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意して地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。
※参考HP:【NPOフュージョン長池(<http://www.pompoco.or.jp/>)】【地方創生カレッジ(<https://chihouseisei-college.jp/>) 講座No.80】

13:00-14:10 【講師との直接対話】Ⅰ－前半

受講決定通知後の事前アンケートの希望に沿ってグループに分けられ、講師が受講者からの質問に応える形式で直接対話を行います。直接対話は、講師の話を聞くだけではなく、他の受講者の意見を聞きながら、「みんなで学び合う場」です。

講師1 慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛講師

講師2 NPOフュージョン長池 会長 富永講師

講師3 柳谷自治公民館 館長 豊重講師

講師4 赤羽消防団 副団長、消防大学校 客員教授 小瀬 浩子講師

近年、防災、応急だけでなく、有事における国民保護、災害学習や地域行事等を通じた地域の未来を担う人材の育成、様々な組織や人との連携等においても、消防団への期待はますます高まっています。

消防団が安全を守ることで、まちが育つ、そして、そのまちとともに消防団や地域を担う人材を育てていくという観点からお話させていただきます。

※参考HP:【女性消防国際会議資料(http://www.womenforsafety.org/assets/files/Ms_Ozawa_Presentation.pdf)】

講師5 株式会社紡 代表取締役 玉沖 仁美講師

株式会社リクルート地域活性化部の配属を機に、日本各地のモノづくり・観光事業・人材育成事業等、地域コンサル事業に携わった後独立し、引き続き地域振興に従事されています。

現在は、過疎地の振興について離島に現地法人を設立し、社会実験などを実践されている御経験をもとに、プロジェクトマネジメント、人材育成、自分で自分の能力を磨くにはどうすればよいか、という観点からお話させていただきます。

※参考HP:【株式会社紡(<http://t-tsumugi.co.jp/>)】

講師6 一般財団法人地域活性化センター 人材育成プロデューサー 前神 有里講師

29年間の県職員時代に、地域包括ケア・虐待防止を担当したことをきっかけに地域に深く関わるようになり、その後地域担当職員として市町・地域おこし協力隊・地域のひととともに地域づくりに取り組んできた。県職員経験をもとに、公務員が「職務経験を地域で生かす」・「地域での経験を職務で生かす」ためのポイントを、また、地域活性化センターでの御経験をもとに、課題解決から入らない新しい価値創造型の地域づくり・人材育成についてお話しさせていただきます。

※参考HP:【地方創生カレッジ(<https://chihouseisei-college.jp/>) 講座No.83】

14:25-15:35 【講師との直接対話】Ⅰ－後半

受講決定通知後の事前アンケートの希望に沿ってグループに分けられ、講師が受講者からの質問に応える形式で直接対話を行います。

15:50-17:00 【講師との直接対話】Ⅱ－前半

受講決定通知後の事前アンケートの希望に沿ってグループに分けられ、講師が参加者からの質問に応える形式で直接対話を行います。

17:15-18:25

受講決定通知後の事前アンケートの希望に沿ってグループに分けられ、講師が参加者からの質問に応える形式で直接対話を行います。

18:30-19:00 【グループ・トーク】 本日の研修の振り返り

平成30年 9月21日(金)

9:00- 9:25 【グループ・トーク】 全体での共有

9:25-10:35 【事例報告】

東京都小平市 小平市文化振興財団事業課長 神山 伸一 氏

「全国地域づくり人財塾」の既受講生から、人財塾受講後の現在の地域での取組についての報告を行っていただきます。

10:50-12:00 【事例報告】

大分県大分市 土木建築部道路維持課参事補 幸重 陽子 氏

「全国地域づくり人財塾」の既受講生から、人財塾受講後の現在の地域での取組についての報告を行っていただきます。

13:00-14:10 【成果発表と振り返り】

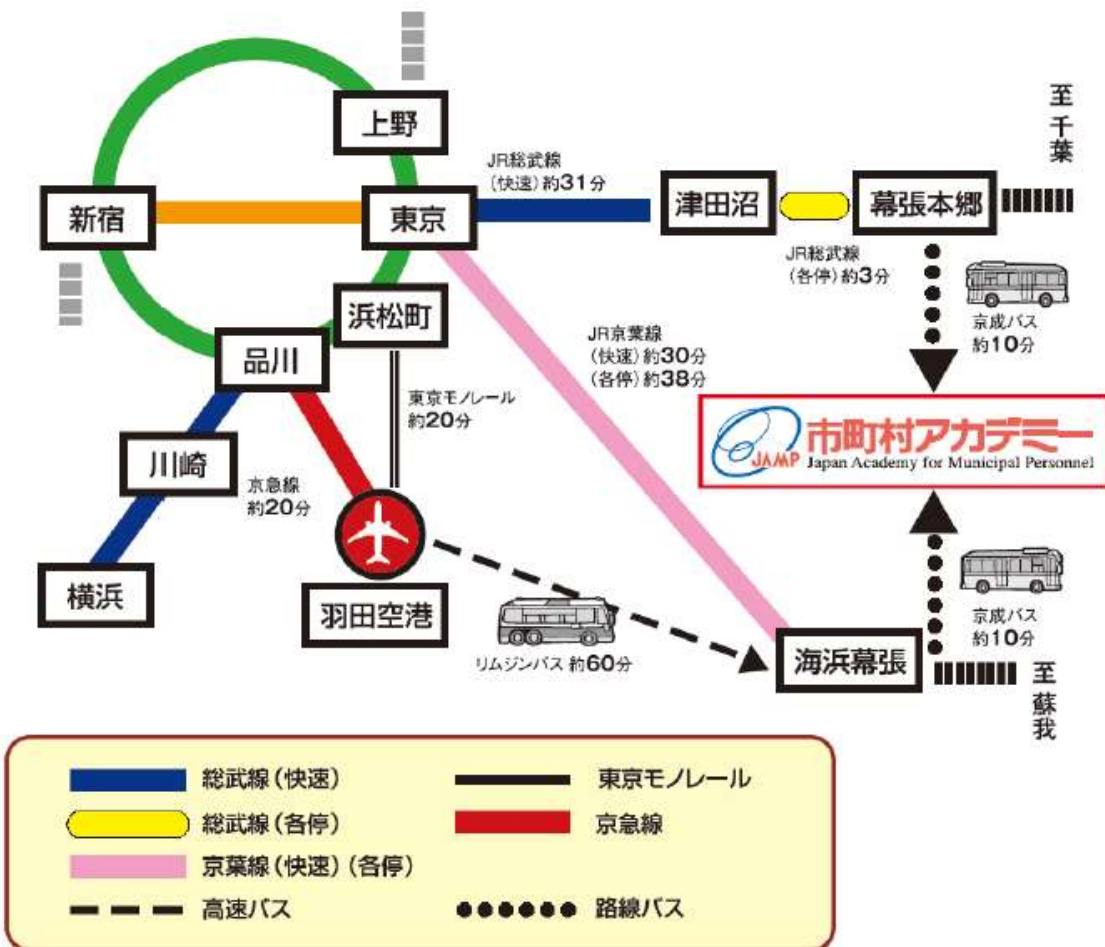
3日間の研修での体験を踏まえて、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」をまとめ、行動宣言を行います。

14:10 閉講

※ 各講師が講義を行っている一般財団法人地域活性化センター等が提供する「地方創生カレッジ」の講座を受講したり、関係HPを参照してから、当人財塾に臨むことにより、講義への理解がさらに深まることが期待できます。

研修所までの交通のご案内

- 市町村アカデミーは、「幕張メッセ」がある千葉市の幕張新都心の隣接地にあります。
- 東京駅や羽田空港からおよそ1時間の位置です。
- JRで来所される方は、「幕張本郷駅(総武線)」または「海浜幕張駅(京葉線)」が最寄り駅です。
- 詳細は次のアクセス表を参照してください。
<http://www.jamp.gr.jp/access/index.html>
- 研修生の方は、必ず公共交通機関でお越しください。



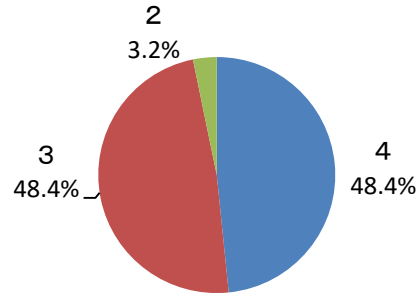
4. 自治大学校編

[平成 30 年 10 月 17 日～19 日]

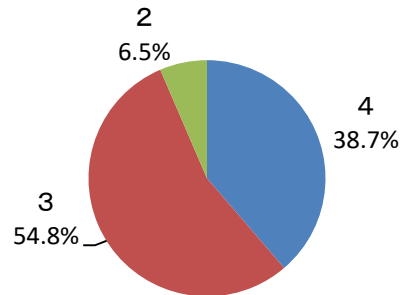
(1) 各プログラムに対する評価

【講義】「地域力の創造と人材力の活性化について」 総務省地域力創造審議官 佐々木 浩

| <理解度> | | N=31 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 15 | 48.4% |
| | 3 | 15 | 48.4% |
| | 2 | 1 | 3.2% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



| <活用度> | | N=31 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 12 | 38.7% |
| | 3 | 17 | 54.8% |
| | 2 | 2 | 6.5% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 住み続けてくれる住民のためにも” かけがえのない地域を目指す” 地方公務員としての初心を改めて肝に銘じました。
- ・ 元々住んでいる住民の大切さや関係人口の考え方がよく分かりました。
- ・ 住み続けている住民のために行政サービスを提供し維持し続けるために、先生がおっしゃっていた関係人口を増やすことが大切であると思いました。
- ・ 自分の地域だけではなく、近隣や全体を見て行動できるようにしたいと思いました。
- ・ 関係人口を増やすことが定住人口に変わるので、自立ではなく特色ある地域にすることが大切だと思いました。
- ・ 色々な参考文献を紹介していただき、ぜひ読んでみようと思った。
- ・ 様々な書籍を紹介していただけだったので、一度は読むようにしたいと思う。
- ・ 講義が聞きやすくわかりやすかったです。
- ・ 国の今後の方針についてわかりやすかったです。
- ・ もっと時間がほしかった。
- ・ 内容はとても良かったが、地域おこし協力隊の活動等の話をもっと聞きたかった。

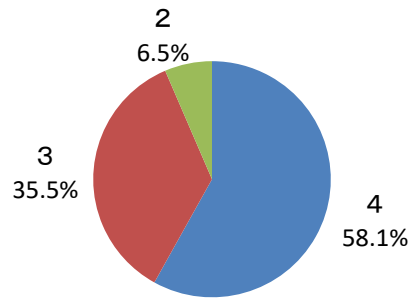
◎活用度 3

- ・ 公務員としてのスタンス、技量をあらためて感じた。誇りと自信をもって仕事としていきたいと感じた。
- ・ 地方公務員の優秀さをほめて、はげましていただきました。
- ・ 国にこんなステキな人がいるんだと驚きました。
- ・ 地方公務員へのエールをいただいたと思います。
- ・ おすすめ図書、参考になりました。地方公務員についても励ましをいただき嬉しかったです。
- ・ 参考図書事例の紹介は後々の役に立つと感じました。
- ・ 業務を行うにあたり、視野を広げるためにも、幅広くアンテナを張り、色々な知識、感性を学んでいきたいと感じました。
- ・ 行政は、住民が住み続けるためにサービスを提供。一番頑張っているのは住民。
- ・ 住み続けている住民が大切であるという講義内容が良かった。
- ・ 国の制度の話でなく、地方公共団体の困り事、悩み事の解決の1つの手立てとなった。
- ・ 全国の状況がよく理解出来た。
- ・ 地方公務員としての心構えなどを話されていたと思います。資料には国の動向など記載されていたので、できればその解説や地方に求めることなど話をいただければ良かったです。
- ・ 関係人口の重要性を教えてくださいました。
- ・ 総務省が考える今後の人口減少に対する政策の基本的な方向性や考え方を知ることができて大変有意義であった。

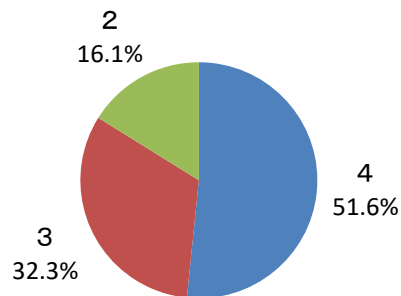
◎活用度 2

- ・ 政策的な話ではなく、公務員についてお話しいただけたことが、心に残りました。
- ・ 参考となる書籍を色々紹介していただき、ぜひ読んでみたいと思いました。

| | | N=31 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 18 | 58.1% |
| | 3 | 11 | 35.5% |
| | 2 | 2 | 6.5% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



| | | N=31 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 16 | 51.6% |
| | 3 | 10 | 32.3% |
| | 2 | 5 | 16.1% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 自主財源のもと、自分達が幸せになるために、みんなの力で、色々な仕掛けを行いながら、大きな家族としてがんばっている姿を見て、とても力強い勇気を感じ、また自らも変わらなければいけないと感じました。
- ・ 才能を引き出す力（住民の力を引き出す力）、プレゼン力（企画力）が行政側に求められていると感じた。
- ・ 方法でなく、人を動かす心が一番大切であることが分かりました。
- ・ 目配り、気配り、心配りの人間関係の第一歩として、全職員のフルネームがすらすらと言える人間にまずはなります。
- ・ 豊重さんが、いかに地域をまとめてきたか、具体的にお話を聞けて、とても良かったです。
- ・ 先生の取組について熱く語っていただき、人の心を動かすことが一番重要であると実感しました。
- ・ 私もスポーツ（陸上）をやっていたので、バレーを通じたチームづくりが地域づくりにも言えると思いました。
- ・ 成功例を企画した方から話を聞けて良かったです。自分の県の特産を活かした産業によるまちづくり、自分ならどうするかということを考えながら聞きました。
- ・ 熱量に圧倒されましたが勇気をいただきました。ありがとうございました。
- ・ 理論だけでなく、実際に実行したことによる経験談からの講義は、具体的でとても参考になりました。
- ・ 地域での活動に必要なことを、全て教えていただきました。

- ・ 行政に頼らずに住民のみで集落を活性化されたこと、先生が考えて実際に行動されたことに感動しました。実際に人の心を動かすことは難しいのですが、先生の実行力はすごいと思いました。
- ・ 先生の熱意に感動・感化されました。私も鹿児島の人に、最後までここで住みたいと思ってもらえる街になるために、地域に入っていける職員になります。
- ・ 豊重先生のパワーに圧倒されました。利他的な人財の発掘が必要だと感じた。

◎活用度 3

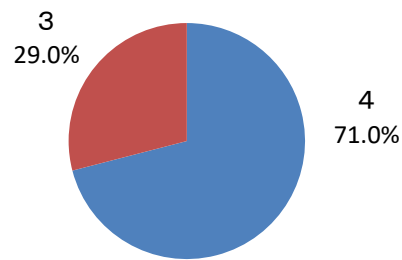
- ・ 以前から話を聞きたいと思っており、大変参考になったし、館長とも話が出来るようになったことは効果大である。
- ・ やねだんの取組については聞いたことはあったが、実際の内容についてはよく知らなかったのので、先駆的な取組事例を知ることができた。
- ・ 本当に仕事をする上でのモチベーションが上がりました。ありがとうございます！！
- ・ 地域づくりに必要な情熱の大切さを教えていただきました。
- ・ まちおこし、まちづくりには冷静な分析と、熱い気持ち、そして時間をかけることが重要であると学べました。
- ・ 自立した自治会活動を実践。リーダー次第で大きく変わることがよくわかった。全住民が補欠ではない。
- ・ 地域を再生させるための成功事例として自治会の立場からどうすべきか住民の才能の引き出し方など、とても参考になった。
- ・ 自治会の経営力にびっくりしました。自主財源確保等への情熱のすごさにも驚きました。

◎活用度 2

- ・ 豊重先生の情熱が伝わり、熱意をもって接することの重要性を改めて感じました。
- ・ 反対派の住民に対する向き合い方が、熱意にあらわれていると感じました。
- ・ 限界集落等、小規模地域における住民の意識の高さに感心した。必ずしも、都市部にあてはまらない部分もあるかも知れないが、大いに参考にしたい。
- ・ 行政の力を借りない地域づくりの成功例を聞きましたが、市職員としてもっとやるべきことやここまでやってほしいなどお聞きしたかったと思います。

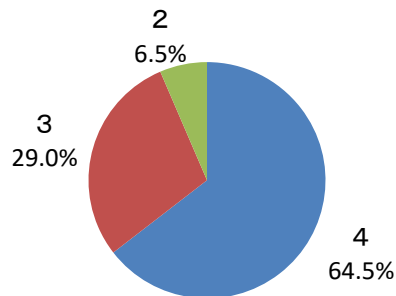
N=31

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 22 | 71.0% |
| | 3 | 9 | 29.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



N=31

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 20 | 64.5% |
| | 3 | 9 | 29.0% |
| | 2 | 2 | 6.5% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 設計図を書き出すことにより、全ての事業において、分析・調査し、精査してゆきたい。
- ・ 設計図を作成することで地域の問題点や今後の方向性を見つけることができたと思います。
- ・ NPO 法人の取組で成功例に参考になりました。
- ・ NPO に対するイメージが変わり、理解が深まりました。
- ・ 行政の目線ではなく民間の目線と、地域とのかかわりあいにより、一人一人幸せに感じるために、どのように考え、実行するのか、深く考えるきっかけとなり、今後に活かしていきたいと感じました。
- ・ 自治体として、やらなければならないことはちゃんとやらなければと、改めて考えることができました。
- ・ 非常に共感できる話が多く、もう少しお話ししたいと思いました。
- ・ 地域の人々との関わり方（強制、押しつけ）をしないことが重要との話があり、改めて実感した。
- ・ 命令せず、人、地域、企業、大学と関わることで、周りの環境が自然と地域人財を育てることが分かりました。
- ・ 財源づくりの大切さを教えていただきました。
- ・ 高齢化により、居住者が減って、活力がなくなっていくニュータウンを広場を活用することで活性化していく手法について、大変参考になった。
- ・ 都会型の指定管理者であると感じました。自然とのふれあい等、「田舎」で行ってきた活動を行うことにより成功されてきたと思います。田舎での人の誘致について改めて検討が必要と思

ます。

- ・ 経営から人財育成まで、行政ではなく、民間の手法を講義いただき行政内ではなく、外の意見を取り入れる重要さを学びました。
- ・ 巻き込む仕組みづくり、アピールなど、色々と参考にしていこうと思います。
- ・ 長池公園の指定管理者として公園の管理運営に携わり、行政、企業、教育と融合により、公園の利用者が増え、さらに利益を生むことができた。このように良い方向に公園運営ができる具体事例を学ぶことができ良かった。
- ・ どの世代も集まることができる、ふるさとを体験できる場所に感動しました。NPOの方の活動を見て、こんな熱い思いをもって地域のために動いてくださる方の手伝いをしていきたい。

◎活用度 3

- ・ NPOと地域の意識でなく、地域で活動している人達に、人がさらに参加する構図はシンプルだが相互でwin-winの関係性を構築していることで化学反応的に拡大できることを実感しました。
- ・ 行政では実現できないことを民間では色々なことができると感じた。
- ・ NPOを知り、わが市でももっと関係が必要であると思いました。
- ・ 公園管理だけでなく地域づくりまでを手掛けるNPO団体として大変勉強になったし、こういった団体を支援して増やせていけたらと思った。
- ・ 普段なかなか聞けないNPOから見た行政について、聞かせていただきました。
- ・ 都市における地域人財の育成方法を学ばせていただきました。
- ・ とても熱意がある方だと思います。行政と民間の架け橋となり苦勞されたと感じました。
- ・ 熱く経験をお聞き出来た。また、後継者（後進）を育てること、また朝食時に30分以上討論出来たこと、貴重な体験でした。

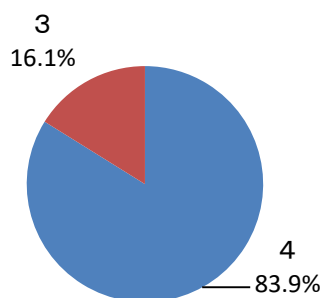
◎活用度 2

- ・ 発想、アイデアの多さに感動しました。行政は民間との連携が本当に必要と感じました。

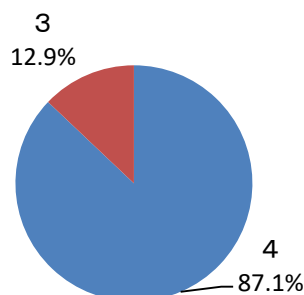
【講義】「地域づくりのマネジメント—つながりをつくり創発を生む仕組みづくり—」

慶應義塾大学総合政策学部 教授（学部長補佐） 飯盛 義徳 講師

| <理解度> | | N=31 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 26 | 83.9% |
| | 3 | 5 | 16.1% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



| <活用度> | | N=31 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 27 | 87.1% |
| | 3 | 4 | 12.9% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 本市においても、大学との連携や協定を結び、学生の力を活用している。これからは、地域住民と学生が直接協働するなど、活動の場をつくるのが、活性化のカギだと感じた。
- ・ 大学生との連携というものにイメージが持てなかったが、様々な事例から本市でも連携することでまちの良さを引き出せるのではないかと思います。
- ・ 学生による過疎地の復興について紹介され、大学との連携の力の大きさに驚きました。
- ・ とても良かったです。米原市にもぜひ来ていただきたい。学生など、新鮮な目で見ることが必要ですが、改めて自分の市の資源を見つけることが必要であると感じました。
- ・ 具体的な域学連携について学べた点が良かったです。
- ・ 域学連携、ぜひ、紀の川市も取り入れようと思います。
- ・ NPO 鳳雛塾での活動や学生が地域に入って連携する取組が大変参考になりました。高知市においてもこのような活動を行い、地域の活性化と交流人口の増加につなげていきたいと思いました。
- ・ 官学連携の取組の紹介を通して効果的なプラットフォーム設計、マネジメントの重要性を学ぶことができ、今後活かしていきたい。
- ・ 学生さんたちが本当に勉強してよく取り組んでいることが伝わって感動しました。私もこんな学生になりたかったし、今、連携中の大学生にも、ぜひフィールドワーク等を通して鹿児島を感動と一緒に感じてもらいたい。
- ・ 大学との連携への可能性をすごく感じました。ぜひ連携への取組を行ってほしいと感じました。

た。

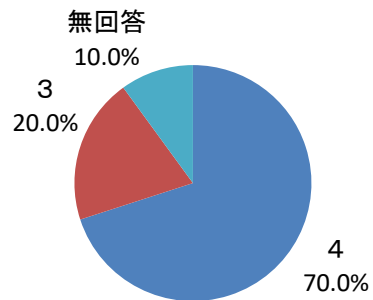
- ・ 色々な事例の中から、地域に深く関係している人（関係人口）の役割がとても重要であると感じました。
- ・ プラットフォームづくりの大切さを教えていただきました。
- ・ プラットフォームの設計に外部からの視点を取り込んでいきたいと思います。
- ・ 参考になる事例が多く、勉強になりました。
- ・ 論理的に事例を交え、非常に役立つ、参考になる内容だった。
- ・ 行政の固まった考えでなく、色々な方面、切り口で、地域づくりができることを知りました。
- ・ 「境界」をあえて作る大切さを学びました。様々な事例をわかりやすくお話しただけだったので、理解が深まりました。
- ・ 地域づくりのマネジメントのヒントをいただき、つながりを生む活動をしていきたいと思いました。
- ・ 一步を踏み出す勇気を持てる人間となる為にも、資源を持ってきてもらえる信頼を与えられる人間となる。
- ・ 講義の中で一番わかりやすいと思います。学生にも人気があるのもわかります。
- ・ 当セミナーに来る一番の理由であって、教示を受けることが出来た。引き続きお付き合いします。
- ・ 様々な事例を聞くことができ、また 1 時間延長したこともあり、詳細な事まで紹介していただいた。やはりどの講義もこの程度の時間がほしい。
- ・ 信頼される行政マンになる。

◎活用度 3

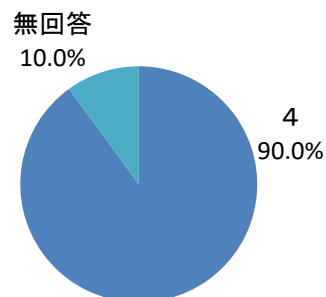
- ・ 地域活動に取り組むのが若者に人気があるとは知らなかった。機会があれば、学生の活用を考えてみたいと思った。
- ・ 地域を外から見る視点や域学連携の有効性を学ばせていただきました。
- ・ まさに、居場所づくりがテーマなので、大変参考になりました。一年で、成果はなかなか出づらく、継続が必要だと感じました。

【講師との直接対話（飯盛講師）】

| | | N=10 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 7 | 70.0% |
| | 3 | 2 | 20.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 10.0% |
| 合計 | | 10 | 100.0% |



| | | N=10 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 9 | 90.0% |
| | 3 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 10.0% |
| 合計 | | 10 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

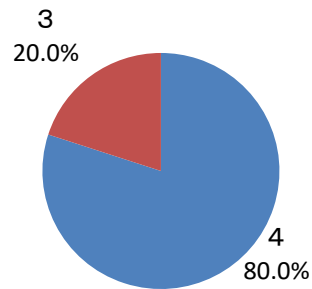
- ・ 学生の力を教えていただきました。
- ・ 学生を活かした取組を考えたいと思いました。
- ・ 具体例をもとに教育機関と地域の関係について紹介していただき、大変勉強になりました。ぜひ実践していきたいと思いました。
- ・ 自らの市の課題が他の市とも共通であり、どう考えていくか、学ばせていただきました。
- ・ 一歩踏み出す勇気がなく、後悔中です。

◎活用度 無回答

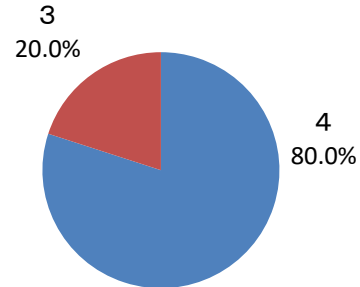
- ・ 直接お話し出来て、実例をお聞き出来た。今後につなげたい。

【講師との直接対話（富永講師）】

| <理解度> | | N=10 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 8 | 80.0% |
| | 3 | 2 | 20.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 10 | 100.0% |



| <活用度> | | N=10 | |
|------------------|-----|------|--------|
| | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 8 | 80.0% |
| | 3 | 2 | 20.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 10 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

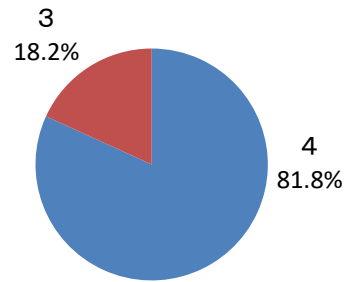
- ・ 消防団の団員確保における問題について、ネガティブな発想から、ポジティブな発想への転換を図り、今後魅力の発信をすることにより、賛同者を増やしていきたいと考えました。
- ・ 地域づくりに必要なことは、何かに集中すること、ということを学びました。 ・ 指定管理をする行政の心がまえを教えてくださいました。
- ・ 「誰のために」を考えていく必要があると感じました。また、情報発信の重要性も学びました。
- ・ 否定せずとにかく自由に答えて下さり、感謝いたします。
- ・ まちづくりの質問に答えていただき、自分がいかに行政の固い考えしかできていないかを痛感しました。いろんなところにアンテナを張って、頭を柔らかくして、施策に取り組もうと思います。
- ・ NPO の方に対して困っていることを聞いていただけて本当に助かりました。行政を助けてくださる団体さんに恥じない、一緒に働くのに信頼してもらえらる職員になります。

◎活用度 3

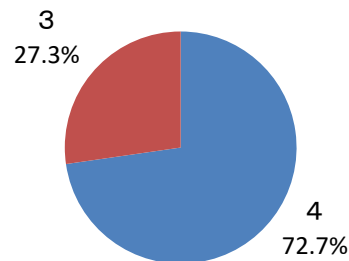
- ・ 指定管理者に求める

【講師との直接対話（豊重講師）】

| | | N=11 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 9 | 81.8% |
| | 3 | 2 | 18.2% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 11 | 100.0% |



| | | N=11 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 8 | 72.7% |
| | 3 | 3 | 27.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 11 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

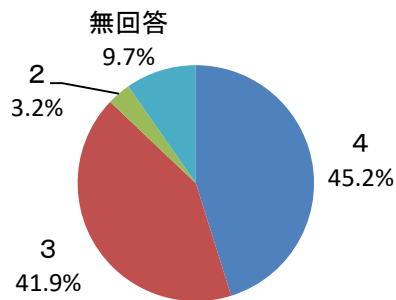
- ・ まちづくりに必要な力、演出力やプレゼンテーション力など、多くのヒントをもらいました。
- ・ 地域づくりというよりも、全ての基礎となるアドリブ、プレゼンテーション能力がいかに重要であるかということが分かりました。
- ・ 企画力で人の心を動かすことの重要性が分かりました。
- ・ 講義内容に加え、他人のため、地域のため（利他的）のコーディネートが人の心を動かすものとなり、非常に良かった。
- ・ 地域を知ること、顔を知り、名前を知り、ということの大事さを再認識できました。
- ・ 何事もあきらめず継続することの大切さを改めて感じました。またやはり数字を把握することから始めたいと思う。
- ・ 講義2の深堀りとして、まるで『ミニやねだん創世塾』を体験できて大変有意義であったが、もっと時間があればとも思った。

◎活用度 3

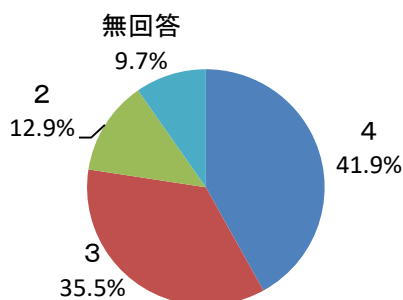
- ・ 小泉進次郎と同じように豊重先生も人を引き付ける魅力があると感じました。
- ・ 各参加者の思いを聞けました。また、やねだんの成功例を詳しく聞くことができ、まちづくりのヒントにすることができました。
- ・ 基本的には講義内容と同内容。一問一答形式の方法が良かった。講師の選定は、講義終了後の方が良いのでは。

【演習1～4】

| | | N=31 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 14 | 45.2% |
| | 3 | 13 | 41.9% |
| | 2 | 1 | 3.2% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 3 | 9.7% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



| | | N=31 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 13 | 41.9% |
| | 3 | 11 | 35.5% |
| | 2 | 4 | 12.9% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 3 | 9.7% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



<感想>

◎活用度4

- ・ 演習での議論では他自治体の状況や発想が大変参考になりました。それ以上に講師の方々からのアドバイスがありがたかったです。
- ・ 各自治体職員の考え方や活動がよく理解出来た。収穫である。
- ・ 各グループに分かれて演習を行ったが、直接地域づくりに関連のない部署の人も多かったが、各自自分ごととして捉え、真剣に議論できたと思った。
- ・ 班員で意見を言い合うことに楽しさを感じました。
- ・ グループ内で短期間でしたがまとめられたことは今後にも活かしたいと思います。
- ・ 考えの前提となる部分の統一が難しいと感じた。設計図があるため、進めやすかった。
- ・ どの自治体でも問題となっている空き家や空き店舗の問題について、同じ立場の受講生と考えることができた。
- ・ 同じ班の方だけでなく他の市町の話聞いてみたかったので、共有フォルダに入れてもらうようにしてもらって良かった。参加された方全員、志が高く、私も触発されて頑張ろうとの気持ちになった。
- ・ とても活発に意見交換でき、有効な策が立案できて良かった。
- ・ 一つの自治体の課題を全国から集まった職員同士で討論し、意見交換できたのはとても良かった。
- ・ 今回班員の中から題を選定したが、できれば事前課題をローテーションさせ、他自治体の問題について演習したほうがより思いもつかないアイデアが出るのではと思います。

◎活用度 3

- ・ 1つのテーマに対して、様々な意見を聞くことができ、考え方のイメージができて良かった。
- ・ 雑多な問題を体系化できました。
- ・ 他自治体や、講師の方と膝を併せて話をすることが出来、楽しかったです。
- ・ 演習で協議した内容を、どう活用して発表につながるのかが、班内でも見通せなかった部分があり、とまどっていた。また、もう一步政策立案を踏み込んで事業化（事案化）ができるまで検討してみたかった。
- ・ 簡単な設計図ではあるが、大変中身の濃い設計図であり、作成が難しかった。持ち寄った課題の場合、地域の実情などもあり、なかなか踏み込んで話ができないところもありました。まったく知らない土地のことを課題としてまちづくりを考えるのも面白いと感じた。
- ・ 最初に演習の流れとゴールをもっと詳しく説明してほしいかった。
- ・ 時間がもう少しほしいかった。発表に向け参加者の意見をメインに成果物を作成したが、講師の意見等を取り入れることができれば、さらに良い物ができたと思います。
- ・ 実際の市を取り上げ、討論するという方法でしたが、全員の共通した問題があるので、その問題について展開した討論が良かったと思います。
- ・ もっと深く話したかった。
- ・ 設計図に基づいて発表したがそれを1つの手段として、「形式は自由に発表」と決めても良いのかなと感じました。
- ・ 事前に演習の内容についてイメージできる資料があると良いと思う。進め方についてとまどった部分があった。

◎活用度 2

- ・ 課題を持ち寄りましたが、それぞれの自治体のテーマだと、考え方に制限が出てしまうため、他の班のテーマで検討する等でも良かったかと思いました。
- ・ 初回なので仕方ないのかもしれないが、具体的にどう演習を進めれば良いかがわからなかった。また、他の班の課題も確認できるようにホワイトボードなどに書いても良いのではと思った。

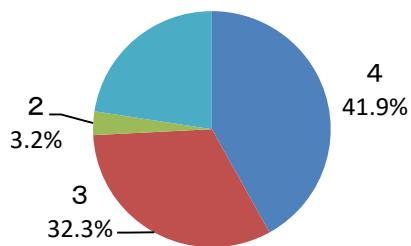
◎活用度 無回答

- ・ 答えがない問題について、グループで話し合い、様々な視点から、発想を出し合いながら、研修で学んだことを活かしながら、一つの施策を考える重要性和グループにより課題を解決しようと協力し合う大切さを学びました。

【成果発表と振り返り】

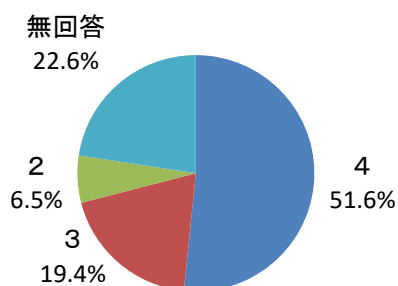
N=31

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 13 | 41.9% |
| | 3 | 10 | 32.3% |
| | 2 | 1 | 3.2% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 7 | 22.6% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



N=31

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 16 | 51.6% |
| | 3 | 6 | 19.4% |
| | 2 | 2 | 6.5% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 7 | 22.6% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 様々なテーマの対策についていろいろな意見が聞けて良かった。また、講師からの意見も参考になった。
- ・ 皆の決意を聞くことができました。
- ・ 熱い気持ちを強く持ちました。
- ・ 各地域の課題と解決方法が参考になりました。
- ・ 今回の研修を踏まえ、自分が関連する業務で活かしていける事をしっかり取り組んでいこうと思う。
- ・ 行動宣言に記載した事を実施出来るよう、今後も今回研修で学んだことを思い出しながら、業務を進めていきたいと思う。
- ・ もっと地元を好きになることが大切だと思いました。
- ・ 宣言させていただく機会をありがとうございました。
- ・ A~Fの6グループに分かれて課題に対する成果発表を行った。各班のまとめ方について自分では考えないようなこともあり、気付きを与えてくれた。
- ・ 各班短い時間の中、よくテーマをまとめられており、個々の能力の高さを垣間見ることができました。それぞれの課題について当市も同じ様な状況であるので今後の参考になりました。
- ・ なかなかすぐには財源の確保手段が思い付かず、もやもやした。勉強したい。
- ・ 研修生が考えていることを発表することで、熱意、やる気をもらえました。初めてのオリエンテーションで自己紹介を含めた宣言がある時間があるとより効率的であると思います。
- ・ 設計図がシンプルになるので内容が分かりにくい。設計図の使い方の説明があっても良かった。

◎活用度 3

- ・ 他都市の課題を材料に、短期間ではあったが、真剣に事業化とシステムづくりについて検討協議できたことは貴重な経験となった。類似事業もあることから、活用方法について積極的に参考としていきたい。
- ・ 仲間ができて良かったです。
- ・ 短期間での各グループの発表内容にとっても驚きました。発表の仕方も上手だと思いました。
- ・ 各班、発表は工夫されており、プレゼンの参考となりました。何かの質問等ができれば良かったです。
- ・ 各班の発表の比較が難しい。もう少し時間があれば、踏み込んだ施策展開が考えることができる。

◎活用度 2

- ・ 事例による課題解決は良かったが、他の班の内容について確認できれば質の高い質問ができたと思う。

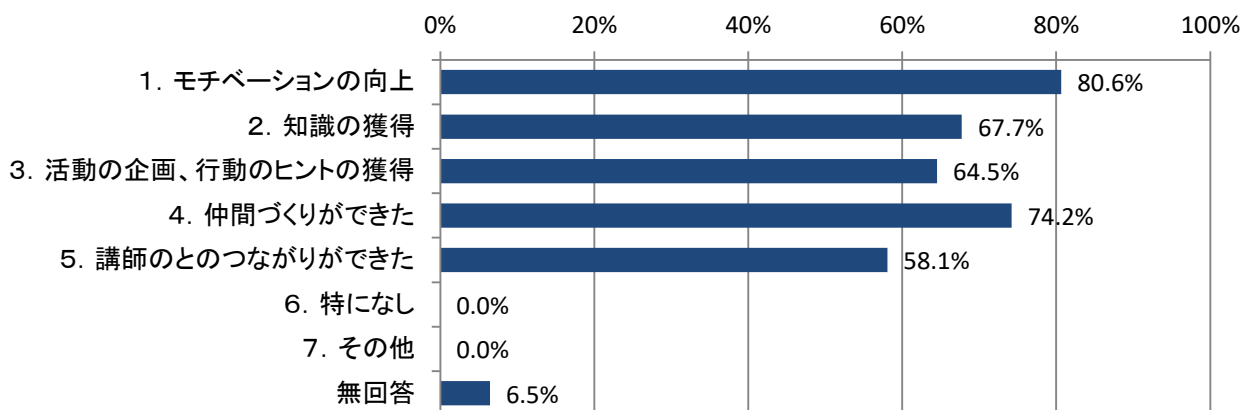
◎活用度 無回答

- ・ プレゼンテーションの仕方、表現の仕方も大切に、心に響く話し方も重要であると感じました。
- ・ 作業時間などを黒板やホワイトボードに書いていただければ、作業がしやすいと感じた。

(2) 研修全体について

①人財塾の良かった点についてお伺いします。下記の選択肢から該当するもの全てに○をつけてください。

| | 回答数 | % |
|--------------------|-----|-------|
| 1. モチベーションの向上 | 25 | 80.6% |
| 2. 知識の獲得 | 21 | 67.7% |
| 3. 活動の企画、行動のヒントの獲得 | 20 | 64.5% |
| 4. 仲間づくりができた | 23 | 74.2% |
| 5. 講師のとのつながりができた | 18 | 58.1% |
| 6. 特になし | 0 | 0.0% |
| 7. その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 2 | 6.5% |



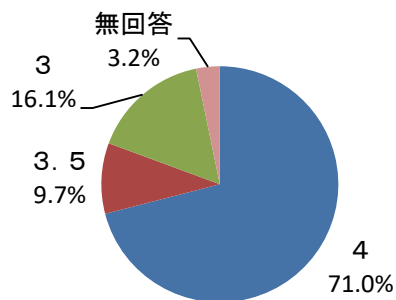
<感想>

- ・ 資源を活かすこと、行動を起こして結果を出すことのみを考えていたが、資源化すること、粘り強く、相手の行動、能力を引き出すことも大切であると知った。
- ・ 「志民を増やす」今まで考えたこともなかったです。自分の事で精一杯でしたが周りを活かすことも考えていきたいです。

②人財塾を受講したことにより、今後、業務又は業務外で地域づくりに関する活動を新たに又は、継続して行っていきたいと思うようになりましたか？

N=31

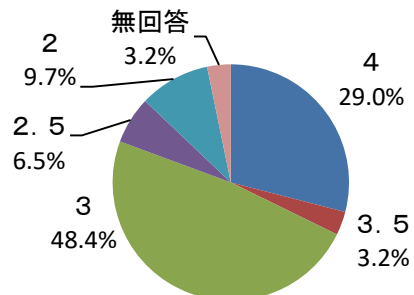
| <活用度> | | 回答数 | % |
|-----------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 思った 思わない ↓ | 4 | 22 | 71.0% |
| | 3.5 | 3 | 9.7% |
| | 3 | 5 | 16.1% |
| | 2.5 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1.5 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 3.2% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



③研修全体の進め方・運営についてどのように感じられましたか？

N=31

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 良かった 良くなかった ↓ | 4 | 9 | 29.0% |
| | 3.5 | 1 | 3.2% |
| | 3 | 15 | 48.4% |
| | 2.5 | 2 | 6.5% |
| | 2 | 3 | 9.7% |
| | 1.5 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 1 | 3.2% |
| 合計 | | 31 | 100.0% |



④その他研修に関して改善点・お気づきの点をお聞かせください。

[研修期間、講義時間について]

- ・ 5日という短い期間であるため参加しやすかったが、参加してみるととても短いと感じました。講師との直接対話についても、全員と行いたかったです。しかし、短い期間でも仲間づくり等、充実した時間を過ごすことができました。
- ・ 一人の先生との直接対話であったが、時間はちょうど良かったので、あと2コマ設けていただき、他の先生と対話する機会がほしかったです。今回の研修期間は一週間でしたが、仕事の都合もあるので、私は一週間でちょうどでした。一週間の方が参加したい人も増えると思います。
- ・ 講義は2コマ以上はあった方が良い。
- ・ 演習時間が短くもう少し時間が欲しかった。一週間研修は時間もないので、最低でも2週間あった方が良くも。
- ・ もう1週間あっても良い。
- ・ 研修の内容から考えますと、もう少し時間があった方が良かったかと思えます。
- ・ 今回の研修はカリキュラムの変更により、新たに始まったものであるが、やはり1週間でこれだけの内容を理解するのは難しいので、もう少し期間が長い方が良い。
- ・ 少人数が良いと思いました。講師と話せる時間がもう少し多いとなお良いと思います。
- ・ 少し、期間が短いと感じました。作業、講義ともに倍くらいほしいです。
- ・ 全体的に講義時間が短く、講師の方々がかかなり端折った進め方になっていたように思うため、もう少ししっかりと時間を取ってほしい。
- ・ 短い研修機関の中に色々なことを学ばせていただき、若干消化不良の状態であるが、地元に戻り振り返る中で理解を深め、今後の活動に活かしていきたいと思いました。座学だけでなくワークにも取り組み盛り沢山の内容であって、次回はもう少し長めの期間を取っても良いのかなと思います。個人的には週末の方が嬉しいです。
- ・ もっと時間がほしい講義が多かった。
- ・ もっと深く、知識の獲得等を行いたかったです。今回のコマでは少ないと強く感じましたので期間を長くしていただきたいです。
- ・ 講師の方を少なくして、時間を増やしてほしい。テキストを使わないことが多い。できれば音声のデータを作成していただけたら助かります。
- ・ 期間が短いので講義、演習時間が足りない。最後の発表用原稿をそれぞれ配布できるよう配慮がほしかった。
- ・ 時間が少ない。発表の前に他の班分の資料を配布してほしい。
- ・ 時間がなくてアンケート書けませんでした。すみません。。
- ・ すみません。書く時間がありませんでした。

[進め方について]

- ・ 演習の「お花畑から考える」ことについては、抽象的で、各グループ戸惑っていたと思います。
- ・ グループで演習を行うにあたり、どのような発表をするのか理解できず、演習がうまく進められなかった。

- ・ 研修の運営について、指示があつたりなかったり…だったので、朝一にまとめて言ったり、一日の終了時にアナウンスするなど、統一すれば良いのでは？と感じました。
- ・ 講義を受け、その後、演習、発表につながる部分で、全体像がつかみにくく、演習（協議）している中で、発表までの方向性について共通認識をもつまで苦勞した。
- ・ 講師の方々の都合もあり難しいと思いますが、演習のコマを連続して行う方が、先に得られた知識等を有効に活用し、議論しやすいと感じました。また、演習の発表の際に、各班の現状・課題について紙資料でも良いので研修生に配った方が、それに対する課題解決発表になると考えます。
- ・ 自分で気付き、調べるという点を学ばせることも研修だと思いますが、出来れば事前課題が何に使われるのか、成果発表とはどのようなものか事前に知らせて頂けますともっと有意義な研修になると思いました。
- ・ 発表の手法等について、事前に周知してほしかった。行動宣言の記入時間は、事前に各自に記入してきて、発表者が多くしても良かったと思います。勉強になりました。ありがとうございました。自治大サイコーです。

[その他]

- ・ 本研修に参加し、自分自身とても向上できたと感じました。モチベーションは対価ではなく、心だということに気付きました。この気持ちを忘れずにがんばっていきたいと思います。
- ・ 講師の方々の今まで行ってきた活動や成功例のお話を聞きましたが、出来れば失敗例なども参考に聞いてみたかったです。
- ・ 部屋のパソコンがすぐにかたまる。

(3) 今回の研修受講生を対象としたステップアップ研修として、どのようなことに取り組みたいですか？

[研修後のフォロー]

- ・ 今回の研修の成果として行動宣言を行ったが、その後の実際の活動報告会など受講生の取組を検証し、助言やさらなる取組への活力を得られるようなステップアップができて、今回の受講生が参加する研修があればぜひ参加を検討したいと思っています。
- ・ 今回の研修を受講後に行った、地域づくり、人づくりでの成功例、失敗例を持ち寄って、その改善点等を検討する等。
- ・ その後のフィードバック発表会。
- ・ フォローアップ研修。行動宣言をしたことに対し、どのような活動を始めたか聞きたい。
- ・ 修了生で同窓会を兼ねてフィールドワークを行う。3年後とかに集まって情報交換する。

[現地視察等]

- ・ フィールドワークなどがあれば取り組んでみたいです。
- ・ 現地視察など企画しても面白いと思います。
- ・ やねだん等の実地研修と各自治体毎の設計図の説明会。
- ・ やねだんの人財塾のような現場に出ていき、それを持ち帰った後に班で検討するようなフィールドワークがあっても良いと思います。

[その他]

- ・ 各市での課題と現在進行形で行っていることのワーキングが出来ると良いと思います。
- ・ 今回の演習を発展させた形で、もう一步踏み込んだ、事業化につなげるための具体内容をプログラムする政策立案研修を取り組みたいと感じた。
- ・ もう少し、期間が長いものがあると良いです。
- ・ 研修で学んだことを、実行＝アウトプットしたい。ステップアップ研修を、また自治大で実施して下さい。
- ・ 具体的な政策や取組を考えていけるような形にしていければと思います。
- ・ 行動宣言に書いたことを実現していきたいと思っています。
- ・ 行動宣言の成果も一つですが、今回の研修によって変わったこと、変わったことによって取り組んだことなど、自ら考えることを取り組んでいきたいと感じました。
- ・ 今回、自分が研修した内容を後輩たちに伝えて、全国地域づくり人財塾への受講を呼び掛けていきたいです。
- ・ 自分の住んでいる街について、情報データと比べ、知らないことが多いと思います。街中をもっと知るため、自分の足で歩いて確かめていきたいと思っています。
- ・ 自分一人の力では地域を良くするという事はできず、様々な業種、団体と連携しなければいけないと改めて思いましたので、まずはそういった方々と関係を構築していきたいと思っています。
- ・ 事業の推進を行う。

- ・ 地元を好きになりたいです。
- ・ 積極的に人と関わる。

参考資料2. 全国地域づくり人財塾 フォローアップ研修

1. 九州地域フォローアップセミナーリーフレット

(1) in 都城

平成30年度



全国地域づくり人財塾

九州地域フォローアップセミナー

総務省の後援を受けて、「全国地域づくり人財塾」受講修了生を中心に地域づくりの実践を始められる方等の九州地域のフォローアップとして開催致します。「地域づくり人」としてのネットワークを構築すると共に、問題の共有をはかり課題解決の糸口として地域の活性化に寄与する人材を育てるものです。人財力活性化研究会の副座長で東京・八王子市で住民参加型の公園管理を行っているNPOフュージョン長池の富永講師と一緒に、地域活性化に活かせる外国人と地域の共生についてグループワークで考え、皆さんの取組みのヒントにしたいと考えています。

地域づくり人財塾受講修了生を中心に開催致しますが、地域づくりの実践を考えている方、有志とのネットワークを構築したい方、実際に地域づくりに携わっている方も是非、御参加ください。

会場：特別養護老人ホームほほえみの園

(宮崎県都城市丸谷町 4670 番地 ☎0986-45-3351)

平成30年7月7日(土) 13:00~17:45

(受付: 12:30~)

参加費: セミナー無料 ※研修会終了後に交流会を予定

※18:30~(交流会費¥4,000)

対象者: 全国地域づくり人財塾修了生及び地域づくりに興味のある方

《講師》



富永 一夫

NPO 法人 NPO フュージョン長池 会長
総務省人財力活性化研究会 副座長
総務省地域力創造アドバイザー
国土交通大学校 講師
内閣府地域活性化伝道師

■メイン講師

東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンが、47歳で会社を辞めて、暮らしを支援するNPO法人を設立。住宅管理支援事業、高齢情報化支援事業等々の事業を行い、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組む。後継者育成にも専念し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。2017年8月にはeラーニング教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。「都市郊外」の新興住宅地で、既存住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践している。

申し込み方法

応募締切り期日 平成30年6月30日(土)

メール、またはFAXにて以下の事項を記載の上、お申込み下さい。

①氏名 ②所属 ③役職 ④連絡先(電話番号) ⑤交流会参加の有無

《お申し込み・問い合わせ先》

担当: 宮崎県都城市丸谷町 4670 番地 担当: 坂元敏広

hohoemi2002@beach.ocn.ne.jp TEL: 0986-45-3351

《タイムスケジュール》

| | |
|-------------|---|
| 12:30～13:00 | 受付 |
| 13:00～13:05 | 開催挨拶及び講師紹介 |
| 13:05～13:10 | 講師挨拶 |
| 13:10～13:30 | 自己紹介タイム |
| 13:30～13:45 | 都城市概要説明 |
| 13:45～14:05 | 薄谷地域紹介 ※地域と社会福祉法人とのコラボレーション |
| 14:05～14:50 | ほほえみの園散策 |
| 15:00～15:45 | グループワーク 1 (外国人技能実習生が集落で安心して暮らすために必要なこと) |
| 15:45～16:05 | 発表 |
| 16:05～16:15 | 《休憩》 |
| 16:15～17:00 | グループワーク 2 (外国人と地域との共生のためには) |
| 17:00～17:20 | 発表 |
| 17:20～17:35 | 気づき共有と今後の展開 |
| 17:35～17:40 | 総評 |
| 17:40～17:45 | 閉会 |
| 18:00～20:00 | 懇親会 |

| | |
|----------------|----|
| 氏名 | |
| | |
| 所属 | 役職 |
| | |
| 連絡先 (電話番号) | |
| | |
| 交流会 (¥4,000.-) | |
| 参加 ・ 不参加 | |

FAX 送信先
 特別養護老人ホームほほえみの園
 0986-45-3352



平成 30 年度 全国地域づくり人財塾

九州地域フォローアップセミナー 後援：志布志市

平成 31 年 1 月 26 日 (土) 13:00～18:00

会場：志布志市役所 志布志支所一階会議室

(鹿児島県志布志市志布志町志布志 2 丁目 1-1)

テーマ：「商店街」のこれまでとこれから～街の賑わいを考える～

参加料：無料 定員：30名 (先着順、定員達し次第〆切)

対象者：全国地域づくり人財塾修了生及び地域づくりに

興味のある方

講師：富永 一夫 氏

NPO 法人 NPO フュージョン長池 会長

総務省人材力活性化研究会 副座長 総務省地域力創造アドバイザー

国土交通大学校 講師 内閣府地域活性化伝道師



■プロフィール

東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンが、47歳で会社を辞めて、暮らしを支援する NPO 法人を設立。住宅管理支援事業、高度情報化支援事業等々の事業を行い、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組む。後継者育成にも専念し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。2017年8月にはeラーニング教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。“都市郊外”の新興住宅地で、既存住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践している。

■ 地域づくり人財塾フォローアップ研修とは・・・■

現地視察やグループワークなどを行いながら、地域づくりについて考えてみませんか？色々な分野の人が集まり語り合うことで、思いもよらなかった新しいアイデアや関心が生まれる・・・そんな経験をしたことのある方は多いのではないのでしょうか。

地域づくり人財塾フォローアップ研修では、総務省主催「全国地域づくり人財塾」修了生を中心に、全国各地で地域を盛り上げていきたい有志が集まって、定期的に勉強会や情報交換会を開催しています。この度、はじめて鹿児島県で開催する運びとなりました。地域づくりに関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

お問い合わせ、お申し込みは・・・

地域づくり人財塾 in 九州フォローアップセミナー事務局

田中 慶悟 mail: naniga424@gmail.com

電話：090-4289-5807

≪タイムスケジュール≫

- 12:30～13:00 受付。
- 13:00～13:10 開会挨拶、講師紹介、趣旨説明。
- 13:10～13:20 チェックイン（参加者自己紹介）、軽体操。
- 13:20～13:30 志布志市地域おこし協力隊の活動紹介。
（椎葉桃子さん：商店街プランナーとしての活動）。
- 13:30～13:50 商店街起業家紹介。
（多機能型情報発信拠点「S.O.L」代表：坂口潤成さん）。
- 13:50～14:00 現地視察レクチャー。
- 14:00～15:00 現地視察（徒歩）。
- 15:00～15:10 休憩。
- 15:10～15:20 視察を受けての質疑。
- 15:20～16:00 グループワーク①。
現地視察の情報整理、課題の抽出。
- 16:00～16:15 発表① ※グループ間で出た意見の共有。
- 16:15～16:20 休憩。
- 16:20～17:20 グループワーク②。
中心市街地をちょっと面白くする提案作成。
- 17:20～17:45 発表② 本日の成果披露（市長聴講予定）。
- 17:45～17:50 質疑応答、市長感想インタビュー。
- 17:50～18:00 講師講評、気付きの共有と今後のまとめ。
- 18:00 閉会。
- 18:30～懇親会 インド料理店「ヒマラヤ」。

2. 北海道地域フォローアップ研修申込画面 (1) in 岩見沢



全国地域づくり人財塾・北海道
フォローアップ研修 in 岩見沢

(1日目) 12月1日 (土) 15:00 岩見沢集合 (開演時間)
(2日目) 12月2日 (日) 9:30~11:30 フォローアップ研修 (会場: いわみび)

***必須**

メールアドレス *

メールアドレス

参加者氏名 *

回答を入力

参加者氏名 (ふりがな) *

回答を入力

所属 *

回答を入力

連絡先 (電話番号) *

回答を入力

宿泊 (予定) *

岩見沢市内
 札幌など岩見沢市外
 その他 (日帰り等)

参加イベント (参加するもの全てにチェックしてください) *

12月1日 (土) 岩見沢駅舎見学
 12月1日 (土) 懇親会
 12月2日 (日) フォローアップ研修

地域づくり人財塾の卒業生の方は卒業証書の証書番号をご記入
ください

回答を入力

回答のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。

送信

Google フォームでパスワードも送信しないでください。

<日程>

◆12月1日(土)

- 15:00 JR 岩見沢駅集合
- 15:15 岩見沢駅複合駅舎及び周辺視察
- 16:30 視察終了
- 17:30 交流会(福よし)

◆12月2日(日)

- 9:15 受付開始
- 9:30 フォローアップ研修開始
 - ・前日の視察の振り返り
 - ・問題提起
(市民活動に縁のない人をつなげるために)
 - ・ワークショップ
(テーマ:市民活動は何のためにやるのか?)
 - ・講評 富永講師
 - ・その他(今後のフォローアップ研修について)
- 11:30 解散

参考資料3. 全国地域づくり人財塾 課題解決編（フィールドワーク型）

1. 受講者アンケート・リーフレット

[平成30年9月6日～8日]

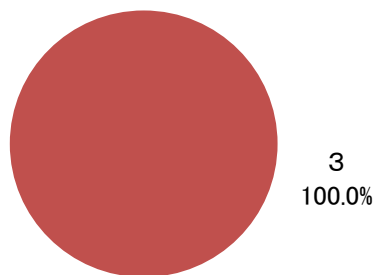
■受講者アンケート

(1) 各プログラムに対する評価

【事前課題の発表】

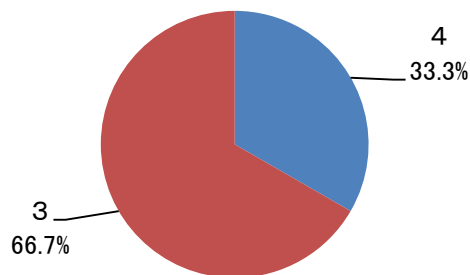
N= 3

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 0 | 0.0% |
| | 3 | 3 | 100.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



N= 3

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 1 | 33.3% |
| | 3 | 2 | 66.7% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



<感想>

◎活用度4

- ・ やはりアレもコレもと短い限られた時間内に絞り込んで話すことの難しさを痛感します。

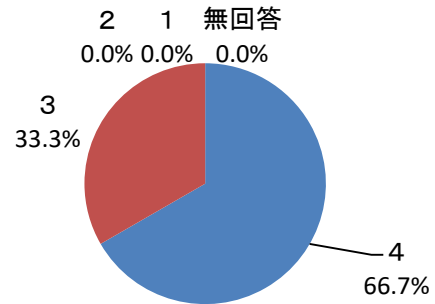
◎活用度3

- ・ 最後に発表したくらいの内容を最初の事前課題にもってこれたら、より自分にとってよい人財塾になったと思う。
- ・ 自分のやりたい活動について発表したが、今一つ深堀り出来ていなかったため、研修スタッフの方のコメントが参考になった。

【フィールドワーク①】油津応援団

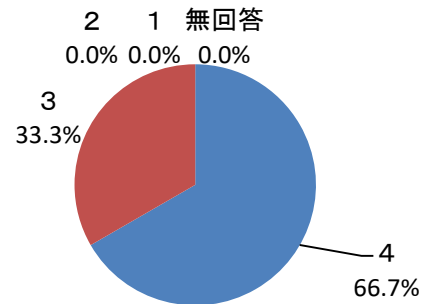
N= 3

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 2 | 66.7% |
| | 3 | 1 | 33.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



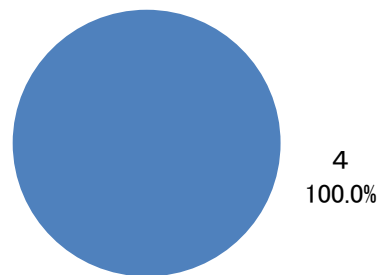
N= 3

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 2 | 66.7% |
| | 3 | 1 | 33.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



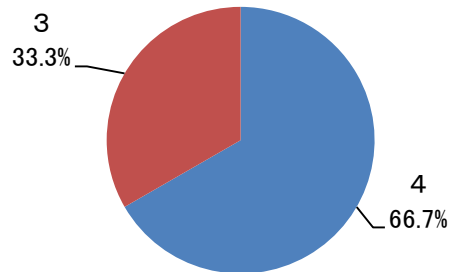
N= 3

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 3 | 100.0% |
| | 3 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



N= 3

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 2 | 66.7% |
| | 3 | 1 | 33.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ カーブ博物館、カープ一本道など、地元広島をも圧倒する取りこみに感動しました。楽しい「場」

をつくることで次から次に生まれるアイデア。

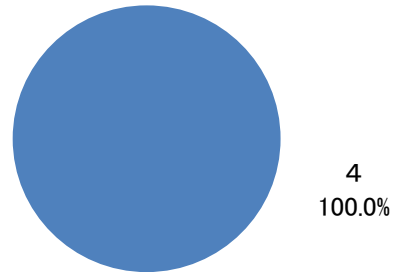
◎活用度 3

- ・ 黒田社長のパーソナリティーに感心しました。年齢に関係なく、情熱と常に次の一手を考える周到さに参考にすべき点がありました。

【フィールドワーク②】 aya100

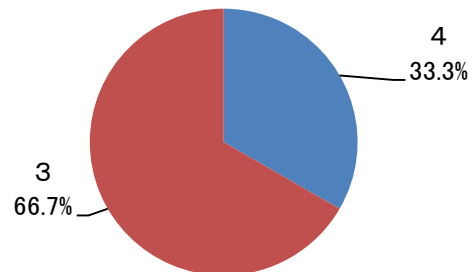
N= 3

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 3 | 100.0% |
| | 3 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



N= 3

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 1 | 33.3% |
| | 3 | 2 | 66.7% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

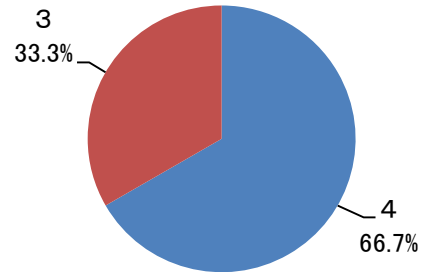
- ・ 会社づくりにもぜひ応用し、活用させていただきたいです。自分や仲間内にも制限を設けず何でも実現させる可能思考をもちます。

◎活用度 3

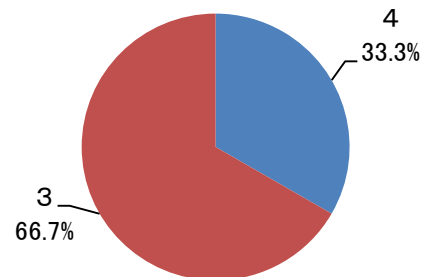
- ・ 最初に見た時には、「この人大丈夫？」かと思いましたが、とても深く物事を考えていて、それを自然に進めていく身のこなし方、若いのに素晴らしいと思いました。

【個人ワーク・発表】

| | | N= 3 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <理解度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 2 | 66.7% |
| | 3 | 1 | 33.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



| | | N= 3 | |
|------------------|-----|------|--------|
| <活用度> | | 回答数 | % |
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 1 | 33.3% |
| | 3 | 2 | 66.7% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 何度でも受講する価値があるセミナーでした。深く掘りさげていって、コレで正解というものはないので、どこまでも探求していきたいです。

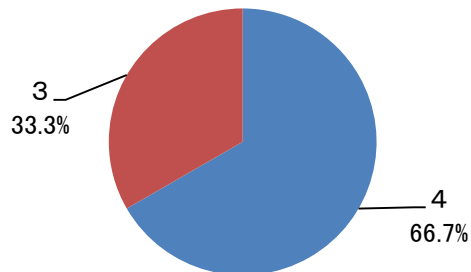
◎活用度 3

- ・ 自分の考えをまとめることができた。しかし、発表の趣旨を理解しきれていなかった。
- ・ 前 2 日間のスケジュールを通じて、自分のやりたい事をどういう風に進めて行けば良いか、考えが整理出来てきた気がします。もう少し内容をブラッシュアップしてきます。

【行動宣言】

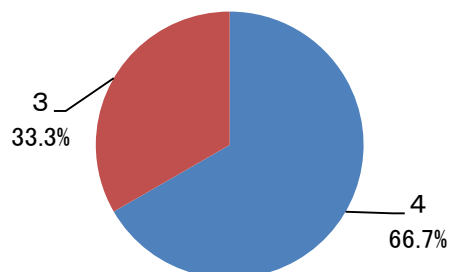
N= 3

| <理解度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 2 | 66.7% |
| | 3 | 1 | 33.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



N= 3

| <活用度> | | 回答数 | % |
|------------------|-----|-----|--------|
| ↑ 高 低 ↓ | 4 | 2 | 66.7% |
| | 3 | 1 | 33.3% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | | 3 | 100.0% |



<感想>

◎活用度 4

- ・ 私は、地域に帰り、要職の方々と話しあい、振興法人の事業細部の見直しと収支の黒字転換の計画をもう一度つめて協議していきたいと思います。

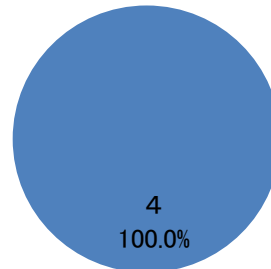
◎活用度 3

- ・ 実現に向けて頑張ろうという思いがしています。

(2) 本研修は現在取り組んでいるまたは取り組み予定の活動に活用できる内容でしたか？

N= 3

| <活用度> | | 回答数 | % |
|-------------|-----|-----|--------|
| ↑ 活用できる | 4 | 3 | 100.0% |
| | 3 | 0 | 0.0% |
| 活用できない ↓ | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 3 | 100.0% |

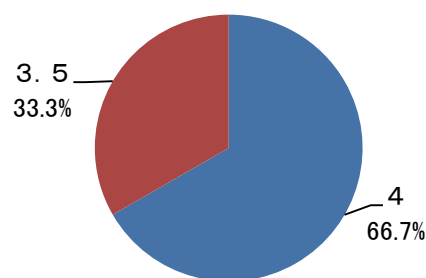


(3) 他の地域との交流・ネットワークについてお伺いします。

①本研修に参加して、他の地域のメンバーと交流は深まりましたか？

N= 3

| <活用度> | | 回答数 | % |
|--------------|-----|-----|--------|
| ↑ 深まった | 4 | 2 | 66.7% |
| | 3.5 | 1 | 33.3% |
| 深まらなかった ↓ | 3 | 0 | 0.0% |
| | 2 | 0 | 0.0% |
| | 1 | 0 | 0.0% |
| | 無回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 3 | 100.0% |



②研修後も今回参加のメンバーと交流を深めるためのアイデアがあればお聞かせください。

- ・ 各メンバーが取り組んできた内容・取り組んでいく内容について知ることができたので、自分が似たようなことで悩んだ時に連絡をとれるような状態にしておきたい。
- ・ もう少し多くの方が参加できるように、大変かとは思いますが、複数の日程で開催していただくと良いかと思えます。(例) 東日本～日、西日本～日等

(4) 研修全体についてお伺いします。

①研修の開催時期、実施期間(2泊3日)、開催場所、参加条件はどうでしたか？

- ・ 7~9月に開催していただけると夏季休暇でこれるので良い。
- ・ 自分にとっては参加しやすい日程・期間・場所で良かったと思いました。(※参加条件も厳しくはないと思います)
- ・ もう少しだけ涼しくなった時期の方がうれしいです。

②本研修は期待に沿った内容でしたか？

- ・ はい。
- ・ 予想以上に、現地講師の方が熱い情熱を持ち前向きな方々だったので、勇気づけられました。
- ・ 今回は特に飯盛先生のお話が更により理解できました。2回、3回お話を聞くと尚、更にすばらしさがわかります。又、黒田社長や梶山社長の完全自立型の経営者のお話は心にひびきます。

(5) 人財塾では、JUMP、JIAM等での2泊3日程度の大教室での講義中心の研修を行うとともに、当該研修の既受講者等を対象とした、今回のような課題解決型の比較的少人数の研修を実施しています。大教室での研修とは別に、既受講者等を対象とした研修を実施するとしたら、どのような内容の研修が望ましいと思いますか？

- ・ 実際に自分で事業をすすめていくとしたら、悩みがでてくると思う。そういう悩みを共有して前に進める活力を得れるような研修。
- ・ 参加者同士がブリーフィング(グループ討議)を行えるスタイルで1泊2日~2泊3日で実践してみると面白いのかもしれないと思います。
- ・ 今回のように、実際に経営し、自立していらっしゃる経営者のお話が一番良いと思います。補助金ばかりで運営は、そもそも経営が成りたっていないのと同じだと思います。

(6) 今回の研修についてのご感想をご自由にお書きください。

- ・ 熱い思いの人に出会えて良かった。同じ立場の公務員の人で色々と頑張っている人がいれば是非講師として参加してほしい。
- ・ 参加して良かったと思います。残念ながら参加出来なかった2名の話も伺いたかったです。それと、自分以外の2名とはこれからも情報交換を続けていきたいです。
- ・ 企画いただいた総務省ご担当者様、事務局、そして飯盛先生、外部講師の黒田様、梶山様、一緒に受講した方、3日間ありがとうございました。感謝いたします。


くらしの中に
総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

平成30年度 全国地域づくり人財塾

－ 課題解決編（フィールドワーク型）－

総務省では、「全国地域づくり人財塾」等の受講を経て地域づくりの実践を始めた方等を対象に、課題解決の糸口発見や更なる活動へのステップアップの場とするために、本講座を開催いたします。

「地域づくり人」として更なる実践を考えている方、全国の有志とのネットワークを構築した方、新しい事業・取組を検討されている方、是非ご参加ください。

グループによる実践的なプランニングを通じて実現のための手法を学んでみませんか。

日 程: 平成30年9月6日(木)～8日(土)[2泊3日]

テ ー マ: 地域資源を活かした事業創造

講 師: 飯盛 義徳 慶應義塾大学総合政策学部教授(学部長補佐) (総務省「人材力活性化研究会」座長)

会 場: 株式会社油津応援団(宮崎県日南市)、株式会社aya100(宮崎県綾町)ほか

対 象: 地方公共団体職員又は地域づくりに取り組むNPO関係者等の皆様

※ 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできません。

※ 事前課題として、地域の状況や課題、研修で学びたいことなどについてのプレゼン資料の作成(発表時間10分程度の分量、Microsoft社のPower Pointで作成)が必要となります。

定 員: 15名(受付は先着順となります。お申込み受付後、受講案内、事前課題の詳細をお送りします。)

宿 泊: fan!-ABURATSU-(日南市)[相部屋]、綾てるはの森の宿(綾町)[相部屋] ※外泊不可

経 費: 18,000円


※ 研修、宿泊、食事(1日目夕食、2日目朝食、3日目朝食・昼食)が含まれます。

※ 2日目夕食は交流会を予定(各自負担)。

申込方法: 申込書に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールにてお申し込みください。

※ 申込期限:平成30年8月24日(金)まで。

■メイン講師 慶應義塾大学総合政策学部教授(学部長補佐) 飯盛 義徳 氏



地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的な方策を探究されています。その豊富なご経験と、先進事例の成功要因に基づいて、「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から、参加者の皆さんが実践されている、地域づくり活動の課題についてアドバイスをいただきます。

<講師略歴>

佐賀県生まれ。慶應義塾大学大学院経営管理研究科単位取得退学、博士(経営学)。1987年、松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年、同校修了後、飯盛教材株式会社入社。1999年、アントレプレナー育成スクールNPO法人風龍塾を設立。2002年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任。2008年、慶應義塾大学総合政策学部准教授。2014年、教授。2017年から現職。「域学連携」を各地で推進。総務省人材力活性化研究会座長、総務省ふるさとづくり懇話会委員などを務める。

総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

お問合せ 担当：三宅地域支援専門官、安室事務官 Tel：03-5253-5392

お申込み (株)価値総合研究所 全国地域づくり人財塾係 担当：木村、目黒
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
 Tel：03-5205-7901 Fax：03-5205-7922 Mail：zinzai@vmi.co.jp

■プログラム構成

※プログラムは都合により変更となる可能性があります。

1

【事前課題】現在の地域活動の状況・課題の整理

参加者が各地域で実践している地域づくり活動の状況、抱えている課題及び本研修で学びたいことについて事前にまとめていただき、当日発表していただきます。

2

【フィールドワーク】地域の取組の視察

実際に地域に赴き、地域の取組を関係者から伺います。

■フィールドワーク① 株式会社油津応援団

(宮崎県日南市)

油津応援団は、日南市の油津商店街を拠点に、まちが直面する多くの課題に対して、トータル的な観点から提案・実践を重ねています。特に、科学的方法と直感力(感性)を柔軟に使いこなしながら、構想・調査・企画・設計そして運営実践までを一貫して行い「時間、空間、思い出、感動」を生む実働力を持ったチームを目指しています。

ここでは、油津応援団が大切にしている多様な専門分野とのネットワークを生かして、様々な主体と連携、協働しながら進める Planning、Design、Managementのポイント等を学びます。

【ホームページ: <http://aburatsu-o.com/>】

【現地講師】
株式会社油津応援団
代表取締役
黒田 泰裕 氏



■フィールドワーク② 株式会社aya100

(宮崎県東諸県郡綾町)

aya100は、「宮崎県綾町のふるさと納税や農産物の販路開拓をするaya100」といい、「綾町の魅力を100年後に伝える事」を使命に活動する、行政・民間・NPOが職業や立場を超えて集う有志の地域団体です。現在は、主に地域資源を活かした持続可能なモデルを実現するために、「情報発信」、「商品開発」、「販路開拓」の支援を行っています。

ここでは、aya100が大切にしている、「知ってもらおうこと」、「好きになってもらうこと」、そして「綾町に来てもらうこと」のサイクルを育む発想法や視点、手法、考え方等のポイントを学びます。

【ホームページ: <https://aya100.jp/>】

【現地講師】
株式会社aya100
代表取締役
梶山 剛 氏



3

【グループワーク】課題の共有と解決糸口の発見

事前課題を、さまざまな地域から集う参加者間で共有し、代表的な課題をケーススタディとして取り上げ、多面的な視点から、その解決策をグループワーク形式(1グループ5名程度)で討議します。参加者間で議論を深め、課題解決の糸口を探します。

4

【成果発表】課題解決策と実行計画案の発表

各地域の課題について、グループワークで議論した解決策および地域での実行計画案を全体発表します。

■プログラム(予定)

■9月6日(木)【フィールドワーク・事前課題発表】

9月6日(木) 12:00 JR宮崎駅改札口(外) 集合

※昼食は済ませてからお集まりください。

12:00-12:20 【受付】(JR宮崎駅)

12:30 JR宮崎駅 出発(バスで移動) ※車中にてオリエンテーション

14:30-16:30 【フィールドワーク】

・「油津応援団(宮崎県日南市)」を現地視察

16:30-19:00 【事前課題等の発表・講評等】

・事前課題等の発表

19:30 【夕食・交流会】

※宿泊は「fan! -ABURATSU- (油津商店街)」(相部屋)



■9月7日(金)【グループワーク・フィールドワーク】

9:00-11:00 【グループワーク】

・事前課題を踏まえたグループワーク

11:30-13:30 【バスで移動】

14:00-16:30 【フィールドワーク】

・「aya100(宮崎県綾町)」を現地視察

17:00-19:00 【グループワーク】

・フィールドワークを踏まえた事業計画案の作成

19:30 【交流会】

※宿泊は「綾てるはの森の宿」(相部屋)



■9月8日(土)【グループワーク・成果発表】

9:00-11:20 【グループワーク】

・グループワークによる事業計画案の作成

11:20-12:20 【成果発表】

・事業計画案のプレゼンテーション

13:00-14:00 【総括講義】

14:10 現地出発(バスで移動)

15:30 JR宮崎駅 解散



■受講生の声

- 刺激だらけで、ぐさぐさと刺さるくらい痛い研修だった。その反面、自分の成長につながったとともに、将来こういうことがしたいと明確な夢を持つことができた気がする。
- 人前でプレゼンすることは、あまりない為、実際に行えること、また、講評をいただけたことは有難い。
- 一つの事業を起こしていく奥深さ、大変さを少し経験できた。もっと沢山知識を深めていく必要があると感じた。
- 役割分担と時間配分を決めてやることの大切さを味わった。理論を通すためのデータにも力を入れたい。
- 事業計画を立てる事の難しさ、チームをうまく機能させる難しさを感じました。事業計画をしっかりと考えることが大切で何度も考えることが大事だと感じました。
- テーマなど、それぞれの着眼点の違いや、経験の違いによる思考の差を見れた。地域の中での話し合いに活用できそう。

参考資料4. 人材力活性化研究会 資料

1. 第23回人材力活性化研究会

第23回 人材力活性化研究会 議事次第

- 開催日時：平成31年2月26日（火）14：00～16：00
- 開催場所：総務省（合同庁舎2号館） 総務省 3階共用会議室
- 議事
 1. 「全国地域づくり人財塾」実績報告について
 - (1) 「全国地域づくり人財塾」(@JIAM) 実施報告
 - (2) 「全国地域づくり人財塾」(地方開催 in 札幌) 実施報告
 - (3) 「全国地域づくり人財塾」(@JAMP) 実施報告
 - (4) 「全国地域づくり人財塾」(@自治大学校) 実施報告
 - (5) 「全国地域づくり人財塾課題解決編（フィールドワーク型）」実施報告
 - (6) 「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修
 2. 今年度における各人財塾の課題と来年度の方向性（案）について
 3. 平成31年度「全国地域づくり人財塾」開催計画（案）について
 4. 「人材力活性化に関する調査研究事業」報告書骨子（案）について
 5. 中長期的な人材育成のあり方について
 6. その他
- 配付資料
 - ・ 資料1-1 「全国地域づくり人財塾」(@JIAM) 実績報告
 - ・ 資料1-2 「全国地域づくり人財塾」(地方開催 in 札幌) 実績報告
 - ・ 資料1-3 「全国地域づくり人財塾」(@JAMP) 実績報告
 - ・ 資料1-4 「全国地域づくり人財塾」(@自治大学校) 実績報告
 - ・ 資料1-5 「全国地域づくり人財塾課題解決編（フィールドワーク型）」実績報告
 - ・ 資料2 「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修
 - ・ 資料3 今年度における各人財塾の課題と来年度の展開（案）
 - ・ 資料4 平成31年度における人材研・人財塾について（案）
 - ・ 資料5 平成31年度「全国地域づくり人財塾」開催計画（案）
 - ・ 資料6-1 平成31年度「全国地域づくり人財塾」(@JIAM) の時間割（案）
 - ・ 資料6-2 平成31年度「全国地域づくり人財塾」(@JAMP) の時間割（案）
 - ・ 資料6-3 平成31年度「全国地域づくり人財塾」(@自治大学校)（素案）
 - ・ 資料7 平成31年度「全国地域づくり人財塾」地方開催（案）
 - ・ 資料8 「人材力活性化に関する調査研究事業」報告書骨子（案）

「全国地域づくり人財塾」@JIAM

資料1-1

開催日時・会場

平成30年5月9(水)～11日(金) 全国市町村国際文化研修所

参加者の状況

参加者数 44名

研修概要

- 人材力活性化研究会構成員が実践事例を基に研修及び直接対話を実施
- 外部講師 木下 巨一氏(長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課 企画幹)

受講生の声(アンケートより抜粋)

(研修全般)

- ・モチベーションは低くはないと思っていたが、様々な方と出会いお話しするなかで、刺激を受け、一層上がったように思う。今自分が直面している悩みや何となく地域住民が思っている理想の解決や実現の具体的な方策を見出せた。
- ・地域づくりのためのやり方を、たくさん学べた。同じように取り組んでいる仲間がいるということがとても強く感じました。
- ・講師から素晴らしい講義を聞くことができるのは大変素晴らしいものであるが、全国の自治体職員との交流、ネットワークを構築できるのが、大変素晴らしい研修となった。

(ステップアップ研修の要望等)

- ・ファシリテーターを入れたグループワークや、ワールドカフェなど参加者同士の情報交換ができる時間を多く設けてもらいたい。
- ・実践されている現場でのフィールドワーク。自ら実践している内容のブラッシュアップ。
- ・今回の講師をセットにした研修ではなく、選択制にしてより深く学ぶことができるようになるのはいかがでしょうか。
- ・研修を受講して、どの様に、意識が変化して、どの様な行動に至ったのか、とか研修の成果を聞きたいと思う。
- ・同メンバーにおける経過報告があれば勉強になると共に励みになる。



「全国地域づくり人財塾」in札幌

資料1-2

開催日時・会場

平成30年7月19(木)～20日(金) TKPガーデンシティ札幌駅前 (北海道札幌市)

参加者の状況

参加者数 64名

研修概要

- 人材力活性化研究会構成員が実践事例を基に研修及び直接対話を実施
- 外部講師 目黒 英治氏(北海道農山漁村(ふるさと)地域カネットワーク)、西村 浩氏(榊ワークヴィジョンズ)

受講生の声(アンケートより抜粋)

(研修全般)

- ・行政と民間連携という視点での話が少ない印象でした。企業も地方の課題解決に取り組む必要、意識を持っており、どのようにイノベーションを起こすか、詳しくご教示いただきたいと思いました。
- ・学びをもっと深めて、同じような悩みを話せる時間がほしかった。
- ・講義時間が長く感じた。もう少し短くシンプルの方が良い。
- ・運用上大変なのは承知の上ですが、個別対話を講義の後で決める(変更できる)ようにしていただきたいです。

(ステップアップ研修の要望等)

- ・今回の研修を通して、新たに事業を始めた方の事例を紹介し、共有し合うセミナーなどがあればいいです。
- ・事例研究等のディスカッション形式。
- ・グループワークなど演習形式も一案ではないかと思えます。
- ・講義で落とし込んだ内容をフィールドワークのような形で実践的に学びたいです。
- ・実地調査や政策提言などを行う研修。
- ・社会貢献ファシリテーターやファンドレーザーなどまちづくりに関する専門職を学んでみたい。



「全国地域づくり人財塾」@JAMP

資料1-3

開催日時・会場

平成30年9月19(水)～21日(金) 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)

参加者の状況

参加者数 82名

研修概要

- 人材力活性化研究会構成員が実践事例を基に研修及び直接対話を実施
- 外部講師 加藤 潤氏(NPO顕娃おこそ会観光プロジェクトリーダー)

受講生の声(アンケートより抜粋)

(研修全般)

- ・受講して本当に良かった。とても得をした気持ちと若い時に受講しておきたかったと…職場に帰りフィードバックをし、毎年受講をすすめたいと思いました。ありがとうございました。
- ・地域づくりを実践され成果を上げていらっしゃる講師陣の話はどれも聞きごたえがあった。グループトーク等で他の参加者と交流できる時間があったのもありがたかった。
- ・1日目の交流会で、様々な人と交流ができてよかった。また、講師との直接対話では、今まで遠い存在だった講師の先生がぐっと近づいた感じがして、質問しやすい雰囲気があった。講師の人ともっと話してみたいと感じた。
- ・多種多様な話を聞き、共有でき、多くの財産を得ることができた。

(ステップアップ研修の要望等)

- ・実際に市民活動を行っている職員との対話の時間があっても良いと思いました。公務と地域活動の両立など、勉強になると思います。
- ・これまでの研修もそうであるが、帰庁してしばらくすると意識も元にもどってしまう自分がある。刺激を求め定期的にでも研修を受けていきたい。あと、少しでも実践できるものをつくりあげたい。人数が多いのであれば、フォローアップ研修を四国でお願いしたい。
- ・宣言書(事業計画)のその後どうなっているか。しっかり実行できているか?できなかったときは講師の先生方からダメ出し、アドバイスを受けてたい。



「地域人財づくりセミナー」@自治大

資料1-4

開催日時・会場

平成30年10月17日(水)～19日(金) 自治大
(地域人財づくりセミナー 15日(月)～19日(金))

参加者の状況

参加者数 32名

研修概要

- 人材力活性化研究会構成員が実践事例を基に研修及び直接対話を実施
- 課題解決に向けた班別検討、発表

受講生の声(アンケートより抜粋)

(研修全般)

- ・本研修に参加し、自分自身とても向上できたと感じました。モチベーションは対価ではなく、心だということに気がきました。この気持ちを忘れずにがんばっていきたくと思います。
- ・もっと深く、知識の獲得等を行いたかったです。今回のコマでは少ないと強く感じましたので期間を長くしていただきたいです。
- ・短い研修期間の中に色々なことを学ばせていただき、若干消化不良の状態であるが、地元に戻り振り返る中で理解を深め、今後の活動に活かしていきたいと思いました。座学だけでなくワークにも取り組み盛り沢山の内容であって、次回はもう少し長めの期間を取っても良いのかなと思います。個人的には週末の方が嬉しいです。

(ステップアップ研修の要望等)

- ・今回の研修を受講後に行った、地域づくり、人づくりでの成功例、失敗例を持ち寄って、その改善点等を検討する等。
- ・修了生で同窓会を兼ねてフィールドワークを行う。3年後とかに集まって情報交換する。
- ・各市での課題と現在進行形でやっていることのワーキングが出来ると思います。
- ・行動宣言の成果も一つですが、今回の研修によって変わったこと、変わったことにより取り組んだことなど、自ら考えることを取り組んでいきたいと感じました。



「全国地域づくり人財塾」課題解決編(フィールドワーク型)

資料1-5

開催日時・会場

平成30年9月6日(木)～8日(土) 宮崎県日南市・綾町

参加者の状況

参加者数 3名(男性2人 女性1人)※うち人財塾修了者は1名

研修概要

- 受講者の事前課題の発表、飯盛座長が実践事例を基に講義
- 個人ワークによるテーマ選定、具体的実行計画検討・取りまとめ・発表
- フィールドワーク(油津応援団・aya100)
- 飯盛座長による全体講評、受講生による行動宣言の作成・発表

受講生の声(アンケートより一部抜粋)

(研修全般)

- ・熱い思いの人に出会えて良かった。同じ立場の公務員の人で色々頑張っている人がいれば是非講師として参加してほしい。
- ・各メンバーが取り組んできた内容・取り組んでいく内容について知ることができたので、自分が似たようなことで悩んだ時に連絡をとれるような状態にしておきたい。
- ・予想以上に、現地講師の方が熱い情熱を持ち前向きな方々だったので、勇気づけられました。

(ステップアップ研修の要望等)

- ・実際に自分で事業をすすめていくとしたら、悩みがでてくると思う。そういう悩みを共有して前に進める活力を得られるような研修。
- ・参加者同士がブリーフィング(グループ討議)を行えるスタイルで1泊2日～2泊3日で実践してみると面白いのかもしれないと思います。
- ・今回のように、実際に経営し、自立していらっしゃる経営者のお話が一番良いと思います。補助金ばかりで運営は、そもそも経営が成りたっていないのと同じだと思います。



「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修について

資料2

全国地域づくり人財塾・東日本支部

1. 概要

人材力活性化研究会の構成員や大学講師を招聘した講義のほか、参加者から自分の地域についてプレゼンを行い、それに対して他の参加者からフィードバックを行う形式で開催。

2. 開催状況

平成24年度の人財塾@市町村アカデミーの受講生が中心となって企画・開催。平成25年4月以降、3か月毎に開催。平日開催だが、人財塾の未受講生を含め、東京ほか近隣県の市町村職員を中心に1回あたり20名程度の参加。

【平成30年度の開催状況】

(第21回) 4月27日会場: BICライブラリ(機械振興会館)
主なテーマ: フォローアップ研修のこれから
参加者数 : 12名

(第22回) 7月25日会場: 地球環境パートナーシップオフィス
主なテーマ: SDGsと自分のつながりとは?
参加者数 : 30名

(第23回) 2月21日会場: up Tsukuba
主なテーマ: 人財育成
参加者数 : 20名

全国地域づくり人財塾

九州フォローアップセミナー

1. 概要

平成29年度の全国地域づくり人財塾in福岡の修了生を中心に開催。開催地域は持ち回りで、ワークショップをとり入れたカリキュラムで構成。

2. 開催状況

概ね半年を周期に開催している。

平成30年度は、宮崎県都城市、鹿児島県志布志市の2地域で計2回開催。

(第2回) 7月7日会場: 特別養護老人ホームほほえみの園

主なテーマ: 外国人と地域の共生について考える

参加者数 : 26名

(第3回) 1月26日会場: 志布志市役所志布志支所
主なテーマ: 「商店街」のこれからとこれから～街の賑わいを考える～

参加者数 : 23名



「全国地域づくり人財塾」フォローアップ研修について

全国地域づくり人財塾 北海道フォローアップ研修

1. 概要

平成30年度の全国地域づくり人財塾in札幌の修了生を中心に開催。開催地域は持ち回りで、ワークショップをとりいれた1泊2日のカリキュラムで構成。

2. 開催状況

概ね年1回を目途に開催するとしている。
平成30年度は、北海道岩見沢市で開催。

(第1回) 12月1日～2日 会場: JR岩見沢駅/岩見沢市生涯学習センター
主なテーマ: 岩見沢市の取組について考える
参加者数 : 19名



今年度における各人財塾の課題と来年度の方向性(案)

資料3

課題

◎JIAM(2泊3日 44名受講)
◎JAMP(2泊3日 82名受講)
◆カリキュラム比率
講義4割、対話4割、報告2割

能動的な活動(講師や修了者との対話、演習、フィールドワーク)が少ない

◎自治大学校(4泊5日(内人財塾2泊3日) 32名受講)
◆カリキュラム比率
講義4割、対話1割、演習5割

① 人財塾の期間が短い
② 演習が消化不良になりがち

◎地方開催(1泊2日64名受講)
◆カリキュラム比率
講義7割、対話3割

① 開催期間が短い
② 能動的な活動(講師や修了者との対話、演習、フィールドワーク)が少ない

◎課題解決編「フィールドワーク」(2泊3日 3名受講)
◆カリキュラム比率
全てフィールドワーク

① 参加人数が少ない
② 人数が少ないため、グループワークが困難

方向性

◎JIAM、JAMP
☆位置づけ:
【講義中心の初級編】

☆改善内容
対話の時間(修了者との対話や受講者間の対話)を増やす

◎自治大学校
☆位置づけ:
【演習中心の中級編】

☆改善内容
① 自治大講義と合わせ土日を挟み、期間を延長する
② 演習の時間を増やす

◎地方開催
☆位置づけ
【講義中心の初級編】

☆改善内容
① 受講者間の対話の時間を新設する
② 3日目にオプションで、近辺でのフィールドワークを実施する

◎課題解決編「フィールドワーク」

① 単独開催を休止し、再来年度以降の実施方法を検討する
② 平成31年度は、地方開催のオプションとして、簡易な形で実施

平成31年度における人材研・人財塾の展開(案)

資料4

調査研究

【人材力活性化に関する調査研究】

- ・ 今後の人材力活性化の取り組みの展開にかかる課題等について調査・分析
- ・ 人財塾修了者(H27～H30)の活動調査、事例集作成 等

フォローアップ
研修への支援
(自主開催)
北海道、東日本、
西日本、九州…

人材力活性化研究会構成員

実践編①

全国地域づくり人財塾 【初級編】

- ・ JIAM (5月8日～11日)
- ・ JAMP (9月18日～20日)

実践編②

全国地域づくり人財塾 【初級編・地方版】

- ・ 日 程 7月18、19日
- ・ 開催地 北陸

実践編③

地域人財づくりセミナー (人財塾@自治大) 【中級編】

- ・ 自治大(12月18日～20日)※調整中

【以下について今後、具体的に検討】

- 「全国地域づくり人財塾(地方開催)」の時間割検討
- 「全国地域づくり人財塾」(@JAMP、@自治大)の時間割の検討

資料4(参考 第18回研究会資料)

「全国地域づくり人財塾」修了者の地域づくり活動調査報告

調査目的

これまでに「全国地域づくり人財塾」の修了者を対象として、修了者が実践している地域づくりの活動状況を網羅的に把握するとともに、今後の「全国地域づくり人財塾」運営検討のための基礎資料とすることを目的とする。

調査対象・方法

平成26年度までの全国地域づくり人財塾(平成24年度までに実施された「地域づくり人育成講座」を含む。ただし、自治大における政策専門課程の研修生を除く。)の修了者(既に退職されて連絡先が把握できない者を除く。)を対象として、関係市町村及び関係法人の人事担当を通じて調査票を配布・回収した。

| | 初級編 | 課題解決編 | 合計 |
|-------|-------|-------|-----|
| 送付者数 | 639 | 42 | 681 |
| (回答率) | 54.1% | 42.9% | — |

※初級編又は課題解決編の区分が誤って送付されたものについては、送付者数に算入していない。

調査項目

| 調査項目 | 設問の具体例 |
|-----------------------|--------------------------------|
| ①修了者の状況 | 所属団体・修了時及び現在の職務等 |
| ②人財塾受講理由や効果 | 受講理由、受講による効果(意識変化・行動変化) |
| ③(本来業務及び業務外の)地域活動の内容等 | 地域活動分野、事業(連携)主体の属性、活動概要、活動の規模等 |
| ④地域活動の課題 | 地域活動で感じている問題意識・課題(課題解消方法を含む)等 |
| ⑤地域活動のモチベーション | 地域活動を続けていくための方法(人財塾の場の活用を含む) |
| ⑥今後受講したい研修 | 今後受講したいと考える研修等 |
| ⑦その他 | 人財塾に求めるサポート等 |

平成31年度「全国地域づくり人財塾」等開催計画(案)

| 月 | 開催予定 | 備考 |
|--|--|--------------------------------|
| 5月 | ◎ 全国地域づくり人財塾 @全国市町村国際文化研修所(JIAM) 5月8日(水)～5月10日(金) 定員:50名を予定 | |
| 7月 | ◎ 全国地域づくり人財塾 地方開催 in ○○ 7月18日(木)～19日(金) 定員:100名程度を想定 | 開催地は、これまでの地域バランスから 北陸地方としたい |
| 9月 | ◎ 全国地域づくり人財塾 @市町村職員中央研修所 9月18日(水)～9月20日(金) 定員:80名を予定 | |
| 12月 | ◎ 地域人財づくりセミナー(全国地域づくり人財塾@自治大学校) 12月11日(水)～20日(金)(うち人財塾18日～20日)想定 定員:60名を想定 | 日程は、自治大学校で調整中 |
| 2月 | | 人材力活性化研究会 |
| <p>※現時点で想定されるもののみを記載している。 ※各地でのフォローアップ研修については、随時対応する。</p> | | |

平成31年度政策・実務研修「全国地域づくり人財塾」@ J I A M 時間割(案)

| 曜日 | | 1時限 (9:25-10:35) | 2時限 (10:50-12:00) | 3時限 (13:00-14:10) | 4時限 (14:25-15:35) | 5時限 (15:50-17:00) | (敬称略) | |
|------|---|---|---|--|--|--|---|--|
| 5/8 | 水 | 【実践事例】 地域づくりのマネジメント- つながりをつくり開発を生む 仕組みづくり- 慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛 義徳 | 11:00-12:00 入寮受付 11:30- 昼食 12:30- 開講リエンション 入寮リエンション | 【導入】 (13:00-13:15) 人材力の活性化 について 総務省地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室 室長 【実践事例】 (13:15-14:10) クリエイティブな地域づくり (一財)地域活性化センター 人材育成プロデューサー 前神 有里 | 【実践事例】 人が幸せに生きる 公園づくり NP0フュージョン長池 会長 富永 一夫 | 【実践事例】 地域再生 ~行政に頼らない感動の 地域づくり~ 柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎 | 【グループトーク】 (17:00-17:30) 【地域活性化わか説明】 (17:30-17:45) (一財)地域活性化センター 理事長 椎川 忍 【大教室1】 18:15- 交流会 | |
| 5/9 | 木 | 【グループトーク】 (9:00-9:25) 【実践事例】 地域づくりのマネジメント- つながりをつくり開発を生む 仕組みづくり- 慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛 義徳 | 【実践事例】 地方はチャンス ~1粒1000円のライチが 生んだ奇跡~ (一財)こゆ地域づくり推進機構 NP0法人まちづくりGIFT 代表理事 齋藤 潤一 | 【講師との直接対話】 1 R-1 ① 慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛義徳 ② NP0フュージョン長池 会長 富永一夫 ③ 柳谷自治公民館 館長 豊重哲郎 ④ 一般財団法人地域活性化センター 人材育成プロデューサー 前神有里 ⑤ (一財)こゆ地域づくり推進機構、NP0法人まちづくりGIFT 代表理事 齋藤潤一 ※ 140分(70分/コマ×2)を1ラウンドとし、2ラウンド実施 | 【講師との直接対話】 1 R-2 慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛義徳 NP0フュージョン長池 会長 富永一夫 柳谷自治公民館 館長 豊重哲郎 | 【講師との直接対話】 2 R-1 飯盛義徳 | 【講師との直接対話】 (17:15~18:25) 2 R-2 【グループトーク】 (18:35~19:00) | |
| 5/10 | 金 | 【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者からの報告 岩見沢市経済部商工労働課 高瀬 浩樹 | 【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者からの報告 水見市産業振興部商工観光課 伏喜 マリエ | 【成果発表と振り返り】 飯盛 義徳 富永 一夫 豊重 哲郎 前神 有里 | 【講師との直接対話】 14:10-14:40 研修アンケート記入 ・閉講 | | | |

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

◎【講師との直接対話】に出講予定の講師はあくまで仮予定となっております。受講者人数に伴い変更されますのでご了承ください。

平成31年度「全国地域づくり人財塾」@JAMP 時間割(案)

| 曜日 | | 1時限 (9:25-10:35) | 2時限 (10:50-12:00) | 3時限 (13:00-14:10) | 4時限 (14:25-15:35) | 5時限 (15:50-17:00) | 課外 (17:00-) |
|------|---|--|--|--|----------------------------------|---|--|
| 9/18 | 水 | | 11:00-12:00 入寮受付 11:30- 昼食 12:30- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション | 【導入講義】 地域力の創造と地域づくり | 【実践事例】 地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～ | 【実践事例】 | 【グループトーク】 (17:00-17:30) 【説明】 「地方創生カレッジ」について (17:30-17:45) (一財)地域活性化センター 【情報・意見交換会】 (18:15～) |
| 9/19 | 木 | 【グループトーク】 (9:00-9:25) 地域づくりのマネジメン ト～つながりをつくり創 発を生む仕組みづくり～ 慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛 義徳 | 【実践事例】 人が幸せに生きる 公園づくり NP0フュージョン長池 会長 富永 一夫 | 【講師との直接対話】 【1R】 慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛義徳 NP0フュージョン長池 会長 富永一夫 柳谷自治公民館 館長 豊重哲郎 人材力活性化研究会 構成員 人材力活性化研究会 構成員 人材力活性化研究会 構成員 or 外部講師 | 【講師との直接対話】 【講師との直接対話】 【2R】 | 【講師との直接対話】 (17:15～18:25) 【グループトーク】 (18:30～19:00) | |
| 9/20 | 金 | 【グループトーク】 (9:00-9:25) 【事例報告】 全国地域づくり人財塾 既受講者(2名)からの報告 1時限目及び2時限目、報告者1名ずつ 報告約40分、グループトーク約10分、質疑約20分 | 【成果発表と振り返り】 14:10～14:20 閉講あいさつ | | | | |

平成31年度 地域人財づくりセミナー(素案)
(全国地域づくり人財塾@自治大学校)

| 月日 | 時限 | 時間 | 講義内容 |
|---------------|----|-------------|------------|
| 12月11日 (水) | 3 | 13:00~14:10 | 自治大講義 |
| | 4 | 14:25~15:35 | |
| | 5 | 15:50~17:00 | |
| 12月12日 (木) | 1 | 9:25~10:35 | 自治大講義 |
| | 2 | 10:50~12:00 | |
| | 3 | 13:00~14:10 | |
| | 4 | 14:25~15:35 | |
| | 5 | 15:50~17:00 | |
| 12月13日 (金) | 1 | 9:25~10:35 | 自治大講義 |
| | 2 | 10:50~12:00 | |
| | 3 | 13:00~14:10 | |
| | 4 | 14:25~15:35 | |
| | 5 | 15:50~17:00 | |
| 12月14日 (土) | 休日 | | |
| 12月15日 (日) | | | |
| 12月16日 (月) | 1 | 9:25~10:35 | 自治大講義 |
| | 2 | 10:50~12:00 | |
| | 3 | 13:00~14:10 | |
| | 4 | 14:25~15:35 | |
| | 5 | 15:50~17:00 | |
| 12月17日 (火) | 1 | 9:25~10:35 | 自治大講義 |
| | 2 | 10:50~12:00 | |
| | 3 | 13:00~14:10 | |
| | 4 | 14:25~15:35 | |
| | 5 | 15:50~17:00 | |
| 12月18日 (水) | 1 | 9:25~10:35 | 全国地域づくり人財塾 |
| | 2 | 10:50~12:00 | |
| | 3 | 13:00~14:10 | |
| | 4 | 14:25~15:35 | |
| | 5 | 15:50~17:00 | |
| 12月19日 (木) | 1 | 9:25~10:35 | 全国地域づくり人財塾 |
| | 2 | 10:50~12:00 | |
| | 3 | 13:00~14:10 | |
| | 4 | 14:25~15:35 | |
| | 5 | 15:50~17:00 | |
| 12月20日 (金) | 1 | 9:25~10:35 | 全国地域づくり人財塾 |
| | 2 | 10:50~12:00 | |
| | 3 | 13:00~14:10 | |

平成31年度 全国地域づくり人財塾 地方開催(案)

資料7

(開催目的)

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが重要。そのような状況を生み出すために必要となる地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材を全国各地域において育成するため、人材力活性化研究会の構成員が直接赴いて育成することを目的とする。

来年度以降の開催計画(案)

○ 全国を北海道・東北・北陸・関東甲信越・東海・近畿・中国四国・九州沖縄の8ブロックに分けて、年に1ブロックにおいて実施することとする(地域バランス重視型)。

→ 過去3回の地方開催は、東北ブロック(仙台市)、九州沖縄ブロック(福岡市)、北海道ブロック(札幌市)において開催
平成31年度は、北陸ブロックから、開催地を選定してはどうか

<(参考)過去の地方開催に当たり、事前に考慮した事項>

- ・全国、特に当該ブロックから、比較的容易に参加でき、また宿泊場所が研修場所又は近隣において確保可能なこと
- ・受講生約100名が、余裕をもって使用できる会場を確保できること(直接対話会場の確保も含む)

1

(参考)平成30年度 全国地域づくり人財塾 (地方開催in札幌)

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが重要。そのような状況を生み出すために必要となる地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材を、人材力活性化研究会の構成員が中心となって育成する。

開催概要

会場:TKPガーデンシティ札幌駅前
北海道札幌市中央区北2条西2丁目19番
日程:平成30年7月19日(木)~20日(金)
受講者:64名
対象:地域づくりに関心のある行政職員・地域づくり団体・NPO関係者
主催:総務省
共催:北海道 後援:札幌市

主な研修講師 ※人材力活性化研究会構成員を中心に有識者を招へい

飯盛 義徳 (慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐))
富永 一夫 (NPO法人 NPOフュージョン長池 会長)
豊重 哲郎 (柳谷自治公民館 館長)
目黒 英治 (北海道農山漁村(ふるさと)地域力ネットワーク 代表)
西村 浩 (株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役)
前神 有里 (一般財団法人地域活性化センター 人材育成プロデューサー)

全国地域づくり人財塾
主催:総務省 共催:北海道 後援:札幌市
平成30年7月19日(木)・20日(金)
会場:TKPガーデンシティ札幌駅前
受講者:64名
対象:地域づくりに関心のある行政職員・地域づくり団体・NPO関係者
主催:総務省
共催:北海道 後援:札幌市

1

「人材力活性化に関する調査研究事業」報告書骨子（案）

序章 調査の目的

1. 調査の目的
2. 調査研究事業（全国地域づくり人財塾のほか、課題解決編（フィールドワーク型）と地方開催（in 札幌）を実施。

第Ⅰ章 全国地域づくり人財塾

1. 全国地域づくり人財塾とは
2. 今年度の実施状況（JIAM、JAMP、自治大、および地方開催（in 札幌））
3. 全国地域づくり人財塾フォローアップ研修

第Ⅱ章 全国地域づくり人財塾課題解決編

1. 全国地域づくり人財塾課題解決編
2. フィールドワーク型の実施状況

第Ⅲ章 人材力活性化研究会

1. 第23回研究会

第Ⅳ章 本年度の調査研究事業の成果と今後の方向性

1. 本年度の調査研究事業の成果と課題
2. 今後の展開に向けて

参考資料

- ① 全国地域づくり人財塾初級編 受講者アンケート
（JIAM、JAMP、自治大、in 札幌）
- ② 全国地域づくり人財塾課題解決編 受講者アンケート
- ③ 人材力活性化研究会資料（第23回）

平成30年度 人材力活性化に関する調査研究事業 報告書
平成31年3月

総務省 地域力創造グループ 地域自立応援課 人材力活性化・連携交流室
〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2
電話 03-5253-5111 (代)

(事業請負) 株式会社価値総合研究所
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
電話 : 03-5205-7901 FAX : 03-5205-7922